OKI

MICROLINE 910PS/910PS-D ユーザーズマニュアル

応 用 編

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

MICROLINE 910PS
MICROLINE 910PS-D

◯このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。
　プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
◯本マニュアルをプリンタのそばに置いて、ご使用ください。

マニュアルの構成

本製品のユーザーズマニュアルは、次のような3部構成になっています。目的に応じてお読みください。

プリンタ機能編
プリンタの使い方や持っている機能、消耗品の交換方法、紙づまり等のトラブルの対処方法、オプション類の取り付け方が載っています。

セットアップ編
Windows、Macintosh、UNIX、Linux のコンピュータから印刷できるようにするまでの手順が載っています。
プリンタの設置が終わったら、お読みください。

応用編（本書）
色々な用紙に印刷したい時、便利な機能を使って印刷したい時、添付のユーティリティを使って快適な印刷環境にしたい時、カラーを調整したい時、印刷時にトラブルが起こった時などにお読みください。

本書の表記

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE 910PS→ ML910PS
- MICROLINE 910PS-D→ ML910PS-D
- Microsoft® Windows Vista® 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Vista(64bit版) ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2008(64bit版) ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2003(x64版) ※
- Microsoft® Windows® XP x64 Edition operating system 日本語版 → Windows XP(x64版) ※
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版 → Windows Vista ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版 → Windows Server 2008 ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003 ※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → Windows XP ※
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows 2000
- Windows Vista、Windows Server 2008、Windows Server 2003、Windows XP、Windows 2000の総称→ Windows

※ 特に記載がない場合は、Windows VistaとWindows Server 2008とWindows Server 2003とWindows XPには64bit 版も含みます。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために､ご使用前に必ずユーザーズマニュアル（本書）をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

⚠警告	
	プリンタ内部の安全スイッチに触れないでください。高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。
	プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、 異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いて お客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	プリンタを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源コード、プリンタケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。

⚠警告

	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。感電、火災のおそれがあります。
	電池は、間違ったタイプと交換した場合、爆発するおそれがあります。本プリンタの電池は交換する必要がありません。電池には手を触れないでください。
	プリンタのカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。
	こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。 こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより発火する可能性があります。 床などにこぼれてしまったトナーは、ぬれた布などでふき取ってください。
	UPS（無停電電源）を使用した場合の動作は保証していません。無停電電源は使用しないでください。 火災のおそれがあります。

⚠注意

	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。
	壊れた液晶ディスプレイにはさわらないでください。 液晶ディスプレイから漏れた液体（液晶）が目や口に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

目次

5 ネットワーク機能について 181

1 色々な用紙に印刷する

- この章では、Windowsでは［ワードパッド］、Macintoshでは［SimpleText］、Mac OS Xでは［テキストエディット］を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。

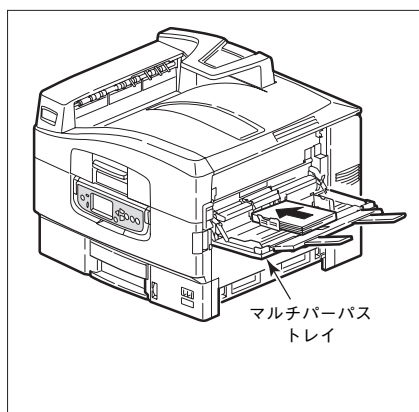
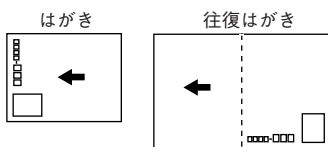
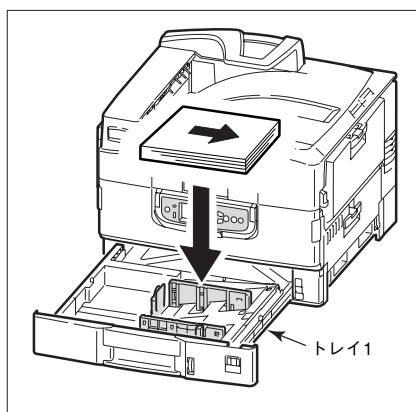
はがき、往復はがきに印刷する

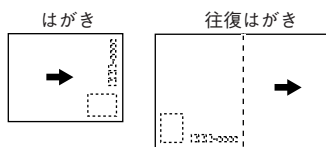
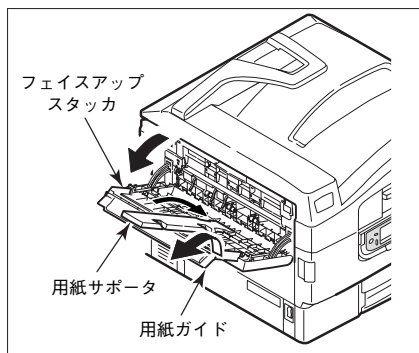
はがき、往復はがきはマルチパーパストレイまたはトレイ１から印刷し、フェイスアップスタッカに排出します。
使用できるはがきは、郵便はがき、折っていない郵便往復はがきです。（ただし、インクジェット用は除きます。）

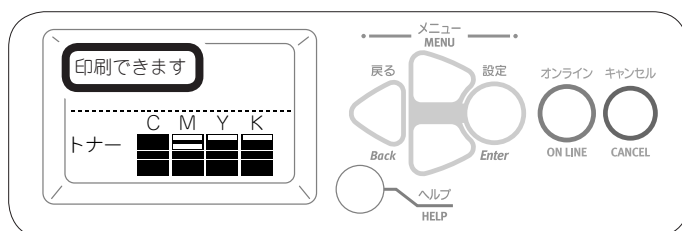
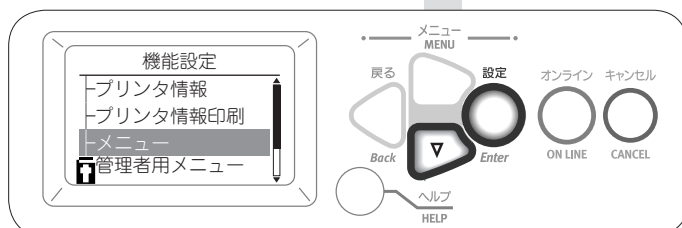
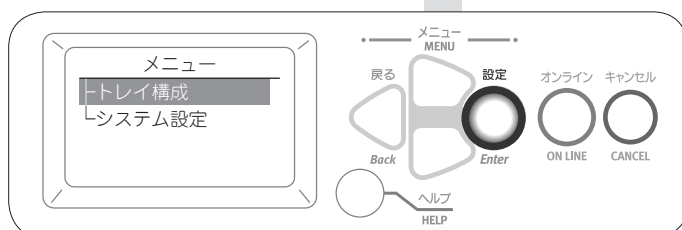
- 印刷後は反りが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。

手順（1〜5まであります）

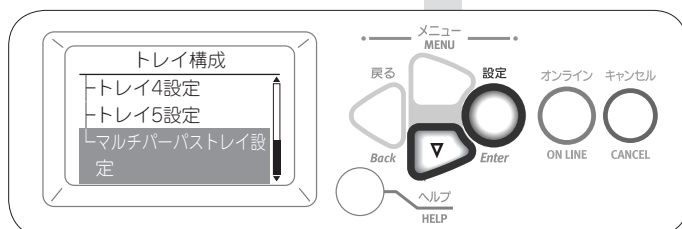
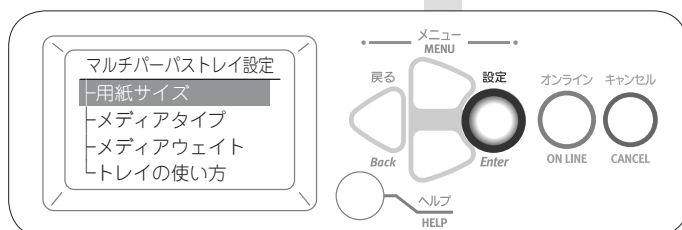
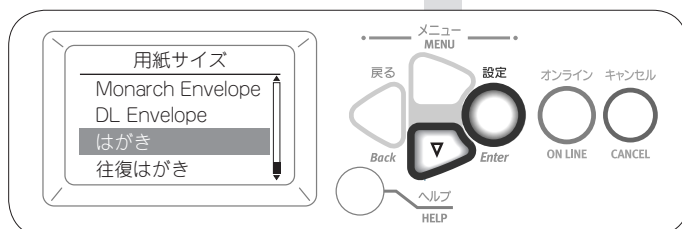
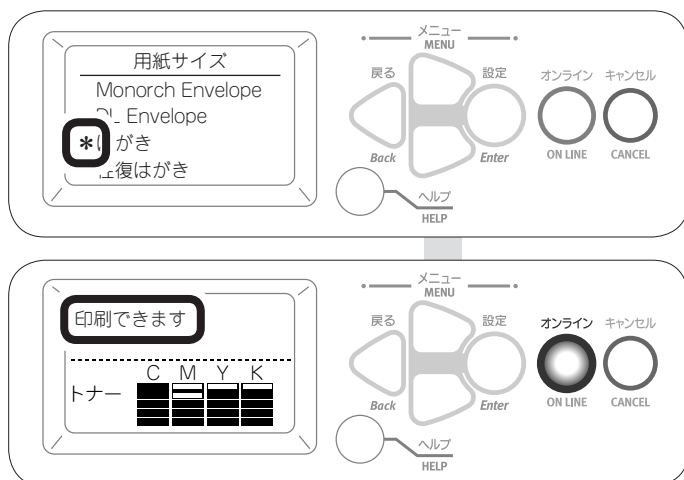
1 はがきをセットします。

マルチパーパストレイを使う場合

印刷面を上にして、セットします。

トレイ1を使う場合

印刷面を下にして、セットします。

2 「フェイスアップスタッカ」を開きます。

3 プリンタの「操作パネル」で、用紙サイズの設定を確認します。

マルチパーパストレイを使う場合　トレイ1を使う場合は14ページをご覧ください。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ ボタンを数回押して［メニュー］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

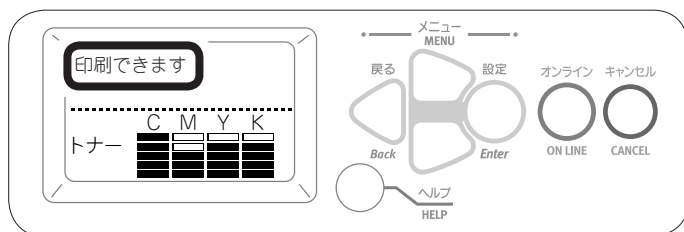
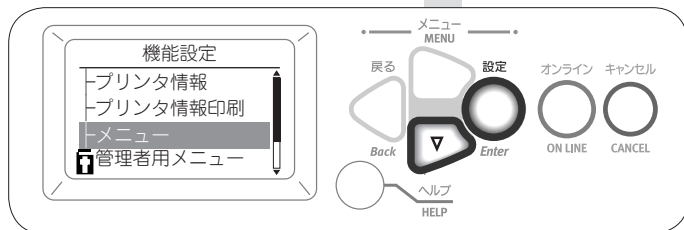
❸ ［トレイ構成］が選択されているので、◯ 設定ボタンを押します。

❹ ▽ ボタンを数回押して［マルチパーパストレイ設定］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❺ ［用紙サイズ］が選択されているので、◯ 設定ボタンを押します。

❻ ▽ ボタンを数回押して［はがき］または［往復はがき］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❼ [はがき] または [往復はがき] の左側に[*]が付いたことを確認します。

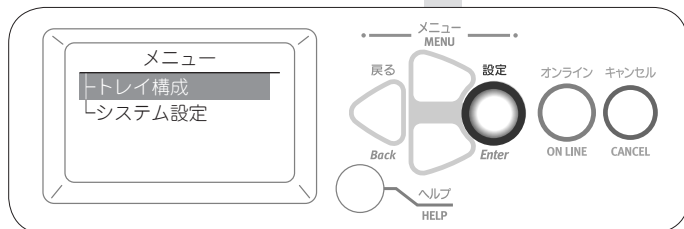
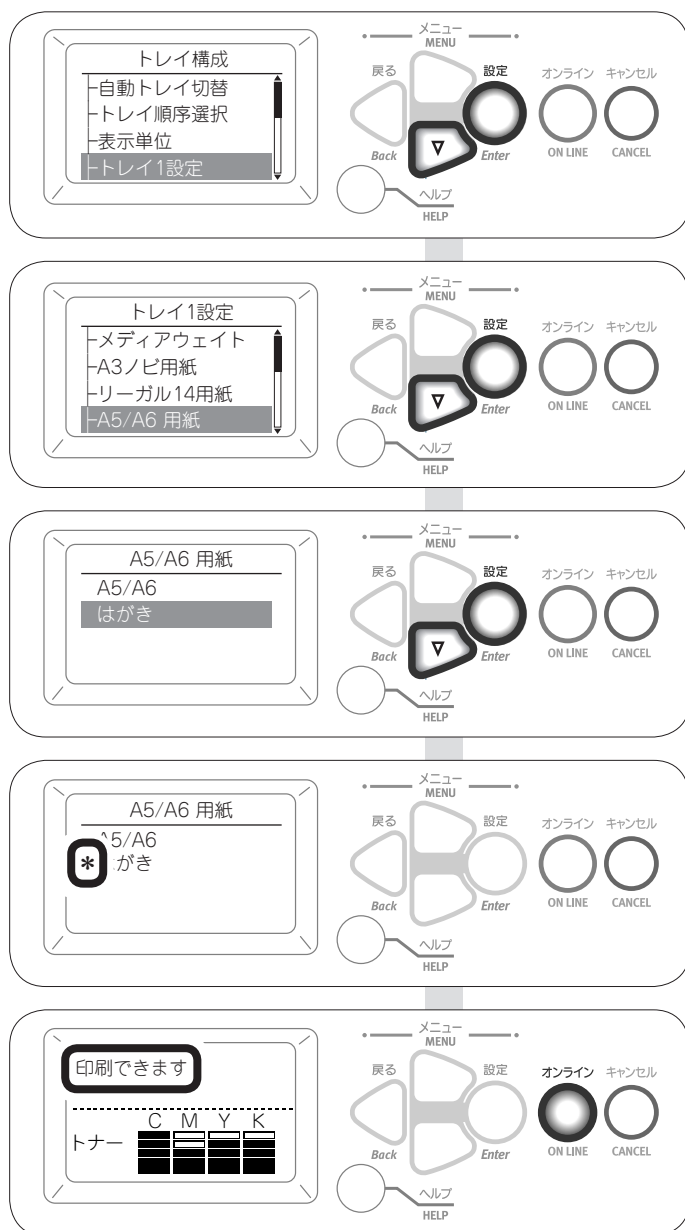
❽ オンラインボタンを押し、[印刷できます] と表示します。

手順4（15ページ）へ進みます。

トレイ1を使う場合

マルチパーパストレイを使う場合は13ページをご覧ください。

工場出荷時の設定では [はがき] になっているため、以下の操作を行う必要はありません。手順4（15ページ）へ進みます。

❶ 表示部に [印刷できます] と表示していることを確認します。

❷ ▽ボタンを数回押して [メニュー] を選択し、設定ボタンを押します。

❸ [トレイ構成] が選択されているので、設定ボタンを押します。

❹ ボタンを数回押して［トレイ1設定］を選択し、設定ボタンを押します。

❺ ボタンを数回押して［A5/A6 用紙］を選択し、設定ボタンを押します。

❻ ボタンを数回押して［はがき］を選択し、設定ボタンを押します。

❼ ［はがき］の左側に［＊］が付いたことを確認します。

❽ オンラインボタンを押し、［印刷できます］と表示します。

4 印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［はがき］または［往復はがき］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

❺［用紙/品質］タブの［給紙方法］で［トレイ1］または［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。
（Windows 2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❼「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

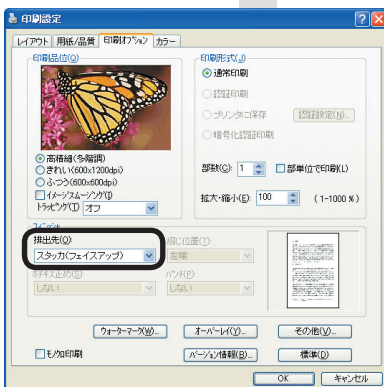
❷［サイズ］で［はがき］または［往復はがき］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、[OK] をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

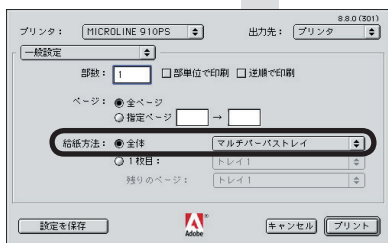
❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

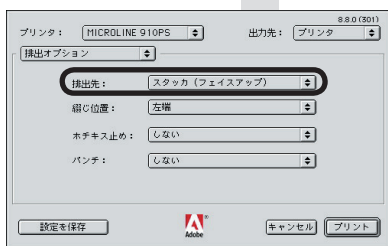
❺［設定］タブの［給紙方法］で［トレイ1］または［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認し、[OK] をクリックします。
（Windows 2000では、[OK]をクリックする必要はありません。）

❼「印刷」画面で [OK] または [印刷] をクリックし、印刷します。

MacOSをお使いの方 Mac OS Xをお使いの方は19ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷［用紙］で［はがき］または［往復はがき］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙方法］で［トレイ1］または［マルチパーパストレイ］を選択します。

❺［排出オプション］パネルの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認します。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS Xをお使いの方

MacOSをお使いの方は18ページをご覧ください。

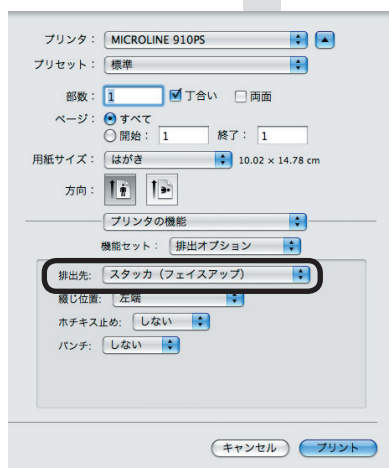
❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［はがき］または［往復はがき］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺［給紙］パネルで［トレイ1］または［マルチパーパストレイ］を選択します。

メモ　Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

❻［プリンタの機能］パネルの［排出オプション］機能セットの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

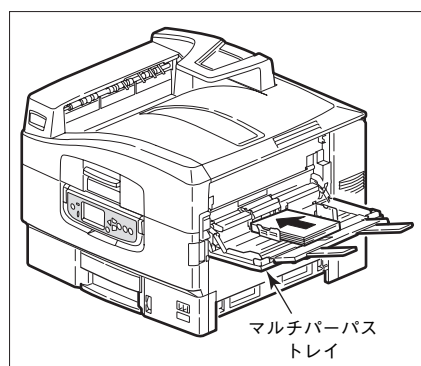
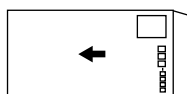
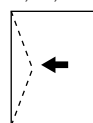
❼［プリント］をクリックし、印刷します。

封筒に印刷する

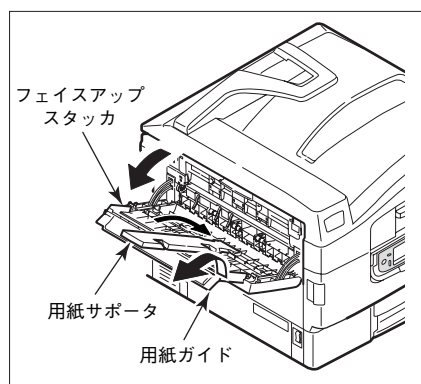
封筒はマルチパーパストレイから印刷し、フェイスアップスタッカに排出します。
印刷できる封筒サイズは長形3号、長形4号、角形2号、角形3号、角形8号、洋形0号、洋形4号、Com-9、Com-10、DL、C4、C5、Monarchです。
必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

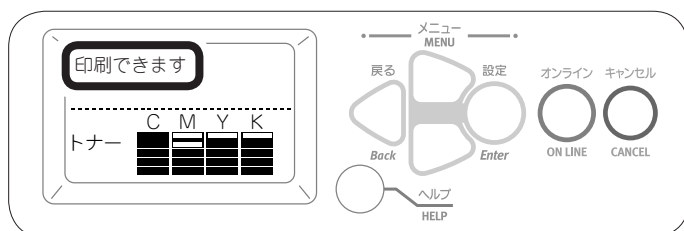
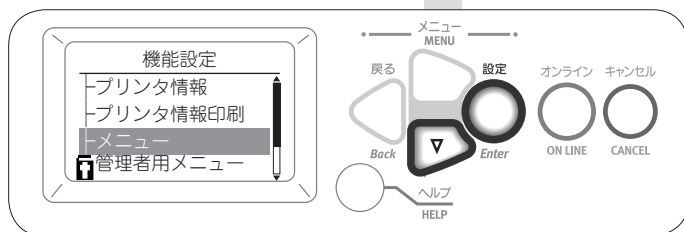
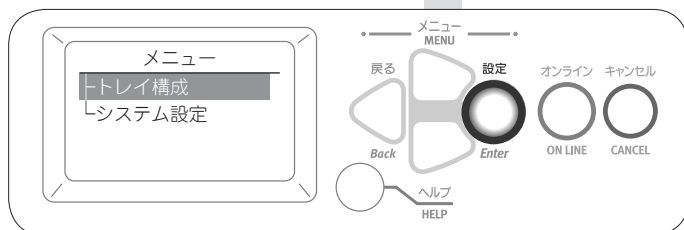
- 印刷後は反りやシワが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 封筒の貼り合わせ部分（厚さに段差のある部分）のまわり約5mmは印刷品位が低下することがあります。
- 封筒に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。

手順（1～5まであります）

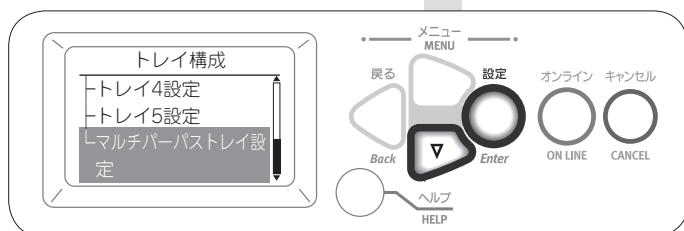
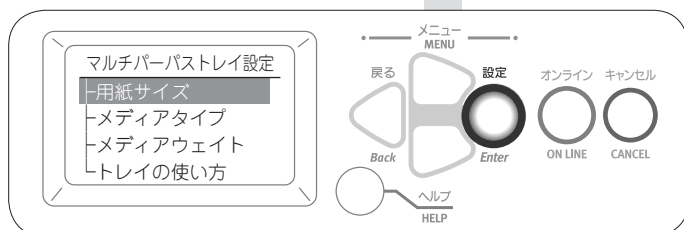
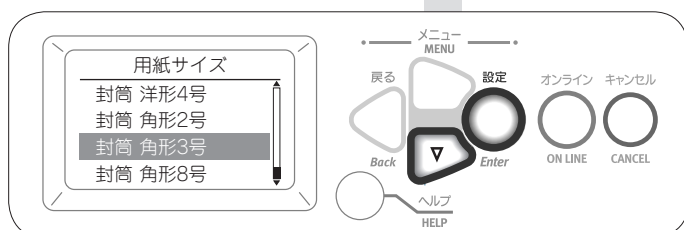
1 マルチパーパストレイに、印刷面を上にして封筒をセットします。

角形2号

洋形0号, 洋形4号,Com-9,Com-10,
DL,C4,C5,Monarch

長形3号, 長形4号,
角形3号, 角形8号

角形、長形の封筒は、フラップ部を開いたままセットします。

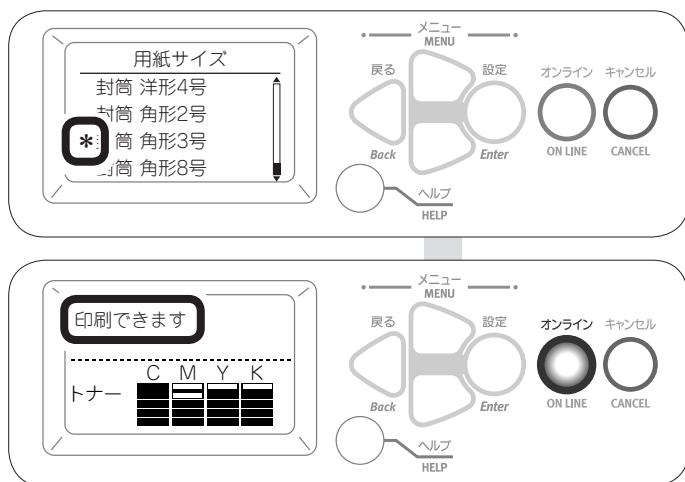
2 プリンタ左側面の「フェイスアップスタッカ」を開きます。

3 プリンタの「操作パネル」で、封筒サイズの設定をします。

工場出荷時の設定では［A4横送り］になっています。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ボタンを数回押して［メニュー］を選択し、◯設定ボタンを押します。

❸ ［トレイ構成］が選択されているので、◯設定ボタンを押します。

❹ ▽ボタンを数回押して［マルチパーパストレイ設定］を選択し、◯設定ボタンを押します。

❺ ［用紙サイズ］が選択されているので、◯設定ボタンを押します。

❻ ▽ボタンを数回押して印刷したい封筒のサイズを選択し、◯設定ボタンを押します。

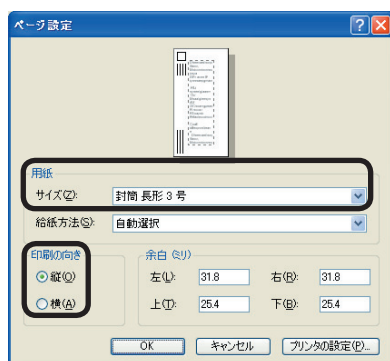
ここでは「封筒 角形3号」を選択した場合を例にしています。

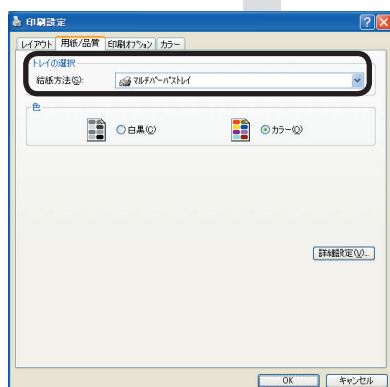
（封筒に印刷する）

❼ 選択した封筒のサイズの左側に［＊］が付いたことを確認します。

❽ オンラインボタンを押し、［印刷できます］と表示します。

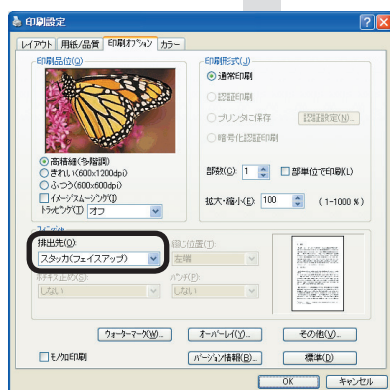
4 印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

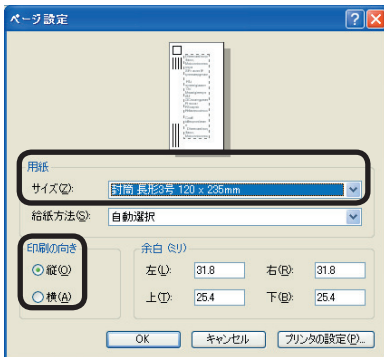
Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［封筒長形3号］～［封筒洋形0号］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

❺［用紙/品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。
（Windows 2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❼「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

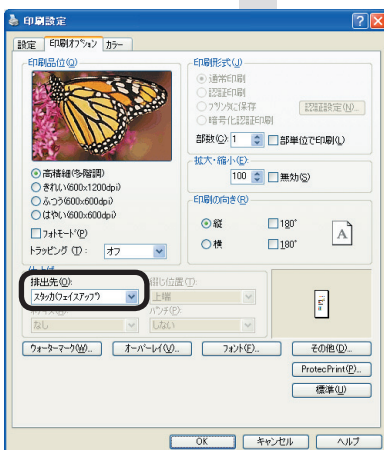
（封筒に印刷する）

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［封筒長形3号］～［封筒洋形0号］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

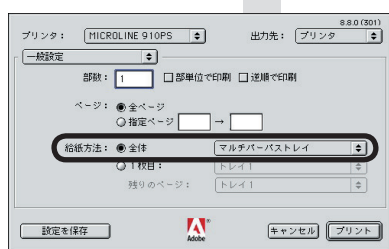
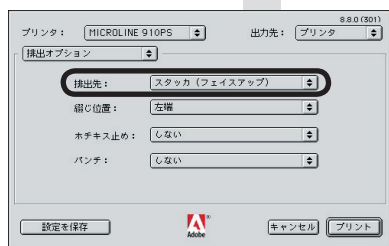
❺ ［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻ ［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。
（Windows 2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❼ 「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

MacOSをお使いの方

Mac OS Xをお使いの方は26ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷［用紙］で［封筒長形3号］～［封筒洋形0号］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

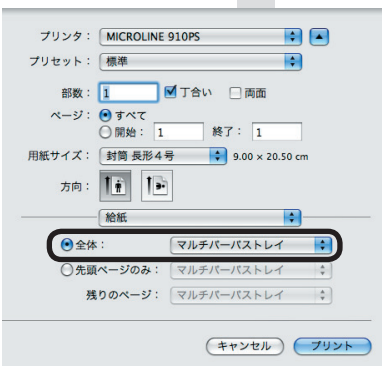
❹［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❺［排出オプション］パネルの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認します。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

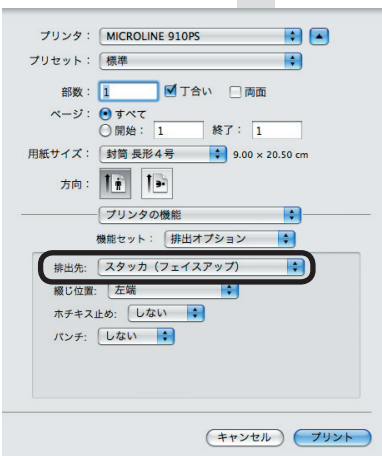
Mac OS Xをお使いの方 MacOSをお使いの方は25ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［封筒長形4号］～［封筒洋形0号］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］を選択します。

メモ　Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

❻［プリンタの機能］パネルの［排出オプション］機能セットの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

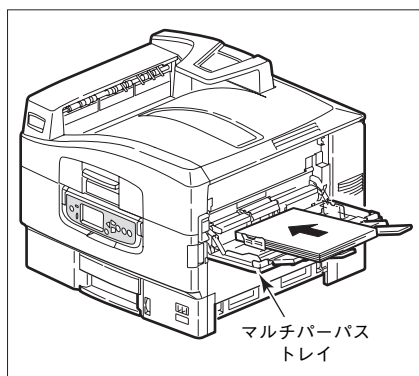
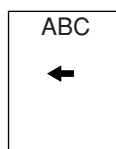
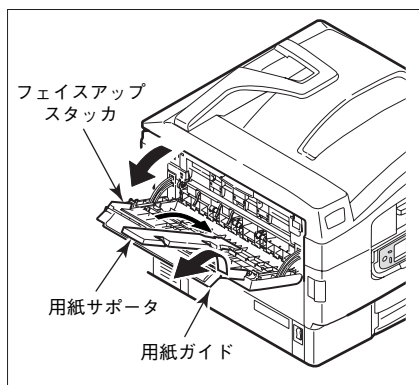
❼［プリント］をクリックし、印刷します。

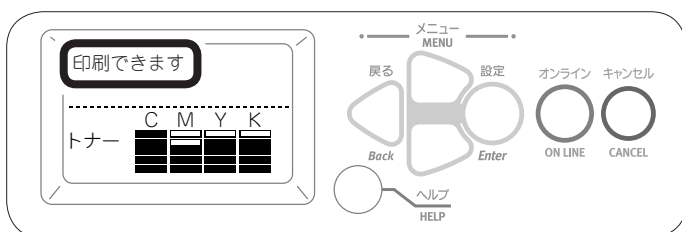
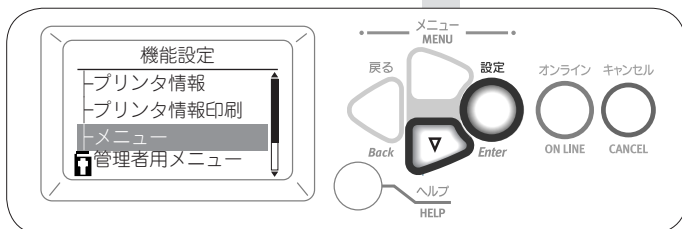
ラベル紙に印刷する

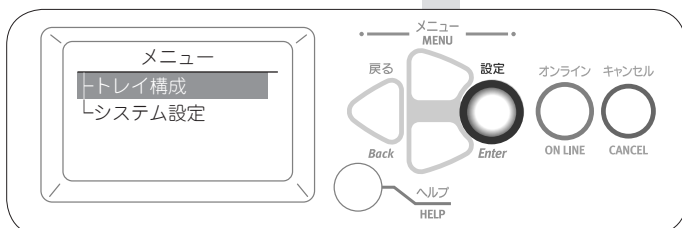
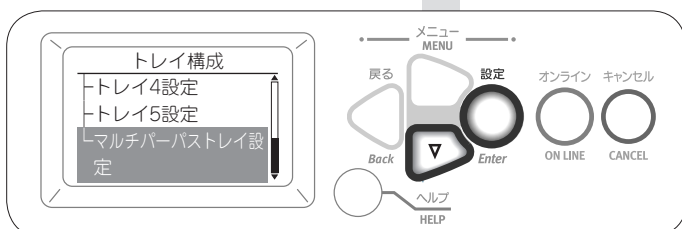
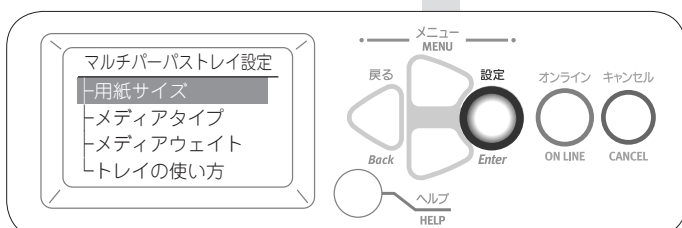
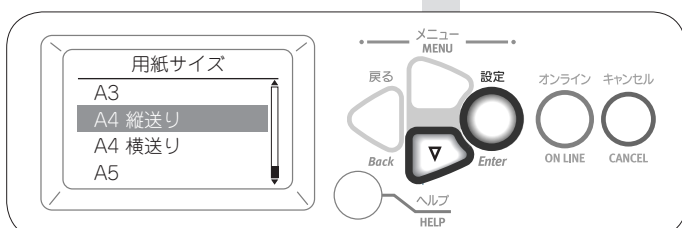
ラベル紙はマルチパーパストレイから印刷し、フェイスアップスタッカに排出します。
印刷できるラベル紙のサイズはA4、レターで、厚さは0.13～0.2mmです。
必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

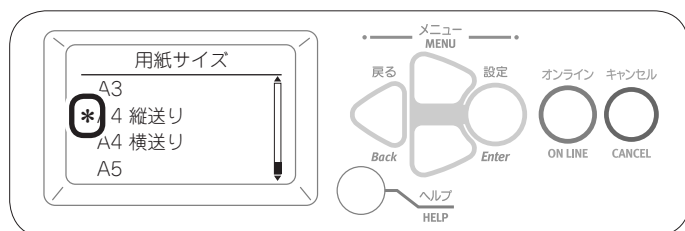
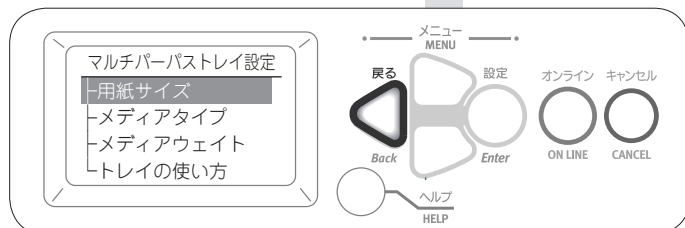
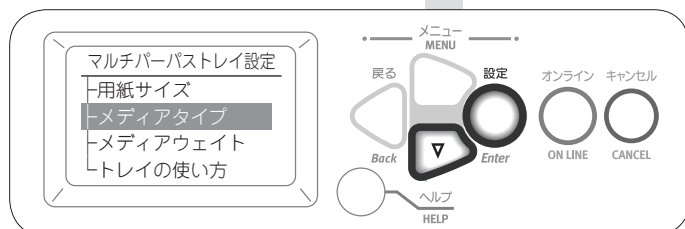
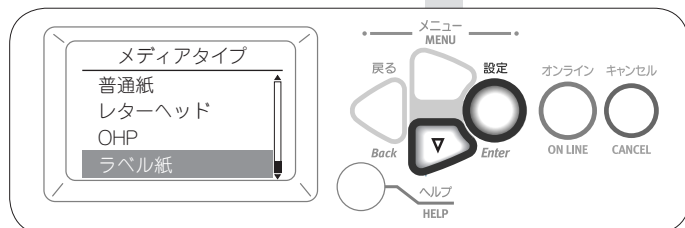
・用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
・トナーの定着が低下することがあります。
・ラベル紙の先端に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。

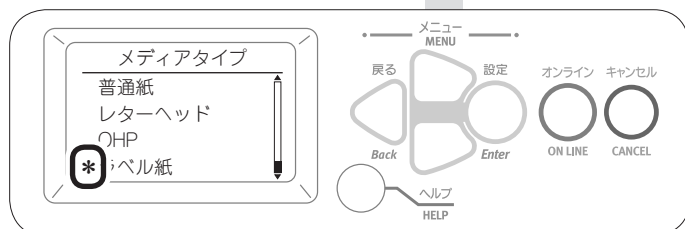
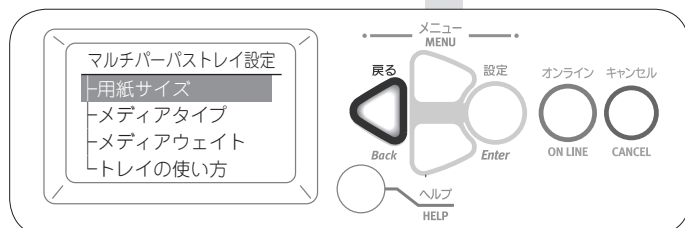
手順（1～5まであります）

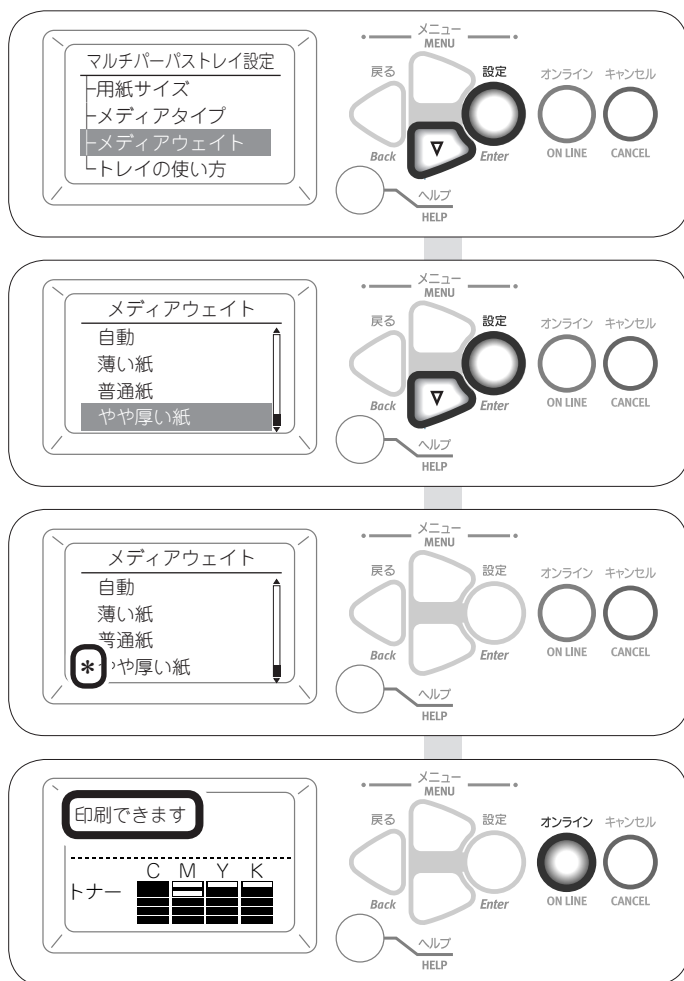
1 マルチパーパストレイに、印刷面を上にして用紙をセットします。

2 プリンタの左側面の「フェイスアップスタッカ」を開きます。

（ラベル紙に印刷する）

3 プリンタの「操作パネル」で、「用紙サイズ」、「メディアタイプ」、「メディアウエイト」を設定します。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ボタンを数回押して［メニュー］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❸ ［トレイ構成］が選択されているので、◯ 設定ボタンを押します。

❹ ▽ボタンを数回押して［マルチパーパストレイ設定］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❺ ［用紙サイズ］が選択されているので、◯ 設定ボタンを押します。

❻ ▽ボタンを数回押して手順1で設定した用紙サイズを選択し、◯ 設定ボタンを押します。

ここでは、A4サイズの用紙を縦送りにセットした場合を例にしています。

❼ [A4　縦送り] の左側に [＊] が付いたことを確認します。

❽ 戻るボタンを1回押し、[マルチパーパストレイ設定] 画面を表示します。

❾ ▽ ボタンを数回押して [メディアタイプ] を選択し、設定ボタンを押します。

❿ ▽ ボタンを数回押して [ラベル紙] を選択し、設定ボタンを押します。

通常は「ラベル紙1」を選択してください。「ラベル紙1」で印刷に不具合があった場合は「ラベル紙2」を選択してください。

⓫ [ラベル紙] の左側に [＊] が付いたことを確認します。

⓬ 戻るボタンを1回押し、[マルチパーパストレイ設定] を表示します。

（ラベル紙に印刷する）

⑬ ▽ボタンを数回押して［メディアウェイト］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

⑭ ▽ボタンを数回押して［やや厚い紙］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

⑮ ［やや厚い紙］の左側に［＊］が付いたことを確認します。

⑯ ◯ オンラインボタンを押し、［印刷できます］と表示します。

4 印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

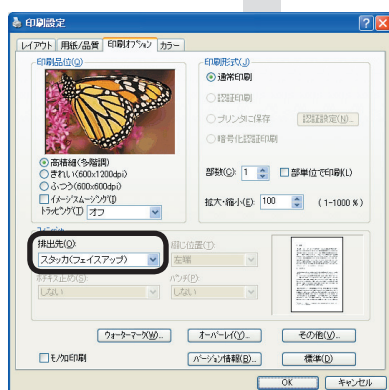
Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［用紙］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

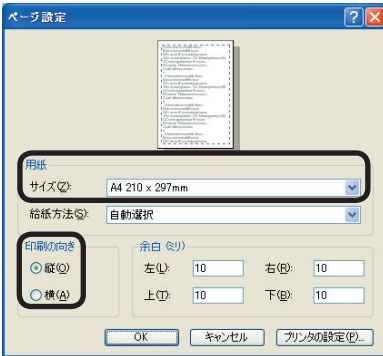
❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

❺［用紙/品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows 2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❼「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

（ラベル紙に印刷する）

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［用紙］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

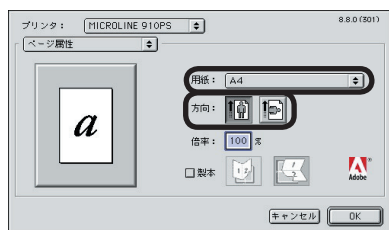
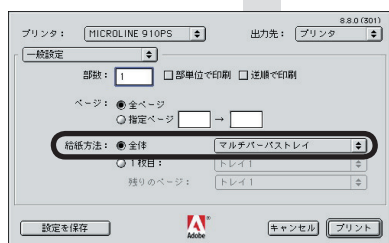
❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows 2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❼「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

MacOSをお使いの方　Mac OS Xをお使いの方は34ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

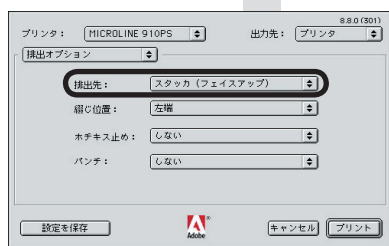
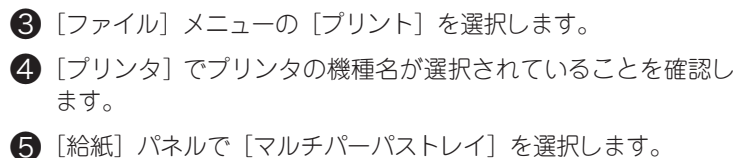
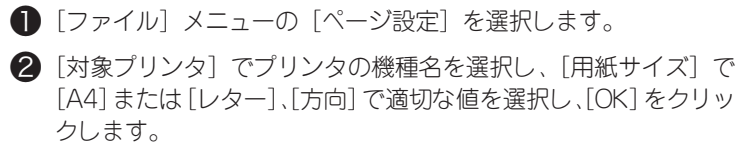
❷［用紙］で［A4］または［レター］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❺［排出オプション］パネルの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

（ラベル紙に印刷する）

Mac OS Xをお使いの方　MacOSをお使いの方は33ページをご覧ください。

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［A4］または［レター］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

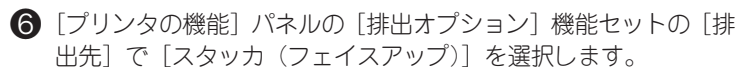
❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺ ［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］を選択します。

メモ　Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

❻ ［プリンタの機能］パネルの［排出オプション］機能セットの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

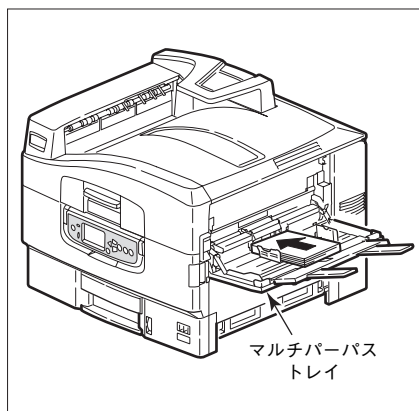
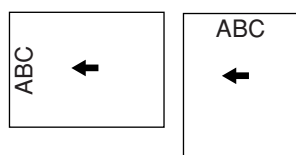
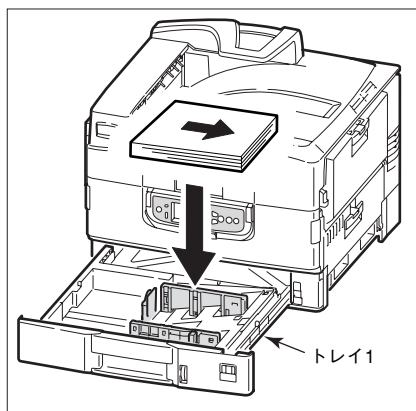
❼ ［プリント］をクリックし、印刷します。

OHPフィルムに印刷する

OHPフィルムはマルチパーパストレイまたはトレイ1から印刷し、フェイスアップスタッカに排出します。
印刷できるOHPフィルムのサイズは、A4、レターで、厚さは0.1〜0.12mmです。

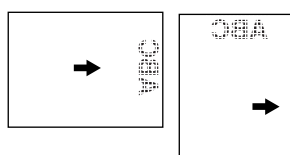
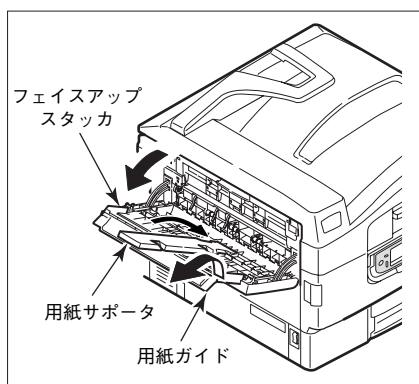
- OHPフィルムは透明なプラスチックでできているため、印刷品位が低下することがあります。
- 印刷後はうねりが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 表面に滑りやすいコーティングをしたOHPフィルムは滑って吸入できないことがあります。
- 推奨紙以外のOHPフィルムを使用すると、種類によっては定着器ユニットのローラーに巻きついたりしてプリンタが故障するおそれがあります。
- OHP装置は透過型を使用してください。反射型では良好な投影が得られないことがあります。

手順（1〜5まであります）

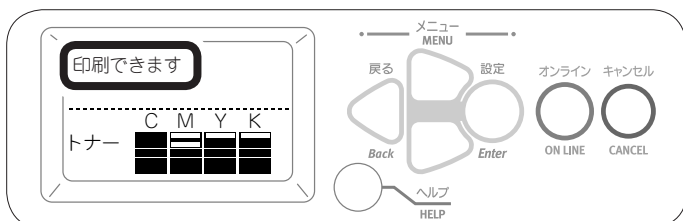
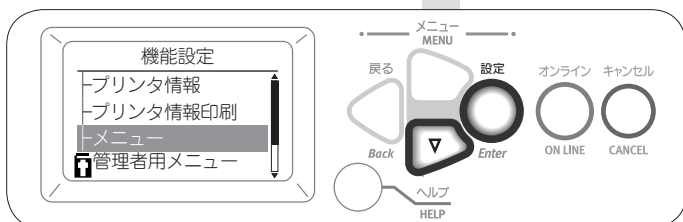
1 OHPフィルムをセットします。

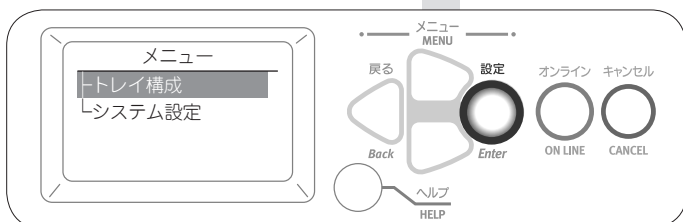
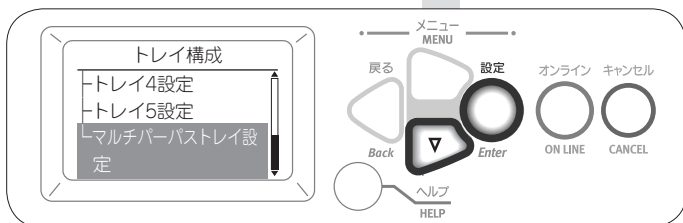
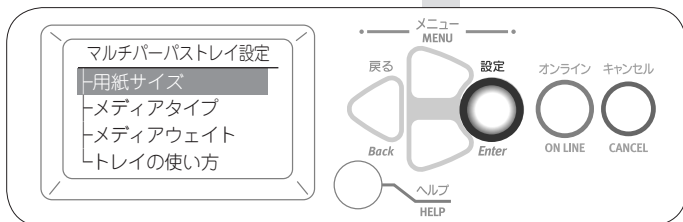
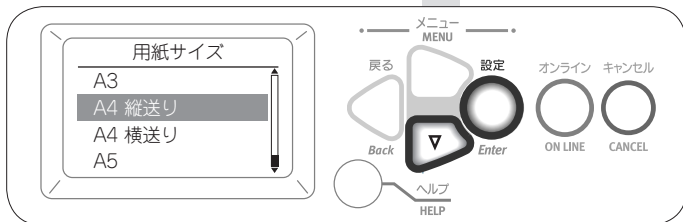
マルチパーパストレイを使う場合

印刷面を上にして、セットします。

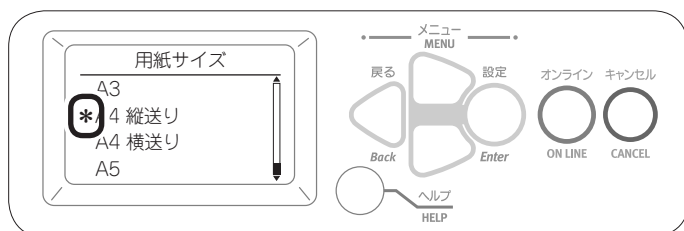
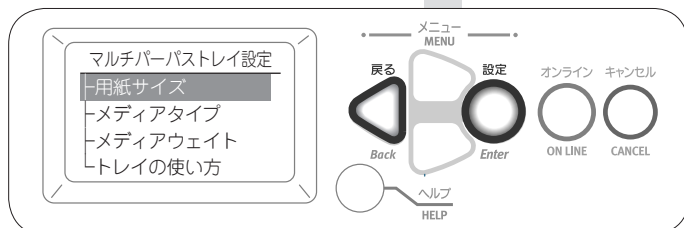
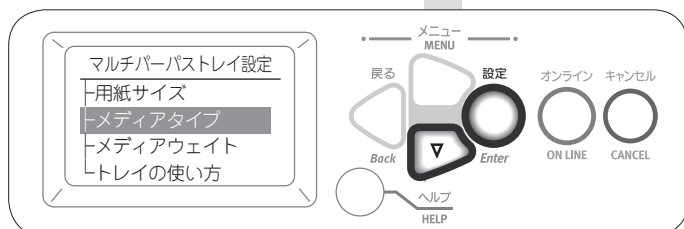
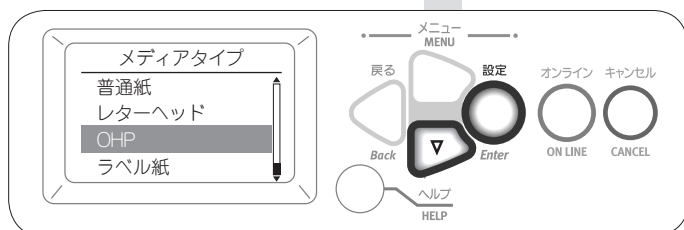
トレイ1を使う場合

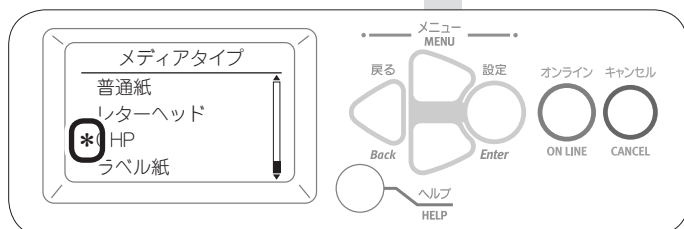
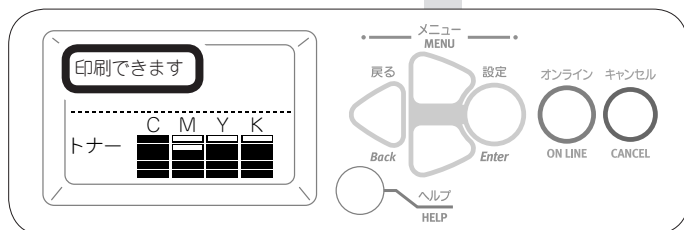
印刷面を下にして、セットします。

2 プリンタの左側面の「フェイスアップスタッカ」を開きます。

3 プリンタの「操作パネル」で、「用紙サイズ」と「メディアタイプ」を設定します。

マルチパーパストレイを使う場合

トレイ1を使う場合は38ページをご覧ください。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ボタンを数回押して［メニュー］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❸ ［トレイ構成］が選択されているので、◯ 設定ボタンを押します。

❹ ▽ボタンを数回押して［マルチパーパストレイ設定］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❺ ［用紙サイズ］が選択されているので、◯ 設定ボタンを押します。

❻ ▽ボタンを数回押して印刷したい用紙サイズを選択し、◯ 設定ボタンを押します。

設定できるサイズは、［A4　縦送り］、［A4　横送り］、［レター　縦送り］、［レター　横送り］です。

❼ 印刷したい用紙サイズの左側に［＊］が付いたことを確認します。

❽ 戻るボタンを1回押し、［マルチパーパストレイ設定］画面を表示し、設定ボタンを押します。

❾ ▽ボタンを数回押して［メディアタイプ］を選択し、設定ボタンを押します。

❿ ▽ボタンを数回押して［OHP］を選択し、設定ボタンを押します。

⓫ ［OHP］の左側に［＊］が付いたことを確認します。

⓬ オンラインボタンを押し、［印刷できます］と表示します。

手順4（39ページ）へ進みます。

（OHPフィルムに印刷する）

トレイ1を使う場合　マルチパーパストレイを使う場合は36ページをご覧ください。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ボタンを数回押して［メニュー］を選択し、◯設定ボタンを押します。

❸ ［トレイ構成］が選択されているので、◯設定ボタンを押します。

❹ ▽ボタンを数回押して［トレイ1設定］を選択し、◯設定ボタンを押します。

❺ ▽ボタンを数回押して［メディアタイプ］を選択し、◯設定ボタンを押します。

❻ ▽ボタンを数回押して［OHP］を選択し、◯設定ボタンを押します。

❼ ［OHP］の左側に［＊］が付いたことを確認します。

❽ オンラインボタンを押し、［印刷できます］と表示します。

4 印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［用紙］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

❺［用紙/品質］タブの［給紙方法］で［トレイ1］または［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows 2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❼「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［用紙］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

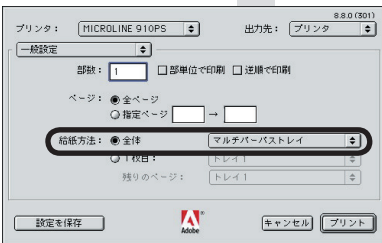
❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［トレイ1］または［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows 2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

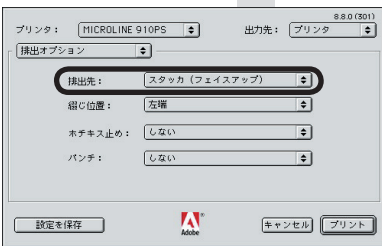
❼「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、 印刷します。

(OHPフィルムに印刷する)

MacOSをお使いの方 Mac OS Xをお使いの方は43ページをご覧ください。

❶ [ファイル] メニューの [用紙設定] を選択します。

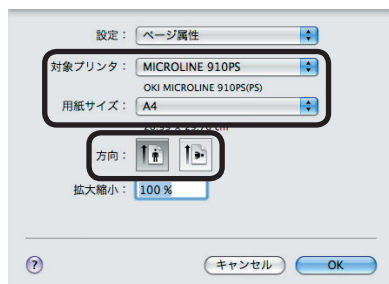
❷ [用紙] で [A4] または [レター]、[方向] で適切な値を選択し、[OK] をクリックします。

❸ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❹ [給紙方法] で [トレイ1] または [マルチパーパストレイ] を選択します。

❺ [排出オプション] パネルの [排出先] で [スタッカ (フェイスアップ)] を選択します。

❻ [プリント] をクリックし、印刷します。

Mac OS Xをお使いの方

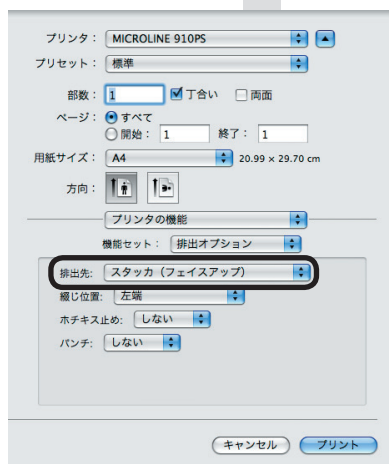
MacOSをお使いの方は42ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［A4］または［レター］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺［給紙］パネルで［トレイ1］または［マルチパーパストレイ］を選択します。

メモ　Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

❻［プリンタの機能］パネルの［排出オプション］機能セットの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

❼［プリント］をクリックし、印刷します。

長尺紙や任意の用紙サイズに印刷する（カスタムページ）

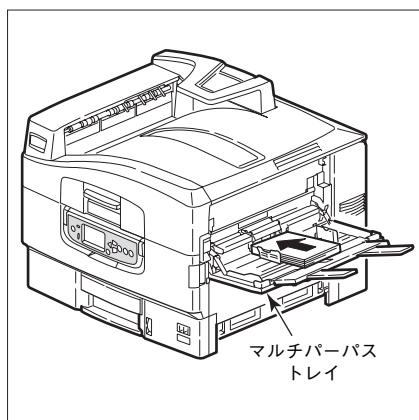
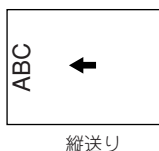
長尺紙や任意のサイズ（幅は76.2～328mm、長さは90～1200mm）の用紙に印刷できます。
印刷する用紙はマルチパーパストレイ、 またはトレイ1～5（トレイ2～5はオプション）にセットし、 フェイスアップスタッカへ排出します。但し、長さが457mmを超える用紙、幅が100mm未満の用紙は、マルチパーパストレイにセットします。用紙は縦長（幅＜長さ）にセットします。
アプリケーションによっては利用できない場合があります。

- 長さが457.2mmを超える用紙の印刷品位は保証できません。
- 使用できる用紙は連量55～258kg（64～300g/m^2）の用紙です。ただし、連量187kg（217g/m^2）以上の用紙はマルチパーパストレイにセットしてください。長尺紙は連量110kg（128g/m^2）の用紙を使用してください。
- 用紙サポータでサポートしきれない長さの用紙は手で支えてください。
- 長尺紙や大きなサイズの用紙に印刷する時、メモリ不足エラーが発生したり、正しく印刷されないことがあります。その場合は、［印刷品位］で「きれい」または「ふつう」を設定して印刷するか、オプションの「増設メモリ」を追加することを推奨します。
- 幅が100mm未満の用紙は、オンラインボタンを押すことにより印刷できます。
- 長尺紙を「モノクロ」で印刷すると、用紙の後部が汚れることがあります。その場合は、カラーモードで印刷してください。

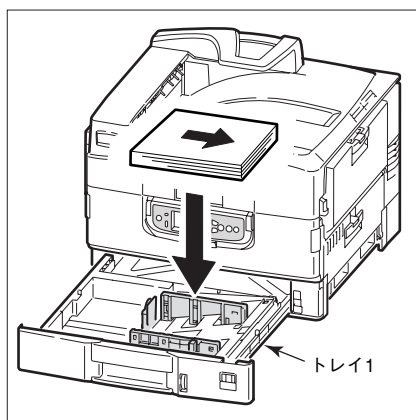
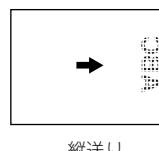
印刷するまでの流れ

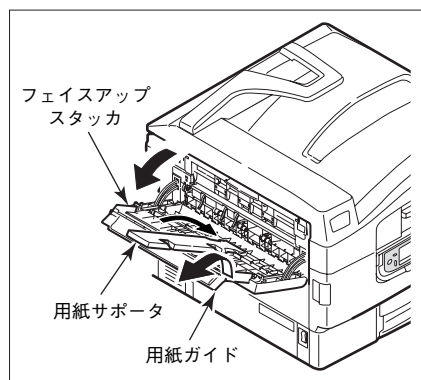
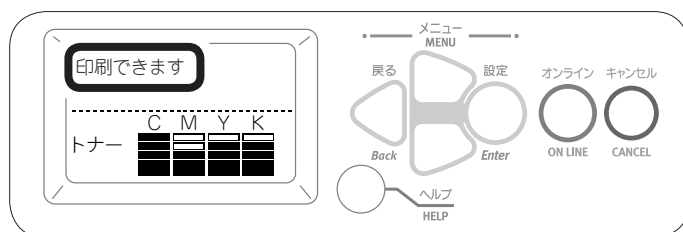
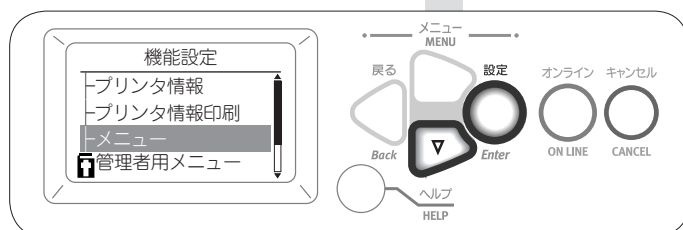
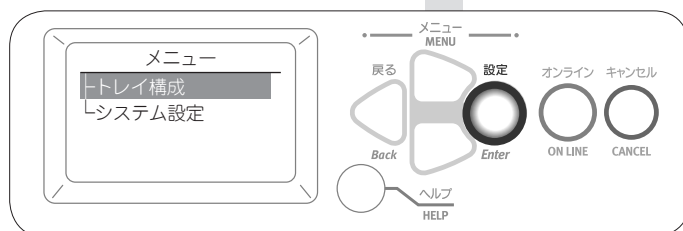
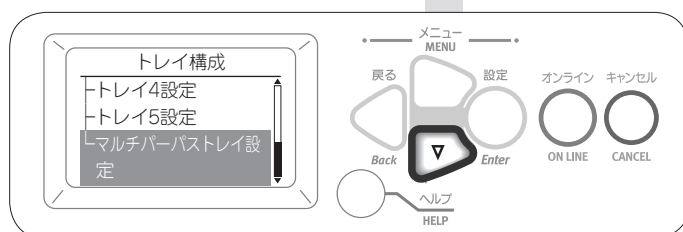
手順（1～4まであります）

1 プリンタに用紙をセットします。

マルチパーパストレイを使う場合

印刷面を上にして、セットします。

縦送り

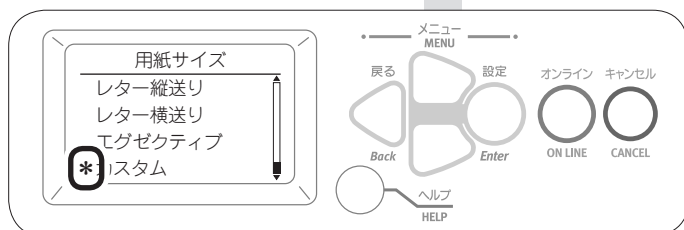
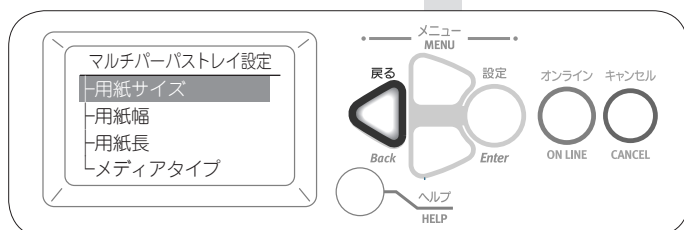
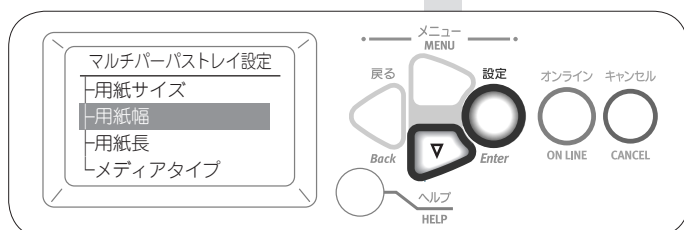
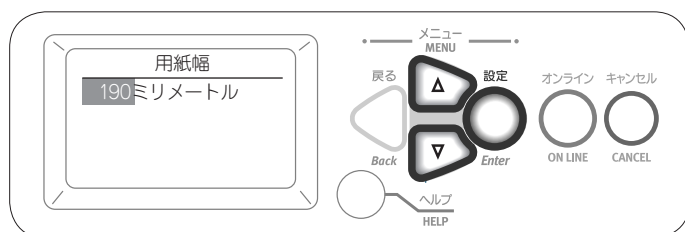
トレイ1を使う場合

印刷面を下にして、セットします。

縦送り

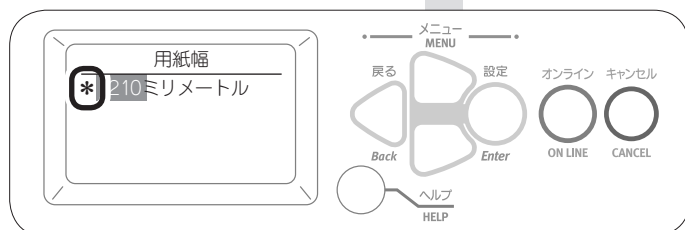
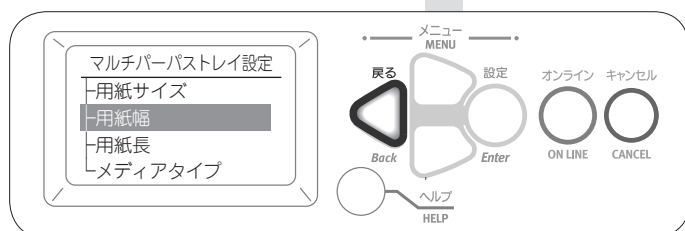
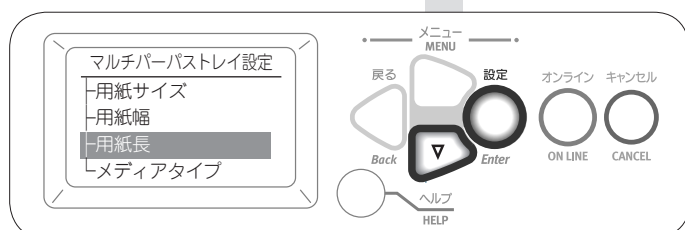
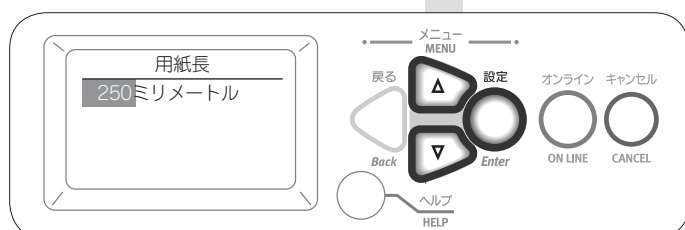
2 プリンタの左側面の「フェイスアップスタッカ」を開きます。

3 プリンタの操作パネルで、「用紙サイズ」、「用紙幅」、「用紙長」を設定します。

❶ 表示部に[印刷できます]と表示していることを確認します。

❷ ▽ボタンを数回押して［メニュー］を選択し、◯設定ボタンを押します。

❸ ［トレイ構成］が選択されているので、◯設定ボタンを押します。

❹ ▽ボタンを数回押し、マルチパーパストレイに用紙をセットした場合は［マルチパーパストレイ設定］を選択します。
トレイ1に用紙をセットした場合は、［トレイ1設定］を選択します。

ここではマルチパーパストレイに用紙をセットした場合を例にしています。

❺ 設定ボタンを押します。

❻ [用紙サイズ]が選択されているので、設定ボタンを押します。

❼ ▽ボタンを数回押して［カスタム］を選択し、設定ボタンを押します。

❽ ［カスタム］の左側に［＊］が付いたことを確認します。

❾ 戻るボタンを1回押し、［マルチパーパストレイ設定］を表示します。

❿ ▽ボタンを数回押して［用紙幅］を選択し、設定ボタンを押します。

⑪ ボタンまたは ボタンを数回押し、印刷する用紙の幅を選択し、 設定ボタンを押します。

ここでは［表示単位］が［ミリメートル］の場合を例にしています。

⑫ 数値の左側に［*］が付いたことを確認します。

⑬ 戻るボタンを1回押し、［マルチパーパストレイ設定］を表示します。

⑭ ボタンを1回押して［用紙長］を選択し、 設定ボタンを押します。

⑮ ボタンまたは ボタンを数回押し、印刷する用紙の長さを選択し、 設定ボタンを押します。

⑯ 数値の左側に［*］が付いたことを確認します。

⑰ オンラインボタンを押し、[印刷できます] と表示します。

4 プリンタドライバに用紙サイズを登録し、印刷します。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶ Windows Vista/Server 2008 では、[スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。
Windows XP では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows Server 2003 では、[スタート] - [プリンタと FAX] を選択します。Windows 2000 では、[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

❷ [OKI MICROLINE 910PS(PS)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定] を選択します。

❸ [レイアウト] タブの [詳細設定] をクリックします。

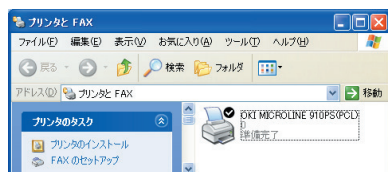
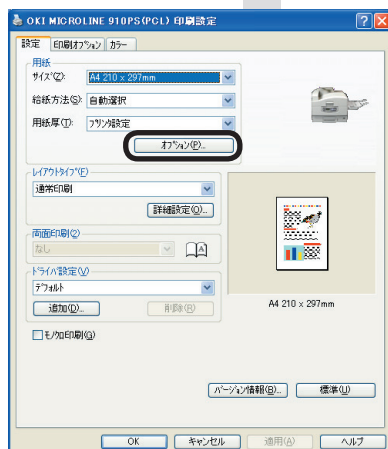
❹ [用紙サイズ]で[PostScriptカスタムページサイズ]を選択します。

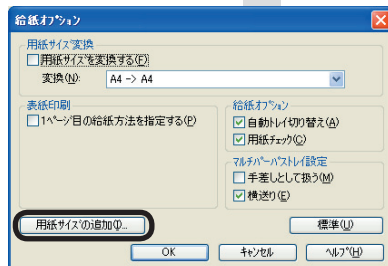
❺「PostScriptカスタムページサイズの定義」画面で [幅] と [高さ] を入力します。

❻ [OK] をクリックします。

❼ 印刷したいファイルを開き、登録した用紙サイズを指定し、印刷します。

注 オフセットの設定は有効ではありません。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ Windows Vista/Server 2008 では、[スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。
Windows XP では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows Server 2003 では、[スタート] - [プリンタと FAX] を選択します。Windows 2000 では、[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

❷ [OKI MICROLINE 910PS(PCL)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定] を選択します。

❸ [設定] タブの [オプション] をクリックします。

❹「給紙オプション」画面で [用紙サイズの追加] をクリックします。

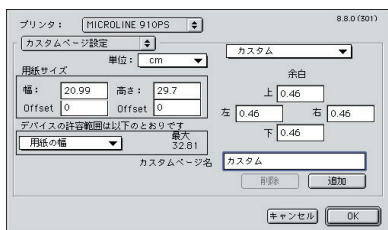
❺「用紙サイズの追加」画面で [名称]、[幅]、[長さ] を入力します。

❻ [追加] をクリックします。

作成した用紙は、[設定] タブの [サイズ] リストの下の方に表示されます。最大32個まで定義できます。

❼ 印刷したいファイルを開き、登録した用紙サイズを指定し、印刷します。

MacOSをお使いの方　Mac OS Xをお使いの方は51ページをご覧ください。

Mac OS Xをお使いの方は51ページをご覧ください。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❸ ［カスタムページ設定］パネルで［幅］と［高さ］、［カスタムページ名］を入力し、［追加］をクリックします。

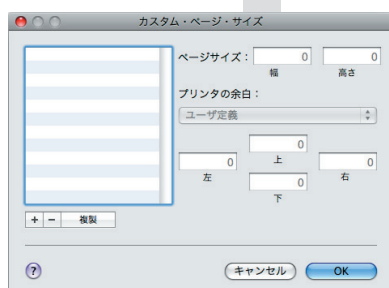
メモ
・余白
　上下左右の余白を設定します。

❹ ［OK］をクリックします。

作成した用紙は、［ページ属性］パネルの［用紙］リストの下の方に表示されます。

Mac OS X をお使いの方 MacOS をお使いの方は 50 ページをご覧ください。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❸［用紙サイズ］で［カスタムサイズ管理］を選択します。
（Mac OS X 10.4未満では、［設定］で［カスタム用紙サイズ］をクリックします）

❹「カスタム・ページ・サイズ」画面で［+］をクリックし（Mac OS X 10.4未満では［新規］をクリック）、［カスタム用紙サイズの名前］、［幅］、［高さ］を入力します。

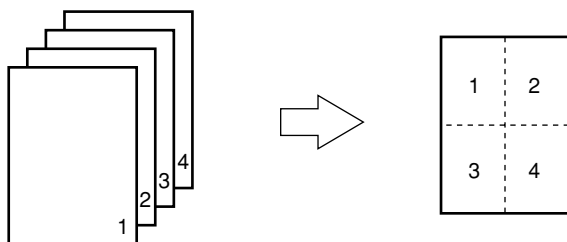
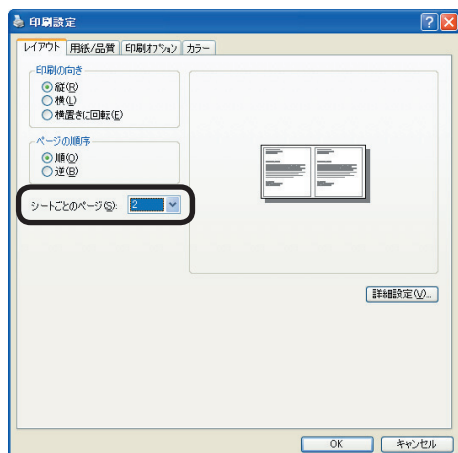
❺［OK］（Mac OS X 10.4未満では［保存］）をクリックします。

作成した用紙は、［ページ属性］パネルの［用紙］リストの下の方に表示されます。

2 色々な機能を使って印刷する

- この章では、Windowsでは［ワードパッド］、Macintoshでは［SimpleText］、Mac OS Xでは［テキストエディット］を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。

複数ページを1枚に印刷する

複数ページのデータを 1 枚の用紙に縮小して印刷できます。

- この機能はデータを縮小して印刷する機能なので、用紙の中央が正確に合わない場合があります。
- Windows PCL プリンタドライバではとじ代も設定できます。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［レイアウト］タブの［シートごとのページ］を選択します。

Windows Vista/Server 2008をお使いの方は、必要に応じて、「境界線を引く」を設定します。また「詳細設定」-「シートごとのページレイアウト」でページ配置を変更することもできます。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

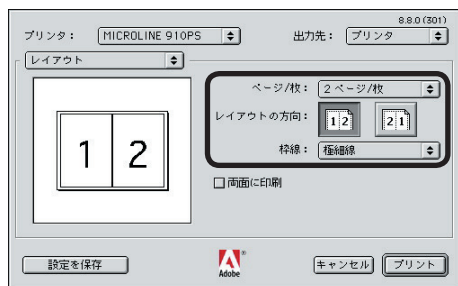
❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［n-up］（n は 1 枚に印刷するページ数）を選択します。

❺ ［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［枠線］、［ページ配置］、［とじ代］を設定します。とじ代は上下左右に0～30mmまで設定できます。

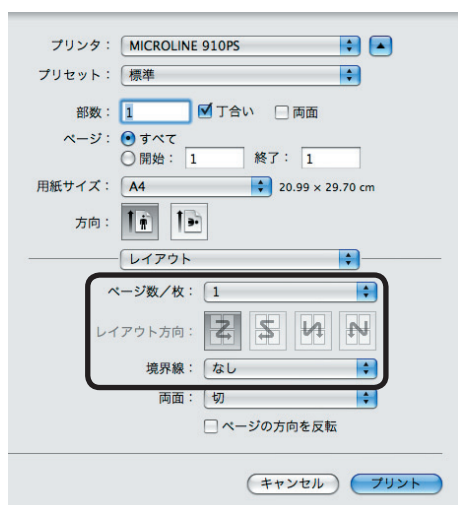
Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［レイアウト］パネルの［ページ / 枚］、［レイアウトの方向］、［枠線］を選択します。

ページ/枚
　割り付けるページ数、配置を選択します。

枠線
　各ページを枠線で囲むことができます。

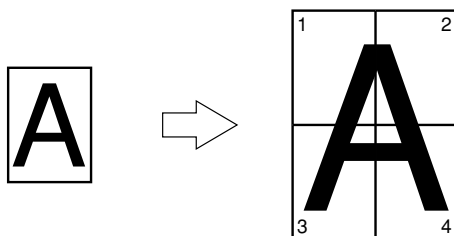
Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

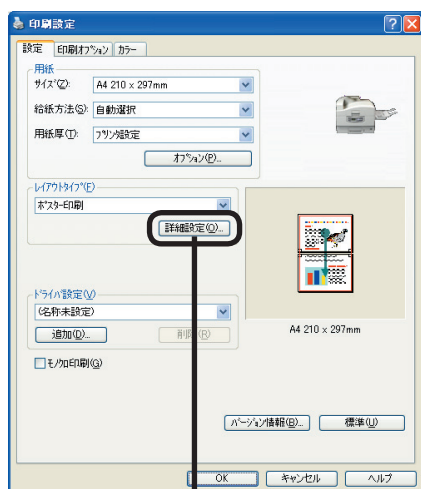
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［レイアウト］パネルの［ページ数 / 枚］、［レイアウト方向］、［境界線］を選択します。

Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

複数枚に拡大して印刷する（ポスター印刷）

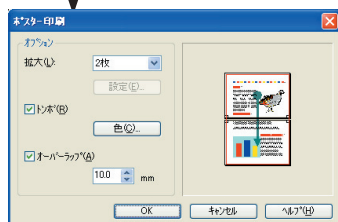
元のデータを拡大し、複数枚の用紙に分割して印刷します。

- Windows PCL プリンタドライバのみで利用できます。
- NetBEUI または IPP でネットワークに接続している場合には、ポスター印刷を利用できません。
- ネットワーク共有でプリントサーバを作成し、クライアント側から暗号化認証印刷機能を使用して印刷する場合には、ポスター印刷を利用できません。
- ［ポスター印刷］が動作しない場合は、［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI MICROLINE 910PS(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］-［プリントプロセッサ］で［MLLAPP3］を選択してください。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

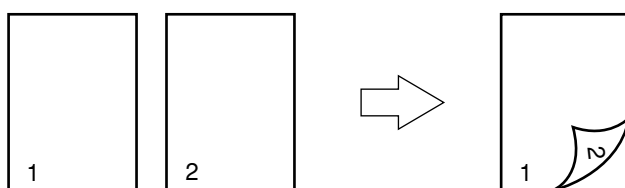
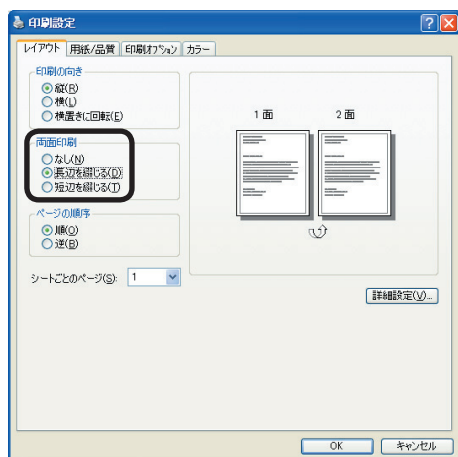
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［ポスター印刷］を選択します。

❺ ［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［拡大］、［トンボ］、［オーバーラップ］などを設定できます。

両面印刷する

用紙の両面に印刷することができます。
両面印刷できる用紙サイズはA4、A5、B5、レター、リーガル(13インチ)、リーガル(13.5インチ)、リーガル(14インチ)、エグゼクティブおよびカスタムサイズです。A6用紙は使用できません。
両面印刷できるカスタムサイズの幅と長さの範囲については、「使用できる用紙」(342ページ)をご覧ください。
用紙の大きさによってはさらに厚い紙に両面印刷することができます。詳細は347ページをご覧ください。
両面印刷できる用紙の厚さは、連量55kg～162kg (64～188g/m^2) です。それ以外の厚さでは紙づまりの原因になりますので使えません。

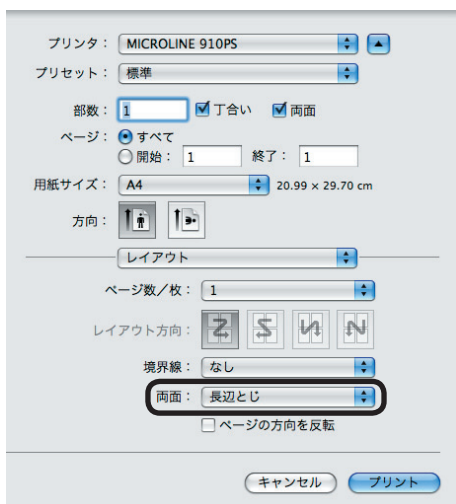
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- ML910PSはオプションの「両面印刷ユニット」が必要です。
- 両面印刷ユニットを取り付けたことを、あらかじめプリンタドライバで設定しておきます。詳しくは、「オプションについて」(プリンタ機能編) をご覧ください。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. [ファイル]メニューの [印刷]を選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
(Windows 2000 では、この操作は必要ありません。)
4. [レイアウト] タブの [両面印刷] で [長辺を綴じる] または [短辺を綴じる] を選択します。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷ [ファイル]メニューの［印刷]を選択します。
❸ [詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）
❹ [設定］タブの［両面印刷］で［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷ [ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
❸ [レイアウト］パネルの［両面に印刷］にチェックを付け、［綴じ方］のアイコンを選択します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷ [ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
❸ [レイアウト］パネルの［両面］で［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。

Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

モノクロ（白黒）の印刷速度を変更する

プリンタの操作パネルでモノクロ印刷速度を設定します。

❶ ▽ ボタンを数回押して［管理者用メニュー］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❷ パスワード入力画面になるので、△ ボタンまたは ▽ ボタンで 1 桁目の英小文字、または数字を選択し、◯ 設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。

メモ　パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

最後に 設定ボタンを押します。

❸ ▽ ボタンまたは △ ボタンを押して［印刷設定］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❹ ▽ ボタンを数回押して［モノクロ印刷速度］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❺ ▽ ボタンまたは △ ボタンを押して、設定したい速度を選択し、◯ 設定ボタンを押します。
設定した速度の左側に * が付きます。

❻ ◯ オンラインボタンを押し、［印刷できます］を表示します。

〈「自動」の場合〉

印刷速度とイメージドラム寿命がバランス良く動作するよう制御します。
通常は［自動］のままご利用ください。ジョブの先頭がモノクロページの場合に36PPMで印刷しますが、ジョブの途中にカラーページが来ると31PPMに印刷速度を下げてジョブの最後まで印刷します。

〈「普通印刷速度」の場合〉

モノクロの大量印刷に適しています。ジョブの先頭がモノクロページの場合に36PPMで印刷しますが、ジョブの途中にカラーページが来ると31PPMに印刷速度を下げてジョブの最後まで印刷します。［自動］、［カラー印刷速度］と比較し、モノクロ・カラーページが切り替わる際の待ち時間が長くなります。

〈「カラー印刷速度」の場合〉

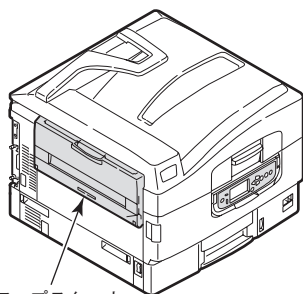
カラーの大量印刷に適しています。モノクロ·カラーページいずれの場合も常に31PPMで印字しますのでモノクロ·カラーページの切り替わる際の待ち時間はありませんが、カラー（YMC）イメージドラムの寿命が短くなります。

メモ　PPM とは 1 分間あたりの印刷枚数のことです。

ページ順に取り出す

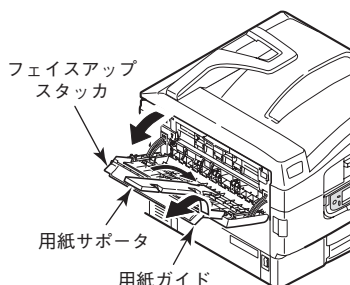
複数ページの文書を印刷するとき、ページ順で取り出せます。
二通りの方法があります。

フェイスダウンスタッカに排出する

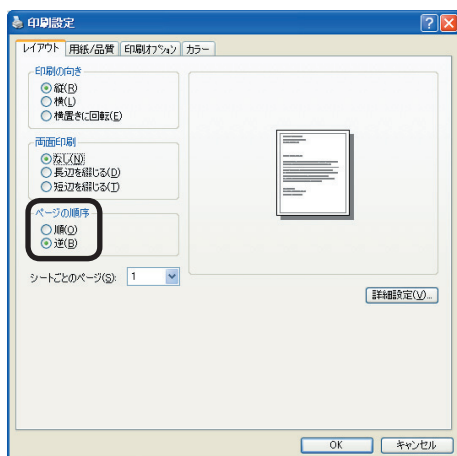
印刷面が下になって排出されます。

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

連量が151〜189kg（176〜220g/m²）の用紙、A6サイズ、長さが420mmを超える用紙、長さが210ミリ未満の用紙、はがき、封筒、ラベル紙、OHPシート、光沢紙、カスタムページは必ずフェイスアップスタッカを開いてフェイスアップで排出してください。
用紙の大きさ/種類/厚さによって排出できるスタッカが異なります。
詳細は347ページをご覧ください。

フェイスアップスタッカを使い、逆順に印刷する

印刷面が上になって排出されます。

Windows PCLプリンタドライバ、Macintoshプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカを開きます。
❷ 用紙サポータを開きます。
❸ 用紙サポータを回し、所定の位置にセットします。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷ [ファイル]メニューの［印刷]を選択します。
❸ [詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）
❹ [レイアウト]タブの[ページの順序]で[逆]を選択します。

［ページの順序］項目が表示されない場合は、［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI MICROLINE 910PS（PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ］-［詳細設定］タブで［詳細な印刷機能を有効にする］にチェックを付けてください。

トレイを自動的に選択する

プリンタドライバで設定した用紙サイズに一致するトレイ（トレイ1、トレイ2（オプション）、トレイ3（オプション）、トレイ4（オプション）、トレイ5（オプション）、マルチパーパストレイ）を自動的に選択して印刷できます。

- 必ず用紙サイズダイヤルでトレイ1、トレイ2（オプション）、トレイ3（オプション）、トレイ4（オプション）、トレイ5（オプション）の用紙サイズを設定してください。マルチパーパストレイの場合は、操作パネルで用紙サイズを設定してください。詳しくは「印刷します」（セットアップ編）をご覧ください。
- ［マルチパーパストレイ設定］の［トレイの使い方］の初期値は、［使用しない］になっています。この場合、マルチパーパストレイは自動トレイ選択の対象になりません。

2

色々な機能を使って印刷する

1 操作パネルでMPトレイ（マルチパーパストレイ）の使い方を設定します。

❶ ▽ ボタンを数回押して［メニュー］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❷ ［トレイ構成］が選択されているので、◯ 設定ボタンを押します。

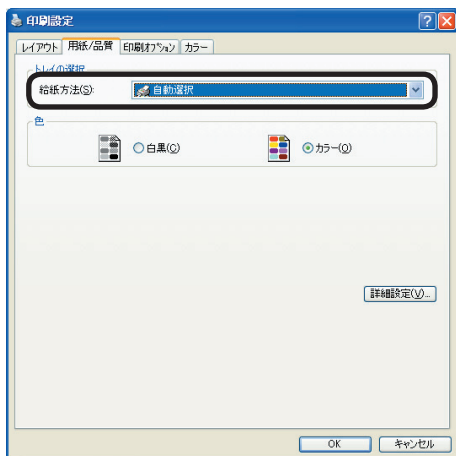
❸ ▽ ボタンを数回押して［マルチパーパストレイ設定］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❹ ▽ ボタンを数回押して［トレイの使い方］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❺ ▽ ボタンを数回押して［用紙違いの時］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❻ ◯ オンラインボタンを押し、［印刷できます］を表示します。

2 プリンタドライバで［給紙方法］を設定します。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［用紙 / 品質］タブの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

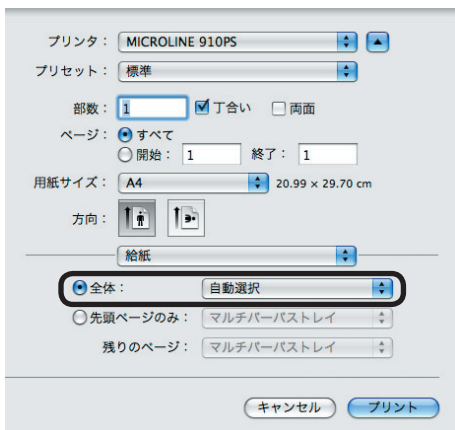
❹ ［設定］タブの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［一般設定］パネルの［給紙元］で［全体］、［自動選択］を選択します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［給紙］パネルで［全体］、［自動選択］を選択します。

メモ Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

表紙のみ別のトレイから給紙する（表紙印刷）

複数ページの印刷ジョブで１ページ目を別のトレイから給紙できます。１ページ目の用紙の色や厚さを変えて表紙などを作成する場合に使用します。

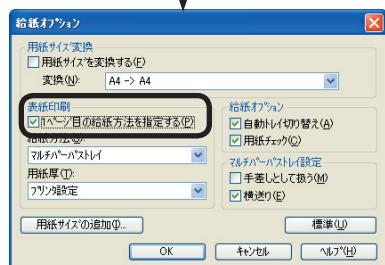
Windows PS プリンタドライバでは利用できません。

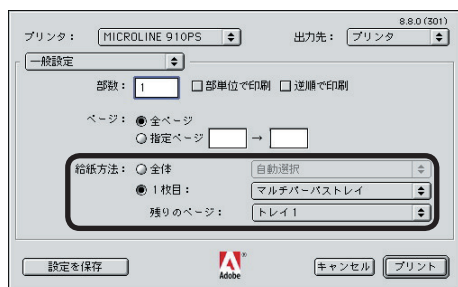
Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

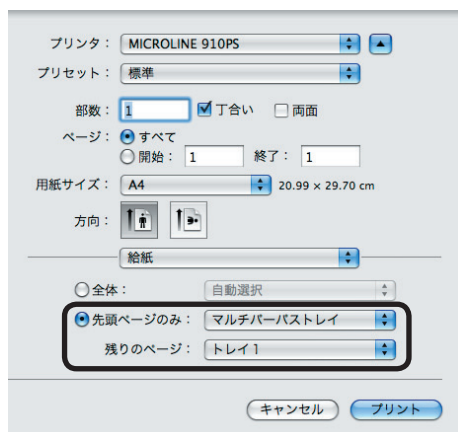
❹ ［設定］タブの［オプション］をクリックします。

❺ ［表紙印刷］の［１ページ目の給紙方法を指定する］にチェックを付け、［給紙方法］をメニューから選択します。必要に応じて用紙厚を設定します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［一般設定］パネルの［給紙方法］で［１枚目］のラジオボタンをクリックし、［１枚目］と［残りのページ］のメニューからそれぞれの給紙方法を選択します。

給紙方法でメディアタイプは指定せずに、必ずトレイを選択してください。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［給紙］パネルで［先頭ページのみ］をチェックし、［先頭ページ］と［残りのページ］のメニューからそれぞれの給紙方法を選択します。

Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

同じ用紙サイズを大量に印刷する

トレイ 1、トレイ 2（オプション）、トレイ 3（オプション）、トレイ 4（オプション）、トレイ 5（オプション）、マルチパーパストレイに同じ用紙をセットしている場合に、印刷中のトレイの用紙がなくなったら、他のトレイから継続して印刷することができます。

- 必ず操作パネルで、用紙カセットのメディアウェイト、メディアタイプと、マルチパーパストレイの用紙サイズ、メディアウェイト、メディアタイプを一致させてください。詳しくは「印刷します」（セットアップ編）をご覧ください。
- ［マルチパーパストレイ設定］の［トレイの使い方］の初期値は、［使用しない］になっています。この場合、マルチパーパストレイは自動トレイ切り替えの対象になりません。

1 操作パネルでMPトレイ（マルチパーパストレイ）の使い方を設定します。

❶ ▽ ボタンを数回押して［メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❷ ［トレイ構成］が選択されているので、設定ボタンを押します。

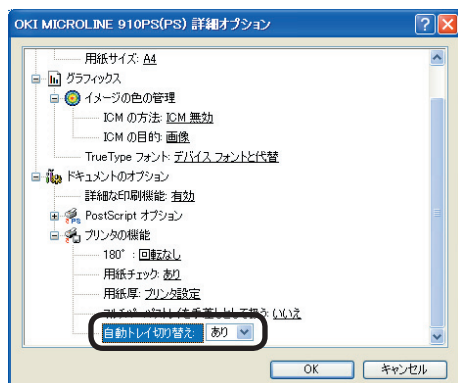
❸ ▽ ボタンを数回押して［マルチパーパストレイ設定］を選択し、設定ボタンを押します。

❹ ▽ ボタンを数回押して［トレイの使い方］を選択し、設定ボタンを押します。

❺ ▽ ボタンを数回押して［トレイとして］を選択し、設定ボタンを押します。

❻ オンラインボタンを押し、［印刷できます］を表示します。

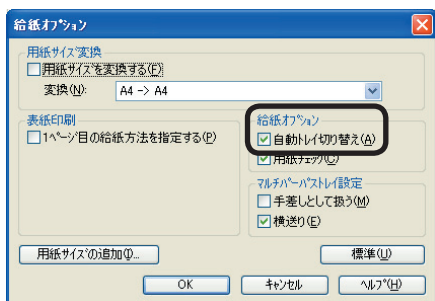
2 プリンタドライバで［自動トレイ切り替え］を設定します。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❺ ［自動トレイ切り替え］で［あり］を選択します。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

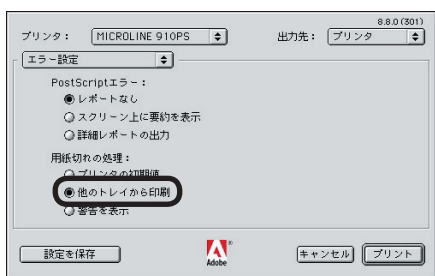
❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

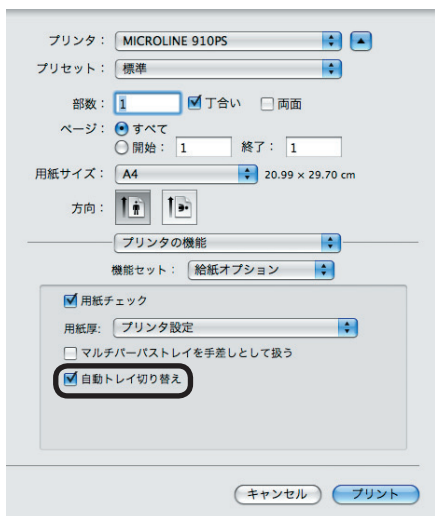
❹ ［設定］タブの［オプション］をクリックします。

❺ ［自動トレイ切り替え］にチェックを付けます。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［エラー設定］パネルの［用紙切れの処理］で［他のトレイから印刷］を選択します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

（Mac OS X 10.5未満の場合）

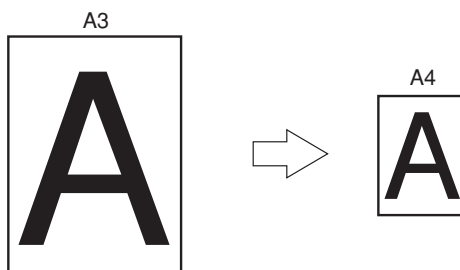
❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

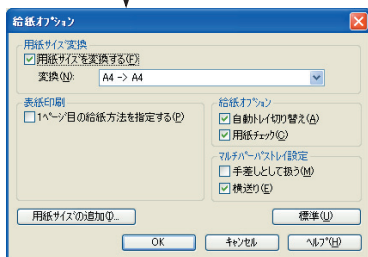
❸ ［プリンタの機能］パネルの［給紙オプション］機能パネルの［自動トレイ切り替え］にチェックを付けます。
（Mac OS X 10.5 未満では、［エラー処理］パネルの［トレイの切り替え］で［同じ用紙サイズの別のカセットに切り替える］を選択します。）

Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

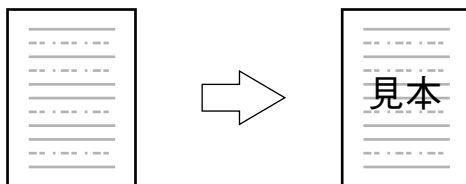
用紙サイズを変更する

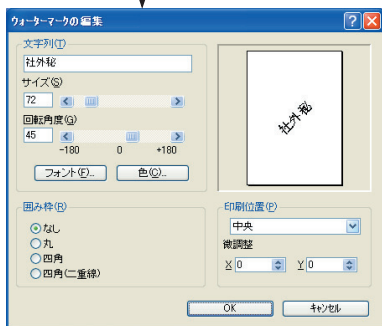
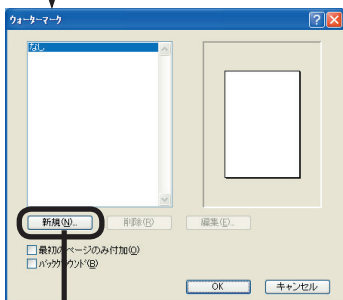
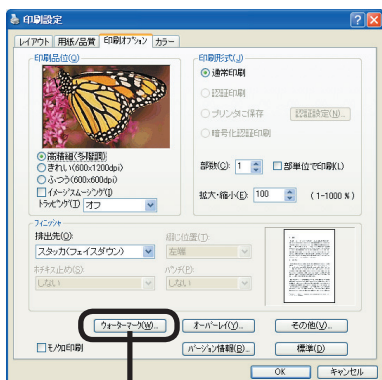
印刷データに手を加えることなく、異なる用紙サイズに印刷できます。

- アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。
- Windows PS プリンタドライバ、Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. [ファイル]メニューの［印刷]を選択します。
3. [詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）
4. [設定］タブの［サイズ］で編集する用紙サイズを選択します。
5. [オプション］をクリックします。

6. [用紙サイズを変換する]にチェックを付け、[変換]で印刷したい用紙サイズを選択します。

スタンプ印刷（ウォーターマーク）

アプリケーションから印刷される内容とは独立して［見本］や［社外秘］などの文字を重ね印刷できます。

Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

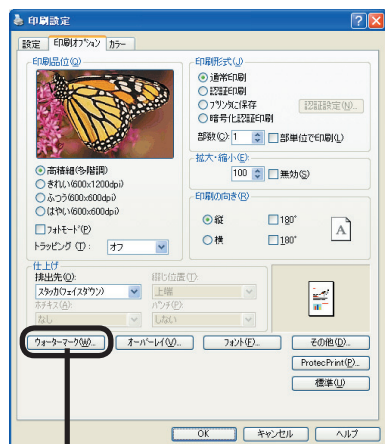
❹ ［印刷オプション］タブの［ウォーターマーク］をクリックします。

❺ ［新規］をクリックします。

❻ 「ウォーターマークの編集」画面で［文字列］を入力し［サイズ］他を選択します。

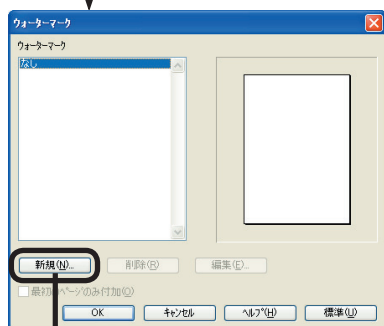
❼ ［OK］をクリックします。

- PS プリンタドライバの場合、初期設定ではウォーターマークは書類中の文字や図形の上に重なって印刷されます。文字や図形の下にウォーターマークを印刷したい場合は、［ウォーターマーク］タブで［バックグラウンド］にチェックします。
- ［バックグラウンド］にチェックをすると、アプリケーションによってはウォーターマークが印刷されないことがあります。この場合は、［バックグラウンド］のチェックを外してください。
- 小冊子印刷では、ウォーターマークは正しく印刷されません。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

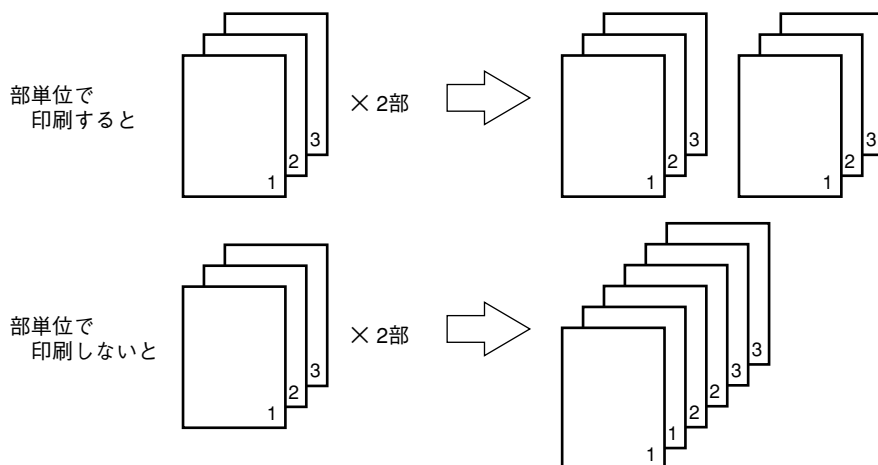
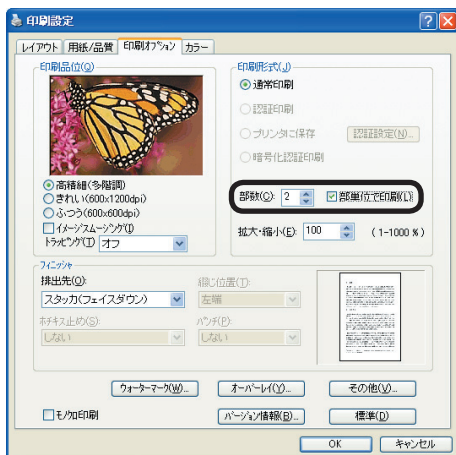
❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［ウォーターマーク］をクリックします。

❺ ［新規］をクリックします。

❻ 「ウォーターマークの編集」画面で［文字列］を入力し［サイズ］他を選択します。

❼ ［OK］をクリックします。

文書を部単位で印刷する（丁合印刷）

印刷ジョブをプリンタのメモリに蓄えて部単位で印刷することができます。

- PS プリンタドライバを利用する場合、アプリケーションの部単位印刷機能はオフにしてください。
- 印刷ジョブを蓄えるメモリの容量が不足した場合、「丁合印刷エラーです／オンラインボタンを押してください」を表示します。
  ◯「オンライン」ボタンを押すとワーニング表示は消えます。プリンタにオプションの内蔵ハードディスクが装着されていると、メモリが不足しても内蔵ハードディスクに蓄えて印刷します。
- Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバではプリンタのメモリを利用しないで印刷することもできます。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブで［部数］に印刷部数を入力し、［部単位で印刷］にチェックを付けます。

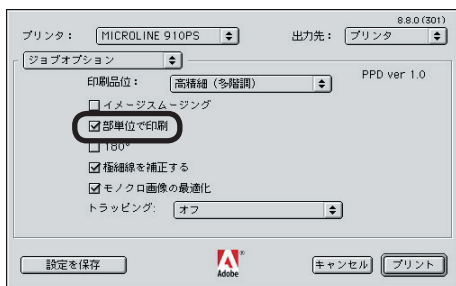
Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

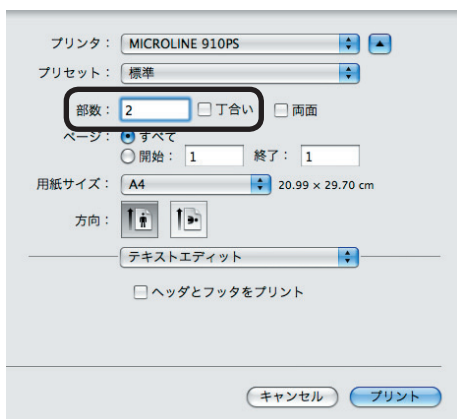
❹ ［印刷オプション］タブで［部数］に印刷部数を入力し、［部単位で印刷］にチェックを付けます。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

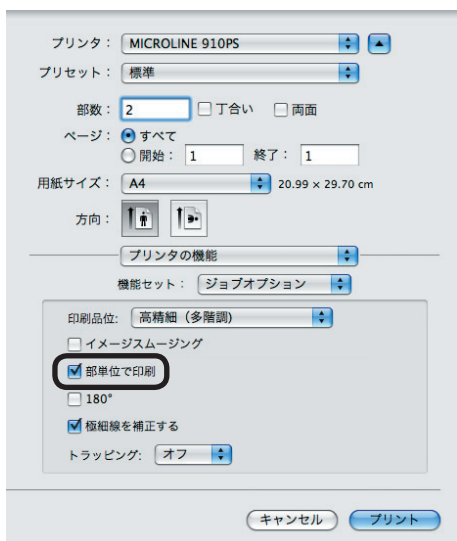
❸ ［一般設定］パネルの［部数］に印刷部数を入力し、［ジョブオプション］パネルの［部単位で印刷］にチェックを付けます。

メモ　［一般設定］パネルの［丁合い］にチェックを付けるとプリンタのメモリを利用しないで印刷します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［印刷部数と印刷ページ］パネルの［丁合い］のチェックを外し、［部数］に印刷部数を入力し、［プリンタの機能］パネルの［ジョブオプション］機能セットで［部単位で印刷］にチェックを付けます。

- ［印刷部数と印刷ページ］パネルの［丁合い］にチェックを付けると、プリンタのメモリを利用しないで印刷します。
- Mac OS X 10.5で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

パスワードを入力してから印刷する（認証印刷）

印刷ジョブをプリンタのハードディスクに蓄えて、プリンタの操作パネルでパスワードを入力してから印刷することができます。

- プリンタに内蔵ハードディスク（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブを蓄える内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、「ファイルシステムがいっぱいです」を表示します。
- プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「7　オプションについて」（プリンタ機能編）の「内蔵ハードディスク」をご覧ください。
- Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

2

色々な機能を使って印刷する

1 アプリケーションから印刷します。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［認証印刷］を選択します。

❺ 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「ジョブパスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

ジョブパスワード
4桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合、「ジョブ名入力」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

ジョブ名
最大16文字までの半角英数字で設定します。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［認証印刷］を選択します。

❺ 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「ジョブパスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

ジョブパスワード
4桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合、「認証設定」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

ジョブ名
最大16文字までの半角英数字で設定します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［ジョブタイプ］パネルの［印刷形式］で［認証印刷］を選択し、［ジョブ名］、［ジョブパスワード］を入力します。

❹ ［設定の保存］をクリックし、確認メッセージが表示されたら［OK］をクリックします。

❺ 印刷します。

2 プリンタの操作パネルからパスワードを入力します。

❶ ▽ ボタンを数回押して［認証印刷］を選択し、◯「設定」ボタンを押します。

❷ ▽ ボタンを数回押して［保存ジョブ］を選択し、◯「設定」ボタンを押します。

❸ パスワード入力画面になりますので、パスワードを入力します。

❹［保存ジョブ］で［印刷実行/削除］が表示されるので、印刷する場合は印刷実行を選択します。

認証印刷ジョブの印刷が行われます。

メモ

- パスワードを誤って入力した場合は、◁「戻る」ボタンを押し、設定しなおします。
- 印刷を行わない場合は、手順❹で ▽ ボタンで削除を選択します。

  ［実行しますか？　はい/いいえ］と表示されたら［はい］が選択されていることを確認し、◯「設定」ボタンを押すと、ジョブを削除できます。

  また、OKI ストレージデバイスマネージャを使ってもジョブを削除できます。OKI ストレージデバイスマネージャは沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp）よりダウンロードしてください。

OKI ストレージデバイスマネージャ（Windows）でジョブを削除する方法

① ［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

②「プリンタの検索」画面で、プリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

③ ［閉じる］をクリックします。

④ 下のウィンドウでプリンタを選択し、［プリンタ］メニューから［スプールジョブの管理］を選択します。

⑤ ［認証印刷ジョブ］にチェックが付いていることを確認し、［ユーザジョブの参照］を選択し、パスワードを入力し［パスワードの適用］をクリックします。
［全てのジョブの参照］を選択し、管理者パスワード（初期値はPASSWORD）を入力し、［管理者パスワードの適用］をクリックすると、プリンタに格納されているすべての認証印刷ジョブが表示されます。

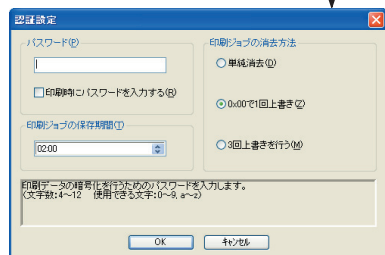
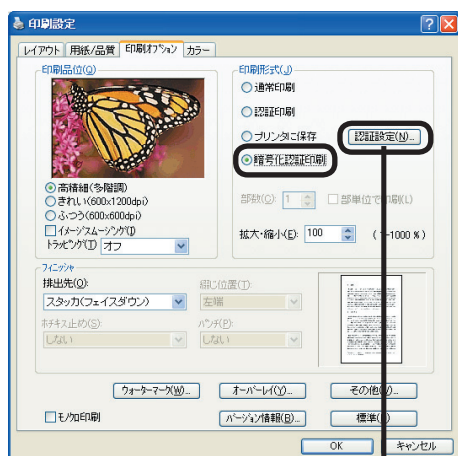
⑥ リストから削除したいジョブを選択し、［削除］をクリックします。

⑦ 完了画面で［OK］をクリックします。

機密文書や大切な書類を印刷する（暗号化認証印刷）

印刷ジョブを暗号化してからプリンタへ転送します。そのため、プリンタの通信過程やハードディスクから印刷データを盗聴された場合でも、印刷内容の漏洩を防止することができます。またセキュリティをより強固にするため、ハードディスクにスプールされた印刷ジョブは、印刷されるか、一定期間が過ぎると自動的に削除されます。
プリンタの操作パネルでパスワードを入力してから印刷するため、印刷物の盗難を防止することもできます。

- Windows Vista（64bit版）/Server 2008（64bit版）/XP（x64版）/Server 2003（x64版）プリンタドライバ、Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- Windows PCL プリンタドライバにおいて、ネットワーク共有でプリントサーバを作成し、クライアント側から暗号化認証印刷機能を使用して印刷する場合は、EMF 形式でスプールできないのでポスター印刷及び、製本印刷を行う事はできません。
- プリンタに内蔵ハードディスク（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブを保存する内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、「ファイルシステムがいっぱいです」を表示します。
- プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「7　オプションについて」（プリンタ機能編）の「内蔵ハードディスク」をご覧ください。
- 暗号化認証印刷を利用する際は、「ホストの開放を優先する」を無効にしてください。詳しくは「コンピュータの開放を早くする（バッファ印刷）」（78 ページ）をご覧ください。

1 暗号化認証印刷を指定し、印刷します。

（Windows XP PS プリンタドライバの画面）

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❸ ［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［暗号化認証印刷］を選択します。

❹ 「認証設定」画面で「パスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

パスワード
4桁～12桁の英数小文字で設定します。

印刷時にパスワードを入力する
印刷時にコンピュータ上に、パスワードを入力する画面がでるようになります。

印刷ジョブの保存期間
プリンタのハードディスクに印刷ジョブの保存する期間を5分～23時間59分の間で設定します。保存期間を過ぎた印刷ジョブは、自動的にハードディスクより削除されます。

印刷ジョブの消去方法

ハードディスクから印刷ジョブを削除する時の方法を指定します。

単純消去

印刷ジョブをファイルシステムより削除します。この削除方法は、ハードディスクから印刷ジョブを復元される恐れがありますが、もっとも短時間で削除されます。

0x00 で 1 回上書き

特定データで1回上書きした後、印刷ジョブを削除します。単純消去に比べ安全な消去方法ですが、特殊な方法で印刷ジョブを復元される恐れがあります。

3 回上書きを行う

印刷ジョブに3回データを上書きした後、削除します。もっとも安全な消去方法ですが、消去するための時間がかかります。

❺ 印刷します。

［印刷時にパスワードを入力する］にチェックした場合､「認証設定」画面で「パスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

2 プリンタの「操作パネル」からパスワードを入力し、印刷します。

❶ ▽ ボタンを数回押して［認証印刷］を選択し、◯「設定」ボタンを押します。

❷ ▽ ボタンを数回押して［暗号ジョブ］を選択し、◯「設定」ボタンを押します。

❸ パスワード入力画面になりますので、パスワードを入力します。

❹ ［暗号ジョブ］で［印刷実行/削除］が表示されるので、印刷する場合は印刷実行を選択します。

暗号化認証印刷ジョブの印刷が行われます。

- パスワードを誤って入力した場合は、◁「戻る」ボタンを押し、設定しなおします。
- 印刷を行わない場合は、手順❹で ▽ ボタンで削除を選択します。

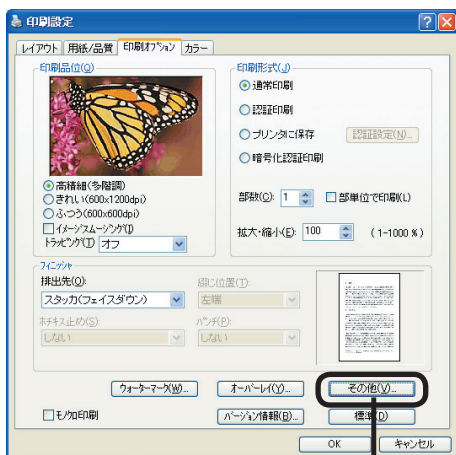
  ［実行しますか？　はい / いいえ］と表示されたら［はい］が選択されていることを確認し、◯「設定」ボタンを押すと、ジョブを削除できます。

  また、OKI ストレージデバイスマネージャを使ってもジョブを削除できます。OKI ストレージデバイスマネージャは沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp）よりダウンロードしてください。
- 暗号化認証印刷を実行した後、印刷に使用されたファイルは、指定された消去方法で消去されます。ファイルの消去中は、［暗号化認証印刷ジョブを削除しています］のメッセージが表示されます。
- データの転送に失敗したり、データが改ざんされたことを検出した場合は、［無効な認証印刷データを受信しました／オンラインボタンを押してください］というメッセージを表示し、当該データを消去します。

コンピュータの開放を早くする（バッファ印刷）

印刷ジョブをプリンタのハードディスクに蓄えて、大容量のジョブや複雑なジョブの処理からコンピュータを早く開放することができます。

- プリンタに内蔵ハードディスク（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブを蓄える内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、「ファイルシステムがいっぱいです」を表示します。
- プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「1　プリンタを設置します」（セットアップ編）の「内蔵ハードディスク」をご覧ください。
- 内蔵ハードディスクに「共通」パーティションが必要です。
- スプールしない場合と比較すると、印刷完了時間は遅くなります。
- Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

Windows PS/PCL プリンタドライバをお使いの方

（Windows XP PS プリンタドライバの画面）

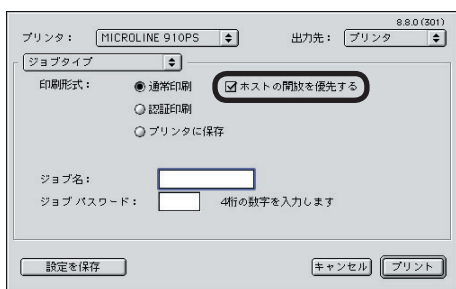
❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［その他］をクリックします。

❺ ［ホストの開放を優先する］にチェックを付けます。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［ジョブタイプ］パネルの［ホストの開放を優先する］にチェックを付けます。

❹ ［設定の保存］をクリックし、確認メッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

❺ 印刷します。

ジョブを保存して繰り返し印刷する

印刷ジョブをプリンタのハードディスクに保存し、プリンタの操作パネルでパスワードを入力して何度も繰り返しそのデータを印刷することができます。

- プリンタに内蔵ハードディスク（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブを蓄える内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、「ファイルシステムがいっぱいです」を表示します。
- プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「7　オプションについて」（プリンタ機能編）の「内蔵ハードディスク」をご覧ください。
- 内蔵ハードディスクに「共通」パーティションが必要です。
- Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

1 印刷します。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［プリンタに保存］を選択します。

❺ 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「ジョブパスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

ジョブパスワード
4桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合「ジョブ名入力」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

ジョブ名
最大16文字までの半角英数字で設定します。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［プリンタに保存］を選択します。

❺ 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「ジョブパスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
　印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

ジョブパスワード
　4桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合「認証設定」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

ジョブ名
　最大16文字までの半角英数字で設定します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［ジョブタイプ］パネルの［印刷形式］で［プリンタに保存］を選択し、［ジョブ名］、［ジョブパスワード］を入力します。

❹ ［設定の保存］をクリックし、確認メッセージが表示されたら［OK］をクリックします。

❺ 印刷します。

2 プリンタの操作パネルからパスワードを入力します。

❶ ボタンを数回押して［認証印刷］を選択し、◯「設定」ボタンを押します。

❷ ▽ ボタンを数回押して［保存ジョブ］を選択し、◯「設定」ボタンを押します。

❸ パスワード入力画面になりますので、パスワードを入力します。

❹ ［認証ジョブ］で［印刷実行/削除］が表示されるので、印刷する場合は印刷実行を選択します。

認証印刷ジョブの印刷が行われます。

メモ

- パスワードを誤って入力した場合は、◁「戻る」ボタンを押し、設定しなおします。
- 印刷を行わない場合は、手順❹で ▽ ボタンで削除を選択します。

［実行しますか？　はい/いいえ］と表示されたら［はい］が選択されていることを確認し、◯「設定」ボタンを押すと、ジョブを削除できます。

また、OKI ストレージデバイスマネージャを使ってもジョブを削除できます。OKI ストレージデバイスマネージャは沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp）よりダウンロードしてください。

OKI ストレージデバイスマネージャ（Windows）でジョブを削除する方法

① ［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

② 「プリンタの検索」画面で、プリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

③ ［閉じる］をクリックします。

④ 下のウィンドウでプリンタを選択し、［プリンタ］メニューから［スプールジョブの管理］を選択します。

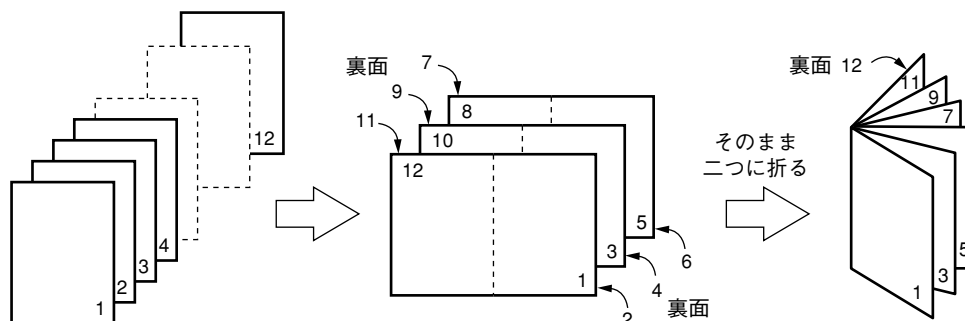
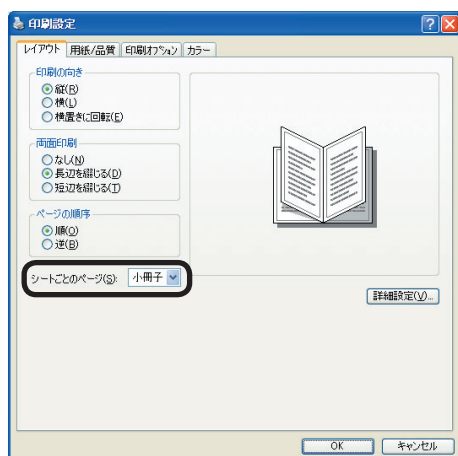
⑤ ［認証印刷ジョブ］にチェックが付いていることを確認し、［ユーザジョブの参照］を選択し、パスワードを入力し［パスワードの適用］をクリックします。
［全てのジョブの参照］を選択し、管理者パスワード（初期値は PASSWORD）を入力し、［管理者パスワードの適用］をクリックすると、プリンタに格納されているすべての認証印刷ジョブが表示されます。

⑥ リストから削除したいジョブを選択し、［削除］をクリックします。

⑦ 完了画面で［OK］をクリックします。

小冊子を作る（製本印刷）

パンフレットのような小冊子を作成します。

- アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。
- Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- ML910PS では、オプションの「両面印刷ユニット」と「増設メモリ」が必要です。プリンタドライバで「両面印刷ユニット」と「増設メモリ」を取り付けたことをあらかじめ設定しておきます。詳しくは、「オプションについて」（プリンタ機能編）をご覧ください。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［レイアウト］タブの［シートごとのページ］で［小冊子］を選択します。

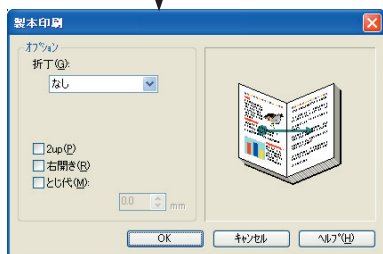
❺ Windows Vista/Server 2008 をお使いの方は、必要に応じて、「境界線を引く」を設定します。

❻ ［詳細設定］をクリックし、［用紙サイズ］で実際に使用する用紙サイズを選択します。

- （例）A4サイズの用紙を使用してA5サイズの小冊子を作る場合
  ［詳細設定］の［用紙サイズ］で［A4］を選択します。
- 右折の小冊子（1 ページ目を表にした時、右側が綴じ位置になる冊子）を作る場合、「詳細設定」の「小冊子綴じ」で「右の端」を選択します。

- ［小冊子］印刷ができない場合は、［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI MICROLINE 910PS(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］タブで［詳細な印刷機能を有効にする］にチェックを付けてください。
- ［小冊子］印刷では、ウォーターマークは正しく印刷できません。
- アプリケーション自身で PostScript データを生成する場合には、小冊子の指定は正常に動作しないことがあります。回避方法の有無はアプリケーションに依存します。お使いのアプリケーションのマニュアルをご確認ください。例えば Adobe Acrobat Professional または Adobe Reader では印刷ダイアログの詳細設定で、「画像として印刷」にチェックすることで小冊子の印刷が正常に動作するようになります。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

- 以下の場合には、小冊子印刷を利用できません。
  - NetBEUI または IPP でネットワークに接続している場合
  - ネットワーク共有でプリントサーバを作成し、クライアント側から暗号化認証印刷機能を使用して印刷する場合
- ［製本印刷］が選択できない場合は、［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI MICROLINE 910PS(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］-［プリントプロセッサ］で［MLLAPP3］を選択してください。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［製本印刷］を選択します。

❺ ［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［折丁］、［2up］、［右開き］、［とじ代］を設定します。

折丁
製本するページの単位です。

右開き
小冊子が右開きになるよう印刷します。

❻ ［設定］タブの［サイズ］で用紙サイズを選択し、［オプション］をクリックして［用紙サイズを変換する］にチェックを付けて、［変換］で該当する値を選択します。

（例）A4 サイズの用紙を使用して A5 サイズの小冊子を作る場合
［詳細設定］の［用紙サイズ］で［A4］を選択します。

フォームを登録する（フォームオーバーレイ）

プリンタに帳票、ロゴなどをフォームとして登録し、重ね合わせて印刷することができます。

- プリンタに内蔵ハードディスク（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- フォームの登録には「OKI ストレージデバイスマネージャ」が必要です。沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp）よりダウンロードしてください。
- Windows PS プリンタドライバではコンピュータの管理者の権限が必要です。
- ［Boot Menu］の［Job Limitation］が［Encrypted Job］に設定してある場合、フォームを登録することができません。［Boot Menu］の［Job Limitation］については、プリンタ機能編の「操作パネルのメニュー一覧」の「Boot Menu」をご覧ください。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

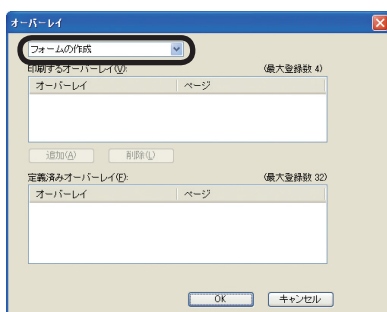
1 フォームを作成します。

❶ ［印刷先のポート］を［FILE:］にします。詳しくは、「印刷データをファイルに出力する」（103 ページ）をご覧ください。

❷ アプリケーションを起動し、プリンタに登録したいフォームを作成します。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❺ ［印刷オプション］タブの［オーバーレイ］をクリックし、［フォームの作成］を選択します。

（Windows XP の画面）

❻ 印刷します。
保存するファイル名を入力し、保存先を選択します。

❼ ［印刷先のポート］を元に戻します。

2 OKI ストレージデバイスマネージャでフォームをプリンタに登録します。

❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸［閉じる］をクリックします。

❹［ファイル］メニューから［プロジェクトの新規作成］を選択します。

❺［ファイル］メニューの［プロジェクトへファイルの追加］を選択し、手順 1 で作成したフォームのファイルを選択します。

プロジェクトにフォームファイルが追加されます。

❻プロジェクトに追加したフォームファイルをダブルクリックし、「名前」を入力し、［OK］をクリックします。ボリューム、パス名は変更しないでください。

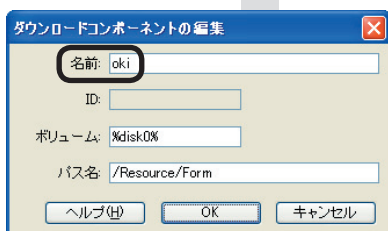
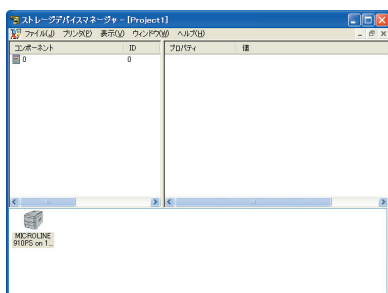
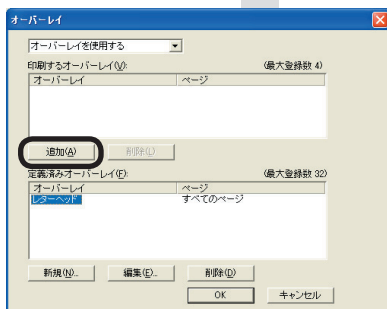
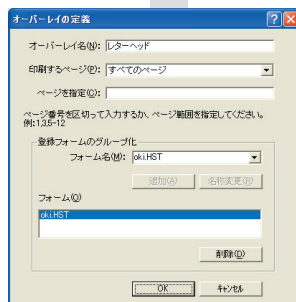
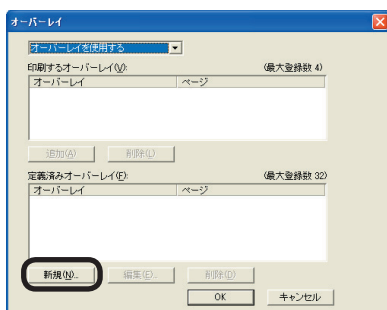
❼下のウインドウでプリンタを選択し、［ファイル］メニューから［プロジェクトの送信］を選択します。フォームファイルがプリンタに登録されます。

❽完了画面で［OK］をクリックします。

❾OKI ストレージデバイスマネージャを終了します。

3 プリンタドライバでオーバーレイを登録し、アプリケーションから印刷します。

❶ Windows Vista/Server 2008 では、[スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。
Windows XP では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows Server 2003 では、[スタート] - [プリンタと FAX] を選択します。Windows 2000 では、[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

❷ [OKI MICROLINE 910PS(PS)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定] を選択します。

❸ オーバーレイを使用する設定をします。
[印刷オプション]タブの[オーバーレイ]をクリックし、[オーバーレイを使用する]を選択します。

❹ [新規] をクリックします。

❺ [フォーム名] に OKI ストレージデバイスマネージャで登録したフォーム名を入力し、[追加] をクリックします。

❻ [オーバーレイ名] を入力し、[印刷するページ] でそのオーバーレイを適用するページを選択します。ページを指定して適用する場合は、「ユーザページ設定」を選択し、[ページを指定] に適用するページを入力します。

オーバーレイは、フォームのグループです。1つのオーバーレイに3つのフォームを登録することができます。フォーム、オーバーレイは登録した順に重ね合わされます。

❼ [OK] をクリックします。

❽ 定義したオーバーレイの中から印刷に使用するオーバーレイを選択し、[追加]をクリックします。

❾ 印刷します。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

1 フォームを作成します。

❶ ［印刷先のポート］を［FILE:］にします。詳しくは「印刷データをファイルに出力する」（103 ページ）をご覧ください。

❷ アプリケーションでプリンタに登録したいフォームを作成します。

❸ 印刷します。
保存するファイル名を入力し、保存先を選択します。

❹ ［印刷先のポート］を元に戻します。

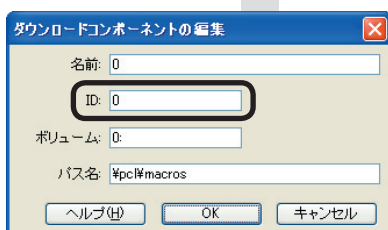
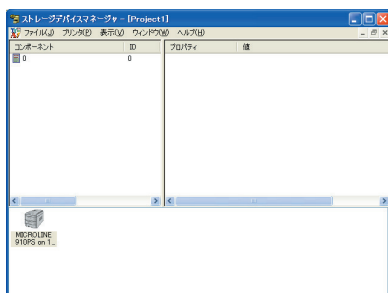
2 OKI ストレージデバイスマネージャでフォームをプリンタに登録します。

❶ ［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷ 「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸ ［閉じる］をクリックします。

❹ ［ファイル］メニューから［プロジェクトの新規作成］を選択します。

❺ ［ファイル］メニューの［プロジェクトへファイルの追加］を選択し、手順 1 で作成したフォームのファイルを選択します。プロジェクトにフォームファイルが追加されます。

❻ プロジェクトに追加したフォームファイルをダブルクリックし、［ID］に任意の数字を入力し、［OK］をクリックします。ボリューム、パス名は変更しないでください。

❼ 下のウインドウでプリンタを選択し、［ファイル］メニューから［プロジェクトの送信］を選択します。フォームファイルがプリンタに登録されます。

❽ 完了画面で［OK］をクリックします。

❾ OKI ストレージデバイスマネージャを終了します。

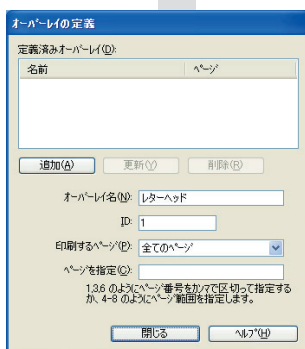
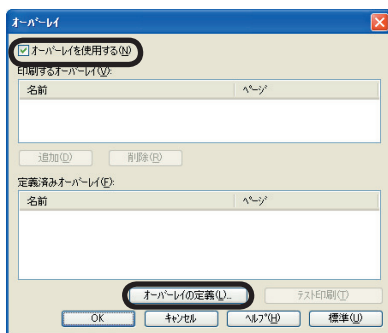
3 プリンタドライバでオーバーレイを登録し、アプリケーションから印刷します。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［オーバーレイ］をクリックします。

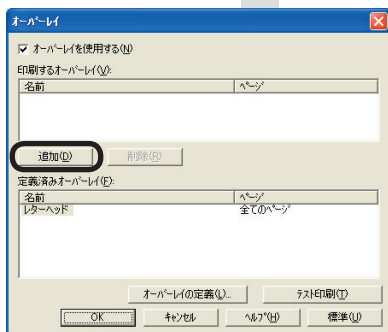
❺ 「オーバーレイ」画面の［オーバーレイを使用する］にチェックを付け、［オーバーレイの定義］をクリックします。

❻ ［オーバーレイ名］を入力し、［ID］に OKI ストレージデバイスマネージャで登録したフォームの ID を入力します。

メモ
オーバーレイは、フォームのグループです。1つのオーバーレイに3つのフォームを登録することができます。フォーム、オーバーレイは登録した順に重ね合わされます。

❼ ［印刷するページ］でそのオーバーレイを適用するページを選択します。ページを指定して適用する場合は、「カスタム」を選択し、［ページを指定］に適用するページを入力します。

❽ ［追加］をクリックします。

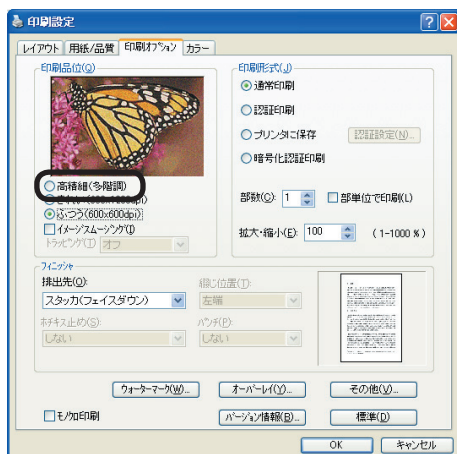
❾ ［閉じる］をクリックします。

❿ 定義したオーバーレイの中から印刷に使用するオーバーレイを選択し、［追加］をクリックします。

⓫ 印刷します。

印刷品位を変更する

お使いの環境に合わせて［印刷品位］を設定してください。

PS プリンタドライバで大きなサイズの用紙で正しく印刷されない場合は、［印刷品位］で「ふつう」を設定すると正しく印刷できる場合があります。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［印刷品位］を変更します。

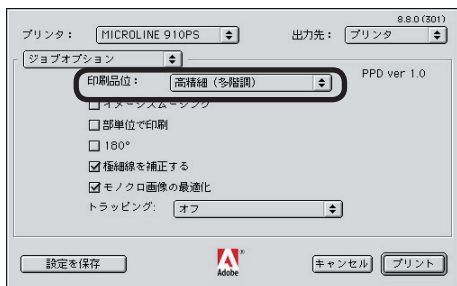
Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

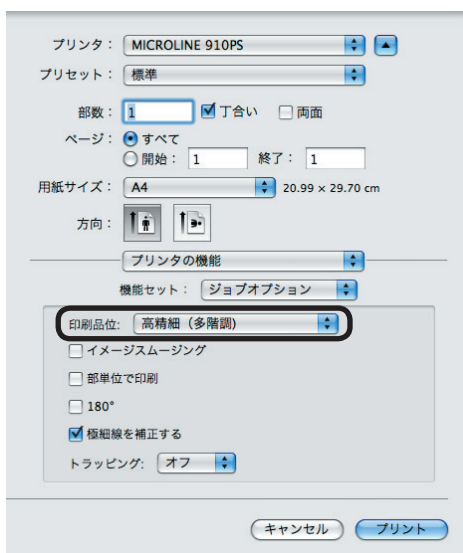
❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［印刷品位］を変更します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
❸［ジョブオプション］パネルの［印刷品位］を変更します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
❸［プリンタ機能］パネルの［ジョブオプション］機能セットで［印刷品位］を変更します。

Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

写真画像を鮮明に印刷する（フォトモード）

写真などの画像を、より鮮明に印刷することができます。

- Windows PS プリンタドライバ、Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- ［オフィスドキュメント］にチェックを付けている場合、［フォトモード］は設定できません。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

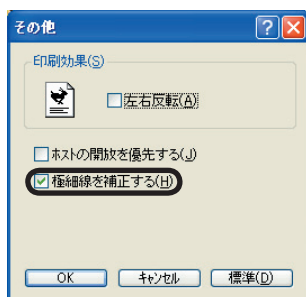
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［印刷品位］で［フォトモード］を選択します。

細線がかすれるのを防ぎたい

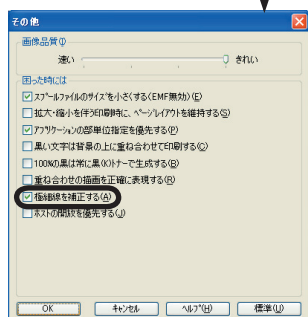
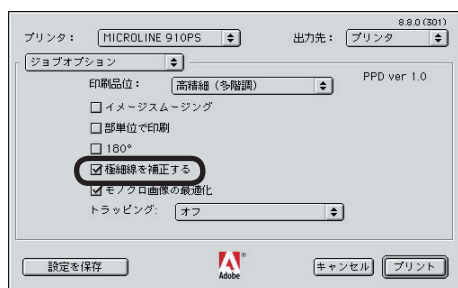
アプリケーションから極細線が指定されたとき、線がかすれて印刷されるのを防ぎます。この機能は標準でオンになっています。

アプリケーションによってはバーコードなどの間隔が狭くなることがあります。その場合はこの機能をオフにしてください。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

(Windows XP プリンタドライバの画面)

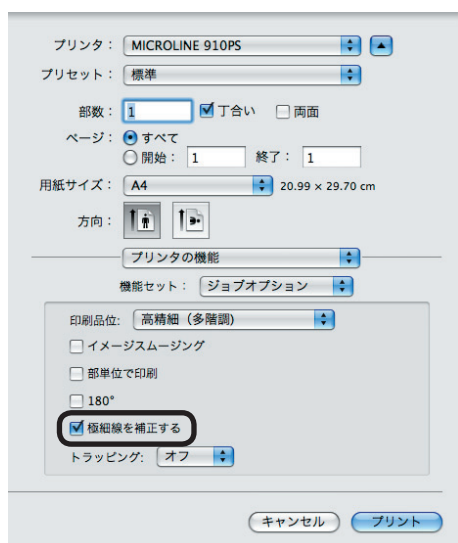
❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。
❸ [詳細設定]をクリックします。
(Windows 2000 では、この操作は必要ありません。)
❹ [印刷オプション]タブの[その他]をクリックします。
❺ [極細線を補正する]にチェックを付けます。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。
❸ [詳細設定]をクリックします。
(Windows 2000 では、この操作は必要ありません。)
❹ [印刷オプション]タブの[その他]をクリックします。
❺ [極細線を補正する]にチェックを付けます。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［ジョブオプション］パネルの［極細線を補正する］にチェックを付けます。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

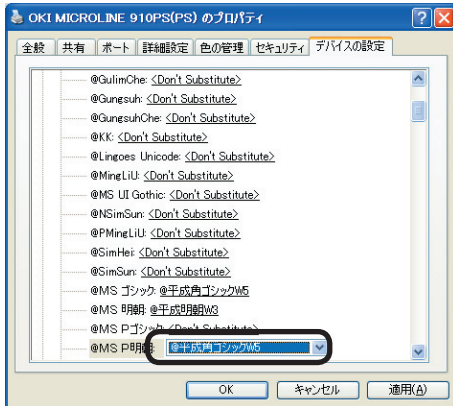
❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［プリンタの機能］パネルの［イメージオプション］機能セットの［極細線を補正する］にチェックを付けます。

Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

プリンタフォントに置き換えて印刷する

TrueType フォントをプリンタ内蔵フォントに置き換えて印刷できます。

- フォントの置き換え機能は、文書の体裁は保持しますが、フォントのデザインを再現させるものではありません。フォントのデザインを正確に印刷する必要がある場合は、フォントの置き換え機能を無効にしてください。
- 独自のプリンタドライバを使用している一部のアプリケーションでは、フォントの置き換え機能が正常に動作しないことがあります。
- Windows PS プリンタドライバはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows Vista/Server 2008では、[スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。
Windows XPでは、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] を選択します。
Windows Server 2003では、[スタート] - [プリンタとFAX] を選択します。
Windows 2000では、[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

❷ [OKI MICROLINE 910PS(PS)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

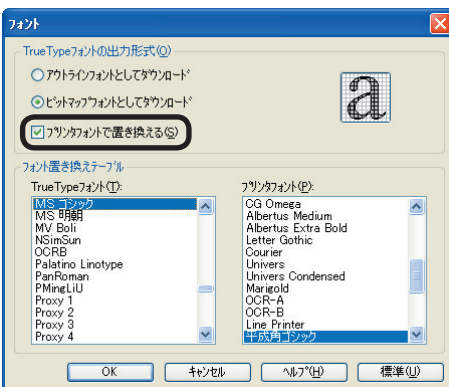
❸ [デバイスの設定] タブの [フォント代替表] で、TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換え、[OK] をクリックします。

❹ アプリケーションの [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

❺ [詳細設定] をクリックします。
(Windows 2000では、この操作は必要ありません。)

❻ [レイアウト] タブの [詳細設定] をクリックします。

❼ [TrueTypeフォント] で [デバイスフォントと代替] を選択します。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [詳細設定] をクリックします。
(Windows 2000では、この操作は必要ありません。)

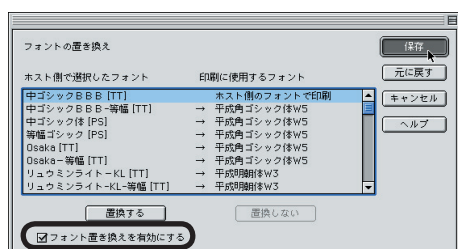
❹ [印刷オプション] タブの [フォント] をクリックします。

❺ 「フォント」画面の [プリンタフォントで置き換える] にチェックを付けます。

❻ [フォント置き換えテーブル] でTrueTypeフォントをどのプリンタフォントに置き換えるかを指定します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ メインダイアログから［フォントの置き換え...］をクリックします。

❸ ［ホスト側で選択したフォント］ごとに、［置換する］または［置換しない］をクリックします。

❹ ［フォント置き換えを有効にする］にチェックを付けます。

❺ ［保存］をクリックします。

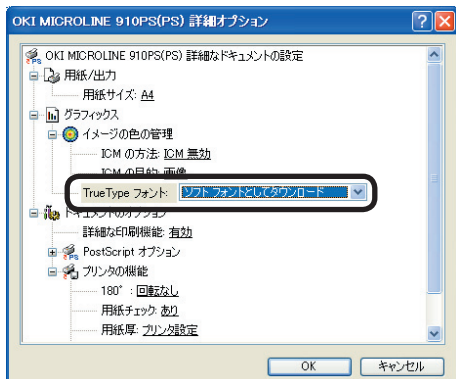
置き換えフォント一覧表

コンピュータ側で選択したフォント		フォント種別	印刷に使用するフォント
通常表示	Adobe Illustrator 等の表示		
中ゴシックBBB	ChuGothicBBB Medium	TT	平成角ゴシック体W5
中ゴシックBBB-等幅	ChuGothicBBB Medium Mono	TT	平成角ゴシック体W5
中ゴシック体	GothicBBB-Medium	PS	平成角ゴシック体W5
等幅ゴシック	－	PS	平成角ゴシック体W5
Osaka	Osaka Regular	TT	平成角ゴシック体W5
Osaka-等幅	Osaka Regular-Mono	TT	平成角ゴシック体W5
リュウミンライト-KL	Ryumin Light KL	TT	平成明朝体W3
リュウミンライト-KL-等幅	Ryumin Light KL Mono	TT	平成明朝体W3
細明朝体	Ryumin Light	PS	平成明朝体W3
等幅明朝	－	PS	平成明朝体W3
平成角ゴシック	HeiseiKakuGothic W5	TT	平成角ゴシック体W5
平成明朝	HeiseiMincho W3	TT	平成明朝体W3
本明朝-M	HonMincho-Medium	TT	平成明朝体W3
B太ゴB101	FutoGoB101-Bold	PS	平成角ゴシック体W5
B太ミンA101	FutoMinA101-Bold	PS	平成明朝体W3
見出ゴMB31	MidashiGo-MB31	PS	平成角ゴシック体W5
見出ミンMA31	MidashiMin-MA31	PS	平成明朝体W3
丸ゴシック-M	MaruGothic-Medium	TT	－

TT：TrueType フォント
PS：PostScriptフォント

コンピュータのフォントで印刷する

TrueType フォントを画面表示のまま出力できます。

・印刷時間が長くなることがあります。
・Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

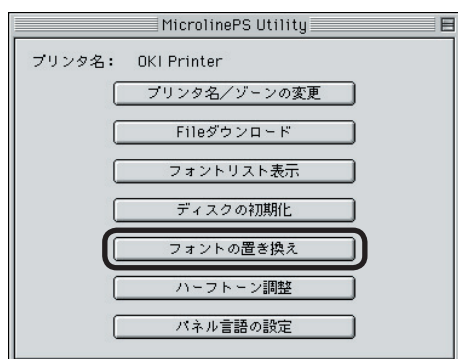
❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）
❹ ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。
❺ ［TrueType フォント］で［ソフトフォントとしてダウンロード］を選択します。

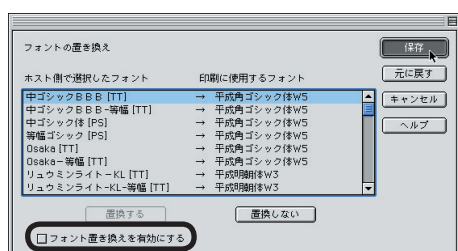
Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）
❹ ［印刷オプション］タブの［フォント］をクリックします。
❺ 「フォント」画面の［プリンタフォントで置き換える］のチェックを外します。

アウトラインフォントとしてダウンロード
プリンタでフォントイメージを作成します。

ビットマップフォントとしてダウンロード
プリンタドライバでフォントイメージを作成します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ メインダイアログから[フォントの置き換え ...］をクリックします。

❸［フォント置き換えを有効にする］のチェックを外します。

❹［保存］をクリックします。

プリンタドライバの設定を保存して、繰り返し使用する

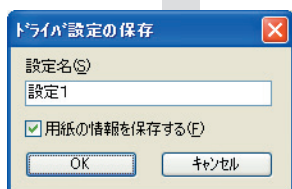
プリンタドライバで設定した内容を保存することができます。
複数箇所の設定を変更した内容を保存しておくと、次回からドライバ設定を指定するだけで自動的に複数箇所の設定が保存されていた内容に変更されます。

 Windows PS プリンタドライバ、Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows Vista/Server 2008 では、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタ]をクリックします。
Windows XP では、[スタート]-[コントロールパネル]- [プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows Server 2003 では、[スタート]- [プリンタと FAX]を選択します。
Windows 2000 では、[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

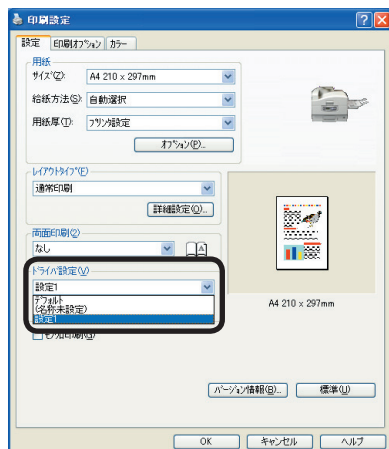
❷ [OKI MICROLINE 910PS(PCL)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定] を選択します。

❸ レイアウトタイプ、印刷オプション、カラーなど各設定を変更します。

❹ [設定] タブの [ドライバ設定] で [追加] を選択します。

❺ [設定名] に設定の名前を入力し、[OK] をクリックします。

用紙の情報を保存する
チェックを付けると、[設定] タブの [用紙] の設定も保存します。

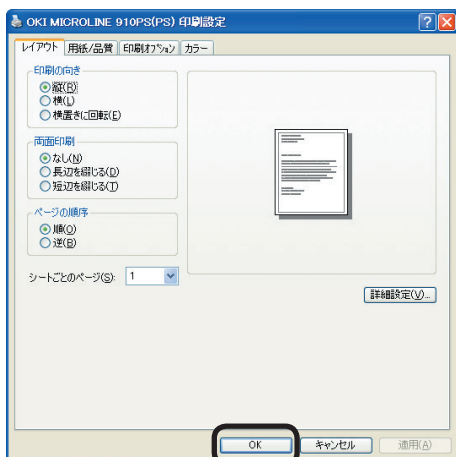
 最大 14 個まで保存することができます。

保存した設定を呼び出して使います

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル]メニューの [印刷]を選択します。

❸ [ドライバ設定] で、使用する設定を選択し、[OK] をクリックします。

プリンタドライバの初期設定を変更する

頻繁に変更する機能は初期設定を変更すると便利です。

Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows Vista/Server 2008 では、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタ]をクリックします。
Windows XP では、[スタート]- [コントロールパネル]- [プリンタとその他のハードウェア]- [プリンタと FAX]を選択します。
Windows Server 2003 では、[スタート]-[プリンタと FAX] を選択します。
Windows 2000 では、[スタート]-[設定]-[プリンタ] を選択します。

❷ [OKI MICROLINE 910PS(**)](** は PS または PCL(プリンタドライバの種類))アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定] を選択します。

❸ 各設定を変更し、[OK] をクリックします。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ 各設定を変更し、[設定の保存] をクリックします。

❹ 確認画面で[OK]をクリックします。

- [用紙設定] ダイアログの初期設定は変更できません。
- アプリケーション独自の設定項目は保存されません。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ 各設定を変更します。

❹ [プリセット] で [別名で保存] を選択し、「プリセットを保存」画面で適当な設定名を入力し、[OK] をクリックします。

❺ [キャンセル] をクリックします。

印刷時に [プリセット] で保存した設定名を選択してください。

Mac OS X 10.5 で [プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニューの横にある [▲] ボタンをクリックしてください。

トナーをセーブして試し印刷する

トナーの消費量を節約するように印刷します。全体の色を明るくすることでトナーの消費量を節約します。同時に 100%黒の色はそのまま保存することで、きれいな黒文字の再現を両立させています。
トナーセーブをしてもなるべく画像のバランスが失われにくくするために中間調をバランスよく明るくすることで調整します。このため、トナーの節約の量は印刷画像によってことなります。

- 100%黒の色には無効です。
- 印刷モードが［モノクロ］のときは有効になりません。
- PostScript で CMYK 印刷ができるアプリケーションがありますが、CMYK で印刷指定をした場合は無効となります。また、PostScript でグレースケール（モノクロ）印刷した場合も無効となります。
- CIE カラースペースで印刷データを作成する OS やアプリケーションでは無効となります。

メモ

［トナーセーブ］と［オフィスドキュメント］の設定を有効／無効にした時の印刷の濃度の目安
［オフィスドキュメント］はプリンタドライバの［カラー］タブ、または［カラー］パネルで設定します。
例えば、シアン 100%の色を印刷した時の濃度は表のようになります。
数値が小さいほど、印刷結果は明るい感じになります。

✓：有効　　ー：無効

トナーセーブ	オフィスドキュメント	印刷の濃度
ー	ー	100%
ー	✓	約 95%（標準の設定）
✓	ー	約 85%
✓	✓	約 70%

実際のトナーセーブとオフィスドキュメントの設定による印刷の濃度の変化は、印刷する画像によって異なります。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません）
❹ ［カラー］タブの［トナーセーブ］をチェックします。

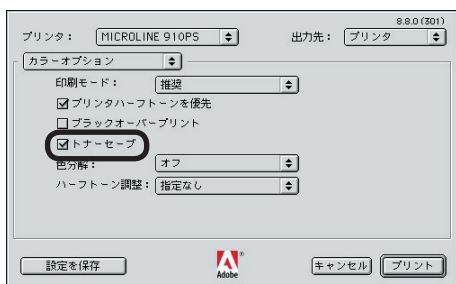
Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

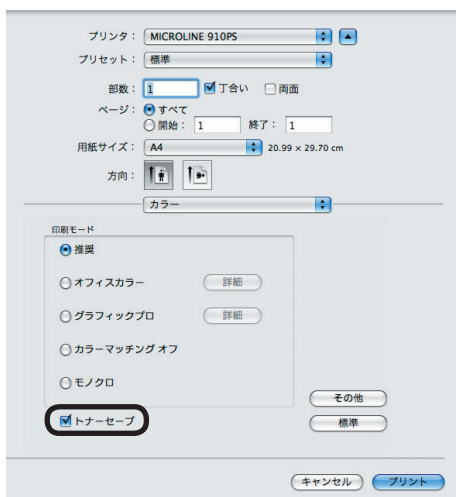
❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［トナーセーブ］をチェックします。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラーオプション］パネルの［トナーセーブ］にチェックします。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラー］パネルで［トナーセーブ］にチェックします。

Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

オフィスドキュメントに適した印刷をする

標準では写真やイラストなどの画像を多く含んだドキュメントの印刷に適した設定になっています。
トナーの消費を抑えつつ、読み易さを損なわない、一般的なオフィスドキュメントを印刷したい場合は、
以下の設定を行ってください。

Windows PS プリンタドライバ、Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

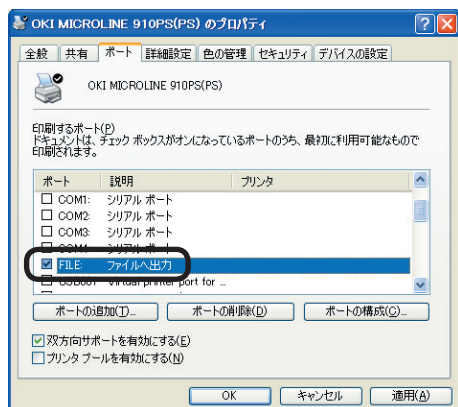
❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［オフィスドキュメント］をチェックします。

印刷データをファイルに出力する

印刷データをファイルに書き出して保存することができます。

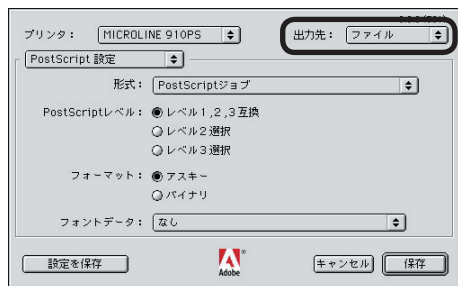
コンピュータの管理者の権限が必要です。

Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows Vista/Server 2008 では、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタ]をクリックします。
Windows XP では、[スタート]- [コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択します。
Windows Server 2003 では [スタート]- [設定]- [プリンタとFAX]を選択します。
Windows 2000 では[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI MICROLINE 910PS(**)](** は PS または PCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

❸ [ポート]タブの[印刷するポート] で[FILE:]を選択し、[OK]をクリックします。

❹ 印刷します。[ファイルへ出力] で [出力先ファイル名] を入力し、[OK] をクリックします。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [出力先] で [ファイル]を選択します。

❹ [PostScript 設定] パネルで設定を行います。

形式

ポストスクリプトファイル形式を指定します。

PostScriptレベル

出力するプリンタに合わせて指定します。

フォーマット

アスキー /バイナリ形式のいずれで保存するか指定します。
バイナリのPostScript言語ファイルを転送する場合、通信サービスがバイナリデータ転送をフルサポートしている必要があります。

フォントデータ

ファイルにダウンロード可能なフォントを含めるか指定します。
PostScriptフォントしか使っていない場合は [なし] を選択します。

❺ 印刷します。[名前]に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、[保存]をクリックします。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［PDF］をクリックし、保存方法を選択します。（Mac OS X 10.3 では［出力オプション］パネルで［ファイルとして保存］にチェックを付け、［フォーマット］で［PostScript］を選択し、［保存］をクリックします。）

〈Mac OS X 10.4 以降〉

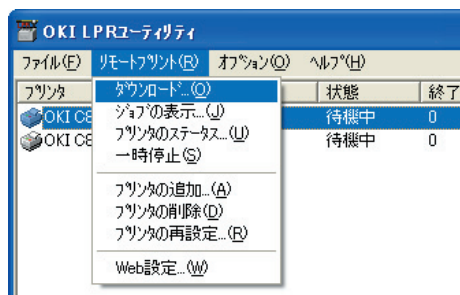
〈Mac OS X 10.3〉

❹ ［名前］（Mac OS X 10.3では［別名で保存］）に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、［保存］をクリックします。

ポストスクリプトファイルをダウンロードする

ファイルに出力したポストスクリプトファイルなどをプリンタにダウンロードし、印刷することができます。

OKI LPRユーティリティ（Windows）を使う場合

TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ OKI LPR ユーティリティを起動します。

❷ ［リモートプリント］メニューの［ダウンロード ...］を選択します。

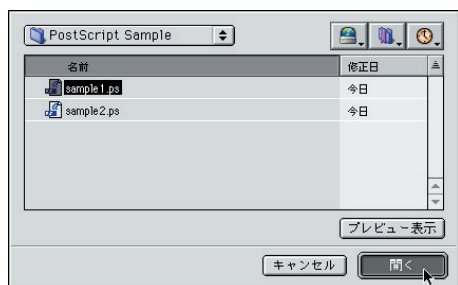
❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

ポストスクリプトファイルのダウンロードが開始されます。ダウンロードが終了すると、印刷されます。

MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

注 Mac OS X では利用できません。

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ メインダイアログから[File ダウンロード ...]をクリックします。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

ポストスクリプトファイルのダウンロードが開始されます。ダウンロードが終了すると、印刷されます。

メモ　ポストスクリプトファイルをMicrolinePS Utilityのアイコンやメインダイアログにドラッグ＆ドロップすることでも、ダウンロードできます。

アプリケーション別の設定

PSプリンタドライバで印刷する場合に注意が必要なアプリケーションについて簡単に説明します。詳しくは各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

Adobe PageMaker 7.0J/6.5J/6.0J（Windows版）

Adobe PageMaker7.0J/6.5J/6.0Jで印刷するには、PPDファイルのインストールが必要です。

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ セットアッププログラムが起動しますので、[MICROLINE 910PS] 画面の右上の×ボタンをクリックして、画面を閉じます。

❸ [スタート] - [ファイルを指定して実行 ...] をクリックします。

❹ [名前] に以下のように入力し、[OK] をクリックします。
ここでは、CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。

```
D:¥MISC¥PPD¥SETUP.EXE
```

❺「インストール先の選択」画面が表示されたら、[参照] をクリックして、インストールするフォルダを選択し、[OK] をクリックします。

PageMaker7.0Jの場合
pagemaker7.0J¥rsrc¥japanese¥ppd4

PageMaker6.5Jの場合
pm65j¥rsrc¥japanese¥ppd4

PageMaker6.0Jの場合
pm6¥rsrc¥ppd4

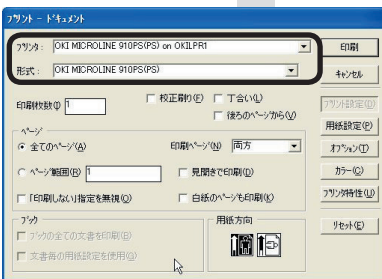
❻ [次へ] をクリックします。
PPD ファイルがインストールされます。

❼ [完了] をクリックします。

❽ [終了] をクリックします。

❾ PageMakerの[ファイル]メニューから[プリント]を選択します。

❿ [プリンタ] と [形式] で [OKI MICROLINE 910PS(PS)] を選択します。

[プリンタ]はプリンタドライバを、[形式]は PPD ファイルを意味しています。

⓫ [印刷] をクリックします。

QuarkXPress4.1/4.0J（Windows版、Macintosh版）

- カラーマッチングを行うには、[補助] メニューの [Xtentionマネジャー] で [Quark CMS] がONになっている必要があります。
- ［ファイル］メニューの［印刷］-［出力］パネルで［ハーフトーン］を必ず［プリンタ］にしてください。［計算値］にすると印刷が粗くなります。
- MacintoshとUSBで接続している場合は［ファイル］メニューの［印刷］-［プリンタフォント］タブでプリンタフォントを検索することができません。
  プリンタフォントを使うときは［プリンタフォント］タブの［ポストスクリプト印刷］の欄をクリックして使用するフォントにチェックを付けてください。

Adobe Photoshop7.0/6.0/5.5/5.0J

（Windows 版、Macintosh 版）

- ［ファイル］メニューの［用紙設定］で［ハーフトーンスクリーン］をクリックし、［プリンタの初期設定値を使う］を必ずONにしてください（Macintoshでは［ファイル］メニューの［用紙設定］-［Adobe PhotoshopXX］パネルの［ハーフトーンスクリーン］）。OFFにして印刷すると印刷が粗くなることがあります。
- ハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含むEPSファイルは、印刷が粗くなることがあります。プリンタに最適なハーフトーンで印刷するには、EPSファイルの作成時にハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含めないようにしてください。

Adobe Illustrator10.0/9.0/8.0/7.0J

（Windows 版、Macintosh 版）

- ［ファイル］メニューの［書類設定］で［プリンタの初期設定値を使う］を必ずONにしてください。OFFにして印刷すると印刷が粗くなることがあります。

Macromedia FreeHand9.0/8.0J（Macintosh版）

- ICCプロファイルが表示されない場合は、[システムフォルダ]の[ColorSync 特性]または[ColorSyncプロファイル]にある[OKI MICROLINE 910PS 600dpi]、[OKI MICROLINE 910PS 1200dpi]、[OKI MICROLINE 910PS 600dpi (Multi)] ファイルを［システムフォルダ］-［初期設定］-［ColorSyncTM特性］フォルダにコピーしてください。

ProtecPrint で地紋なしで印刷する

プリンタに ProtecPrintFull ライセンスキーが登録され、プリンタの ProtecPrint が有効になると、通常の状態で地紋が印刷されます。地紋なしで印刷するには以下の設定を行ってください。

- 地紋なしで印刷する場合は、あらかじめプリンタの ProtecPrint 設定で、地紋なし印刷を有効にしておきます。
- ProtecPrint 設定を変更する操作方法および地紋なし印刷の設定方法については ProtecPrint プリンタ設定ユーティリティと共にインストールされる、「ProtecPrint マニュアル（リファレンス編）」をご覧ください。

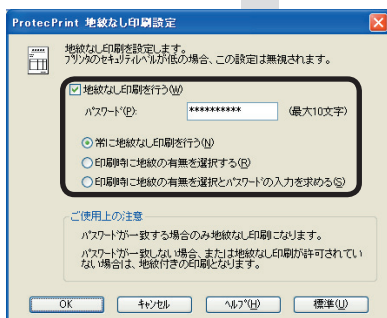
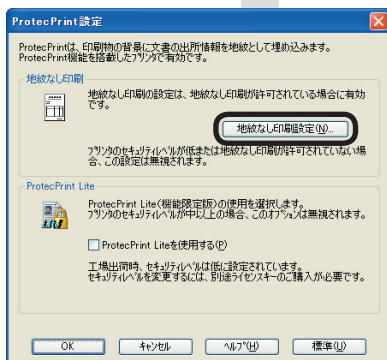
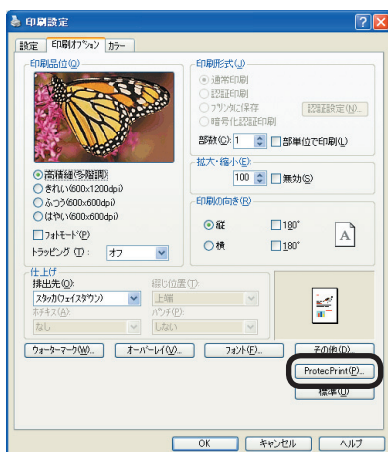
ドライバの印刷設定を変更します

印刷する時に 地紋なし印刷を指定する手順を例に説明します。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません）

❹［印刷オプション］タブの［ProtecPrint］をクリックします。

❺「ProtecPrint設定」ダイアログで、［地紋なし印刷設定］をクリックします。

❻「ProtecPrint 地紋なし印刷設定」ダイアログで［地紋なし印刷を行う］にチェックをつけます。

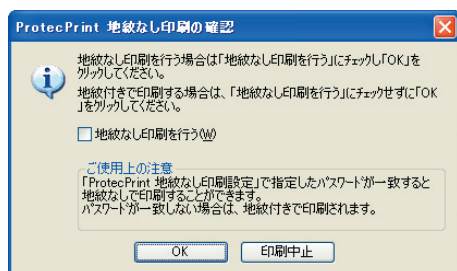
❼ 地紋なし印刷を許可するパスワードを［パスワード］に入力します。

❽ 地紋なし印刷を確認する方法を選択します。

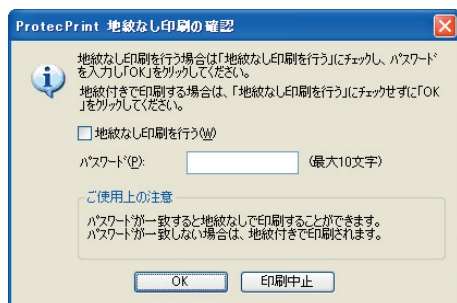
常に地紋なし印刷を行う

次に設定を変更するまでは、指定されたパスワードがプリンタに設定した 地紋なし印刷を許可する 許可パスワードと一致する場合に地紋なし印刷を行います。

印刷時に地紋の有無を確認する

印刷時に地紋なし印刷を確認するダイアログを表示します。

地紋なしで印刷を行う場合は［地紋なし印刷を行う］をチェックし、［OK］をクリックします。

印刷時に地紋の有無のパスワードの入力を求める

印刷時に地紋なし印刷を確認するダイアログを表示します。

地紋なしで印刷を行う場合は［地紋なし印刷を行う］をチェックし、地紋なし印刷を許可するパスワードを［パスワード］に入力し［OK］をクリックします。

プリンタの ProtecPrint 設定で地紋なし印刷が許可されており、さらに ProtecPrint 地紋なし印刷設定または、ProtecPrint 地紋なし印刷の確認で入力されたパスワードがプリンタに設定した 地紋なし印刷を許可する 許可パスワードと一致する場合に地紋なし印刷を行います。
プリンタの ProtecPrint 設定で地紋なし印刷が許可されていない場合や、パスワードが一致しない場合は、地紋つきの印刷になります。

ドライバの ProtecPrint 設定のアクセス制限をする

制限つきのユーザにはプリンタドライバの ProtecPrint の設定を変更できないようにアクセス制限できます。

アクセス許可の設定は、Windows Vista/XP/2000/Server 2008/Server 2003 で使用可能です。
「プリンタの管理」が許可されているユーザがアクセス許可の設定を変更できます。

2

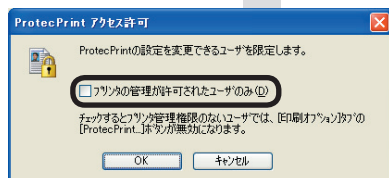
色々な機能を使って印刷する

ProtecPrint のアクセス許可を設定します

1. Windows Vista/Server 2008では、[スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。
Windows XPでは、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] を選択します。
Windows Server 2003では、[スタート] - [プリンタとFAX] を選択します。
Windows 2000では、[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

2. 設定を変更するプリンタのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

3. [デバイスオプション] タブをクリックし [ProtecPrintアクセス許可] をクリックします。

4. 「ProtecPrintアクセス許可」ダイアログで、[プリンタの管理が許可されたユーザのみ] にチェックをつけます。

本設定によりプリンタの管理が許可されないユーザは、[印刷オプション] タブの [ProtecPrint] ボタンが無効になります。

オペレーティングシステム別使用可能な機能一覧

プリンタドライバの種類（PS または PCL）とお使いのシステムによって、使える機能が異なります。

○：利用できます
×：利用できません

	Windows PS	Windows PCL	Mac OS 9.1 〜 9.2.2	Mac OS X 10.3 〜	参照ページ
複数ページを 1 枚に印刷する	○	○	○	○	54 ページ
複数枚に拡大して印刷（ポスター印刷）	×	○	○	×	56 ページ
用紙の両面に印刷する（両面印刷）	○	○	○	○	57 ページ
スタンプ印刷（ウォーターマーク）	○	○	○	×	68 ページ
小冊子を作る（製本印刷）	○	○	○	×	82 ページ
トナーを節約して印刷する	○	○	○	○	100 ページ
印刷品位を変更する	○	○	○	○	89 ページ
文書を部単位で印刷（丁合印刷）	○	○	○	○	70 ページ
パスワードを入力してから印刷（認証印刷）	○	○	○	×	73 ページ
プリンタのハードディスクにジョブを保存して繰り返し印刷する	○	○	○	×	79 ページ
表紙のみ別のトレイから給紙（表紙印刷）	×	○	○	○	63 ページ
印刷ジョブをスプールして PC の開放を早くする（バッファ印刷）	○	○	○	×	78 ページ
ドキュメントサイズと異なる用紙サイズで印刷する	×	○	×	×	67 ページ
プリンタにフォームを登録して、印刷する（フォームオーバーレイ）	○	○	×	×	84 ページ
「トレイ」を自動で選択する	○	○	○	○	61 ページ
同じ用紙サイズを大量に印刷する（自動トレイ切替）	○	○	○	○	65 ページ
極細線が細くなりすぎるのを防ぐ	○	○	○	○	92 ページ
プリンタフォントに置き換えて印刷する	○	○	○	×	94 ページ
コンピュータのフォントで印刷する	○	○	○	×	96 ページ
簡単にカラーマッチングする（オフィスカラー）	○	○	○	○	121 ページ
ICC プロファイルを使用してカラーマッチングする（グラフィックプロ）	○	○	○	○	129 ページ
カラー調整ユーティリティを使ってカラーマッチングする	○	○	○	○	134 ページ
Macintosh の ColorSync を使う	×	×	○	○	162 ページ
黒の部分の仕上りを変更する	○	○	○	○	163 ページ
カラーデータを白黒で印刷する	○	○	○	○	165 ページ
文字と背景の間にできる白いふちをなくす（ブラックオーバープリント）	○	○	○	○	167 ページ
印刷用インクで印刷結果をシミュレートする	○	○	○	○	171 ページ
分版印刷をする	○	×	○	○	173 ページ
PS ハーフトーンユーティリティを使って印刷濃度を調整する	○	×	○	○	175 ページ
色見本印刷ユーティリティを使って希望色を印刷する	○	○	×	×	132 ページ
ページを逆順に印刷する	○	×	○	○	308 ページ
プリンタドライバの設定に名前を付けて保存する	×	○	×	○	309 ページ
プリンタドライバの初期設定を変更する	○	○	○	○	310 ページ

	Windows PS	Windows PCL	Mac OS 9.1 ～ 9.2.2	Mac OS X 10.3 ～	参照ページ
印刷データをファイルに出力する	○	○	○	○	311 ページ
ポストスクリプトエラーを印刷する	○	×	○	○	313 ページ
プリンタドライバを削除する	○	○	○	○	320 ページ
プリンタドライバを更新（アップデート）する	○	○	○	○	324 ページ

3 添付のユーティリティについて

ユーティリティの種類

ソフトウェア CD-ROMには、以下のユーティリティが入っています。プリンタをより快適にお使いいただくためにご活用ください。

ユーティリティの種類と機能（Windows）

カラーユーティリティ

名　称	機能（用途）	動作環境	掲載ページ
PS ハーフトーン調整ユーティリティ	プリンタの CMYK 各色のハーフトーン濃度を調整します。	Windows Vista/Server 2008/XP/Server 2003/ 2000 日本語版の動作するコンピュータ	175 ページ
色見本印刷ユーティリティ	プリンタで RGB 色の見本を印刷するためのユーティリティです。 印刷された見本を基にアプリケーション上で希望する色の RGB 成分値を指定することができます。		132 ページ
カラー調整ユーティリティ	印刷された色見本を基に印刷色を調整したり、明るさ・彩度、色相、ガンマなどの色の全体的な傾向を調整し、カラーマッチングに反映させることができます。		134 ページ
プロファイルアシスタント ※	プリンタのハードディスク内に ICC プロファイルを登録・管理します。ICC プロファイルはドライバの［グラフィックプロ］モードのカラーマッチングに使用します。		124 ページ

※ ソフトウェア CD-ROMには入っていません。沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp/）よりダウンロードしてください。

ネットワークユーティリティ

名　称	機能（用途）	動作環境	掲載ページ
OKI LPR ユーティリティ	プリントサーバを設置することなく Windows プラットホームから TCP/IP ダイレクト印刷が可能です。その他プリンタ検索機能、ジョブ転送機能、同報印刷機能などを装備しています。	Windows Vista/XP/Server 2003/2000 日本語版の動作するコンピュータ	194 ページ
AdminManager（NIC セットアップユーティリティ）	プリンタのネットワーク設定をしたいときに使用します。	Windows Vista/Server 2008/XP/Server 2003/2000 日本語版の動作するコンピュータ	183 ページ
Network Extension	ネットワーク接続されたプリンタドライバの機能を拡張し、プリンタに搭載されたオプション、各トレイ内の用紙サイズ、トナー残量などのプリンタ情報を表示・設定に反映できます。		204 ページ
ネットワークステータスモニタ ※	デスクトップ上にプリンタの稼働状況を確認できる画面を表示します。		211 ページ

名　称	機能（用途）	動作環境	掲載ページ
PrintSuper-Vision ※	自分のデスクからパソコンの画面でプリンタの各種設定、管理を行えます。用紙切れや用紙詰まり等の発生をメールで通知するため迅速なトラブル対応が可能です。	Windows XP Professional/Server 2003/2000 (IIS5.0、IE4.0 以降搭載)	208 ページ
Web Driver Installer ※	新しくネットワークに接続されたプリンタを自動的に検索し、プリンタ情報を登録ユーザにメールで通知します。ユーザはメールに添付された URL をブラウザで表示してドライバをインストールすることができます。	サーバコンピュータ *1 クライアントコンピュータ *2	209 ページ

*1　Windows Server 2003/XP Professional/2000 が搭載されていて、Microsoft インターネットインフォメーションサーバと、MDAC 2.6 以上が搭載されている機種

*2　Windows OS（IE5.5以降、NN6以降）を搭載している機種

※ ソフトウェア CD-ROMには入っていません。沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp/）よりダウンロードしてください。

その他のユーティリティ

名　称	機能（用途）	動作環境	掲載ページ
OKI ストレージデバイスマネージャ ※	プリンタのハードディスク設定、フォームデータの登録や削除、スプールジョブなどの管理をします。	Windows XP/Server 2003/2000（IE4.0 以降搭載）	ー
PDF Print Direct	PDF ファイルをアプリケーションを起動せずにプリンタに直接送信して印刷します。	Windows XP/Server 2003/2000	314 ページ
プリントジョブアカウンティング Lite ※	印刷ジョブの情報をログとして取得し、集計を行うことができます。	Windows Vista（32bit版）/XP（32bit版）/2000/Server 2008（32bit版）/Server 2003（32bit版）日本語版の動作するコンピュータ	プリントジョブアカウンティング Lite ユーザーズマニュアル
プリンタ表示言語セットアップ	本機の操作パネルの表示やメニュー印刷に使用する言語を設定します。	Windows Vista/Server 2008/XP/Server 2003/2000日本語版の動作するコンピュータ	315 ページ

※ ソフトウェア CD-ROM には入っていません。沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp/）よりダウンロードしてください。

ユーティリティの種類と機能（Macintosh）

ユーティリティ	機能（用途）	動作環境	掲載ページ
MicrolinePS Utility	プリンタの設定や、ポストスクリプトファイルやPDF ファイルのダウンロードをしたいときに使います。	MacOS 9.1 ～ 9.2.2	215 ページ
Setup Utility	プリンタのネットワーク設定をしたいときに使います。	MacOS 9.1 ～ 9.2.2 Mac OS X 10.3 ～ 10.5.2	221 ページ
プロファイルアシスタント	プリンタハードディスク内にICC プロファイルを登録・管理します。 ICC プロファイルはドライバの［グラフィックプロ］モードのカラーマッチングに使用します。	MacOS 9.2 ～ 9.2.2 （Carbon Lib 1.6 以降搭載） Mac OS X 10.3 ～ 10.5.2	126 ページ
PS ハーフトーン調整ユーティリティ	プリンタのCMYK 各色のハーフトーン濃度を調整します。	Mac OS X 10.3 ～ 10.5.2	175 ページ
カラー調整ユーティリティ	印刷された色見本を基に印刷色を調整したり、明るさ、彩度、色相、ガンマなどの色の全体的な傾向を調整し、カラーマッチングに反映させることができます。		147 ページ
Panel Language Downloader	本機の操作パネルの表示やメニュー印刷に使用する言語を設定します。	Mac OS X 10.3～10.5.2（日本語版）	318 ページ

※ ソフトウェア CD-ROM には入っていません。沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp/）よりダウンロードしてください。

インストール

❶ コンピュータに「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

セットアッププログラムが起動します。

・Windows Vista/Server 2008 で［自動再生］が表示されたら［start.exe の実行］をクリックします。
・Windows Vista/Server 2008 で［ユーザアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

❷「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❸［カラーソフトウェア］、または［その他のソフトウェア］をクリックします。

❹ インストールするユーティリティをクリックします。

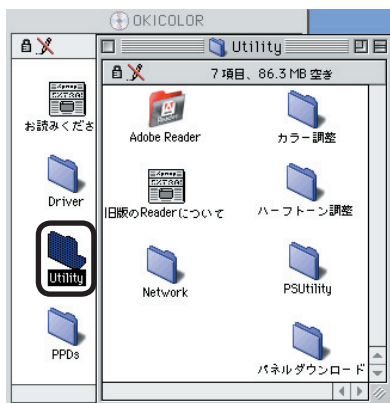
❺ 画面の指示に従ってセットアップします。

❻ セットアップ完了後、「OKI Printing Solutions」画面の右上の×をクリックし、画面を閉じます。

起動方法

❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000では［プログラム］）-［沖データ］を選択し、起動したいユーティリティを選択します。

ユーティリティをインストール／起動する(Macintosh)

以下の手順で、お使いになりたいユーティリティソフトウェアをインストールします。

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Utility］フォルダを開きます。

❸ インストールしたいユーティリティと同じ名前のフォルダを開きます。

❹ フォルダ内のインストーラアイコンをダブルクリックします。

❺「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❻「お読みください」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❼ インストール内容を確認し、［インストール］をクリックします。

4 カラーを調整する

- この章では、Windowsでは［ワードパッド］、Macintoshでは［SimpleText］、Mac OS Xでは［テキストエディット］を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。

カラーマッチングとは

カラーマッチング

データの作成から印刷までの作業過程において、カラーを一貫した手法に基づいて管理することが重要になります。例えばスキャナやデジタルカメラやモニタ等は黒に対して「赤」「青」「緑」の3色の光を加えた配合率をRGBカラー空間上の値としてカラーを表現します（加法混色）。一方プリンタは白（白色光）に対して、「赤」「青」「緑」の3色を反射光から取り除く、「シアン」「マゼンタ」「イエロー」と「黒」の4色のトナーの配合率をCMYKカラー空間上の値としてカラーを表現します（減法混色）。
RGBカラー空間やCMYKカラー空間は、お使いの機器に依存したカラー空間であるために、カラー空間を変換する際にそれぞれの機器の特性を考慮しないと再現された色も異なった色になってしまいます。

データの作成から印刷までカラーの一貫性を維持するには、機器によるカラーの違いを考慮してカラー変換する必要があります。この処理をカラーマッチングといいます。カラーマッチングを行うプログラムをカラーマネジメントシステム（CMS）といいます。

本プリンタでは、プリンタドライバのカラーマッチングとアプリケーションのカラーマッチングを利用することができます。

カラーマッチングを使用しても、印刷色がモニタ上の色に比べくすんで見えることがあります。これはプリンタで再現できる色の範囲がモニタで再現できる色の範囲より狭いため、カラーマッチングを使用してもモニタ上の鮮やかなカラーが再現できないためです。

利用できるカラーマネージメントシステム

	Windows PS	Windows PCL	Mac OS 9.0～9.2.2	Mac OS X 10.3 以降
プリンタに内蔵のカラーマッチング（［オフィスカラー］モード）	○	○	○	○
プリンタに内蔵のカラーマッチング（［グラフィックプロ］モード）	○	○	○	○
WindowsのImage Color Matching（※1）（ICM）	○	－	－	－
ColorSync	－	－	○	○
アプリケーションのカラーマッチング	○	○	○	○

※1 「Image Color Matching」を利用するには、アプリケーションが対応している必要があります。

簡単にカラーマッチングする（オフィスカラー）

ワープロソフト・表計算ソフトやプレゼンテーション用ソフトなどビジネス文書をよく使用するユーザ向けに最適な方法のカラーマッチングを提供します。これらのソフトウェアで使用されるRGBカラーで表現された色をお使いのプリンタ用にカラーマッチングします。
カラーマッチングにはプリンタに搭載されている専用のアクセラレータ（ASIC）を使用してカラーマッチングを行います。RGBカラースペースの印刷データをプリンタのCMYKカラースペースに変換する際に、カラーマッチング処理が適用されます。

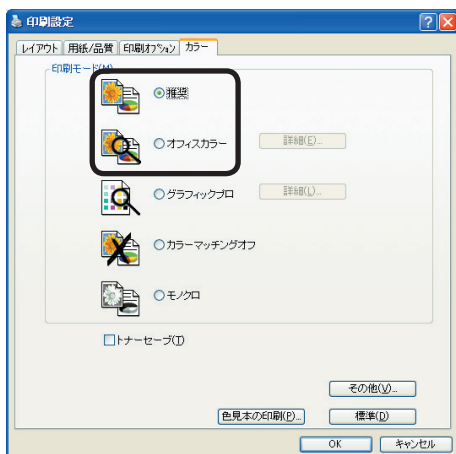
- RGBカラースペースの印刷データに対してのみ有効です。
- CMYKカラースペースの印刷データに対しては［推奨］または［オフィスカラー］を選択してもカラーマッチングは適用されません。この場合は「グラフィックプロ」を選択してください。
- WindowsでICCプロファイルをインストールしている場合は、［レイアウト］タブで［詳細設定］をクリックし、［ICMの方法］で［ICM無効］を選択します。

メモ

［カラー調整］
　カラーマッチング処理の色の表現方法を指定します。

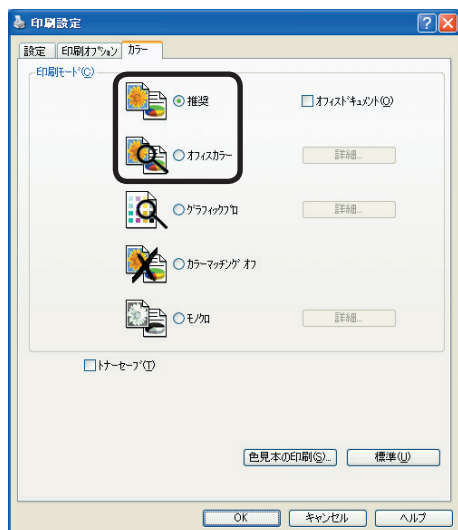
- モニタ（6500K）／自動
  モニタ（色温度6500K）との相性を重視した上で、印刷するドキュメントに合わせて最適な方法で色を表現します。通常はこの設定でお使いください。
- モニタ（6500K）／コントラスト重視
  モニタ（色温度6500K）との相性および写真などの自然画に適した階調性を重視した方法で色を表現します。
- モニタ（6500K）／鮮やかさ重視
  モニタ（色温度6500K）との相性および図形や文字に適した鮮やかさを重視した方法で色を表現します。
- モニタ（9300K）
  モニタ（色温度9300K）との相性および写真などの自然画に適した階調性を重視した方法で色を表現します。
- デジタルカメラ
  写真が明るくなるように色を表現します。撮影環境条件やシーンなど、場合によっては他のカラー調整項目を選択した方がよい場合があります。
- sRGB
  プリンタの色再現域内の色はそのままとし、プリンタの色再現域内に入らない色はプリンタの色再現域の外殻の色にマッチングします。特定の色をマッチングするのに適しています。

［CMYKシミュレーション］
　お使いのプリンタでJapan Color、SWOP、EuroScaleのようなオフセット印刷標準カラーをシミュレーションする場合に選択します。ターゲットの印刷装置のインクを選択します。

［黒の生成］
　カラーで印刷する時の黒の仕上がりを設定します。通常は自動のままご使用ください。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［詳細設定］をクリックします。
   （Windows 2000では、この操作は必要ありません。）
4. ［カラー］タブの［印刷モード］で［推奨］または［オフィスカラー］を選択します。

ICC プロファイルをインストールしている場合は、［レイアウト］タブで［詳細設定］をクリックし、［ICM の方法］で［ICM 無効］を選択します。

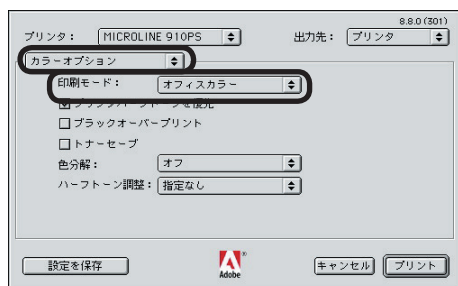
Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

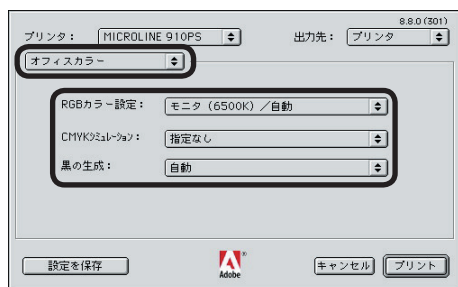
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［推奨］または［オフィスカラー］を選択します。

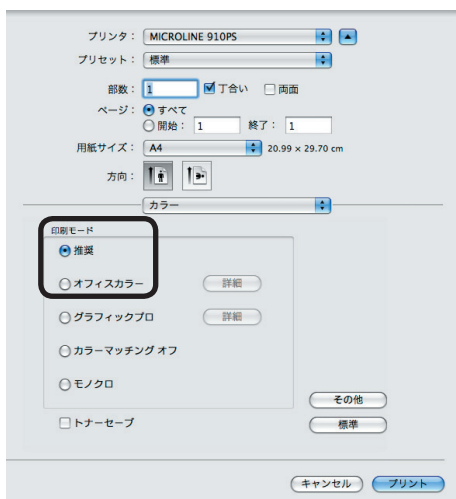
［オフィスカラー］を選択した場合、必要に応じて［詳細］ボタンをクリックして、表示された画面内の［カラー調整］や［黒の生成］などを適切な設定に変更します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で「推奨」または「オフィスカラー」を選択します。

［オフィスカラー］を選択した場合、必要に応じて［オフィスカラー］パネル内の［RGBカラー設定］や［CMYKシミュレーション］、［黒の生成］などを適切な設定に変更します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

Mac OS X に添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションで「推奨」または「オフィスカラー」を指定しても、無効となります。Mac OS X 上では、この機能は RGB カラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラーパネル］パネルの［印刷モード］で「推奨」または「オフィスカラー」を選択します。

Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

［オフィスカラー］を選択した場合、［詳細］ボタンをクリックして［オフィスカラー詳細設定］パネルを開き、必要に応じて［カラー調整］や［CMYKシミュレーション］、［黒の生成］などを適切な設定に変更します。

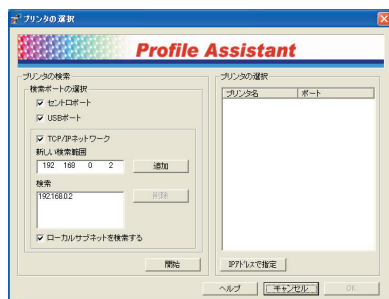
ICCプロファイルをプリンタにダウンロードする

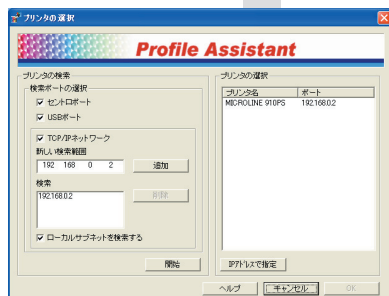
このプリンタでは一般的なカラー管理によく使用されるICCプロファイルを使用したカラーマッチングワークフローを提供しています。この機能を使用するためには、本プリンタとカラーマッチングの対象となる入出力装置（モニタ、スキャナ、デジタルカメラ、他の印刷装置）のICCプロファイルをあらかじめプリンタに登録しておく必要があります。
ICCプロファイルの登録や参照には［プロファイルアシスタント］を使用します。

- プロファイルアシスタントのインストール方法については、沖データホームページのダウンロードページをご覧ください。
- お使いの入出力装置用のプロファイルがない場合には、その装置のメーカや販売店にご相談ください。

メモ　以下の4つのタイプのプロファイルが登録できます。各4つのタイプごとに12個まで登録することができます。

- RGBソース
  モニタ、スキャナ、デジタルカメラなどのRGB入力装置用のプロファイル
- CMYKシミュレーション
  プリンタやイメージセッタなどのCMYK出力装置用のプロファイル
- プリンタ
  お使いのプリンタのプロファイル。プリンタプロファイルを作成編集可能な上級ユーザのみご使用ください。
- リンクプロファイル
  CMYKからCMYKに直接変換するプロファイル。リンクプロファイルを作成編集可能な上級ユーザのみご使用ください。

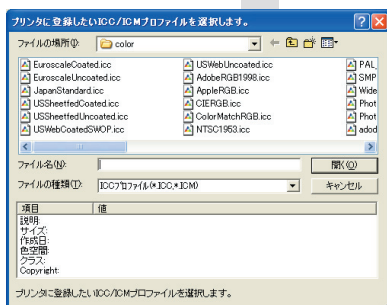
Windowsをお使いの方

❶ ［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000では［プログラム］）-［沖データ］-［プロファイルアシスタント］-［プロファイルアシスタント］を選択し、プロファイルアシスタントを起動します。

❷ プリンタを検索します。
ネットワーク接続している場合は［TCP/IPネットワーク］を、USB接続している場合は［USB］をチェックして［開始］をクリックします。

❸ プリンタリストから登録したいプリンタを選択します。ユーティリティのメイン画面が表示されます。

次回以降の起動では、❷、❸の手順は省略され、最後に選択したプリンタに自動的に接続します。別のプリンタを選択したい場合には、メイン画面で「プリンタの変更」をクリックして❷、❸の手順で再度プリンタを選択してください。

❹ ［追加］をクリックします。「プリンタに登録したいICC/ICMプロファイルを選択します」画面が表示されます。

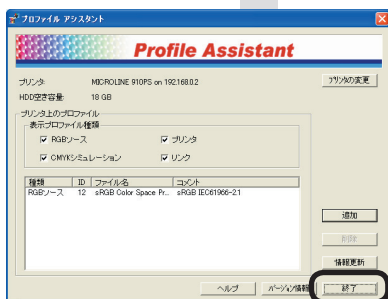
❺ 登録したいICCプロファイルを選択します。

メモ
- 必要に応じて［ファイルの場所］を変更して、お使いのコンピュータ上のICCプロファイルが格納されたディレクトリに移動してください。
- ICCプロファイルをクリックすると、リストにICCプロファイルの情報（説明（デバイス情報）、サイズ、作成日、色空間など）が表示されます。登録したいICCプロファイルを特定するためにこのリストを参照してください。

❻ 表示されているヒント情報に従って登録するプロファイルのタイプを選択します。

❼ 1〜12の中からプロファイルを登録したい番号を選択します。登録されていない空き番号のボタンが白色で、既に登録されている番号のボタンが水色で表示されます。登録済み番号を指定して登録した場合には上書き登録されます。

❽ 登録するプロファイルについて、装置名などのメモ情報を［コメント］欄に記載します。

メモ
この情報はプリンタに登録されたプロファイルの一覧表示（本ユーティリティのメイン画面）やカラープロファイルリストの印刷（プリンタ操作パネル）に使用されます。登録者以外のプリンタ使用者が登録されたICCプロファイルがどの装置用なのかを認識できるようにしておくと便利です。

❾ ［OK］をクリックしてプリンタへの登録を開始します。

❿ メイン画面に登録したプロファイル名が表示されたことを確認し、［終了］をクリックします。

メモ
- 登録したプロファイルはプリンタドライバの［印刷モード］の［グラフィックプロ］のモードでカラーマッチングに使用できます。使用方法については「ICCプロファイルを使用してカラーマッチングする（グラフィックプロ）」（135ページ）を参照してください。
- プリンタの操作パネルから ボタンを押し、プリンタ情報を印刷し、カラープロファイルリストを選ぶことで、プリンタに登録したICCプロファイルの一覧表を印刷することができます。

4

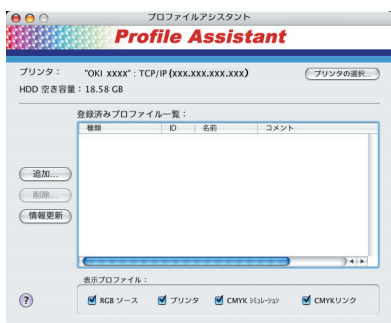
カラーを調整する

Macintoshをお使いの方

❶ プロファイルアシスタントを起動します。

❷ プリンタを検索します。
ネットワーク接続している場合は［ネットワーク］タブを、USB接続している場合は［USB］タブをクリックします。

注
USB2.0に対応していません。
USB1.1で接続してください。

❸ プリンタリストから登録したいプリンタを選択し、［選択］をクリックします。

❹ ユーティリティのメイン画面で［追加］をクリックします。

次回以降の起動では、❷、❸の手順は省略され、最後に選択したプリンタに自動的に接続します。別のプリンタを選択したい場合には、メイン画面で「プリンタの変更」をクリックして❷、❸の手順で再度プリンタを選択してください。

❺「プロファイルを選択してください」画面で、登録したいICCプロファイルを選択し、［選択］をクリックします。

- 必要に応じてお使いのMacintosh上のICCプロファイルが格納されたフォルダに移動してください。
- ICCプロファイルをクリックすると、リストにICCプロファイルの情報（Description（デバイス情報）、Size（サイズ）、Date（作成日）、Color Space(色空間)など）が表示されます。登録したいICCプロファイルを特定するためにこのリストを参照してください。
- ICCプロファイルは通常以下のフォルダに格納されています。
  希望する装置のプロファイル

❻［プロファイル種類］メニューで登録するプロファイルのタイプを選択します。

❼ 1～12の中からプロファイルを登録したい番号を選択します。既に登録されている番号がボールド+下線で表示されます。登録済み番号を指定して登録した場合には上書き登録されます。

❽ 登録するプロファイルについて、装置名などのメモ情報を［コメント］欄に記載します。

この情報はプリンタに登録されたプロファイルの一覧表示（本ユーティリティのメイン画面）やカラープロファイルリストの印刷（プリンタ操作パネル）に使用されます。登録者以外のプリンタ使用者が登録されたICCプロファイルがどの装置用なのかを認識できるようにしておくと便利です。

❾ ［追加］をクリックしてプリンタへの登録を開始します。

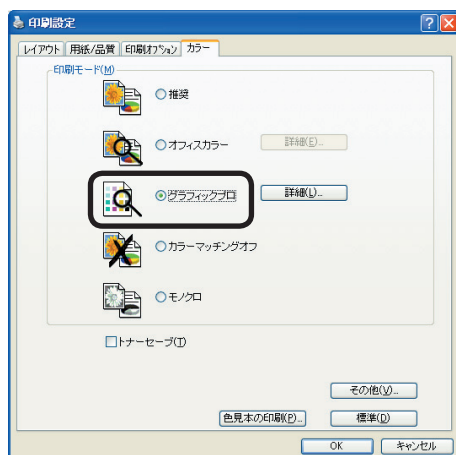
❿ メイン画面に登録したプロファイル名が表示されたことを確認し、［OK］をクリックしてユーティリティを終了します。

- 登録したプロファイルはプリンタドライバの［印刷モード］の［グラフィックプロ］のモードでカラーマッチングに使用できます。使用方法については「ICCプロファイルを使用してカラーマッチングする（グラフィックプロ）」（129ページ）を参照してください。
- プリンタの操作パネルから△、▽ボタンを押し、プリンタ情報を印刷し、カラープロファイルリストを選ぶことで、プリンタに登録したICCプロファイルの一覧表を印刷することができます。

ICCプロファイルを使用してカラーマッチングする（グラフィックプロ）

DTP向けのソフトウェアをよく使用する方向けにICCプロファイルを利用したカラーマッチングワークフローを提供します。
任意のRGB入力装置（モニタやデジタルカメラ）とプリンタ間のカラーマッチングや、任意のCMYK出力機器のシミュレーション印刷を指定することができます。
カラーマッチングに、任意の入出力機器用のICCプロファイルを使用する場合、あらかじめICCプロファイルをプリンタに登録する必要があります。ICCプロファイルの登録方法は「ICCプロファイルをプリンタにダウンロードする」（124ページ）をご覧ください。

- CMYKリンクプロファイルはPCLプリンタドライバでは指定できません。
- Windows上のPSプリンタドライバでICCプロファイルをインストールしている場合は、[レイアウト] タブで [詳細設定] をクリックし、[ICMの方法] で [ICM無効] を選択します。

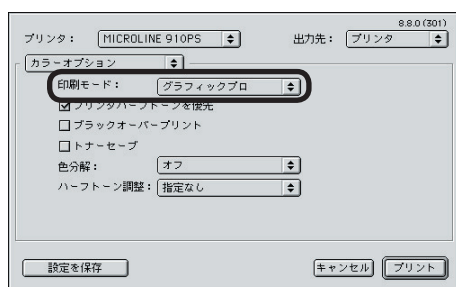
Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択します。

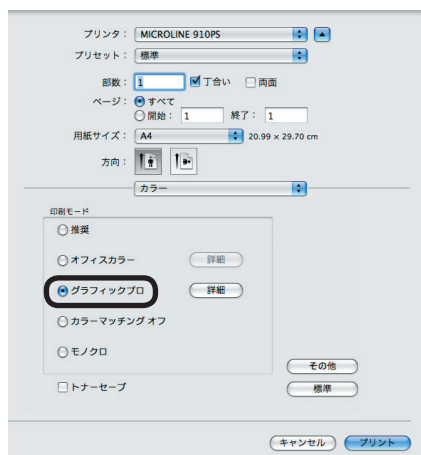
［詳細］をクリックして各種カラーマッチング設定を変更します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択します。

必要に応じて、［グラフィックプロ1］、［グラフィックプロ2］パネル内の各種カラーマッチング設定を変更します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラー］パネルの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択します。

［詳細］ボタンをクリックして［グラフィックプロ詳細設定］パネルを開き、必要に応じて各種カラーマッチング設定を変更します。

Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

「詳細」画面では以下の設定が可能です。
カラーマッチングワークフローとして [ICCプロファイルカラーマッチング]、[印刷シミュレーション]、[プロファイルの生成(測色用)]、[アプリケーションでカラーマッチング] の4つのケース用に最適化されたタスクを用意しています。

ICCプロファイルカラーマッチング

DTPアプリケーションで扱われるデータは、RGBやCMYKカラー空間で表現されたデータが混在することがあります。
このタスクボタンを選択すると、RGBデータとCMYKデータのそれぞれに対してカラーマッチングの対象となるソースデバイスのプロファイルを指定することができます。

- [RGBプロファイル]ではRGBデータの入力装置(通常モニタやデジタルカメラ)のプロファイルを選択します。標準プロファイルまたは [RGBソース1] から [RGBソース12] の中からRGBソース用に登録したプロファイルを選択します。標準では [sRGB] 装置用のプロファイルが登録されています。
- [CMYK入力プロファイル] では通常CMYKデータの最終的な出力対象となっている印刷装置 (オフセット印刷機やインクなど)のプロファイルを選択します。標準プロファイルまたは[CMYKソース1]から[CMYKソース12]の中からCMYKシミュレーション用に登録したプロファイルを選択します。標準では [JapanColor]、[SWOP]、[Euroscale] 用のプロファイルが登録されています。
- [プリンタプロファイル] ではお使いのプリンタのプロファイルを選択します。通常 [自動] を選択します。これによりプリンタにレジデントで組み込まれたお使いのプリンタ用のプロファイルが選択されます。プロファイル作成用のソフトウェアなどによりプリンタプロファイルを作成、入手可能なユーザは、[プリンタ1] から [プリンタ12] に登録したプロファイルを選択することもできます。
- [CMYKリンクプロファイル] ではCMYKデータを直接プリンタのCMYKに変換するためのリンクファイルを作成可能な上級ユーザのみ使用してください。通常はリンクファイルは使用しないでください。

印刷シミュレーション

他の出力装置 (プリンタ、オフセット印刷機、イメージセッタ) の出力結果をシミュレートする場合に選択します。
RGBデータ、CMYKデータ共にターゲットになっている印刷装置での印刷結果をシミュレートした結果となります。
ICCプロファイルカラーマッチングとの違いは、特にRGBデータに関していったんRGBプロファイルとターゲットの印刷装置間でカラーマッチングされた結果がお使いのプリンタでシミュレーションされる点となります。

プロファイルの生成(測色用)

ICC Profileを作成する場合の測色用データを印刷するために用います。このモードではカラーマッチングを施さず、かつトナー層厚制限を緩いものとしますので、正確なカラーマッチング特性を得ることが可能となります。
このモードは通常の印刷目的で使用しないでください。

アプリケーションでカラーマッチング

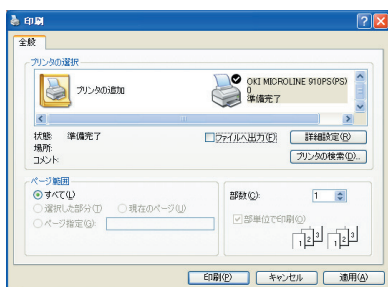
アプリケーションでカラーマッチングを行う場合に指定します。プリンタおよびドライバでのカラーマッチングを行いません。

色見本印刷をして希望色のRGB値を決める（Windows）

色見本印刷ユーティリティはプリンタでRGB色の見本を印刷するためのユーティリティです。
印刷された色見本を見ることにより、希望する色を印刷するにはアプリケーションでどのようなRGB値の指定を行えばよいかを確認することができます。

- Macintoshでは利用できません。
- 色見本印刷ユーティリティのセットアップについては、117ページをご覧ください。

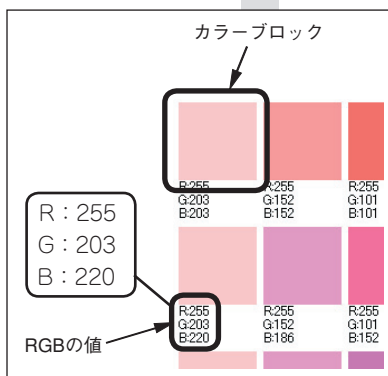
手順（1から2まであります。）

1 色見本を印刷し、印刷したい色のRGB値をメモします。

❶ ［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000では［プログラム］）-［沖データ］-［色見本印刷ユーティリティ］-［色見本印刷ユーティリティ］を選択します。

❷ ［印刷］ボタンをクリックします。

❸ プリンタを選択します。

❹ ［OK］または［印刷］をクリックします。

色見本が3ページ印刷されます。

メモ

カラーブロックの下に表示されるRGB値は、カラーブロックのR（赤）、G（緑）、B（青）の色の成分量（0～255）を表しています。

色見本に印刷したい色がない場合は？

①［切り替え］ボタンをクリックし、カスタム色見本に切り替えます。

②［詳細］ボタンをクリックし、［カスタム色見本の編集］ダイアログを表示します。

③希望の色がモニタ画面で表示されるまで3つのバーを調整し、［閉じる］をクリックします。

④［印刷］ボタンをクリックします。

⑤プリンタを選択します。

⑥［OK］または［印刷］をクリックします。
プリンタから1ページ印刷されます。

⑦色見本に希望する色が見つからない場合は、手順*1*から繰り返します。

メモ

色相
赤から緑、または青から黄色など、色味を変更します。

彩度
鮮やかさを変更します。

明度
濃さを変更します。

❺ 印刷された色見本を見て、印刷したい色のRGB値をメモします。

2 アプリケーションから希望する色を印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ アプリケーション上で、テキストやグラフィックを選択し、印刷したい色のRGB値をメモした値に変更します。

注 アプリケーション上での色の指定方法は、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

❸ 印刷します。

注 アプリケーションから希望する色を印刷する際、色見本を印刷したときに使用した設定値と同じプリンタドライバ設定値を使用してください。

パレットカラーを変更してカラーマッチングする

カラー調整ユーティリティを使用して、画面上の特定の色とプリンタの出力が近づくようにカラーマッチングすることができます。

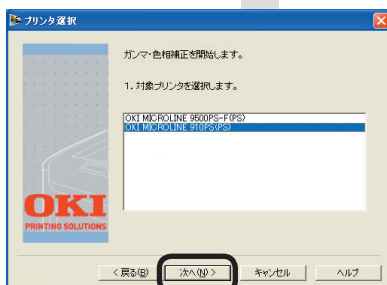
- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、117ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷はB5サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用してカラーマッチングを行う場合、コンピュータの管理者の権限が必要です。
- ［Boot Menu］の［Job Limitation］が［Encryped Job］に設定してある場合、サンプル印刷、テスト印刷機能は使用できません。［Boot Menu］の［Job Limitation］については、プリンタ機能編の「操作パネルのメニュー一覧」の「Boot Menu」をご覧ください。

カラー調整の流れ

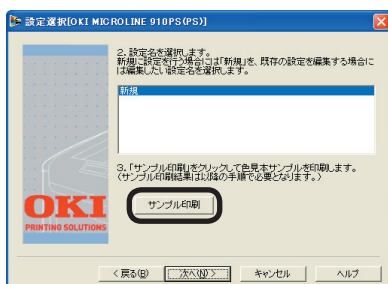
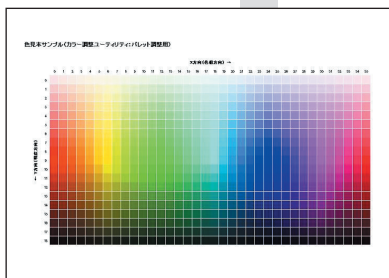
手順（*1*から*2*まであります。）

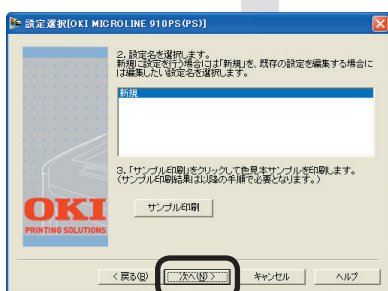
1 カラー調整ユーティリティで、カラー調整を行います。

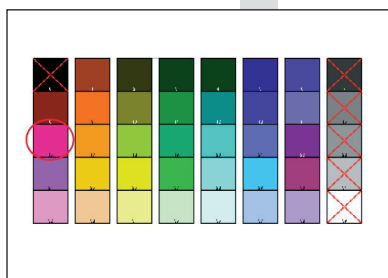
❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000では［プログラム］）-［沖データ］-［カラー調整ユーティリティ］-［カラー調整ユーティリティ］を選択します。

❷［パレットカラーを調整します］を選択し、［次へ］をクリックします。

❸「プリンタ選択」画面が表示されたら、使用するプリンタを選択し、［次へ］をクリックします。

- インストールされているプリンタドライバが表示されます。プリンタドライバごとに設定を行ってください。

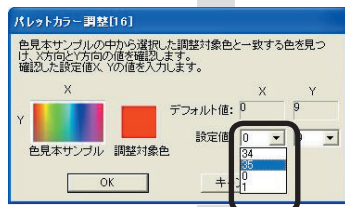
❹「設定選択」画面が表示されたら、リストボックスから設定を選択して［サンプル印刷］をクリックします。

左のような「色見本サンプル」が印刷されます。

❺［次へ］をクリックします。

「パレットカラー調整」画面が表示されます。

❻［テスト印刷］をクリックします。

「調整対象色サンプル」が印刷されます。

❼「パレットカラー調整」画面のパレット（画面色）と、印刷された「調整対象色サンプル」を比較します。異なる色があった場合、調整を行います。（以下は赤丸の部分のパレットカラーを調整する場合の例です）

《調整対象色サンプル》

《「パレットカラー調整」画面》

×印がついている色は調整できません。

❽「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

❾ X値、Y値のプルダウンで調整可能な範囲を確認します。

メモ　全体のバランスを考慮して、調整可能な範囲は色により異なります。

❿「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）に対して調整範囲内で最も希望する色を「色見本サンプル」の中から探し、X方向（色相）、Y方向（明度）の値（X値、Y値）を確認します。

⓫「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

⓬「調整値入力」画面で、❿で確認したX値とY値を選択し、[OK]をクリックします。

「パレットカラー調整」画面に戻ります。

⓭［テスト印刷］をクリックして「調整対象色サンプル」を印刷します。変更後の「調整対象色サンプル」の色が、設定した値の色見本サンプルの色に近づいているか確認し、［次へ］をクリックします。
他にも調整したい色がある場合は、❽〜⓭を繰り返します。

⓮ 設定の名前を入力し、［保存］をクリックします。

⓯［OK］をクリックします。

注 プリンタドライバのアップデート､再インストールを行った場合は､カラー調整ユーティリティを起動すると､作成したカラー調整名を再度読み込みます。［設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し､［終了］をクリックしてください。

⓰［完了］をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

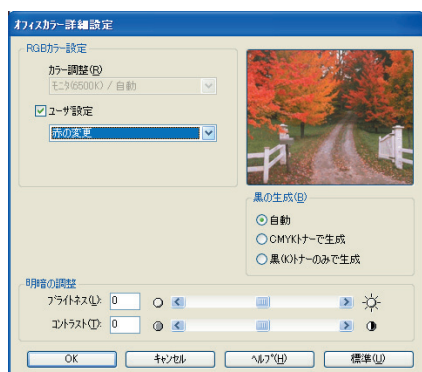
❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［カラー調整］で［ユーザ設定］にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

［印刷モード］が［オフィスカラー］の場合にのみ有効です。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［オフィスカラー］を選択し、［詳細］をクリックします。

❺ 「オフィスカラー詳細設定」画面の［RGBカラー設定］で［ユーザ設定］にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。

プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。［設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し、［終了］をクリックしてください。

ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングする

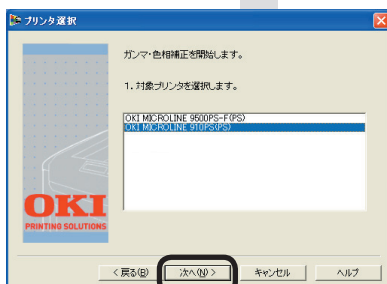
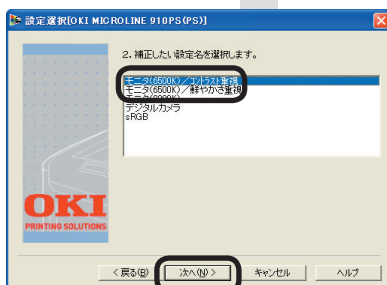
カラー調整ユーティリティを使用して、ガンマ値や色相を調整してカラーマッチングすることができます。

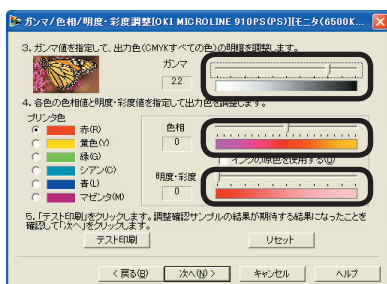
- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、117ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷はB5サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用してカラーマッチングを行う場合、コンピュータの管理者の権限が必要です。
- ［Boot Menu］の［Job Limitation］が［Encryped Job］に設定してある場合、サンプル印刷、テスト印刷機能は使用できません。［Boot Menu］の［Job Limitation］については、プリンタ機能編の「操作パネルのメニュー一覧」の「Boot Menu」をご覧ください。

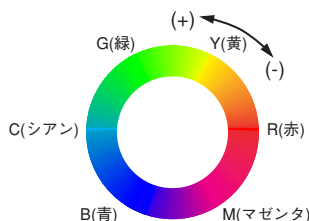
手順（*1*から*2*まであります。）

1 カラー調整ユーティリティで、ガンマ値・色相などを変更します。

❶ ［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000では［プログラム］）-［沖データ］-［カラー調整ユーティリティ］-［カラー調整ユーティリティ］を選択します。

❷ ［ガンマ·色相を補正します］を選択し、［次へ］をクリックします。

❸ 「プリンタ選択」画面が表示されたら、調整するプリンタを選択し、［次へ］をクリックします。

- インストールされているプリンタドライバが表示されます。プリンタドライバごとに設定を行ってください。

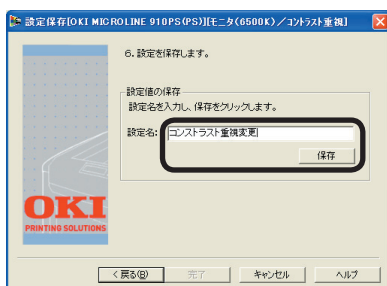
❹ リストボックスから基準となるモードを選択し、［次へ］をクリックします。

❺ ガンマ、色相、明度・彩度の各スライドバーの値を変更して調整します。

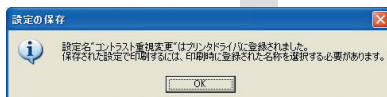
- ガンマ用スライドバーで全体の明暗を、色相/明度用スライドバーで出力色を調整できます。
- ［ガンマ］を左方向に調整するほど明るくなります。
- プリンタ色ボタンで調整対象色が切り替えられます。
- ［色相］は色相環の順方向（＋）または逆方向（−）に各色を調整します。例えば、Y(黄)のスライドバーを(＋)方向に動かすとG(緑)に近づき、(−)方向に動かすとR(赤)に近づきます。

- ［インクの原色を使用する］にチェックを付けると、プリンタの標準の色相に一致させることができ、以下のように印刷します。

色相	印刷トナー
R	イエロー50% + マゼンタ50%
Y	イエロー 100%
G	シアン50% + イエロー50%
C	シアン100%
B	マゼンタ50% + シアン50%
M	マゼンタ100%

❻ ［テスト印刷］をクリックします。

「調整確認サンプル」が印刷されます。

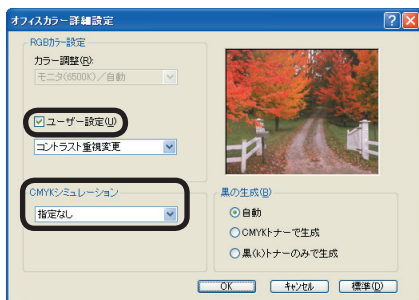
❼ 調整結果を確認し、［設定］をクリックします。
希望する調整結果が得られない場合は、手順❺、❻を繰り返します。

❽ ［保存］をクリックします。

❾ 設定の名前を入力し、［保存］をクリックします。

❿ ［OK］をクリックします。

プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。［設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し、［完了］をクリックしてください。

［完了］をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタドライバで設定名を選択して印刷します。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［カラー調整］で［ユーザ設定］にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

［印刷モード］が［オフィスカラー］の場合にのみ有効です。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［オフィスカラー］を選択し、［詳細］をクリックします。

❺ 「オフィスカラー詳細設定」画面の［RGBカラー設定］で［ユーザ設定］にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。

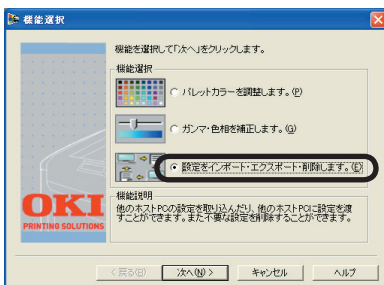
プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。［設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し、［完了］をクリックしてください。

カラー調整の設定をファイルに保存する（Windows）

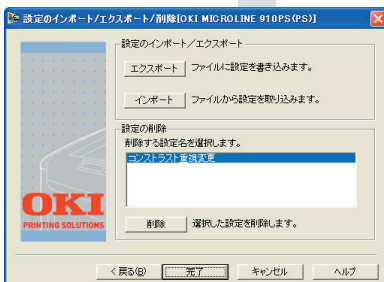
カラー調整ユーティリティで設定した内容をファイルに保存できます。

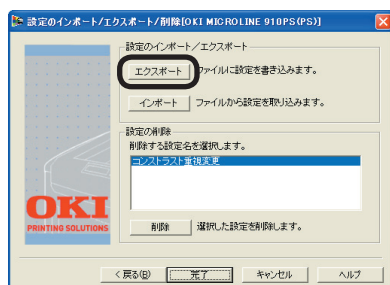
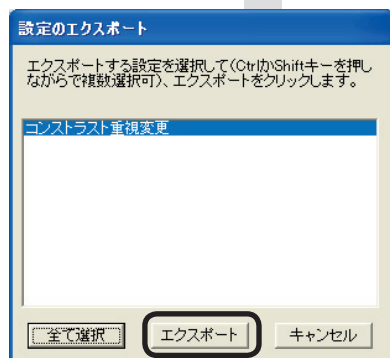
- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、117 ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は B5 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用するには、コンピュータの管理者の権限が必要です。

手順（*1* から *2* まであります。）

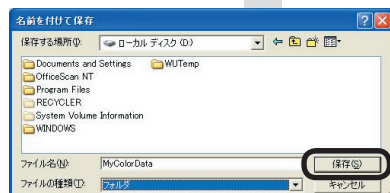
1 カラー調整ユーティリティを起動します。

❶ ［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［カラー調整ユーティリティ］-［カラー調整ユーティリティ］を選択します。

❷ ［設定のインポート・エクスポート・削除します］を選択し、［次へ］をクリックします。

❸ 設定を保存したいプリンタを選択し、［次へ］をクリックします。

「設定のインポート/エクスポート/削除」画面が表示されます。

2 設定を保存します。

❶ ［エクスポート］をクリックします。

❷「設定のエクスポート」画面で設定リストからエクスポートしたい設定を選択し、［エクスポート］をクリックします。

メモ　Ctrl キーまたは Shift キーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

❸ 保存場所を選択し、設定用のフォルダ名を入力して［保存］をクリックします。

❹ ［OK］をクリックします。

❺ カラー調整ユーティリティを終了します。

カラー調整の設定をファイルから読み込む（Windows）

カラー調整ユーティリティで設定した内容をファイルから読み込むことができます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、117 ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は B5 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用するには、コンピュータの管理者の権限が必要です。

手順（*1* から *2* まであります。）

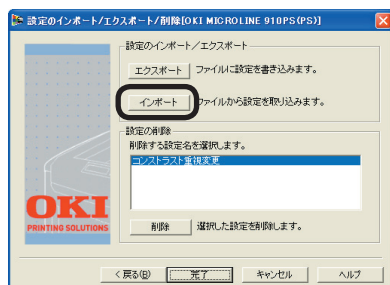
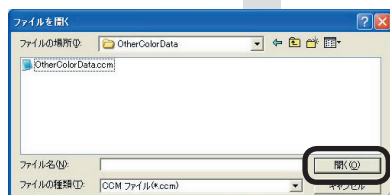
1 カラー調整ユーティリティを起動します。

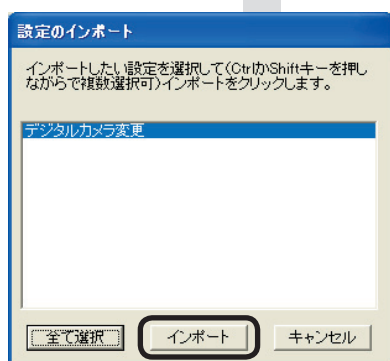
❶ ［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［カラー調整ユーティリティ］-［カラー調整ユーティリティ］を選択します。

❷ ［設定のインポート・エクスポート・削除します］を選択し、［次へ］をクリックします。

❸ 設定を保存したいプリンタを選択し、［次へ］をクリックします。

「設定のインポート/エクスポート/削除」画面が表示されます。

2 設定を保存します。

❶ ［インポート］をクリックします。

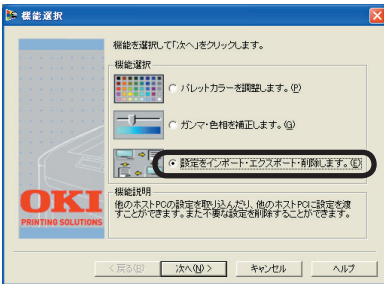
❷ 読み込みたい設定が保存されているフォルダ内の“.CCM”ファイルを選択し、［開く］をクリックします。

❸「設定のインポート」画面の設定リストからインポートしたい設定を選択し、［インポート］をクリックします。

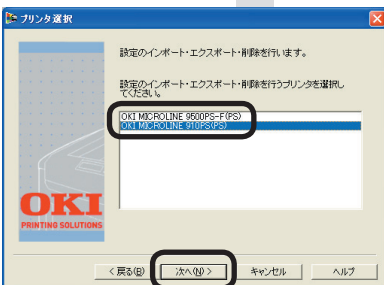
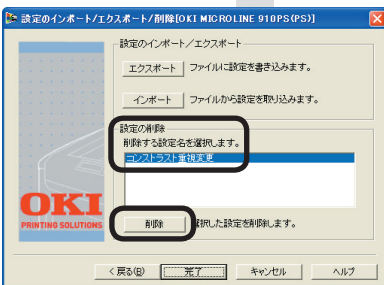
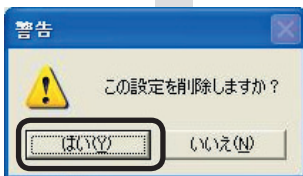
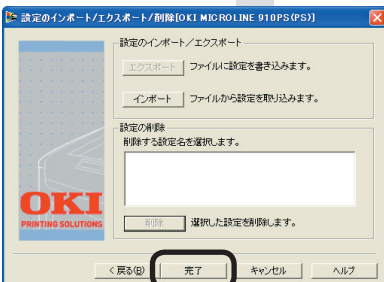
メモ

Ctrl キーまたは Shift キーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

❹ 設定が読み込めたことを確認し、［完了］をクリックします。

カラー調整の設定を削除する（Windows）

不要になったカラー調整を削除できます。

❶ ［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［カラー調整ユーティリティ］-［カラー調整ユーティリティ］を選択します。

❷ ［設定のインポート・エクスポート・削除します］を選択し、［次へ］をクリックします。

❸ 設定を削除したいプリンタを選択し、［次へ］をクリックします。

❹ 削除したい設定をリストから選択し、［削除］をクリックします。

❺ ［はい］をクリックし、設定を削除します。

❻ 設定が削除されたことを確認し、［完了］をクリックします。

パレットカラーを変更してカラーマッチングする

カラー調整ユーティリティを使用して、Microsoft Excel や Word などで選択したパレットの色を調整範囲内で指定することができます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、118 ページをご覧ください。
- PPD ファイルごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は A4 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- [Boot Menu] の [Job Limitation] が [Encrypted Job] に設定してある場合、サンプル印刷、テスト印刷機能は使用できません。[Boot Menu] の [Job Limitation] については、プリンタ機能編の「操作パネルのメニュー一覧」の「Boot Menu」をご覧ください。

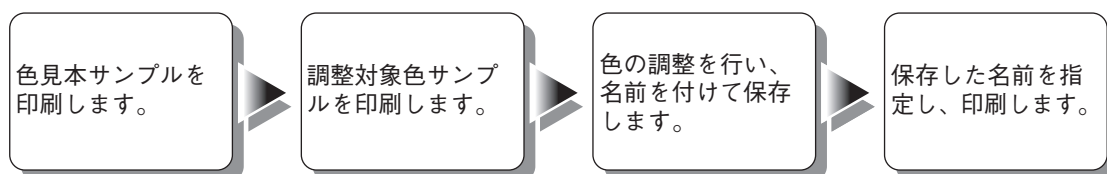
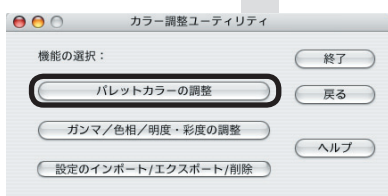
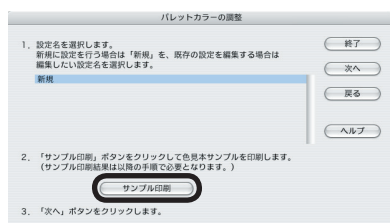
カラー調整の流れ

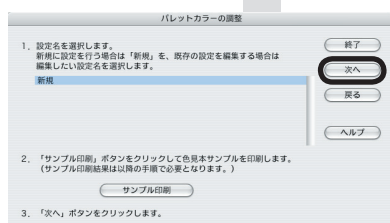
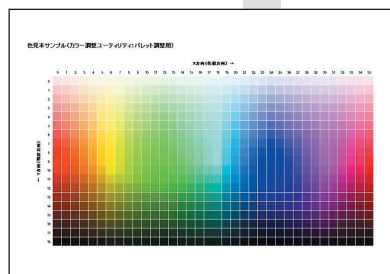
手順 (*1* から *2* まであります。)

1 カラー調整ユーティリティで、カラー調整を行います。

❶ [アプリケーション (MacOS 9.1以上の場合は、Applications (MacOS 9))] - [OKIDATA] - [カラー調整ユーティリティ] - [MICROLINE 910PS] - [カラー調整ユーティリティ] をダブルクリックします。

❷ 対象プリンタを選択し、[PPDファイルの選択] をクリックしてPPDファイルを選択します。

メモ
カラー調整ユーティリティの設定は、ここで選択したPPDに保存されます。

❸ [パレットカラーの調整] をクリックします。

❹「パレットカラーの調整」画面が表示されたら、リストボックスから設定を選択して［サンプル印刷］をクリックします。

左のような「色見本サンプル」が印刷されます。

❺［次へ］をクリックします。

❻［テスト印刷］をクリックします。

画面左下部に❷で選択した PPD ファイル名が表示されます。

左のような「調整対象色サンプル」が印刷されます。

×印がついている色は調整できません。

❼ 「パレットカラー調整」画面のパレット（画面色）と、印刷された「調整対象色サンプル」を比較します。異なる色があった場合、調整を行います。（以下は赤丸の部分のパレットカラーを調整する場合の例です）

《調整対象色サンプル》

《「パレットカラー調整」画面》

❽ 「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

❾ X 値、Y 値のプルダウンで調整可能な範囲を確認します。

メモ　全体のバランスを考慮して、調整可能な範囲は色により異なります。

4

カラーを調整する

❿「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）に対して調整範囲内で最も希望する色を「色見本サンプル」の中から探し、X 方向（色相）、Y 方向（明度）の値（X 値、Y 値）を確認します。

⓫「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

⓬「調整値入力」画面で、❾で確認した X 値と Y 値を選択し、[OK] をクリックします。

「パレットカラー調整」画面に戻ります。

⓭［テスト印刷］をクリックして「調整対象色サンプル」を印刷します。変更後の「調整対象色サンプル」の色が、設定した値の色見本サンプルの色に近づいているか確認し、［次へ］をクリックします。
他にも調整したい色がある場合は、❽～⓭を繰り返します。

⓮ 設定の名前を入力し、［保存］をクリックします。

⑮ ❷で選択したPPDファイルに設定を保存する場合は、[保存]をクリックします。

「認証」画面が表示された場合は、管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力します（OS X のみ）。

[キャンセル]をクリックすると、設定はユーティリティにもPPDファイルにも保存されません。

⑯ [終了］をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

⑰ Mac OS X の場合、[プリンタ設定ユーティリティ］に登録されているカラー調整を行ったプリンタを一旦削除し、プリンタを再登録します。

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ [カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［オフィスカラー］を選択します。

❹ [オフィスカラー］パネルの［ユーザーカラー調整］で､カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラー］パネルの［印刷モード］で［オフィスカラー］を選択します。

メモ

Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

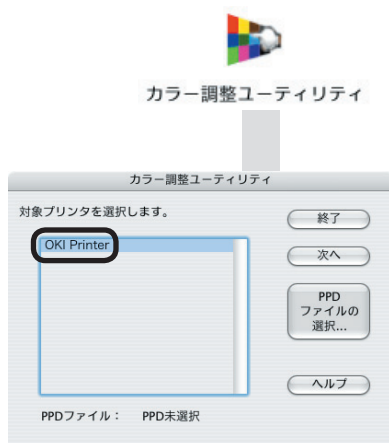
❹ ［詳細］ボタンをクリックして［オフィスカラー詳細設定］パネルを開き、［ユーザカラー調整］で、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングする

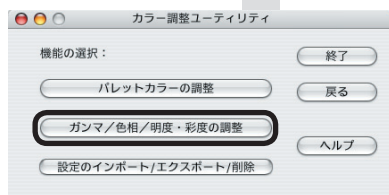
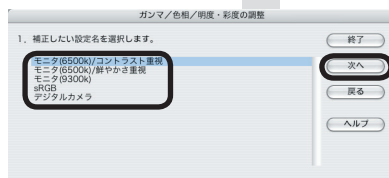
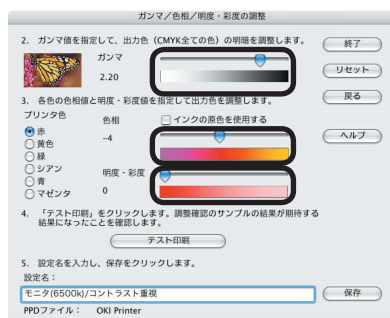
カラー調整ユーティリティを使用して、ガンマ値や色相を調整してカラーマッチングすることができます。

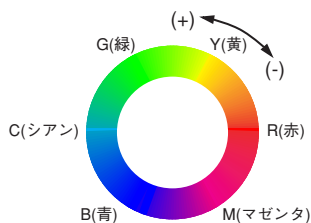
- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、118 ページをご覧ください。
- PPD ファイルごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は A4 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- ［Boot Menu］の［Job Limitation］が［Encrypted Job］に設定してある場合、テスト印刷機能は使用できません。［Boot Menu］の［Job Limitation］については、プリンタ機能編の「操作パネルのメニュー一覧」の「Boot Menu」をご覧ください。

手順（*1* から *2* まであります。）

1 カラー調整ユーティリティで、ガンマ値・色相などを変更します。

❶［アプリケーション（MacOS 9.1 以上の場合は、Applications（MacOS 9)）］-［OKIDATA］-［カラー調整ユーティリティ］-［MICROLINE 910PS］-［カラー調整ユーティリティ］をダブルクリックします。

❷ 対象プリンタを選択し、［PPD ファイルの選択］をクリックして PPD ファイルを選択します。

メモ　カラー調整ユーティリティの設定は、ここで選択した PPD に保存されます。

❸［ガンマ/色相/明度・彩度の調整］をクリックします。

❹「ガンマ / 色相 / 明度・彩度の調整」画面が表示されたら、リストボックスから基準となるモードを選択し、［次へ］をクリックします。

❺ ガンマ、色相、明度・彩度の各スライドバーの値を変更して調整します。

- 画面左下部に❷で選択した PPD ファイル名が表示されます。
- ガンマ用スライドバーで全体の明暗を、色相 / 明度用スライドバーで出力色を調整できます。
- ［ガンマ］を左方向に調整するほど明るくなります。
- プリンタ色ボタンで調整対象色が切り替えられます。
- ［色相］は色相環の順方向（＋）または逆方向（－）に各色を調整します。例えば、Y(黄)のスライドバーを(＋)方向に動かすと G(緑)に近づき、(－)方向に動かすと R(赤)に近づきます。

- ［インクの原色を使用する］は、トナーの原色 100%の色が使用されるように調整します。ここをチェックした場合、その色に関しては［色相］スライドバーは固定され、次のようなトナー配合で印刷されるように調整します。

プリンタ色	結　果
シアン(C)	シアントナー 100%
マゼンタ(M)	マゼンタトナー 100%
イエロー(Y)	イエロートナー 100%
赤(R)	マゼンタトナー 100% + イエロートナー 100%
緑(G)	シアントナー 100% + イエロートナー 100%
青(B)	シアントナー 100% + マゼンタトナー 100%

❻ ［テスト印刷］をクリックします。

「調整確認サンプル」が印刷されます。

❼ 調整結果を確認し、［設定］をクリックします。
希望する調整結果が得られない場合は、手順❺、❻を繰り返します。

❽ 設定名を入力し、［保存］をクリックします。

❾ ❷で選択したPPDファイルに設定を保存する場合は、［保存］をクリックします。

「認証」画面が表示された場合は、管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力します（OS X のみ）。

［キャンセル］をクリックすると、設定はユーティリティにもPPDファイルにも保存されません。

❿ カラー調整ユーティリティを終了します。

⓫ Mac OS X の場合、［プリンタ設定ユーティリティ］に登録されているカラー調整を行ったプリンタを一旦削除し、プリンタを再登録します。

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［オフィスカラー］を選択します。

❹ ［オフィスカラー］パネルの［ユーザーカラー調整］で、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラー］パネルの［印刷モード］で［オフィスカラー］を選択します。

Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▽］ボタンをクリックしてください。

❹［詳細］ボタンをクリックして［オフィスカラー詳細設定］パネルを開き、［ユーザカラー調整］で、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

カラー調整の設定をファイルに保存する（Macintosh）

カラー調整ユーティリティで設定した内容をファイルに保存できます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、118 ページをご覧ください。
- PPD ファイルごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は A4 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。

手順（*1* から *2* まであります。）

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

❶ ［アプリケーション（MacOS 9.1 以上の場合は、Applications（MacOS 9)）］ - ［OKIDATA］ - ［カラー調整ユーティリティ］ - ［MICROLINE 910PS］ - ［カラー調整ユーティリティ］をダブルクリックします。

❷ 対象プリンタを選択し、［PPD ファイルの選択］をクリックして PPD ファイルを選択します。

❸ ［設定のインポート / エクスポート / 削除］をクリックします。

2 設定を保存します。

❶ ［エクスポート］をクリックします。

画面左下部に手順 1 の❷で選択した PPD ファイル名が表示されます。

❷「エクスポート」画面で設定リストからエクスポートしたい設定を選択し、［エクスポート］をクリックします。

メモ　Shift キーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

❸ 保存場所を選択し、設定用のフォルダ名を入力して［保存］をクリックします。

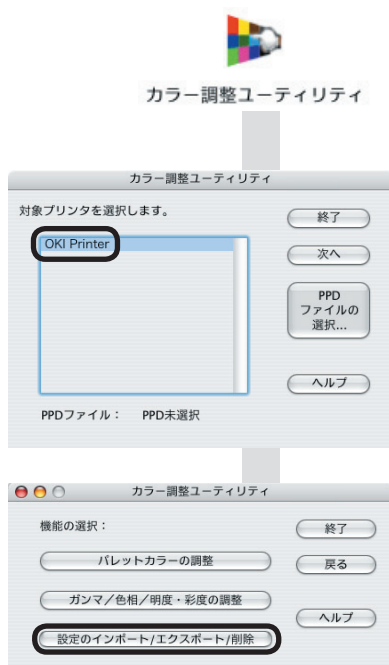
❹ カラー調整ユーティリティを終了します。

カラー調整の設定をファイルから読み込む（Macintosh）

カラー調整ユーティリティで設定した内容をファイルから読み込むことができます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、118 ページをご覧ください。
- PPD ファイルごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は A4 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。

手順（*1* から *2* まであります。）

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

❶［アプリケーション（MacOS 9.1 以上の場合は、Applications（MacOS 9））］-［OKIDATA］-［カラー調整ユーティリティ］-［MICROLINE 910PS］-［カラー調整ユーティリティ］をダブルクリックします。

❷ 対象プリンタを選択します。

❸［PPD ファイルの選択］をクリックして PPD ファイルを選択します。

❹［設定のインポート / エクスポート / 削除］をクリックします。

2 設定を保存します。

❶［エクスポート］をクリックします。

メモ　画面左下部に手順 1 の❷で選択した PPD ファイル名が表示されます。

❷ 読み込みたい設定が保存されているフォルダ内の“.ccm”ファイルを選択し、［開く］をクリックします。

❸「インポート」画面の設定リストからインポートしたい設定を選択し、［インポート］をクリックします。

メモ　Shift キーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

❹ ❸で選択したPPDファイルに設定を保存する場合は、［保存］をクリックします。

「認証」画面が表示された場合は、管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力します（OS X のみ）。

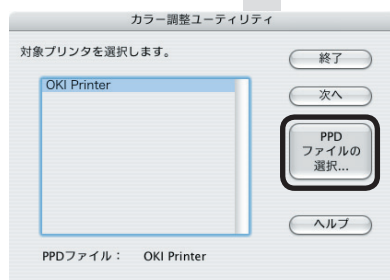
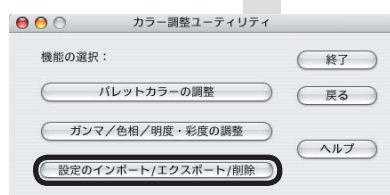
［キャンセル］をクリックすると、設定はユーティリティにもPPDファイルにも保存されません。

❺「パレットカラーの調整」および「ガンマ / 色相 / 明度・彩度の調整」画面で設定が読み込めたことを確認し、カラー調整ユーティリティを終了します。

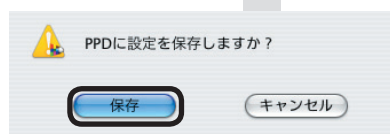
カラー調整の設定を削除する（Macintosh）

不要になったカラー調整を削除できます。

❶ ［アプリケーション（MacOS 9.1以上の場合は、Applications（MacOS 9））］-［OKIDATA］-［カラー調整ユーティリティ］-［MICROLINE 910PS］-［カラー調整ユーティリティ］をダブルクリックします。

❷ 対象プリンタを選択します。

❸ ［PPDファイルの選択］をクリックしてPPDファイルを選択します。

❹ ［設定のインポート / エクスポート / 削除］をクリックします。

❺ 削除したい設定をリストから選択し、［削除］をクリックします。

メモ 画面左下部に❸で選択した PPD ファイル名が表示されます。

PPDに設定を保存しますか？
保存 キャンセル

❻ ❸で選択した PPD ファイルに設定を保存する場合は、［保存］をクリックします。

「認証」画面が表示された場合は、管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力します（OS X のみ）。

［キャンセル］をクリックすると、設定はユーティリティにも PPD ファイルにも保存されません。

❼ 「パレットカラーの調整」および「ガンマ/色相/明度・彩度の調整」画面で設定が削除されたことを確認し、カラー調整ユーティリティを終了します。

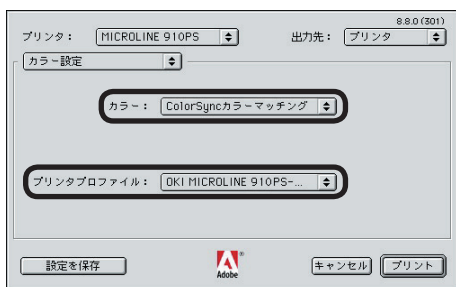
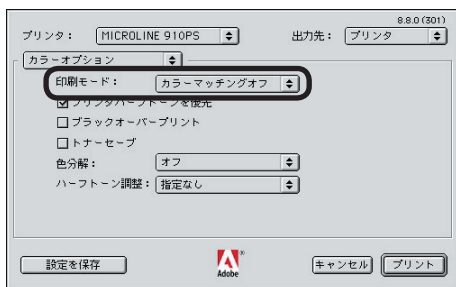
MacintoshのColorSyncを使う

・アプリケーションが「ColorSync」に対応している必要があります。
・モニタのキャリブレーション、ICC プロファイル設定が完了していることを確認してください。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラー設定］パネルの［カラー］で［Color Syncカラーマッチング］を選択します。
［プリンタプロファイル］で［OKI MICROLINE 910PS Multi］、［OKI MICROLINE 910PS 1200dpi］または［OKI MICROLINE 910PS 600dpi］を選択します。

❹［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［カラーマッチングオフ］を選択します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［ColorSync］パネルの［Quartzフィルタ］で［フィルタを追加］を選択し、新規にフィルタを作成します。

❹［ColorSync］パネルの［Quartzフィルタ］で設定を選択します。

Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▽］ボタンをクリックしてください。

黒の部分の仕上りを変更する

カラーで印刷するときの黒の部分の仕上りを変えられます。
印刷モードが［オフィスカラー］または［グラフィックプロ］の場合に利用できます。

メモ　黒の生成

・自動
　印刷するドキュメントに合わせて最適な方法で黒を生成します。印刷モードが［オフィスカラー］の場合のみ選択できます。
・CMYKトナーで生成
　シアン、マゼンタ、イエロー、黒のトナーで黒を合成します。茶色に近い黒になります。写真に適しています。
・黒（K）トナーのみで生成
　黒トナーのみで黒を印刷します。図形、文字に適しています。写真を印刷すると暗い部分が黒っぽくなることがあります。

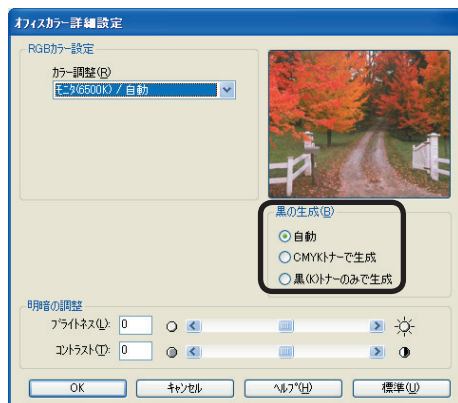
メモ　テキストとグラフィックスに純ブラックを使用

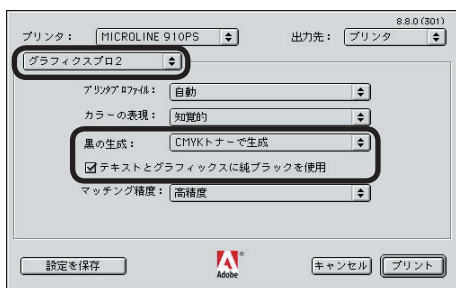
テキストやグラフィックスにRGB色空間で定義されたブラック（R=0、G=0、B=0）またはCMYK色空間で定義されたブラック（C=0、M=0、Y=0、K=100%）が指定されている場合に、黒（K）トナーのみで印刷するかどうかを指定します。
・オン
　黒指定のテキストやグラフィックスを黒（K）トナーのみで印刷します。
・オフ
　黒指定のテキストやグラフィックスはカラーマッチングに指定しているプロファイルに依存して黒（K）トナーのみまたはCMYKで合成された黒になります。

4
カラーを調整する

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）
4. ［カラー］タブの［印刷モード］で［オフィスカラー］または［グラフィックプロ］を選択し、［詳細］をクリックします。
5. ［黒の生成］から適当な項目を選択します。
［グラフィックスプロ］モードではさらに［テキストとグラフィックスに純ブラックを使用］に対しても適当な項目を選択します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）
4. ［カラー］タブの［印刷モード］で［オフィスカラー］または［グラフィックプロ］を選択し、［詳細］をクリックします。
5. ［黒の生成］から適当な項目を選択します。
［グラフィックスプロ］モードではさらに［テキストとグラフィックスに純ブラックを使用］に対しても適当な項目を選択します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

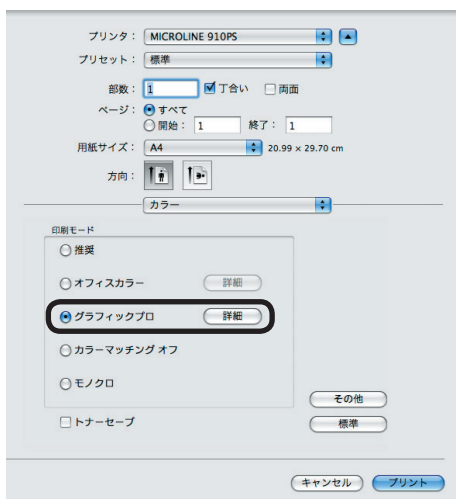
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［オフィスカラー］または［グラフィックプロ］を選択します。

❹ ［オフィスカラー］パネルもしくは［グラフィックスプロ2］パネルを選択します。

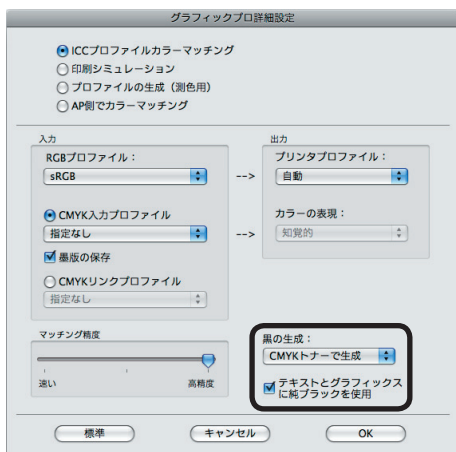
❺ ［黒の生成］から適当な項目を選択します。
［グラフィックプロ］モードではさらに［テキストとグラフィックスに純ブラックを使用］に対しても適当な項目を選択します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

アプリケーションによっては利用できないことがあります。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

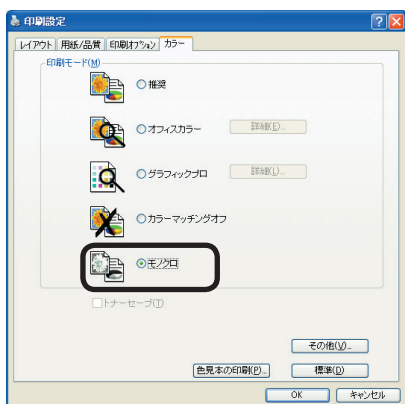
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラー］パネルの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択します。

メモ Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

❹ ［詳細］ボタンをクリックし、［黒の生成］から適当な項目を選択します。さらに［テキストとグラフィックスに純ブラックを使用］に対しても適当な項目を選択します。

カラーデータをモノクロ（白黒）で印刷する

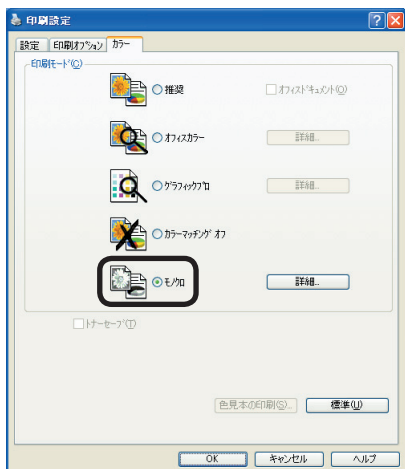
印刷データに手を加えることなく、カラーデータをグレースケール（階調のある白黒）で印刷します。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

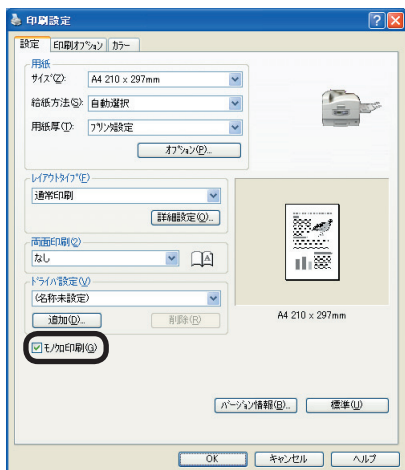
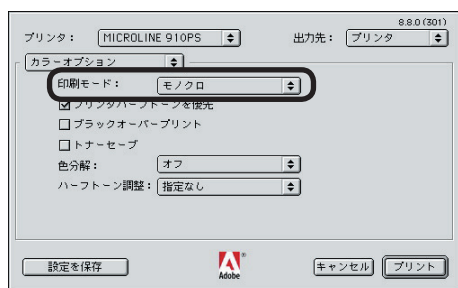
❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

❹［カラー］タブの［印刷モード］で［モノクロ］を選択します。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

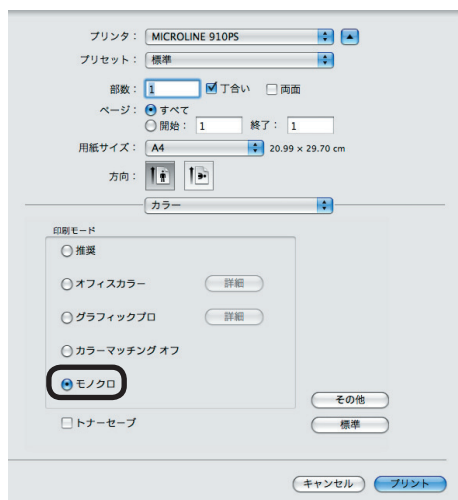
❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

❹［カラー］タブの［印刷モード］で［モノクロ］を選択します。
または、［設定］タブの［モノクロ印刷］にチェックを付けます。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［モノクロ］を選択します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

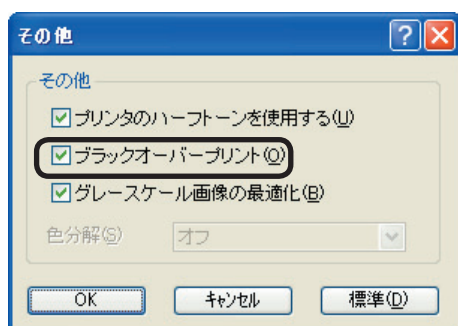
❸［カラー］パネルの［印刷モード］で［モノクロ］を選択します。

メモ　Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

文字と背景の間にできる白いふちをなくす（ブラックオーバープリント）

黒100%の文字を色の付いた背景上に描画する場合に、文字と背景部分を重ねあわせて印刷（オーバープリント）することができます。文字と背景の境界に白すじなどの隙間ができた場合に設定してください。

- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- 文字が黒100%でない場合や、文字がアウトライン抽出等によりグラフィックス化されている場合やイメージとなっている場合には利用できません。
  例えば、Windows Vista/Server 2008/XP/Server 2003/2000でMicrosoft Officeアプリケーションを使用する場合、TrueTypeフォントを使用して大きな文字を印刷すると、アプリケーション側で文字をグラフィックイメージに置き換えるため、ブラックオーバープリントが効かないことがあります。この場合はプリンタ内蔵フォントを指定してください。
- 背景の色が濃い場合（トナー層厚として240%を超える場合）にはトナーがきちんと定着しないことがあります。例えば、シアン50%、マゼンタ50%、イエロー50%の背景色の上に黒100%の文字を描画すると、トナー層厚は50+50+50+100=250%となり、240%を超えることになります。

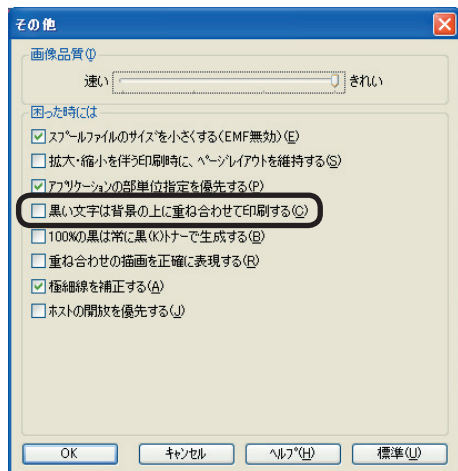
Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［その他］をクリックします。

❺ ［ブラックオーバープリント］にチェックを付けます。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

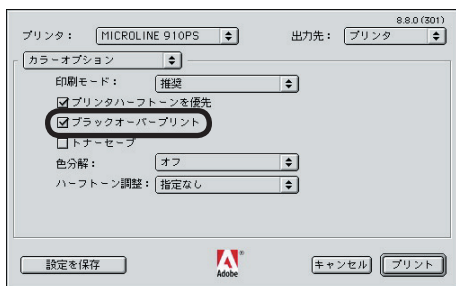
❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［その他］をクリックします。

❺ ［黒い文字は背景の上に重ね合わせて印刷する］にチェックを付けます。

注

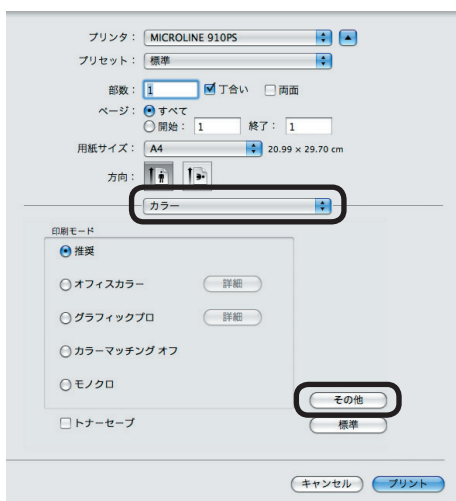
［印刷品位］が［高精細］の場合は、［黒い文字は背景の上に重ね合わせて印刷する］および［重ね合わせの描画を正確に表現する］の設定はON固定となります。
［重ね合わせの描画を正確に表現する］の設定をONに設定した場合は、［黒い文字は背景の上に重ね合わせて印刷する］の設定はON固定となります。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラーオプション］パネルの［ブラックオーバープリント］にチェックを付けます。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

 アプリケーションによっては利用できないことがあります。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

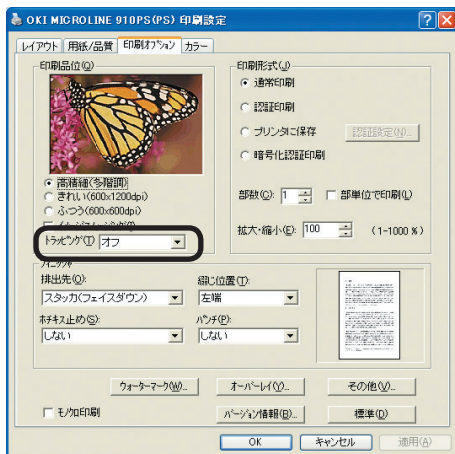
❸ ［カラー］パネルの［その他］ボタンをクリックして［その他］パネルを開き、［ブラックオーバープリント］にチェックを付けます。

 Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

版ズレの校正を行いたい（トラッピング）

トラッピングによる版ズレ校正を行うかどうかを指定します。
版ズレによって2つの重なり合うオブジェクト間に白すじや色のすじができる場合に使用します。

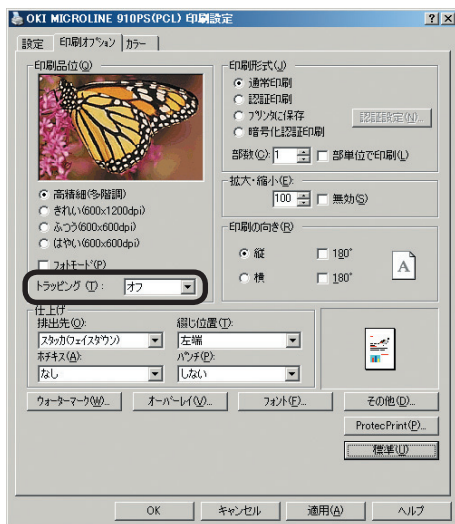
「印刷品位 : 高精細 (多階調)」が指定されている場合にのみ有効です。
前景オブジェクトが黒 100% のテキストの場合に白すじが発生する場合には、「ブラックオーバープリント」チェックボックスをチェックして印刷ください。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

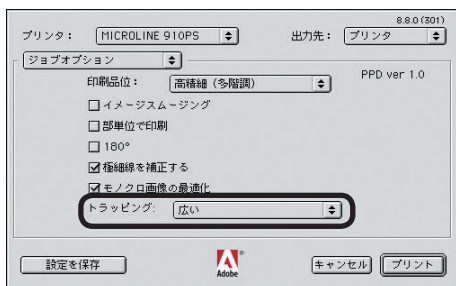
❹ ［印刷オプション］タブの［トラッピング］を変更します。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

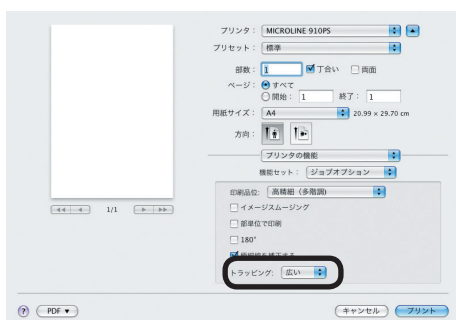
❹ ［印刷オプション］タブの［トラッピング］を変更します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［ジョブオプション］パネルの［トラッピング］を変更します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

アプリケーションによっては利用できないことがあります。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

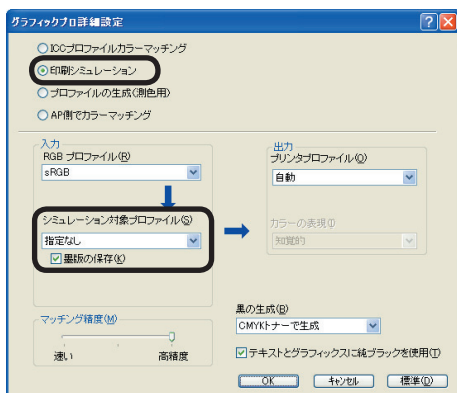
❸ ［プリンタの機能］パネルの［ジョブオプション］機能セットの［トラッピング］を変更します。

メモ　Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

印刷用インクで印刷結果をシミュレートする

CMYK カラーデータを調整してオフセット印刷等で使用されるインクの特性をプリンタでシミュレートします。

- Mac OS X プリンタドライバでは、アプリケーションによっては利用できないことがあります。
- ［印刷モード］が［オフィスカラー］または［グラフィックプロ］のとき有効になります。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択し、［詳細］をクリックします。

❺ ［印刷シミュレーション］を選択し、［シミュレーション対象プロファイル］でシミュレートしたいインク特性を選択します。

ビジネス文書などの場合、❹、❺の手順で［カラー］タブの［オフィスカラー］を選択して［詳細］をクリックし、［CMYKシミュレーション］でシミュレートしたいインク特性を選択することもできます。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択します。

❹ ［グラフィックプロ1］パネルの［カラーマッチングタスク］で［印刷シミュレーション］を選択し、［シミュレーション対象プロファイル］でシミュレーションしたいインク特性を選択します。

メモ

ビジネス文書などの場合、❸、❹の手順で［カラーオプション］パネルの印刷モードで［オフィスカラー］を選択し、［オフィスカラー］パネルの［CMYKシミュレーション］でシミュレートしたいインク特性を選択することもできます。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

アプリケーションによっては利用できないことがあります。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

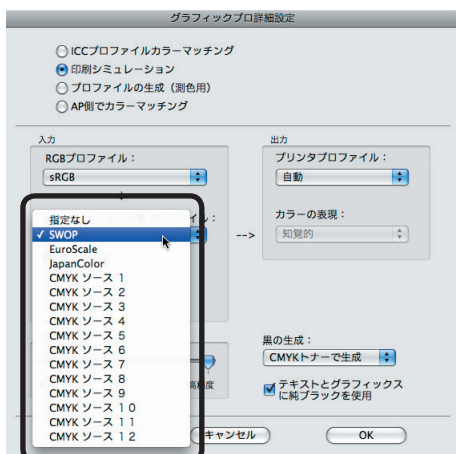
❸［カラー］パネルの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択します。

❹［詳細］ボタンをクリックして［グラフィックプロ詳細設定］パネルを開き、［印刷シミュレーション］を選択します。

Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

❺［シミュレーション対象プロファイル］でシミュレーションしたいインク特性を選択します。

メモ

ビジネス文書などの場合、❸、❹、❺の手順で［カラー］パネルの印刷モードで［オフィスカラー］を選択し、［詳細］ボタンをクリックして［オフィスカラー詳細設定］パネルを開き、［CMYKシミュレーション］でシミュレートしたいインク特性を選択することもできます。

注

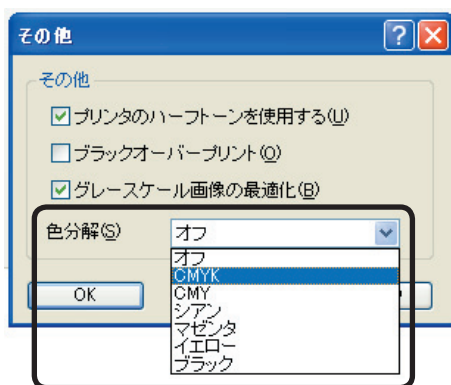
Mac OS Xに添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションでどの印刷モードを指定しても、「PostScriptカラーマッチング」で動作します。Mac OS X上では、この機能はRGBカラースペースやCMYKカラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

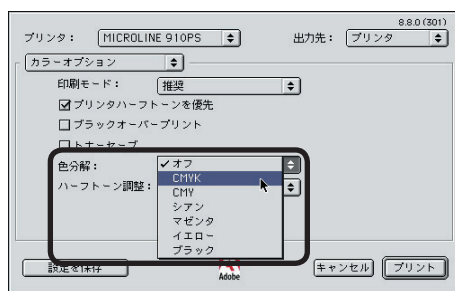
分版印刷をする

アプリケーションが分版印刷の機能を持っていなくても、「シアン」、「マゼンタ」、「イエロー」、「ブラック」の4色に色分解印刷を行うことができます。

Illustratorを使用する場合は、アプリケーションの分版印刷機能を使用し、プリンタドライバの設定はカラーマッチングオフにしてください。

色分解の機能は版下作成用です。指定された各原色の版を黒トナーで印刷します。それぞれの原色インクで印刷する機能ではありません。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［詳細設定］をクリックします。
   （Windows 2000では、この操作は必要ありません。）
4. ［カラー］タブの［その他］ボタンをクリックします。
5. ［色分解］で分版印刷したい色を選択します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
3. ［カラーオプション］パネルの［色分解］で分版印刷したい色を選択します。

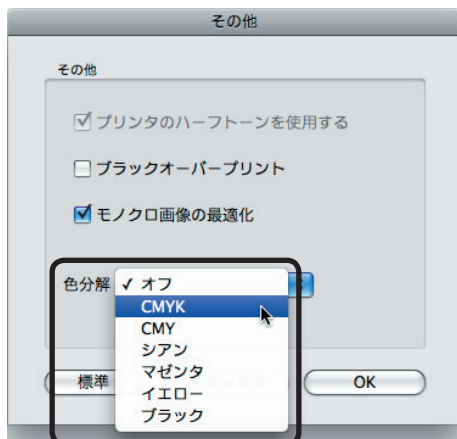
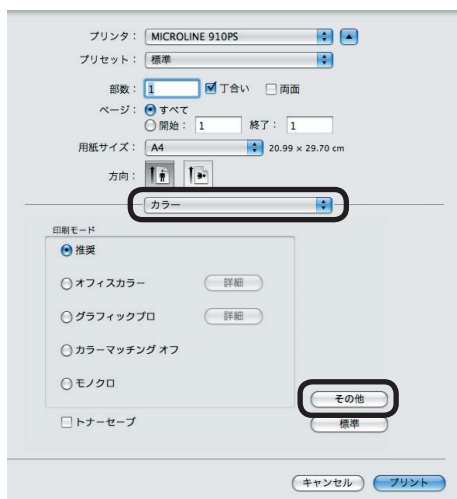
Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラー］パネルの［その他］ボタンをクリックして［その他］パネルを開き、［色分解］で分版印刷したい色を選択します。

メモ

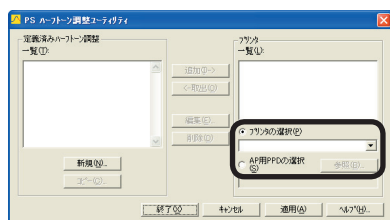
Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

PSハーフトーン調整ユーティリティを使って印刷濃度を調整する

プリンタのCMYK各色のハーフトーン濃度を調整することができます。
写真などの画像が濃すぎる場合に調整してください。

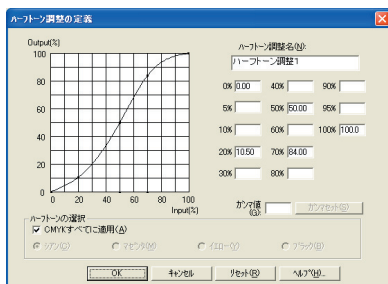
- 「PSハーフトーン調整ユーティリティ」のセットアップについては、117ページをご覧ください。
- Windowsでは［ハーフトーン調整名］を登録後、プリンタドライバの［カラー］タブに［ハーフトーン調整］メニューまたはその内容が表示されない場合があります。この場合はコンピュータを再起動してください。
- ハーフトーン調整を使用すると、印刷が遅くなる場合があります。速度を優先する場合は、［ハーフトーン調整］で［指定なし］を選択してください。
- Adobe PageMaker7.0J/6.5Jの場合は、［プリント］ダイアログの［形式］で［プリンタ名］を選択してから［プリンタ特性］をクリックし、［ハーフトーン調整］で「ハーフトーン調整名」を指定してください。
- 「ハーフトーン調整名」を登録する以前に起動していたアプリケーションは、印刷前に再起動する必要があります。
- アプリケーションによっては、ドットゲインの補正やハーフトーン調整を印刷時に指定したり、またはEPSファイルにその設定を含める機能を持つものがあります。アプリケーション側のこのような機能を利用する場合は、［ハーフトーン調整］で［指定なし］を選択してください。
- 「PSハーフトーン調整ユーティリティ」の「プリンタの選択」リストには機種名が表示されます。［プリンタとFAX］（Windows 2000では［プリンタ］）フォルダに複数の同一機種プリンタが存在する場合は、登録した「ハーフトーン調整名」はすべての同一機種プリンタに有効となります。
- 印刷品位で「高精細（多階調）」を選択している場合には［ハーフトーン調整］の設定は有効になりません。印刷品位で「きれい（600×1200dpi）」または「ふつう（600×600dpi）」を指定してください。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

手順（1から2まであります。）

1 ハーフトーン調整名を登録します。

❶ ［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000では［プログラム］）-［沖データ］-［PSハーフトーン調整ユーティリティ］-［PSハーフトーン調整ユーティリティ］を選択します。

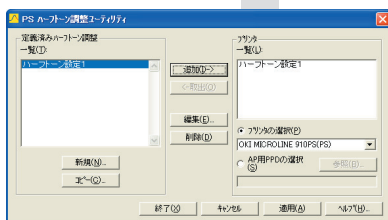
❷ ［プリンタの選択］からプリンタを選択します。

アプリケーション（Adobe PageMaker等）によっては印刷時に独自に用意されたPPDファイルを使用するものがあります。この場合は［AP用PPDの選択］を選択し、［参照］をクリックしてアプリケーションの使用するPPDファイルを選択します。

❸ ［新規］をクリックします。

❹ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力してから［OK］をクリックします。
各色ごとに調整するときは、［CMYKすべてに適用］のチェックを外し、調整する色にチェックを付けます。

- グラフ線を直接操作する。
  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。
- ガンマ値を入力する。
  ガンマ値を入力し、［ガンマセット］をクリックします。自動的に13の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は0.01から99.99まで指定できます。1.0より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。
- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

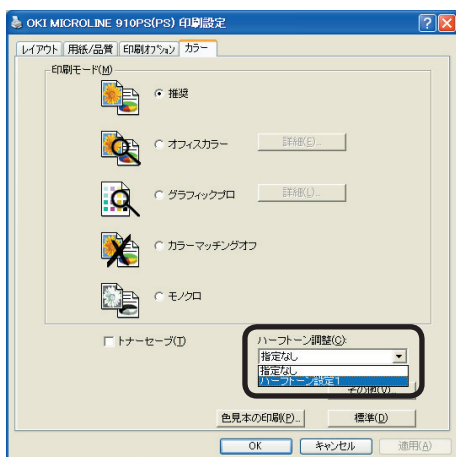
〈調整の目安〉

赤を濃くする場合 シアンの値を上げます。
青を濃くする場合 イエローの値を上げます。
緑を濃くする場合 マゼンタの値を上げます。
赤を薄くする場合 シアンの値を下げます。
青を薄くする場合 イエローの値を下げます。
緑を薄くする場合 マゼンタの値を下げます。

❺ ［追加→］をクリックします。
ハーフトーン調整名が［プリンタ］の［一覧］に表示されます。

❻ ［適用］をクリックします。
1つのPPDファイルに最大6つまで「ハーフトーン調整名」を登録できます。

❼ PPDへの登録完了画面で［OK］をクリックします。

❽ ［終了］をクリックし、PSハーフトーン調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタドライバでハーフトーン調整名を選択し、印刷します。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

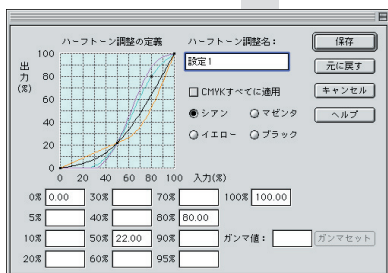
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ 詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［ハーフトーン調整］で、手順1の❹で作成した「ハーフトーン調整」を選択し、印刷します。

注

本設定は［カラー］タブの［印刷モード］で［グラフィックプロ］以外を選択した場合に有効となります。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] - [MicrolinePS Utility] をダブルクリックします。

❷［ユーティリティ］メニューから［ハーフトーン調整］をクリックします。

❸［新規ハーフトーン調整の定義］をクリックします。

❹ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力し、［保存］をクリックします。
各色ごとに調整するときは、［CMYKすべてに適用］のチェックを外し、調整する色にチェックを付けます。

- グラフ線を直接操作する。
  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。
- ガンマ値を入力する。
  ガンマ値を入力し、［ガンマセット］をクリックします。自動的に13の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は0.01から99.99まで指定できます。1.0より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。
- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

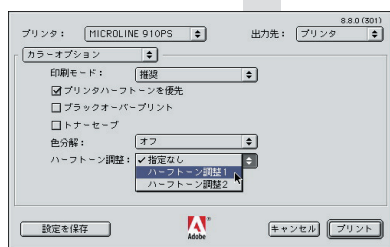
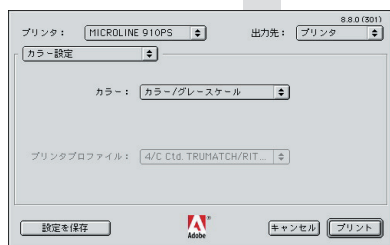
❺ ハーフトーン調整を登録するPPDファイルが選択されているか確認します。
別のPPDファイルが選択されている場合は［PPDファイルの選択...］をクリックし、目的のPPDファイルを選択します。

❻［追加→］をクリックします。
新しいハーフトーン調整名が右の登録一覧に表示されます。

❼［保存］をクリックします。
登録一覧に表示しているハーフトーン調整名を、選択されているPPDファイルに登録します。

❽ MicrolinePS Utilityを終了します。

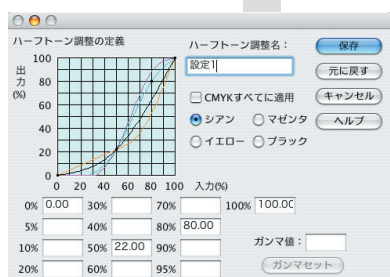
❾ 印刷したいファイルを開きます。

❿［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

⓫ ［カラー設定］パネルの［カラー］で「カラー /グレースケール」を選択します。

⓬ ［カラーオプション］パネルの［ハーフトーン調整］で、手順❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

本設定は［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［グラフィックプロ］以外を選択した場合に有効となります。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

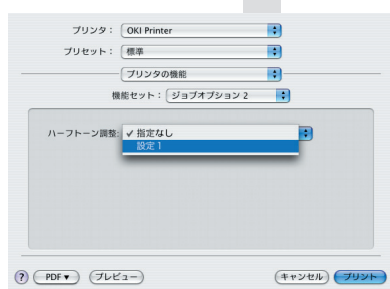
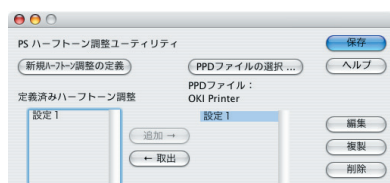
PSハーフトーン調整ユーティリティ

❶ ［アプリケーション］-［OKIDATA］-［Halftone］-［PSハーフトーン調整ユーティリティ］をダブルクリックします。

❷ ［新規ハーフトーン調整の定義］をクリックします。

❸ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力し、［保存］をクリックします。
各色ごとに調整するときは、［CMYKすべてに適用］のチェックを外し、調整する色にチェックを付けます。

- グラフ線を直接操作する。
  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。
- ガンマ値を入力する。
  ガンマ値を入力し、［ガンマセット］をクリックします。自動的に 13 の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は 0.01 から 99.99 まで指定できます。1.0 より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。
- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

❹ ハーフトーン調整を登録するPPDファイルが選択されているか確認します。
別の PPD ファイルが選択されている場合は［PPD ファイルの選択 ...］をクリックし、目的の PPD ファイルを選択します。

❺ ［追加→］をクリックします。
新しいハーフトーン調整名が右の登録一覧に表示されます。

❻ ［保存］をクリックします。「認証」画面が表示された場合は、管理者権限をもつユーザ名とパスワードを入力します。

登録一覧に表示しているハーフトーン調整名を、選択されている PPD ファイルに登録します。

❼ PSハーフトーン調整ユーティリティを終了します。

❽ ［プリンタ設定ユーティリティ］に登録されているハーフトーン調整を行ったプリンタを一旦削除し、プリンタを再登録します。

❾ 印刷したいファイルを開きます。

❿ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

⓫ ［プリンタの機能］パネルの［ジョブオプション］機能セットの［ハーフトーン調整］で、手順❸で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

注

- 本設定は［カラーオプション］機能セットの［印刷モード］で［グラフィックプロ］以外を選択した場合に有効となります。
- PSハーフトーン調整ユーティリティで登録しないと画面に表示されません。

メモ

Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▲］ボタンをクリックしてください。

5 ネットワーク機能について

ネットワークユーティリティ機能一覧

ユーティリティの機能一覧

〇：利用できる機能

ユーティリティ名 / 項目	Windows							Macintosh	Windows/ Macintosh
	Admin Manager	OKI LPR ユーティリティ	Network Extension	Print Super Vision	Web Driver Installer	ネットワークステータスモニタ	TELNET	Setup Utility	Web ブラウザ
プリンタのIPアドレスを変更する	〇			〇			〇	〇	〇
プリンタの操作パネルのメッセージを表示する		〇		〇		〇			〇
ジョブの管理									〇
オプションの自動設定			〇		〇				
消耗品情報			〇	〇					〇
メール送信機能（SMTP）				〇	〇		〇		〇
プリンタのセキュリティ機能を設定する	〇						〇		〇
プリンタのアクセス制限機能（IPフィルタ）を設定する	〇						〇		〇
プリンタの時刻を設定する									〇
SNMPの使用		〇	〇	〇	〇	〇	〇		〇

Admin Managerを使って…（Windows）

プリンタのネットワークの設定や、ステータスの確認ができます。

動作環境

Windows Vista/XP/2000/Server 2008/Server 2003 日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

- コンピュータはプリンタと同一セグメント上に存在している必要があります。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、Windows XP Home Edition を例にしています。

起動します

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

セットアッププログラムが起動します。

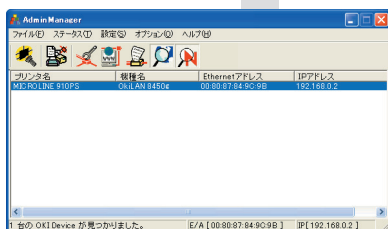
- Windows Vistaで、［自動再生］が表示されたら［Startup.exeの実行］をクリックします。
- Windows Vistaで、［ユーザアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

❸「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❹［その他のソフトウェア］をクリックします。

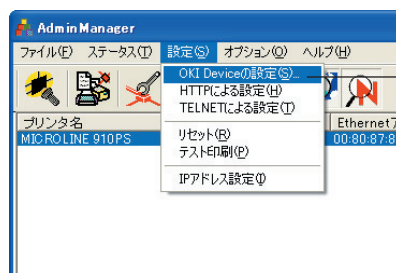
❺［NIC セットアップユーティリティの起動］をクリックします。

❻［日本語］をクリックします。

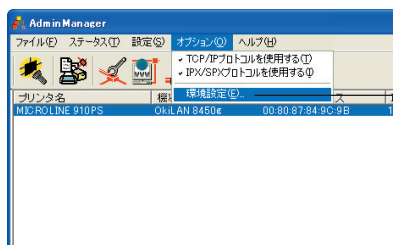
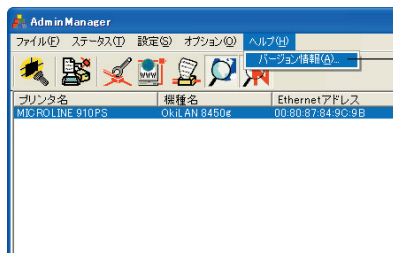
❼［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

❽［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

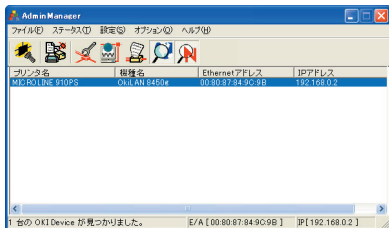
AdminManagerが起動します。

機能について

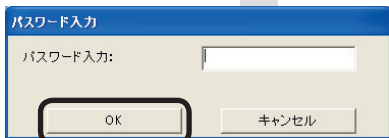
［ファイル］メニュー

［ステータス］メニュー

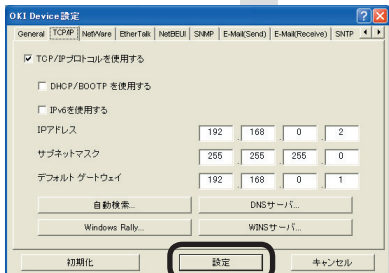
［設定］メニュー

[オプション] メニュー

[ヘルプ] メニュー

プリンタの設定をする

プリンタのネットワークの設定を行います。
各項目の詳細については、「ネットワーク設定項目の一覧」（287ページ）をご覧ください。

❶ 一覧よりEthernetアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。
機種名には、OkiLAN 8450gと表示されます。

- Ethernetアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）にMACアドレスとして表示されています。（別冊 プリンタ機能編）
- 初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合はサーバから取得したIPアドレスが表示されます。

❷ ［設定］メニューの［OKI Deviceの設定］を選択します。

❸ ［パスワード入力］に［Ethernetアドレスの英数字下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

- パスワードは、手順❶で選択した「Ethernetアドレス」の英数字下6桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

❹ 必要な項目を入力し、［設定］をクリックします。

- それぞれのタブ内で設定できる項目は次ページをご覧ください。

初期化ボタンを押すと、ネットワークの設定を初期化します。

初期化すると、ネットワークの設定が初期値になり、SSL/TLSの証明書情報も削除されます。

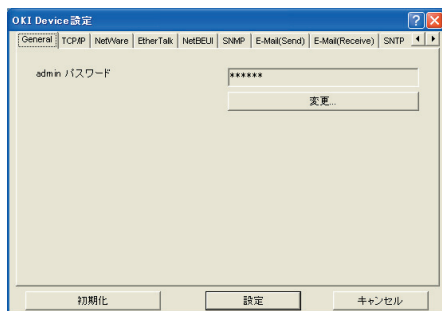
❺ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

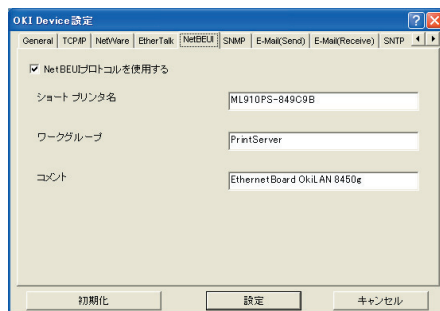
❻ 新しい設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

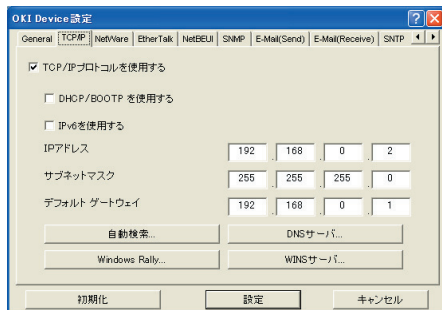
注 リブート後、プリンタは新しい設定値で動作します。

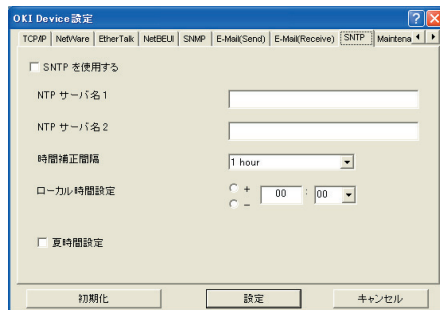
❼ AdminManagerを終了します。

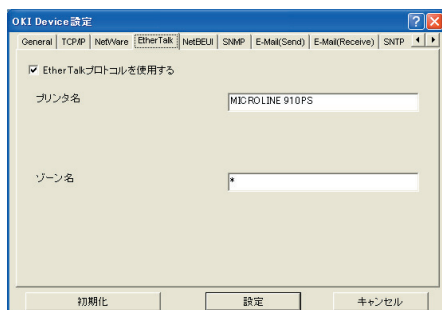
Generalタブ

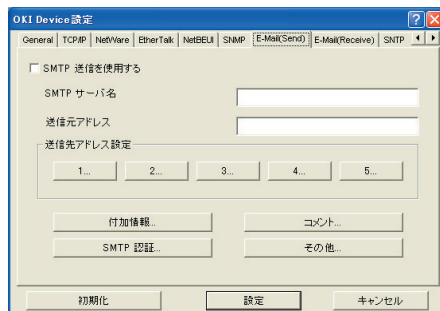
パスワードを変更します。

NetBEUIタブ

NetBEUI を利用する場合に設定します。

TCP/IPタブ

IPアドレスなどの設定をします。

SNMPタブ

SNMP を利用する場合に設定します。

EtherTalkタブ

EtherTalk プリンタ名やゾーン名を変更する場合に設定します。

E-mail (Send)タブ

SMTP 送信プロトコルを利用する場合に設定します。

E-mail (Receive)タブ

SMTP/POP プロトコルを利用する場合に設定します。

SSL_TLSタブ

SSL/TLS を利用する場合に設定します。

SNTPタブ

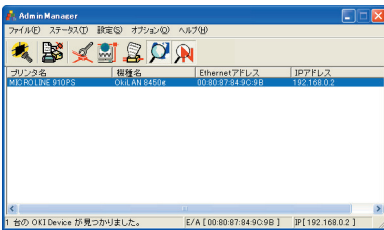
SNTP を利用する場合に設定します。

IEEE802.1Xタブ

IEEE802.1X を利用する場合に設定します。

Maintenanceタブ

ネットワークサービスの使用制限を設定します。

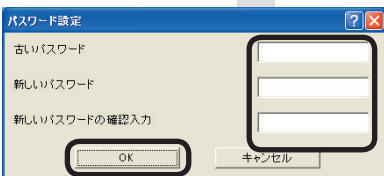
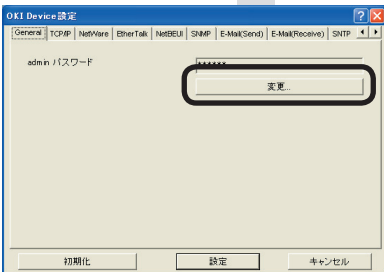
ネットワーク管理者用パスワードを変更する

❶ AdminManagerを起動します。

❷ プリンタを選択します。
機種名には、OkiLAN 8450gと表示されます。

❸ [設定] メニューの [OKI Deviceの設定] を選択します。

❹ [パスワード入力]にパスワードを入力し、[OK]をクリックします。
パスワードの初期値は [Ethernetアドレスの英数字下6桁] です。

❺ [General] タブを選択します。

❻ 「adminパスワード」の「変更」をクリックします。

❼ 「古いパスワード」に今までに使用していたパスワードを、「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認入力」に任意のパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

❽ 「設定」を選択します。

❾ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

Quick Setupを使って…（Windows）

プリンタの簡易設定ができます。

動作環境

Windows Vista/XP/2000/Server 2008/Server 2003 日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

- コンピュータはプリンタと同一セグメント上に存在している必要があります。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、Windows XP Home Edition を例にしています。

起動します

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

セットアッププログラムが起動します。

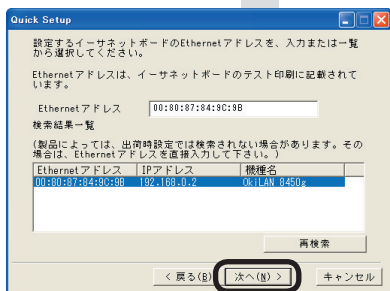
- Windows Vista で、［自動再生］が表示されたら［Startup.exe の実行］をクリックします。
- Windows Vista で、［ユーザアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

❸「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❹［その他のソフトウェア］をクリックします。

❺［NIC セットアップユーティリティの起動］をクリックします。

❻［日本語］をクリックします。

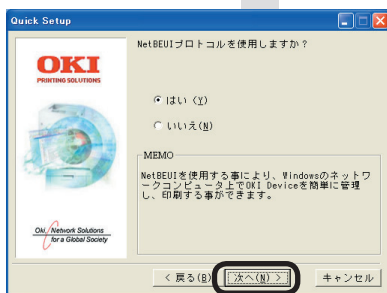
❼［OKI Device Quick Setup］をクリックします。

❽［次へ］をクリックします。

❾設定を行うプリンタのEthernetアドレスを選択して、［次へ］をクリックします。
機種名には、OkiLAN 8450gと表示されます。

・ Ethernetアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）にMAC Addressとして表示されています。（別冊 プリンタ機能編）

❿TCP/IPの設定を行い、［次へ］をクリックします。

⓫NetWareの設定を行い、［次へ］をクリックします。

⓬ EtherTalkの設定を行い、［次へ］をクリックします。

⓭ NetBEUIの設定を行い、［次へ］をクリックします。

⓮ 設定内容を確認し、［実行］をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

⓯ 設定値を有効にするために、［完了］をクリックします。

注 リブート後、プリンタは新しい設定値で動作します。

⓰ Quick Setupを終了します。

OKI LPRユーティリティを使って…（Windows）

ネットワーク接続での印刷、印刷ジョブの管理、プリンタのステータス確認ができます。

動作環境

Windows XP/2000/Server 2003 日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- 印刷方式機能は利用できません。
- Windows Vista/Windows Vista（64bit版）/Windows Server 2008/Windows Server 2008（64bit版）では動作しません。

以下の説明は、Windows XP Home Edition を例にしています。

インストールします

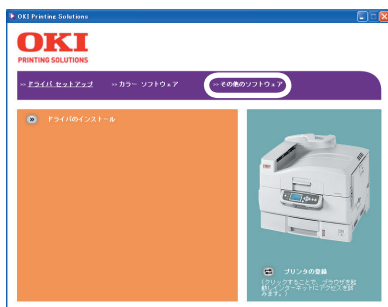
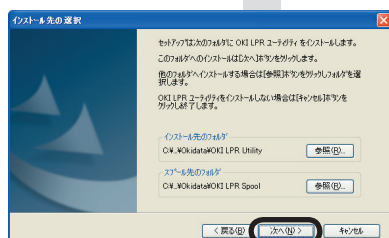
❶ プリンタの電源を ON にします。

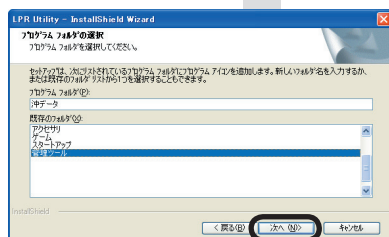
❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

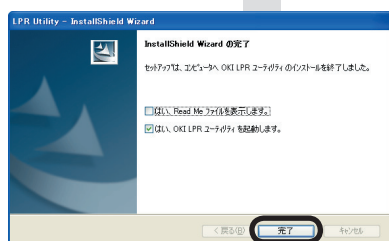
セットアッププログラムが起動します。

❸「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❹［その他のソフトウェア］をクリックします。

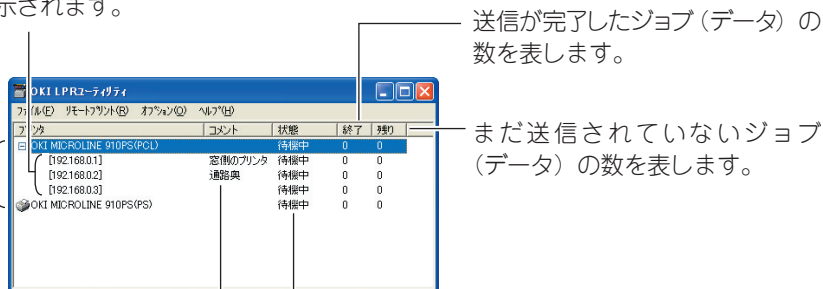
❺［LPR ユーティリティのインストール］をクリックします。

❻ すでにOKI LPRユーティリティがインストールされて起動している場合、終了する画面がでるので［はい］をクリックします。

❼ セットアッププログラムが開始されるので、［次へ］をクリックします。

❽ インストール先とスプール先のフォルダを確認し、［次へ］をクリックします。

❾［スタートアップに登録する］にチェックが入っていることを確認し、［次へ］をクリックします。

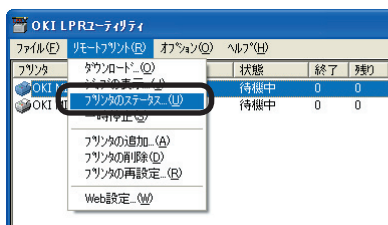
❿ プログラムフォルダ名を確認し、［次へ］をクリックします。

⓫［完了］をクリックします。

⓬ 画面の右上の ☒ をクリックし、画面を閉じます。

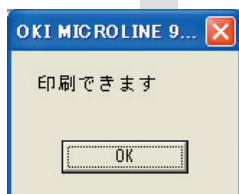
起動します

❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI LPR ユーティリティ］-［OKI LPRユーティリティ］を選択します。

下のような画面が表示されます。

プリンタの状態を確認する

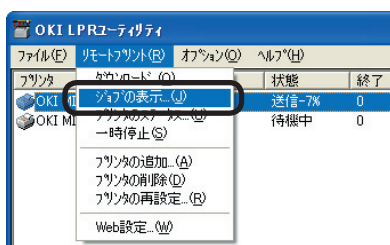
プリンタの操作パネルに表示されているメッセージを表示します。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［プリンタのステータス］を選択します。

プリンタのステータスが表示されます。

メモ　ジョブ表示ダイアログの「ステータス」でも確認することができます。

ジョブを表示する、削除する、転送する

印刷ジョブを表示したり、削除することができます。
また、プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

- 他社プリンタへは転送できません。
- 同じプリンタ機種名へ転送してください。

❶ プリンタを選択します。

❷ ［リモートプリント］メニューの［ジョブの表示］を選択します。

ジョブが表示されます。

❸ 削除したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［削除］を選択します。

ジョブが削除されます。

❹ 転送したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［転送］で転送先のプリンタを選択します。

転送先のプリンタにジョブが送られます。

転送できるプリンタは、あらかじめOKI LPRユーティリティにセットアップされている必要があります。

自動的にジョブを転送する

プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、自動的に印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

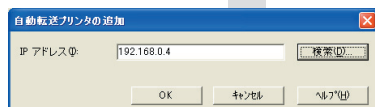
- 他社プリンタへは転送できません。
- 必ず、同じプリンタ機種名へ転送してください。

❶ プリンタを選択します。

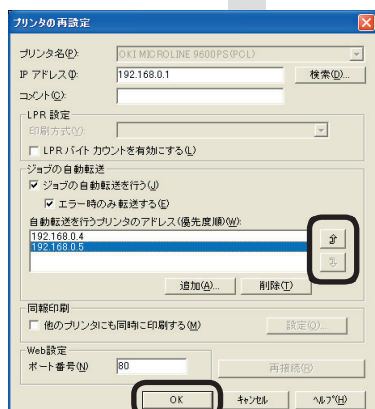
❷ ［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。

❹ ［ジョブの自動転送を行う］にチェックを付けます。

プリンタが「オフライン」や「用紙切れ」などのエラーのときのみ転送したい場合は、［エラー時のみ転送する］にもチェックを付けます。

❺ ［追加］をクリックし、転送先のIPアドレスを設定します。

メモ　［検索］をクリックして、ネットワーク上のMICROLINEプリンタを検索することもできます。

❻ 転送先の候補の数だけ、❺の操作を繰り返します。

転送先の優先順を変更するには、［自動転送を行うプリンタのアドレス］から優先順を変更するプリンタを選択し、横の［↑］ボタン、または［↓］ボタンをクリックします。
（［↑］ボタンをクリックすると優先度が上がり、［↓］ボタンをクリックすると優先度が下がります）

❼ ［OK］をクリックします。

複数のプリンタで同時に印刷する

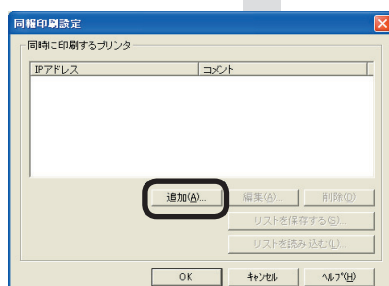
一度の印刷指示で複数のプリンタに印刷することができます。

同時に印刷するプリンタは、必ず同じプリンタ機種を指定してください。

❶ プリンタを選択します。

❷ ［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。

❹ ［他のプリンタにも同時に印刷する］にチェックをつけ、［設定］をクリックします。

❺ ［追加］をクリックし、同時に印刷するプリンタのIPアドレスを設定します。

メモ 同時に印刷するプリンタに対しても、コメントを追加することができます。（202ページ）

❻ 追加したいプリンタ分、❺の操作を繰り返します。

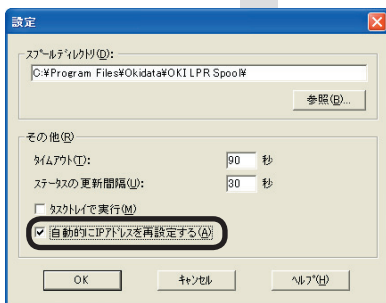
メモ
- ［リストを保存］をクリックすることにより、追加したプリンタの情報を保存することができます。
- 保存したプリンタの情報は、［リストを読み込む］をクリックすることにより、読み込みや削除することができます。

❼ ［OK］をクリックします。

自動的にIPアドレスをセットする

DHCPサーバに接続しプリンタの電源を入れる度にプリンタのIPアドレスが変更になる場合、自動的に変更されたIPアドレスを検索し再設定することができます。

検索対象は、OKI LPRユーティリティの検索範囲設定に従います。

❶［オプション］メニューの［設定］を選択します。

❷［自動的にIPアドレスを再設定する］にチェックを付けます。

❸［OK］をクリックします。

ファイルをプリンタへダウンロードする

ファイルに保存した印刷データ（311ページ）をプリンタにダウンロードし、印刷します。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［ダウンロード］を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

ファイルのダウンロードが開始されます。

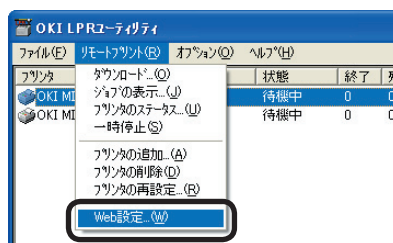
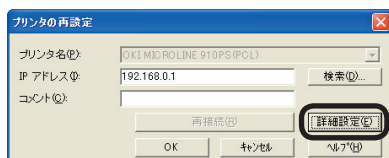
Webブラウザを起動する

OKI LPRユーティリティより、プリンタのネットワーク設定や、メニュー設定を行うためのWebブラウザを起動します。

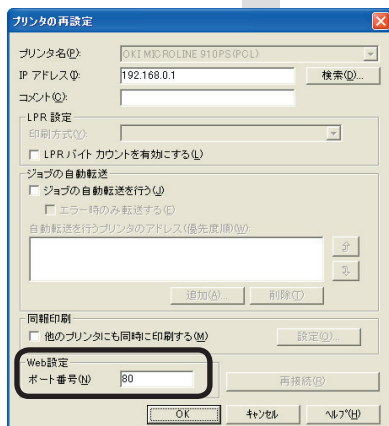
各設定の設定方法については「Webブラウザを使って…」(227ページ)を参照してください。

❶ プリンタを選択します。

❷ [リモートプリント] メニューの [Web設定] を選択します。

Webポート番号が変更されている場合は、OKI LPRユーティリティのポート番号の設定を以下の手順で変更してください。

① プリンタを選択します。

② [リモートプリント] メニューの [プリンタの再設定] を選択します。

③ [詳細設定] をクリックします。

④ [ポート番号] に、Webポート番号を入力します。

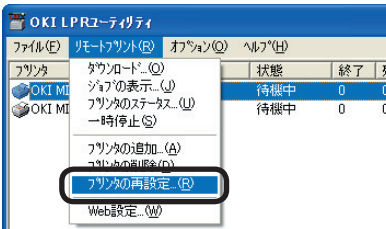
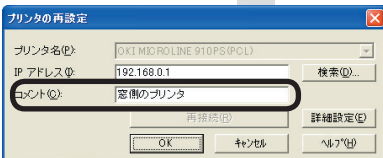
⑤ [OK] をクリックします。

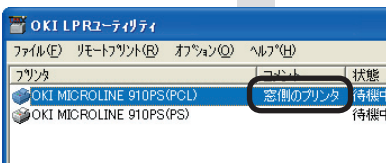
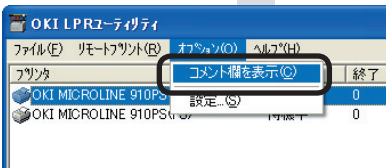
コメントを追加する

OKI LPRユーティリティに登録したプリンタに、コメントを追加することができます。

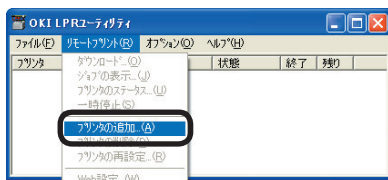
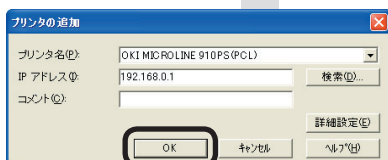
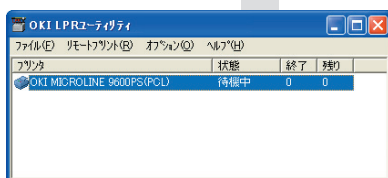
メモ　プリンタの設置場所、プリンタのオプション装置などを入力すると便利です。

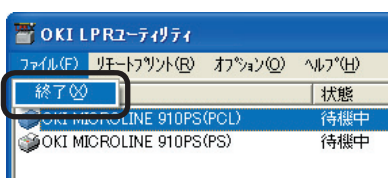
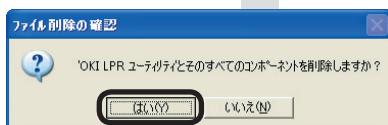
❶ プリンタを選択します。

❷ ［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

❸ ［コメント］にコメントを入力し、［OK］をクリックします。

❹ ［オプション］メニューの［コメント欄を表示］を選択します。

5
ネットワーク機能について

プリンタを追加する

印刷先のポートをOKI LPRポートに変更することができます。

すでにOKI LPRユーティリティに登録されているプリンタは設定できません。ポートを変更したい場合は、「プリンタの再設定」を選択してください。

❶［リモートプリント］メニューの［プリンタの追加］を選択します。

❷［プリンタ］を選択し、［IPアドレス］にプリンタのIPアドレスを入力し、［OK］をクリックします。

メインウィンドウにプリンタが追加されます。

OKI LPRユーティリティを削除する

❶［ファイル］メニューの［終了］を選択します。

❷［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000以外では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI LPRユーティリティ］-［OKI LPRユーティリティの削除］を選択します。

❸［はい］をクリックします。

削除が開始されます。

Network Extensionを使って…（Windows）

プリンタドライバからプリンタの設定項目を確認したり、プリンタのオプション構成の設定が容易にできます。

動作環境

Windows Vista/XP/2000/Server 2008/Server 2003 日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

・プリンタドライバと連動して動作するため、プリンタドライバのインストールが必要です。
・TCP/IPのネットワーク接続でプリンタドライバのインストールを行うと､自動的にNetwork Extensionがインストールされます。
・プリンタドライバの接続先が以下の場合にのみ動作します。
　OKI LPR Port
　Standard TCP/IP Port
・セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

インストールします

以下の説明は、Windows XP Home Edition を例にしています。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

セットアッププログラムが起動します。

・Windows Vista で、［自動再生］が表示されたら［Startup.exe の実行］をクリックします。
・Windows Vista で、［ユーザアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

❸「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❹［その他のソフトウェア］をクリックします。

❺［Network Extension のインストール］をクリックします。

❻［次へ］をクリックします。

❼［完了］をクリックします。

❽ 画面の右上の ☒ をクリックし、画面を閉じます。

プリンタの設定を確認します

接続しているプリンタの設定内容などが確認できます。

Network Extensionをインストールしても、動作環境に一致しない場合は［オプション］タブは表示されません。

（Windows XP PCL ドライバ の画面）

❶ Windows Vista/Server 2008では［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。（Windows XP/Server 2003では［スタート］-［プリンタとFAX］を選択します。Windows 2000では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。）

❷ ［OKI MICROLINE 910PS(PS)］または［OKI MICROLINE 910PS(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［オプション］タブをクリックします。

❹ ［更新］ボタンをクリックします。

「デバイス設定」にプリンタの設定内容が表示されます。

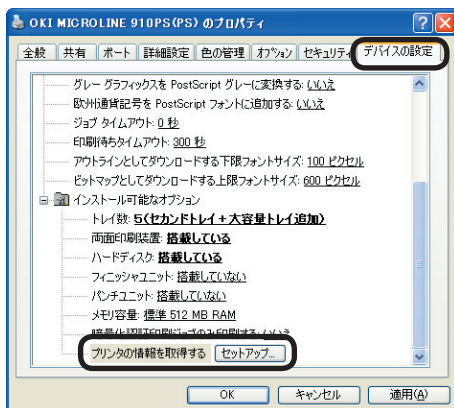
❺ ［OK］をクリックします。

［Web設定］ボタンをクリックすると、自動的にWebブラウザが起動し、プリンタの設定内容が表示されます。詳しくは、「Webブラウザ」（227ページ）をご覧ください。

オプションの自動設定をします

接続しているプリンタのオプション構成を取得して、プリンタドライバの設定を自動的に行うことができます。

Network Extensionをインストールしても、動作環境に一致しない場合は設定できません。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

（Windows XP PS ドライバ の画面）

1. Windows Vista/Server 2008では［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。（Windows XP/Server 2003では［スタート］-［プリンタとFAX］を選択します。Windows 2000では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。）
2. ［OKI MICROLINE 910PS(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。
3. ［デバイスの設定］タブをクリックします。
4. ［プリンタの情報を取得する］をクリックし、［セットアップ］をクリックします。
5. ［OK］をクリックします。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

（Windows XP PCL ドライバ の画面）

1. Windows Vista/Server 2008では［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。（Windows XP/Server 2003では［スタート］-［プリンタとFAX］を選択します。Windows 2000では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。）
2. ［OKI MICROLINE 910PS(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。
3. ［デバイスオプション］タブをクリックします。
4. ［プリンタの情報を取得する］をクリックします。
5. ［OK］をクリックします。

削除します

Windows Vista/Server 2008 の場合

❶ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プログラムのアンインストール］をクリックします。
❷ ［OKI Network Extension］を選択し、［アンインストール］をクリックします。
❸ ［ユーザアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。
❹ 画面に従って削除します。

Windows XP/Server 2003 の場合

❶ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プログラムの追加と削除］をダブルクリックします。
❷ ［OKI Network Extension］を選択し、［削除］をクリックします。
❸ 画面に従って削除します。

Windows 2000 の場合

❶ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択し、［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。
❷ ［OKI Network Extension］を選択し、［変更と削除］をクリックします。
❸ 画面に従って削除します。

PrintSuperVision MultiPlatform Edition（Windows）

ネットワークにつながっているプリンタを管理するためのWebベースアプリケーションです。複数のプリンタの設定情報や消耗品情報を確認することができます。1台のコンピュータにPrintSuperVisionをインストールし、他のコンピュータからWebブラウザを使用して、リモートでPrintSuperVision MultiPlatform Editionにアクセスします。

- PrintSuperVision MultiPlatform Edition は「ソフトウェア CD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。
- インストール方法 , 操作方法については、「PSV ME ユーザーズマニュアル」をご覧ください。
- 「PSV ME ユーザーズマニュアル」は、沖データホームページから入手できます。

動作環境

PrintSuperVision をインストールするコンピュータ

- Red Hat Enterprise Linux 2.1
- Red Hat Enterprise Linux 3
- Novell SUSE LINUX Professional 9.1
- Novell SUSE LINUX Professional 9.2
- Novell SUSE LINUX Desktop 9
- Novell SUSE LINUX Enterprise Server 9
- Turbolinux 10 Desktop
- Turbolinux 10 Server
- Sun Microsystems Solaris 9 (x86)
- Sun Microsystems Solaris 10 (x86)
- Sun Microsystems Solaris 9 (UltraSPARC)
- Sun Microsystems Solaris 10 (UltraSPARC)
- Microsoft Windows 2000
- Microsoft Windows XP
- Microsoft Windows Server 2003
- Sun Java System Application Server Platform Edition8 がインストールされているコンピュータまたは、インストール可能なコンピュータ
- TCP/IP で動作するコンピュータ

PrintSuperVision にリモートでアクセスするコンピュータ

- 以下のブラウザのうちのいずれかがインストールされているコンピュータ
  Microsoft Internet Explorer Ver 5.5 以上
  Microsoft Internet Explorer for PocketPC2002 以上
  Firefox Ver 1.0 以上
  Mozilla Ver 1.2 以上
  Safari Ver 1.1 以上
- TCP/IP で動作しているコンピュータ

- PSV ME アプリケーションは、上記のブラウザがサポートするどの Windows、Macintosh、Unix、Linux デスクトップからでもアクセスする事ができます。
- お使いのブラウザのキャッシュ機能を無効にすると安全です。
- PSV ME は通信の為にポート 25（SMTP）、110（POP3）、995（POP3S）、161（SNMP）、162（SNMP-Trap）、8080（HTTP）、1043（HTTPS）、及び 50702（PrintSuperVisor ［デーモン］）を使用します。 お使いの環境のファイアウォールはこれらのポートに対するアクセスを許可する設定がなされている必要があります。
- PSV ME のインストールプログラムは、256 色 800x600 の解像度以上の能力を持つビデオアダプタが必要です。
- アプリケーションについての補足情報に関しては、オンラインヘルプを参照してください。
- PSV ME は PrintSuperVision 1.2.x と互換性はありません。
- Windows Vista/Windows Vista（x64版）/Windows Server 2008/Windows Server 2008（x64版）では動作しません。

Web Driver Installer（Windows）

・Web Driver Installer は「ソフトウェア CD-ROM」には格納されておりません。沖データホームページからダウンロードしてください。
・Web Driver Installer のインストール方法 , 操作方法については、Web Driver Installer のマニュアルを参照してください。
・Web Driver Installer のマニュアルは、沖データホームページから入手できます。

Web Driver Installerとは

Web Driver Installer は、Web ベースのアプリケーションです。以下の作業を自動的に行い管理者の負担を軽減します。

- TCP/IP ネットワークにつながったプリンタを検索します。
- 検索したプリンタを Web ページに表示します。
- ユーザに検索したプリンタのプリンタドライバインストールプログラムがダウンロードできる URL を e-mail で通知します。

また、部門やフロアごとにグループを作成してプリンタとユーザを管理できます。

特徴

グループ管理

Windows エクスプローラのように、プリンタやユーザを階層的に管理することができます。

自動検索機能

Web Driver Installer は、ネットワーク上に新しく接続されたプリンタがあるかを一定時間間隔で検索します。この間隔は､管理者が 5 分から 2 週間の間で設定します。この機能は､無効にすることもできます。無効にした場合、管理者は手動で検索する必要があります。
Web Driver Installer に登録されているプリンタドライバがサポートしているプリンタを検出した場合に、ユーザに e-mail を送信します。

プリンタドライバ登録機能

Web Driver Installer にはあらかじめ、登録できるプリンタとプリンタドライバの種類が記憶されています。管理者は、Web Driver Installer の運用を開始する前に TCP/IP ネットワーク上に接続されているプリンタのためのプリンタドライバを登録できます。また、運用中に自動検索機能により、新しく検索されたプリンタのプリンタドライバが登録されていないことを通知する e-mail を受け、e-mail に記載されているプリンタドライバを登録できます。
この作業は、Web Driver Installer をインストールしたサーバコンピュータ上で行う必要があります。

e-mail 送信機能

Web Driver Installer は、登録されているユーザに自動的に e-mail を送信します。

プリンタドライバインストール機能

ユーザは Web ブラウザを通して、表形式または、グラフィカルに表示された地図の中から目的のプリンタを探し出し、プリンタドライバインストーラをダウンロードできます。ダウンロードしたインストーラを実行するだけで印刷可能状態となります。
また、e-mail による［プリンタの追加］通知に記載されている URL へアクセスすることでプリンタドライバのインストールができます。

動作環境

Web Driver Installer をインストールするコンピュータ（以下、サーバコンピュータと略す）

Windows Server 2003/ Windows XP Professional/ Windows 2000 日本語版が動作するコンピュータ
TCP/IP ネットワークに接続されているコンピュータ
Microsoft インターネットインフォメーションサーバ 4 以上がインストールされているコンピュータ

サーバコンピュータからWeb Driver InstallerにWebブラウザを使ってアクセスする場合、Internet Explorer 5.5以上または、Netscape Navigator 6.0以上が必要です。
Webブラウザからマニュアルを参照するためにAcrobat Readerがインストールされている必要があります。

- ウイルス感染を回避するために、Web Driver Installer のインストール前に Microsoft のホームページから最新のセキュリティパッチを入手し、コンピュータにインストールすることをお勧めします。
- Web Driver Installer をインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。
- インストールした後、インストール先の仮想ディレクトリ名、TCP ポート番号と、サイトを変更すると Web Driver Installer は動作しません。
- Windows XP、Windows Server 2003 をお使いの場合は Web Driver Installer ユーザーズマニュアルの「Windows XP Service Pack2、Windows Server 2003 Service Pack1 に関する制限事項」をご覧ください。

Web Driver Installer にアクセスするコンピュータ（以下、クライアントコンピュータと略す）

Windows 日本語版が動作するコンピュータ
TCP/IP ネットワークに接続されているコンピュータ
Internet Explorer 5.5 以上または Netscape Navigator 6.0 以上がインストールされているコンピュータ
e-mail が受信できるように設定されているコンピュータ
OKI LPR ユーティリティのバージョン 3.08 以上がインストールされているコンピュータ
また、Web ブラウザからマニュアルを参照するために Acrobat Reader がインストールされている必要があります。

- Web Driver Installer の「プリンタドライバのインストール」機能を使用するには、コンピュータの管理者権限が必要です。
- Windows Vista/Windows Vista（64bit版）/Windows Server 2008/Windows Server 2008（64bit版）では動作しません。

ネットワークステータスモニタを使って…（Windows）

ネットワークにつながっているプリンタの状態を監視することができます。

ネットワークステータスモニタは「ソフトウェア CD-ROM」には格納されておりません。沖データホームページからダウンロードしてください。

動作環境

Windows Vista/Server 2008/XP/2000/Server 2003 日本語版で動作しているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ
Microsoft Internet Explorer Ver.4.0 以上がインストールされているコンピュータ

セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	:	Windows XP Home Edition
プリンタ	:	ML910PS
IP アドレス	:	192.168.0.2

インストールします

❶ プリンタの電源をONにします。

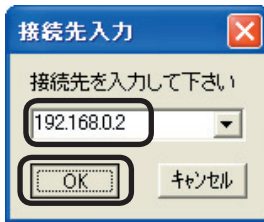
❷ 沖データホームページよりダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

自動的にファイルが解凍され、セットアッププログラムが起動します。

❸ 画面の指示に従ってセットアップします。

起動します

❶ [スタート] - [すべてのプログラム]（Windows 2000では [プログラム]）-[沖データ]-[ネットワークステータスモニタ]-[ネットワークステータスモニタ] を選択します。

❷ 接続するプリンタのIPアドレスを入力し、[OK]をクリックします。

メモ

- 複数のプリンタに接続したい場合は、手順❶～❷を繰り返します。
- すでにネットワークステータスモニタを起動してプリンタに接続している場合は、以前入力した IP アドレスが表示されます。

削除します

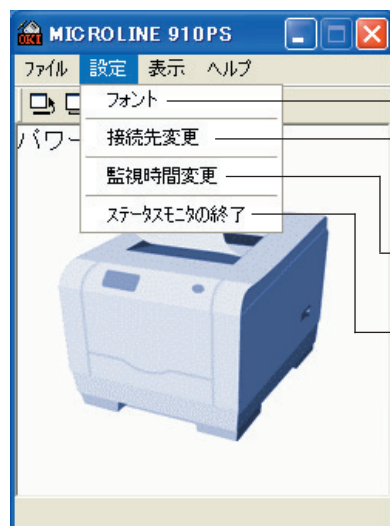
❶ [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除]（Windows 2000では [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [アプリケーションの追加と削除]）を選択します。

❷ [OKI Network Status Monitor] を選択し、画面に従い削除します。

プリンタの状態を確認する

ファイルメニュー

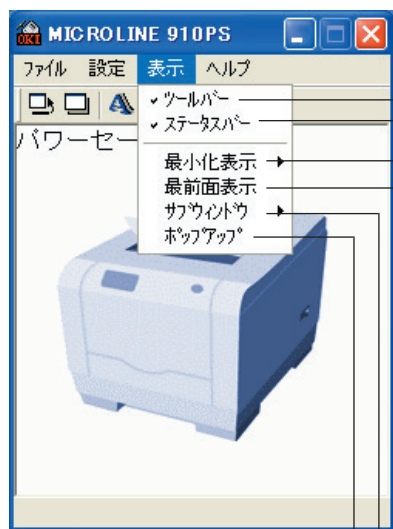
現在の表示中のステータス画面を印刷します。

設定メニュー

OS 標準のフォント選択用ダイアログボックスが表示され､ステータス表示用のフォントを変更することができます。

接続したいプリンタの IP アドレスを入力して、接続しているプリンタを変更します。

値を入力して監視間隔を変更します。初期値は 5 秒です。9 桁までの数字を入力してください。0 秒は設定できません。

ステータスモニタを終了します。

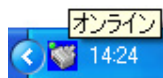
表示メニュー

ツールバーを表示 / 非表示します。

ステータスバーを表示 / 非表示します。

最小化時の表示状態を設定します。[タスクバー]、[アイコン]が選択できます。

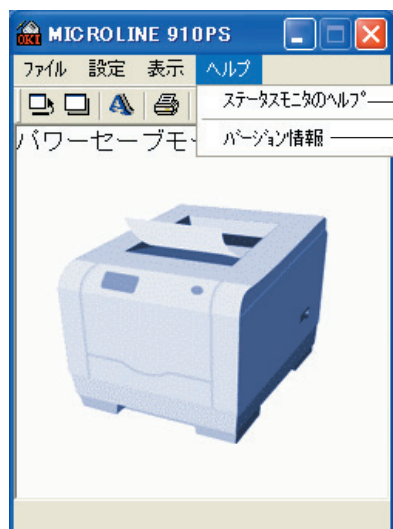
- タスクバー設定時の表示

- アイコン設定時の表示

オンライン
14:24

最前面に表示します。

詳細なステータス表示をするかしないかを設定します。

接続しているプリンタにエラーが発生した場合、最小化状態からポップアップし、プリンタの状態を表示するかしないかを設定します。

ヘルプメニュー

ヘルプの最初の画面を表示します。この画面からネットワークステータスモニタの操作手順やリファレンスなどの関連情報の項目へジャンプしてヘルプを読むことができます。

ネットワークステータスモニタのバージョンや版権などについての情報を表示します。

MicrolinePS Utility を起動するには

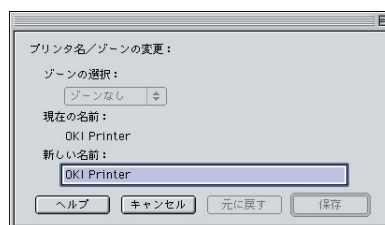
❶ ネットワーク接続の場合、セレクタで［AdobePS］をクリックし、プリンタ名を選択し、セレクタを閉じます。
USB 接続の場合、デスクトップ上のプリンタアイコンを選択し、［プリンタ］メニューの［省略時プリンタに指定］を選択します。

❷［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］フォルダ内の［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

プリンタを設定する

EtherTalk プリンタ名を変更したい

EtherTalk の場合に、プリンタに識別しやすい名前を付けることができます。

注
- EtherTalk でネットワークに接続している場合に利用できます。
- Mac OS X では利用できません。

❶［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ メインダイアログから［プリンタ名 / ゾーンの変更 ...］をクリックします。

❸ 新しい名前を入力し、［保存］をクリックします。

注
プリンタ名の文字長は最大 31 文字にすることができます。
ただしプリンタ名に（= : * @ ˜）などの記号は使用できません。
2 バイトコードの上下どちらかのバイトに（= : * @ ˜）と一致するコードが含まれるような文字、例えば（円、淳、ァ、法）などはプリンタ名として使用することはできません。

EtherTalk ゾーン名を変更したい

複数の論理ゾーンで区切られている EtherTalk で、プリンタを現在のゾーンから他のゾーンに変更できます。

- EtherTalk でネットワークに接続している場合に利用できます。
- 選択できるゾーンは同一セグメントです。
- Mac OS X では利用できません。

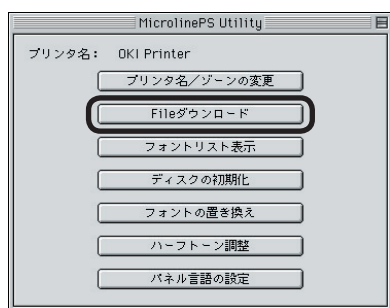
❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

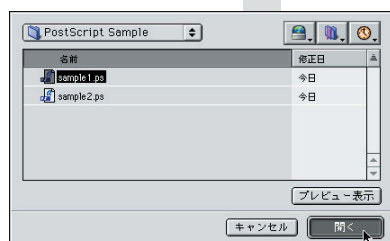
❷ メインダイアログから［プリンタ名 / ゾーンの変更］をクリックします。

❸ 変更したいゾーンを選び、［保存］をクリックします。

ポストスクリプトファイルをダウンロードする

「MicrolinePS Utility」を使ってポストスクリプトファイルをプリンタにダウンロードし、印刷することができます。

注 Mac OS X では利用できません。

❶ [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] - [MicrolinePS Utility] をダブルクリックします。

❷ メインダイアログから [File ダウンロード] をクリックします。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、[開く] をクリックします。

ポストスクリプトファイルのダウンロードが開始されます。ダウンロードが終了すると印刷されます。

メモ

ポストスクリプトファイルをドラッグ＆ドロップすることでもダウンロードできます。

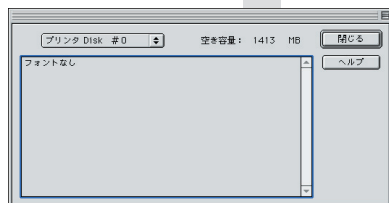
プリンタフォントを確認する

プリンタに内蔵しているすべてのポストスクリプトフォント名を確認することができます。

Mac OS X では利用できません。

❶ [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] - [MicrolinePS Utility] をダブルクリックします。

❷ メインダイアログから［フォントリスト表示］をクリックします。

❸ ［プリンタ ROM］、［フォントカートリッジ］、［フォントカートリッジ　# 1］を選択すると、プリンタに標準で内蔵しているフォントが表示されます。

❹ ［プリンタ Disk］を選択すると、プリンタの内蔵ハードディスク（オプション）にダウンロードしたフォントが表示されます。

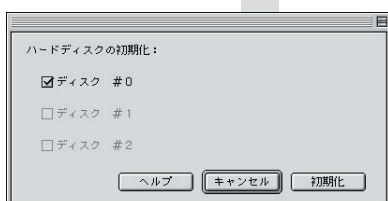
プリンタに内蔵ハードディスクを装着していない場合、［プリンタ Disk］は選択できません。［プリンタ ROM］で内蔵ハードディスクにダウンロードしたフォントが見える場合があります。
ダウンロードフォントのリストを印刷することはできません。

内蔵ハードディスクを初期化する

PS パーティションのフォーマットを行います。PCL、共通のパーティションはそのままです。

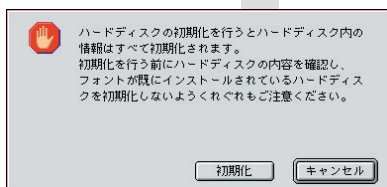
- 内蔵ハードディスクはオプションです。
- Mac OS X では利用できません。
- [Boot Menu] の [Job Limitation] が [Encrypted Job] に設定してある場合､本機能は利用できません。[Boot Menu] の [Job Limitation] については、プリンタ機能編の「操作パネルのメニュー一覧」の「Boot Menu」をご覧ください。

❶ [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] - [MicrolinePS Utility] をダブルクリックします。

❷ メインダイアログから［ディスクの初期化］をクリックします。

❸ 初期化するハードディスクのディスク番号にチェックを付け､[初期化］をクリックします。

ディスク番号はパーティション番号ではありません｡PSパーティションがディスク# 0 となります。PS パーティションが複数ある場合は、パーティション番号が小さいほうからディスク# 0、ディスク# 1、ディスク# 2 となります。

❹ 初期化してもよいか再確認し、[初期化］をクリックします。

❺ 再起動確認画面で［OK］をクリックします。

❻ プリンタの電源を OFF/ON します。

PDF ファイルを直接プリンタにダウンロードして印刷する

「MicrolinePS Utility」を使って PDF ファイルを直接プリンタに送り、印刷することができます。
本機能は、ハードディスクが装着されていなくても動作しますが、PDF ファイルのサイズによっては、印刷できない場合があります。本機能を利用する場合は、ハードディスクを装着することを推奨します。

- PDF ファイルフォーマット Ver1.7 以上では正しく印刷されない場合があります。
- 印刷するファイルによっては、プリンタに増設メモリが必要な場合があります。
- PDF ファイルによっては、正しく印刷されない場合があります。正しく印刷されない場合は、Acrobat Reader などのアプリケーションから印刷してください。
- 印刷ページ指定をして印刷を行った場合はプリンタでの処理時間がかかる場合があります。
- 128bit-RC4 レベルで暗号化された PDF ファイルは印刷できません。
- 閲覧者にパスワードで印刷許可を与えている PDF ファイルを印刷する場合は、パスワードを指定してください。

❶ [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] - [MicrolinePS Utility] をダブルクリックします。

❷ メインダイアログから [File ダウンロード] をクリックします。

❸ ダウンロードしたい PDF ファイルを選択します。

❹ 送信可能な PDF ファイルの場合、次の画面が表示されますので、必要に応じて項目を設定します。

閲覧者にパスワードで印刷許可を与えている PDF ファイルを印刷する場合は、[パスワード] にチェックを付けて、[設定] をクリックしてパスワードを設定してください。

❺ [ダウンロード] をクリックします。
PDF ファイルがプリンタに送られます。

❻ MicrolinePS Utility を終了します。

次のように PDF ファイルをユーティリティアイコン上に直接ドラッグ＆ドロップすることでもダウンロードできます。

Setup Utility を使って…（Macintosh）

すでに Setup Utility がインストールされている場合は、必ず先に削除してください。

Mac OS 9.1 ～ 9.2.2 日本語版

動作環境

MacOS 9.1 ～ 9.2.2 日本語版
TCP/IP が動作している Macintosh

Macintosh に TCP/IP の設定が必要です。［コントロールパネル］-［TCP/IP］で設定を行ってください。

Setup Utility を起動するには

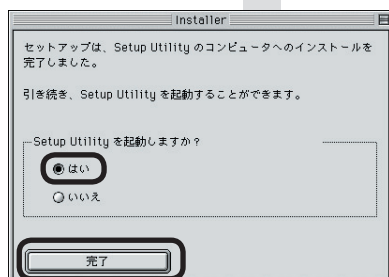
❶ プリンタの電源が ON になっていることを確認します。

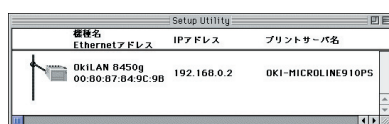
❷ Macintosh が起動していることを確認し、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ ［Utility］-［Network］フォルダの中の［Installer］をダブルクリックします。

❹ ［Japanese］を選択し、［OK］をクリックします。

❺ インストール先のフォルダを確認し、［次へ］をクリックします。
初期設定では、Macintosh HD の［Oki Tools］フォルダにインストールされます。

❻ ［Setup Utility を起動しますか？］で［はい］を選択し、［完了］をクリックします。

Setup Utility が起動します。

プリンタの設定をする

❶ 一覧より Ethernet アドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。

機種名には、OkiLAN 8450g と表示されます。

- Ethernet アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に MAC Address として表示されています。（別冊 プリンタ機能編）

機能の説明

各種設定を行います。

プリンタを再起動します。各種設定を行ったら、必ずリセットしてください。

テスト印刷します。

IP アドレスを設定します。

設定を変更したら、設定ボタンを選択します。その後、プリンタをリセットすることにより設定が反映されます。
また、初期化ボタンを押すと、ネットワークの設定を初期化します。初期化した後は、プリンタをリセットしてください。

注
初期化すると、ネットワークの設定が初期値になり、SSL/TLS の証明書情報も削除されます。

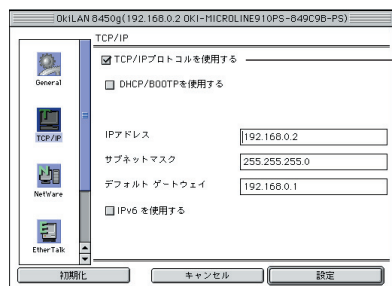
Oki Device の設定

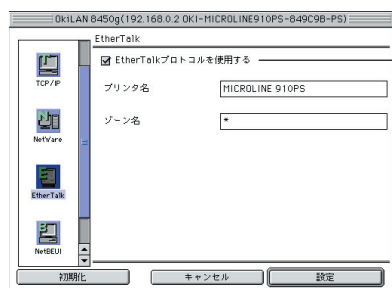
［パスワード入力］に［Ethernet アドレスの英数字下 6 桁］を入力し、［OK］をクリックします。

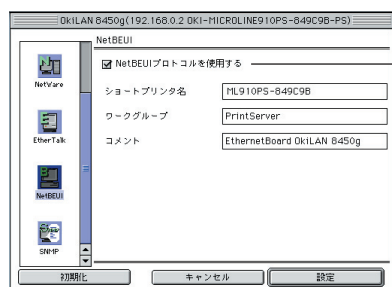
- Ethernet アドレスは、「プリンタの設定をする」❶の画面（181 ページ）に表示されています。

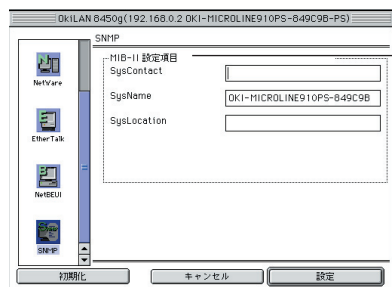
General

管理者のパスワードを変更します。

TCP/IP

TCP/IP プロトコルを使うときはチェックします。

EtherTalk

EtherTalk プロトコルを使うときはチェックします。

NetBEUI

NetBEUI プロトコルを使うときはチェックします。

SNMP

SNMP の SysContact、SysName、SysLocation を設定します。

Mac OS X 日本語版

動作環境

Mac OS X 10.3 ～ 10.5.2 日本語版
TCP/IP が動作している Macintosh

Macintosh に TCP/IP の設定が必要です。［コントロールパネル］-［TCP/IP］で設定を行ってください。

Setup Utility を起動するには

すでに Setup Utility がインストールされている場合は、必ず先に削除してください。

❶ プリンタの電源が ON になっていることを確認します。

❷ Macintosh が起動していることを確認し、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ ［Utility］-［Network］-［Mac OS X］フォルダの中の［Installer］をダブルクリックします。

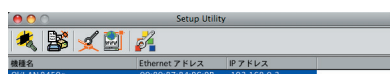
❹ インストール先のフォルダを確認し、［次へ］をクリックします。

初期設定では、ログインユーザのホームディレクトリの[Oki Tools]フォルダにインストールされます。

❺ ［Setup Utility を起動しますか？］で［はい］を選択し、［完了］をクリックします。

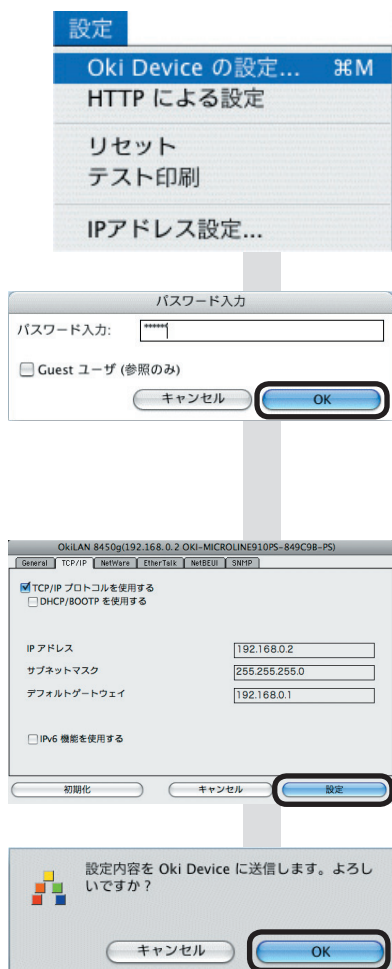
Setup Utility が起動します。

Oki Device の設定

各項目の詳細については、「ネットワーク設定項目の一覧」（287 ページ）をご覧ください。

1 台の Oki Device が見つかりました。

❶ 一覧より Ethernet アドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。

機種名には、OkiLAN 8450g と表示されます。

Ethernet アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に MAC Address として表示されています。（別冊プリンタ機能編）

❷ ［設定］メニューの［Oki Device の設定］を選択します。

❸ ［パスワード入力］に［Ethernet アドレスの下 6 桁］を入力し、［OK］をクリックします。

- パスワードは、手順❶で選択した「Ethernet アドレス」の下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

❹ 必要な項目を設定し、［設定］をクリックします。

❺ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

❻ 新しい設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

注 リブート後、プリンタは新しい設定値で動作します。

❼ Setup Utility を終了します。

General

TCP/IP

EtherTalk

NetBEUI

SNMP

Webブラウザを使って…

Internet ExplorerやNetscape Navigatorを使って、プリンタのネットワークの設定や、メニュー設定ができます。

動作環境

Microsoft Internet Explorer Ver.5.5以上またはNetscape Navigator Ver.6.0以上がインストールされているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ

Javaスクリプトが無効に設定されていると、一部正常に動作しないことがあります。
（例）Microsoft Internet Explorerの場合、Javaスクリプトの有効/無効は、［ツール］-［インターネットオプション］-［セキュリティ］タブで［インターネット］を選択し、［レベルのカスタマイズ］をクリックし、設定します。

WindowsXP Service Pack 2における注意事項

WindowsXP Service Pack 2を適用した場合、ポップアップウインドウがブロックされます。以下の設定を行ってください。

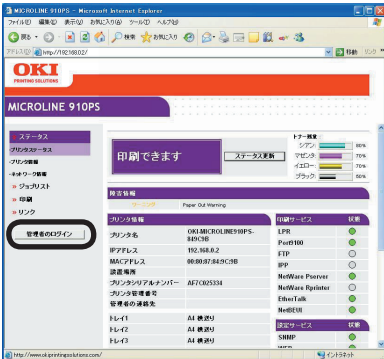
① Internet Explorerの［ツール］-［ポップアップブロックの設定］を開きます。
② ［許可するWebサイトのアドレス］にプリンタのIPアドレスを追加します。
③ ［閉じる］をクリックします。

Webブラウザを起動するには

❶ Webブラウザを起動します。

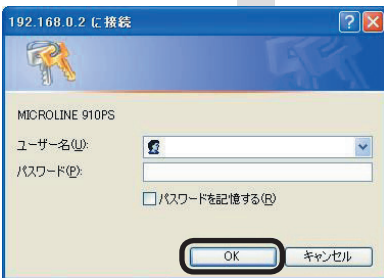
❷ ［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

IPアドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。
（例）正しい入力値：http://192.168.0.3
　　　誤った入力値：http://192.168.000.003

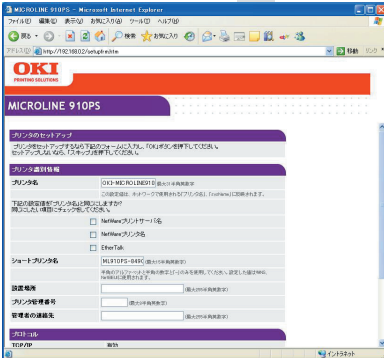
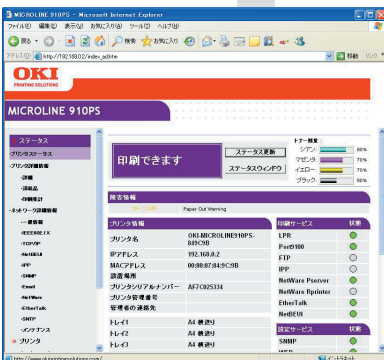
プリンタステータス画面が表示されます。

プリンタの設定をする

❶ ［管理者のログイン］をクリックします。

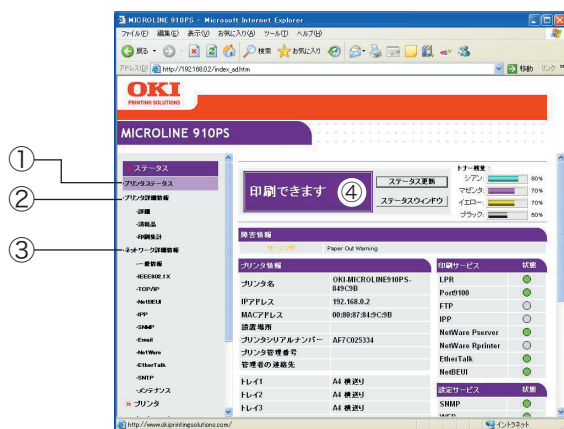
❷ ［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

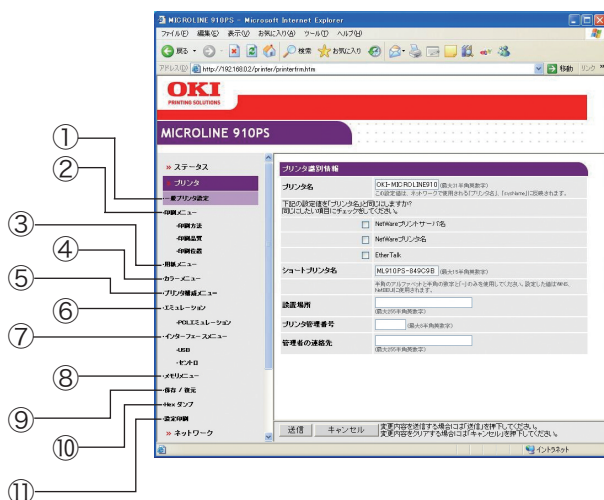
- パスワードの初期値は「MACアドレスの英数字下6桁」です。
- MACアドレスは、❶の画面に表示されています。

❸ ネットワーク上で確認できるプリンタ情報を設定します。

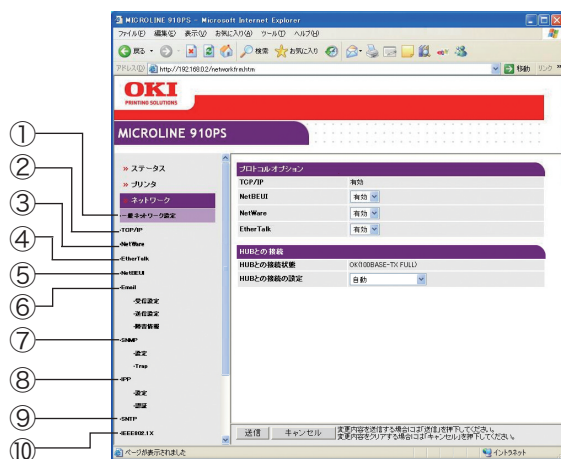
注

- ［スキップ］をクリックすると、設定を省略できます。
- ［次回からこのページを表示しない］にチェックを付けて、［OK］または［スキップ］をクリックすると、次回以降のログイン時に表示されなくなります。

❹ ［OK］をクリックします。

左のような画面を表示します。

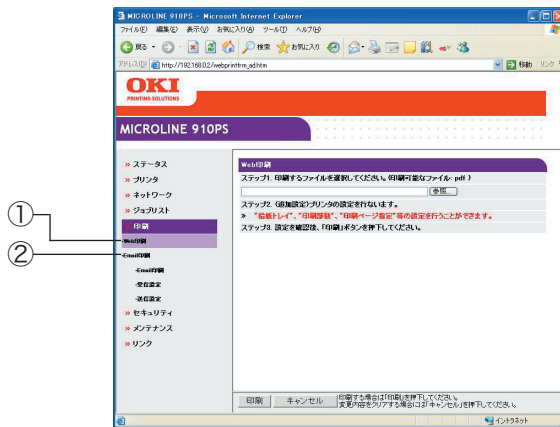
機能の説明

ステータス　タブ

①	［プリンタステータス］	プリンタの状態を確認できます。操作パネル上の表示と同じ情報を表示する他、「障害情報」としてプリンタに発生しているすべての警告やエラーを表示します。 また、各ネットワークサービスの動作状況やプリンタ情報の一覧、プリンタに設定されているIPアドレスも確認することができます。
②	［プリンタ詳細情報］	プリンタのシステム仕様を確認することができます。
③	［ネットワーク詳細情報］	ネットワークの設定情報を確認することができます。
④	ステータスウィンドウ	プリンタの状態を確認できます。

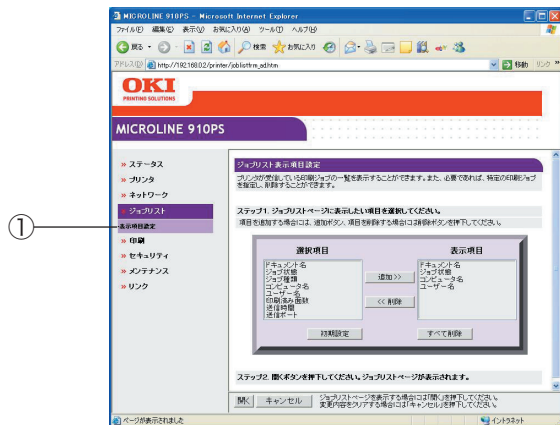
プリンタ　タブ

①	［一般プリンタ設定］	ネットワーク上で確認できるプリンタの情報を設定できます。
②	［印刷メニュー］	コピー枚数、自動トレイ切り替え、モノクロ印刷速度、印刷品質、印刷位置等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。
③	［用紙メニュー］	各トレイの用紙サイズ、名称付け、カスタム用紙等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。
④	［カラーメニュー］	色の濃度補正、色の位置ずれ補正等を設定できます。
⑤	［プリンタ構成メニュー］	パワーセーブへの移行、アラーム発生時の動作、タイムアウト等を設定できます。
⑥	［エミュレーション］	サポートしているエミュレーションを設定できます。
⑦	［インタフェースメニュー］	ネットワーク以外のインタフェースを設定できます。
⑧	［メモリメニュー］	受信バッファサイズの設定。フラッシュメモリに保存されたデータの消去を実行します。
⑨	［保存/復元］	現在のメニュー設定を保存、または保存しているメニュー設定に変更することができます。 注 プリンタタブのメニュー設定が対象となります。
⑩	［Hexダンプ］	受信したデータをすべて16進数で印刷します。 プリンタを再起動すると本モードを抜けます。
⑪	［設定印刷］	ネットワーク設定情報（Network Informatiton）、デモページ等を印刷します。

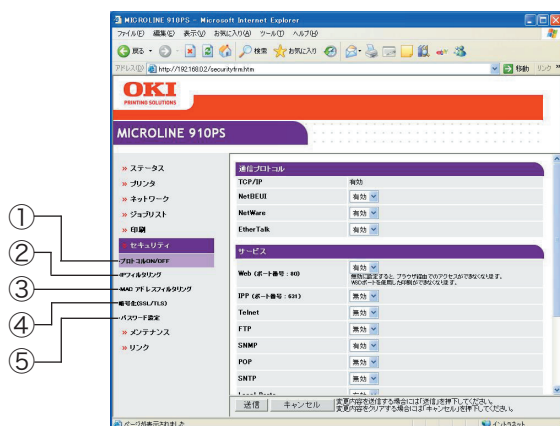
ネットワーク　タブ

①	［一般ネットワーク設定］	使用しないネットワークプロトコルを停止することができます。
②	［TCP/IP］	TCP/IPに関する情報を設定できます。
③	［NetWare］	NetWareに関する情報を設定できます。
④	［EtherTalk］	EtherTalkに関する情報を設定できます。
⑤	［NetBEUI］	NetBEUIに関する情報を設定できます。
⑥	［Email］	プリンタに発生した事象をEmailで通知する機能を設定できます。
⑦	［SNMP］	SNMPに関する情報を設定できます。
⑧	［IPP］	IPP印刷をする機能を設定できます。
⑨	［SNTP］	プリンタに時刻を設定することができます。
⑩	［IEEE802.1x］	IEEE802.1x/EAPに関する情報を設定できます。

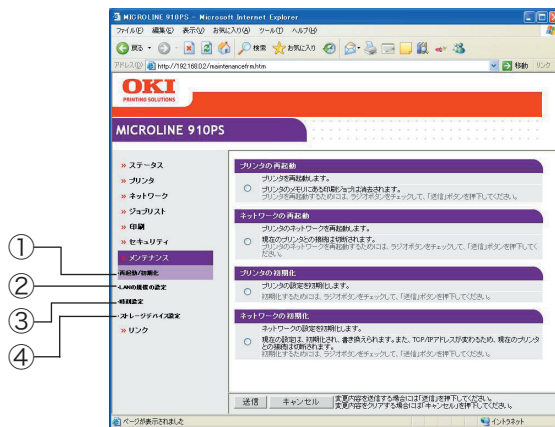
印刷　タブ

オプションの内蔵ハードディスク装着時に表示されます。

① ［Web印刷］　任意のPDFファイルを指定して、印刷することができます。

② ［Email印刷］　プリンタが受信したEmailにPDFファイルが添付されていた場合に、印刷することができます。

ジョブリスト　タブ

① ［表示項目設定］　プリンタに送られた印刷ジョブの一覧を表示します。不要なジョブを削除することもできます。

セキュリティ　タブ

①	［プロトコルON/OFF］	使用しないネットワークプロトコル、ネットワークサービスを停止することができます。
②	［IPフィルタリング］	TCP/IPによるアクセスを制限することができます。「IPアドレスでのアクセス制限機能（IPフィルタ）を使います」、「この人には印刷だけ許可しよう」、「この人には設定変更も許可しよう」といった要求にこたえる機能です。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能はIPアドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなってしまうような重大なトラブルを招きます。
③	［MACアドレスフィルタリング］	MACアドレスによるアクセス制限をすることができます。「この人には印刷だけ許可しよう」、「この人には設定変更も許可しよう」といった要求にこたえる機能です。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能はMACアドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなってしまうような重大なトラブルを招きます。
④	［暗号化（SSL/TLS）］	Webページからの設定およびIPP印刷時にコンピュータ（クライアント）-プリンタ間の通信を暗号化できます。
⑤	［パスワード設定］	管理者のパスワードを変更します。パスワードの初期値はMACアドレスの英数字下6桁です。

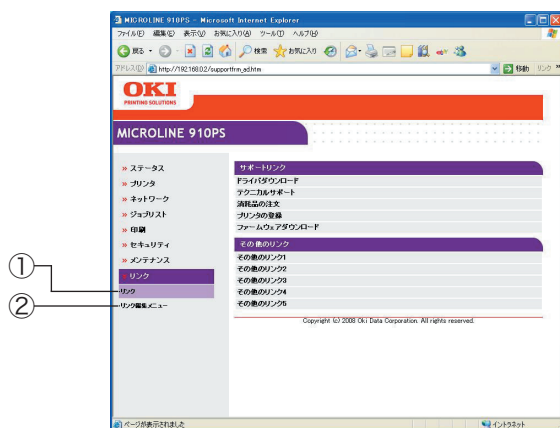
メンテナンス　タブ

① ［再起動/初期化］

- プリンタの再起動
  プリンタを再起動します。ネットワーク機能も同時に再起動されますので、再起動が完了するまでWeb ブラウザからアクセスしても、Web Page は表示されません。
- ネットワークの再起動
  ネットワーク機能だけを再起動します。プリンタに対してネットワーク経由でアクセスしている場合にはこのコネクションは切断されてしまいます。再起動が完了するまでWeb ブラウザからアクセスしても、Web Page は表示されません。
- プリンタの初期化
  プリンタとネットワークを初期化します。初期化すると、プリンタは動作できますがIP アドレスが初期状態に戻ってしまうため、手動で設定した情報は失われてしまいます。その場合は、Web Page も表示できなくなってしまいます。
- ネットワークの初期化
  ネットワーク機能だけを初期化します。初期化すると、IP アドレスが初期状態に戻ってしまうため、手動で設定した情報は失われてしまいます。その場合は、WebPage も表示できなくなってしまいます。

② ［LANの規模の設定］　スパニング・ツリー機能を持つハブに接続した場合の動作を設定できます。

③ ［時刻設定］　プリンタに時刻を設定することができます。

④ ［ストレージデバイス設定］　内蔵ハードディスク（オプション）、フラッシュメモリ内のファイルを削除したりすることができます。

リンク　タブ

①	［リンク］	製造元で設定したリンクの他、管理者が設定したリンクを表示します。
②	［リンク編集メニュー］	管理者が好きなURLを設定できます。 サポートリンクを5件、その他リンクを5件登録できます。 URLは、http://も含めて入力してください。

プリンタのエラーをメールで通知する

メール送信機能（SMTP）を実装しています。プリンタにエラーが発生した場合、メールを送信することができます。

電子メール送信を設定する

❶ Webブラウザを起動します。

❷［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ　パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。MACアドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺［ネットワーク］タブをクリックします。

❻［Email］-［送信設定］をクリックします。

❼「ステップ1」で、「SMTP送信設定」を［有効］にします。

❽「ステップ2」で、送信に必要なアドレスを設定します。

① 「SMTPサーバ」に、メールサーバのドメイン名またはIPアドレスを設定します。

② 「プリンタEmailアドレス」に、プリンタに与えられたメールアドレスを設定します。

- 「SMTPサーバ」をドメイン名で設定する場合は、「TCP/IP」設定において、DNSサーバの設定が必要です。
- メールサーバにはプリンタからのメール送信を許可する設定が必要です。メールサーバの設定についてはネットワーク管理者にご相談ください。

❾以後、さらに詳しい設定をしたい場合は、「ステップ3」で、［詳細］をクリックします。
それ以外の場合、㉑へ進みます。

❿［セキュリティ設定］をクリックします。

⓫「SMTP認証」を「有効」にします。

⓬「ユーザID」を入力します。

⓭「パスワード」を入力します。

注 「ユーザID」と「パスワード」を間違えると、メール送信機能が正常に働きません。注意してください。

⓮［OK］をクリックします。

⓯［付加情報設定］をクリックします。

⓰ Email送信メッセージの文末に追加したい情報を選択または入力します。

⓱［OK］をクリックします。

⓲［その他］をクリックします。

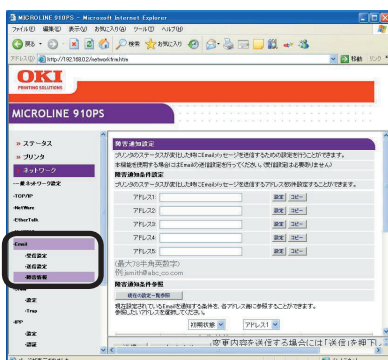
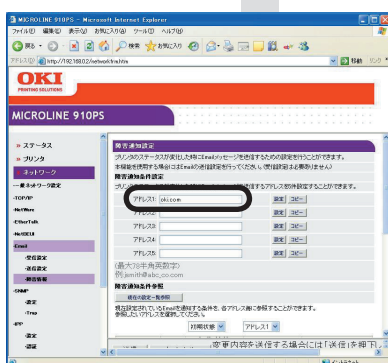
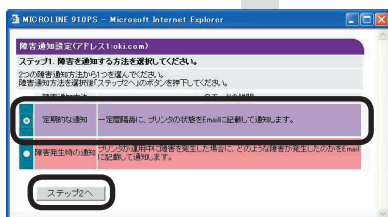
⓳「返信先Emailアドレス」に、プリンタから送信されたメールに対する返信用メールアドレスを設定します。通常、プリンタの管理者のメールアドレスを設定してください。

⓴［OK］をクリックします。

㉑「送信」をクリックします。

㉒ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

- 認証方式はメールサーバのサポートしている認証方式の中から自動的に選択されます。

発生した障害を定期的に通知する

❶［Email］-［障害情報］をクリックします。

❷ 障害通知先のメールアドレスを入力します。

❸ 設定したメールアドレスの［設定］ボタンをクリックします。

- ［コピー］ボタンをクリックすると､障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

❹「定期的な通知」にチェックを付け、「ステップ2へ」をクリックします。

❺［障害通知間隔設定］でメールを送信する間隔を設定します。

- 期間内に通知対象のエラーが発生しなかった場合は、メールの送信は行われません。

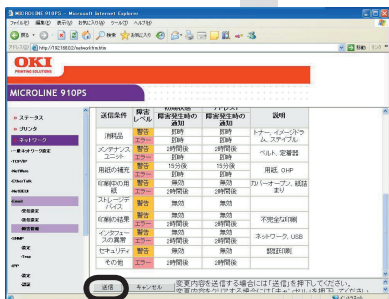
❻ ［障害通知条件設定］で通知対象のエラー種別にチェックを付けます。

❼ ［OK］をクリックします。

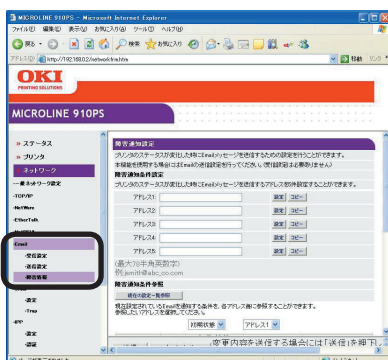
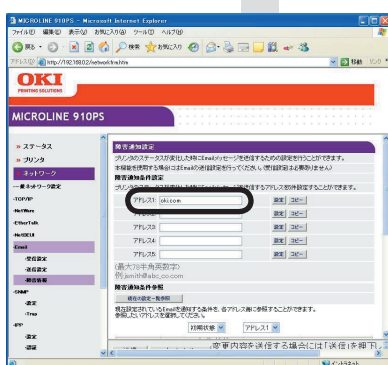
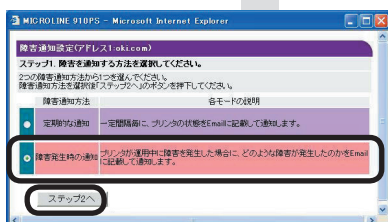
❽ 障害通知条件の設定内容を確認します。

① 一覧表示したい場合
a. ［現在の設定一覧参照］ボタンをクリックします。
b. 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

② 2つの宛先の設定条件を比較したい場合
a. リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。
b. 表示された設定内容を確認します。

- 設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。

❾「送信」をクリックします。

❿ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

障害が発生したことを通知する

❶ ［Email］-［障害情報］をクリックします。

❷ 障害通知先のメールアドレスを入力します。

❸ 設定したメールアドレスの［設定］ボタンをクリックします。

- ［コピー］ボタンをクリックすると､障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

❹ 「障害発生時の通知」にチェックを付け、「ステップ2へ」をクリックします。

❺ ［障害通知条件設定］で通知対象のエラー種別にチェックを付けます。

❻ エラーが発生してからメールを送信するまでの遅延時間を設定します。

- 遅延時間を設定することにより、長時間発生し続けているエラーだけを通知することができます。
- 遅延時間を「0時間0分」に設定すると、エラーが発生すると即時にメールが送信されます。

❼ ［OK］をクリックします。

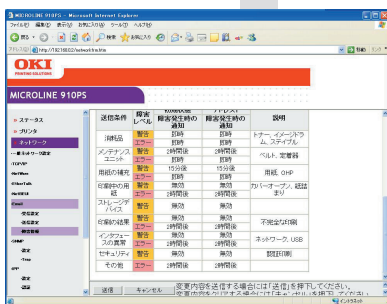
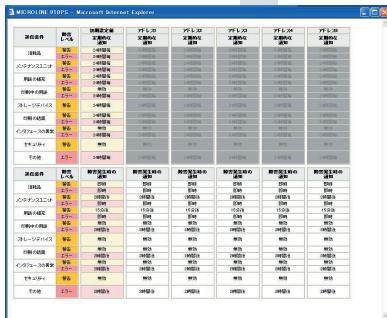
❽ 障害通知条件の設定内容を確認します。

① 一覧表示したい場合
a. ［現在の設定一覧参照］ボタンをクリックします。
b. 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

② 2つの宛先の設定条件を比較したい場合
a. リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。
b. 表示された設定内容を確認します。

- 設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。

❾ 「送信」をクリックします。

❿ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

管理者パスワードを変更する

機能概要

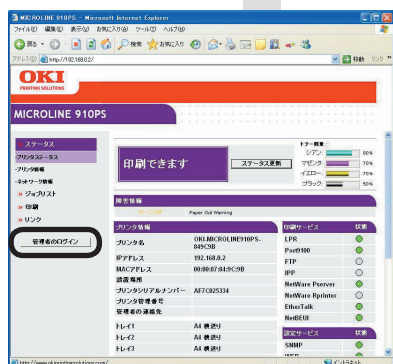
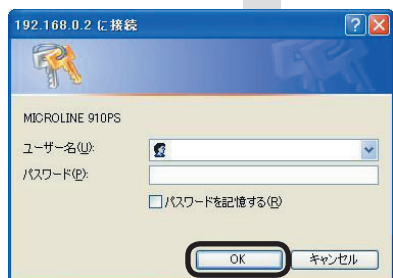
Webブラウザでプリンタの設定変更を行うには、プリンタの管理者としてログインする必要があります。
プリンタの管理者としてログインするときに使用するパスワードを変更することができます。
任意のパスワードを設定することで、望まれない設定変更を防ぐことができます。

管理者パスワードを変更する

❶ Webブラウザを起動します。

❷［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

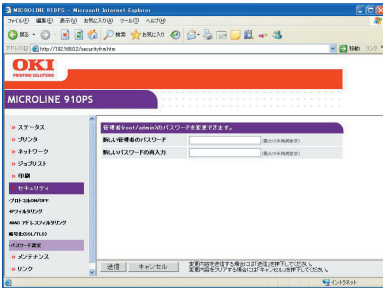
IP アドレスに 1 桁または 2 桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。
（例） 正しい入力値：http://192.168.0.2/
誤った入力値：http://192.168.000.002/

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ

パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺［セキュリティ］タブをクリックします。

❻「パスワード設定」をクリックします。

❼「新しい管理者のパスワード」に新しいパスワードを入力し、「新しいパスワードの再入力」に、再度新しいパスワードを入力します。

- パスワードを入力すると、画面上では「●●●●●」と表示されます。
- パスワードは 0 〜 15 桁までの英数字を入力してください。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

❽「送信」ボタンをクリックします。

❾ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

新しいパスワードは、次回の設定を変更するときから有効となります。プリンタの電源の OFF/ON は必要ありません。

このパスワードは TELNET、AdminManager のパスワードと共通です。ここでパスワードを変更すると、TELNET、AdminManager のパスワードも変更されます。

ネットワークプロトコルを停止する

使用しないネットワークプロトコルを停止することができます。

❶ Webブラウザを起動します。

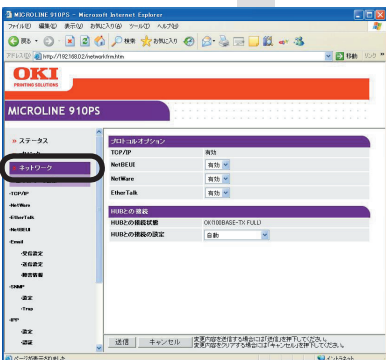
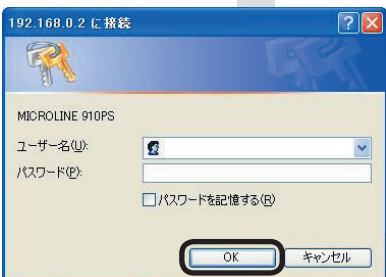
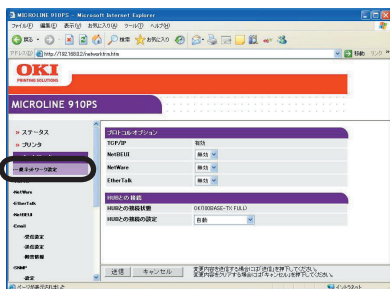
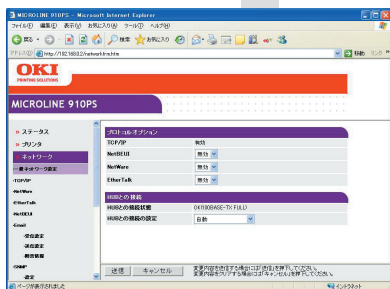
❷［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺［ネットワーク］タブをクリックします。

❻［一般ネットワーク設定］をクリックします。

❼「プロトコルオプション」で、使用しないプロトコルを［無効］にします。

❽「送信」をクリックします。

❾ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

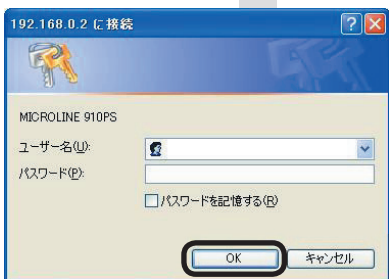
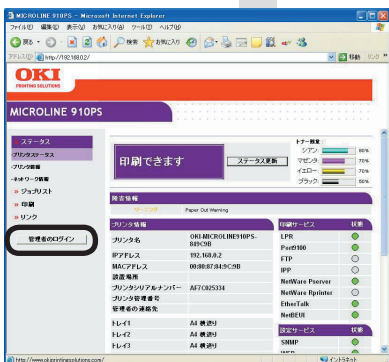
ネットワークサービスを停止する

使用しないネットワークサービスを停止することができます。

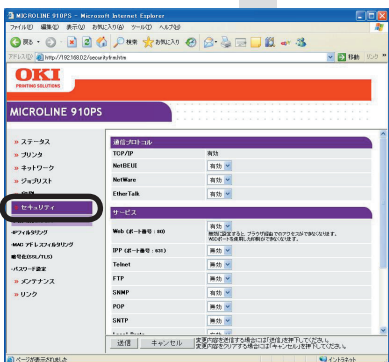
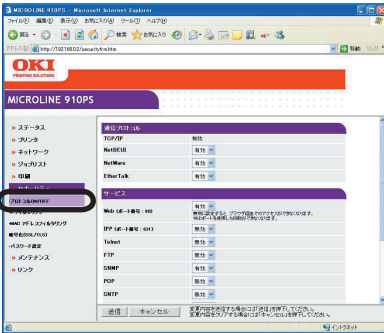
❶ Webブラウザを起動します。

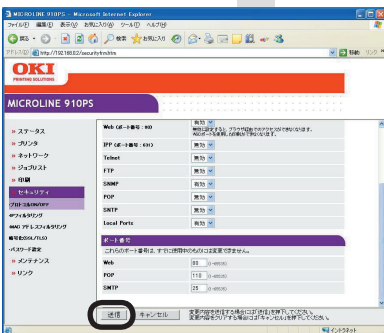
❷ ［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸ ［管理者のログイン］をクリックします。

❹ ［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺ ［セキュリティ］タブをクリックします。

❻［プロトコルON/OFF］をクリックします。

❼ 不要なサービスを［無効］にします。

- ［Webサービス］を［無効］に設定した場合、Webブラウザでの設定変更ができなくなります。
- ［Webサービス］と［Telnetサービス］の両方を［無効］に設定した場合は、NICセットアップユーティリティ（Admin Manager）を使用して設定変更をしてください。

❽「送信」をクリックします。

❾ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

ポート番号を変更する

設定方法

❶ Webブラウザを起動します。

❷ ［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

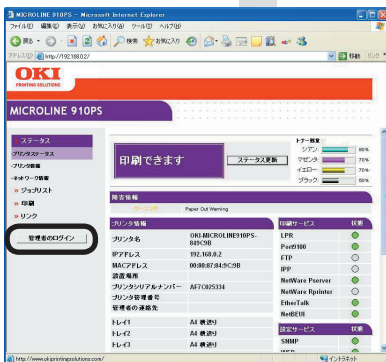
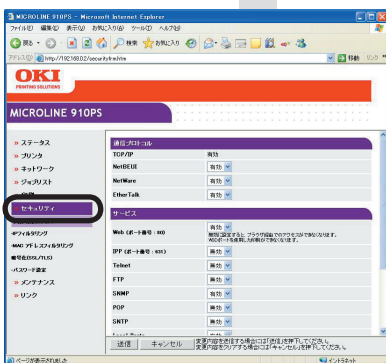
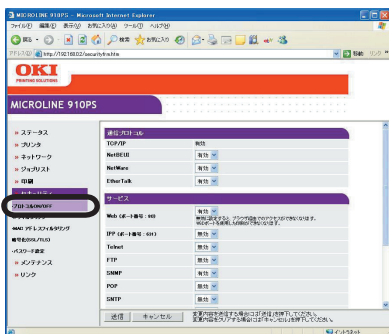
❸ ［管理者のログイン］をクリックします。

❹ ［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

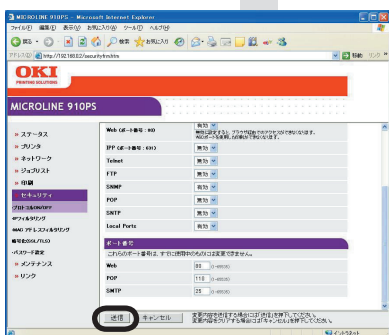
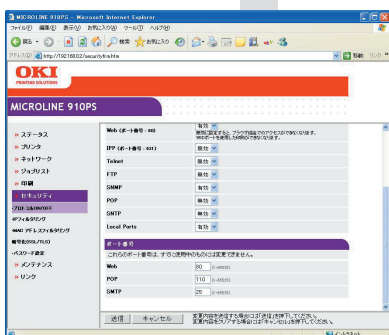
❺ ［セキュリティ］タブをクリックします。

5

ネットワーク機能について

❻［プロトコルON/OFF］をクリックします。

❼［Web(IPP)ポート番号］の設定をします。

・Web(IPP)ポート番号を変更した場合、プリンタWebページのアドレスが変更になります。
例えば、Web(IPP)ポート番号を81に変更した場合、
http://IPアドレス:81/
さらに、IPPでサポートしているURLも変更になります。
http://IPアドレス:81/ipp
http://IPアドレス:631/ipp
http://IPアドレス:81/ipp/lp
http://IPアドレス:631/ipp/lp
また、Webポート番号を変更する際には、プリンタですでに使用中のポート番号は設定できません。

❽「送信」をクリックします。

❾プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

IPフィルタリング

プリンタへのアクセスをIPアドレスを用いて管理できます。

- プリンタの初期設定では、「IPフィルタ」が「無効」（IPフィルタリング機能を使用しない）に設定されています。
- IPアドレスの入力を間違えると、IPプロトコルを用いてプリンタへアクセスできなくなります。十分注意して設定してください。

起動と設定方法

❶ Webブラウザを起動します。

❷［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

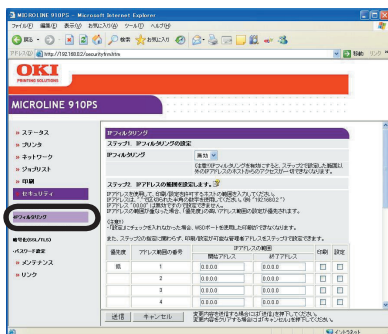
プリンタステータス画面が表示されます。

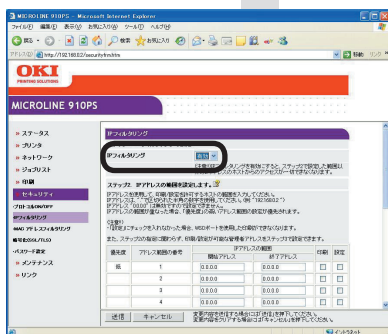
❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

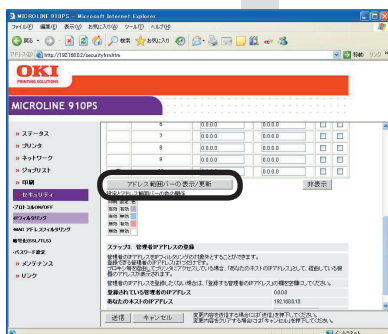
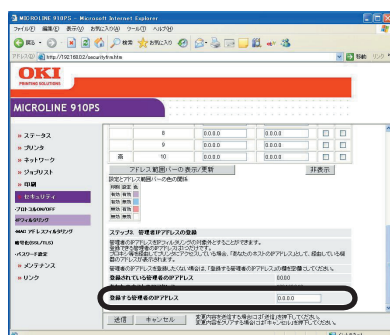
パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺「セキュリティ」タブをクリックします。

❻ ［IPフィルタリング］をクリックします。

❼「ステップ1」で、「IPフィルタリングの設定」を［有効］にします。

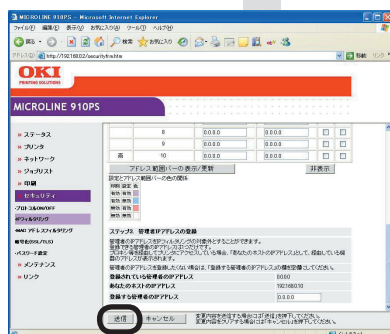
・IPフィルタリングを「有効」にすると、「ステップ2」で設定した範囲以外のIPアドレスのホストからのアクセスが一切できなくなります。

❽「ステップ2」で、IPアドレスの範囲を設定します。

・IPアドレスの範囲を入力します。設定した範囲のIPアドレスに印刷/設定を許可する場合は、印刷/設定のチェック欄にチェックをしてください。
・IPアドレスには、“.” で区切られた半角の数字を使用します。
・IPアドレス0.0.0.0の入力はできません。
・IPアドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いアドレス範囲の設定が優先されます。
・ステップ2の指定に関わらず、印刷/設定が可能な管理者アドレスをステップ3で設定することができます。

❾ ［アドレス範囲バーの表示/更新］ボタンをクリックします。

IPアドレスの範囲を、修正したい場合は、該当するIPアドレスを入力し直し、再度、［アドレス範囲バーの表示/更新］をクリックしてください。

⑩「ステップ3」で、「設定される管理者IPアドレス」の値を設定します。

「設定される管理者IPアドレス」に管理者のIPアドレスを入力することにより、万一「ステップ2」で誤った設定を行ってしまった場合でも、管理者は「設定される管理者IPアドレス」で設定したIPアドレスのホストから再設定することができます。

注

・ プロキシ等を経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホストIPアドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。したがって、あなたのホストのアドレスと表示されている「あなたのホストのIPアドレス」が異なる場合があります。
・「管理者IPアドレス」として何も登録しない場合は、ステップ2の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。
・ 管理者のIPアドレスを登録したくない場合は、「設定する管理者のIPアドレス」の欄を空欄にしてください。

⑪「送信」をクリックします。

⑫ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

MACアドレスでのアクセス制限機能を使います

プリンタへのアクセスをMACアドレスを用いて管理できます。
AdminManager、Webブラウザで設定ができます。

MACアドレスの入力を間違えると、ネットワークを用いてプリンタへアクセスできなくなります。十分注意して設定してください。

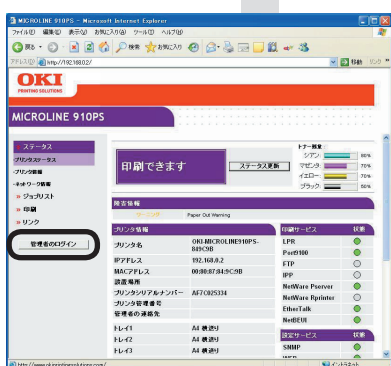
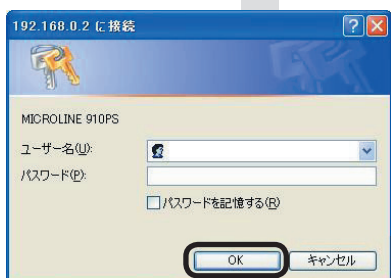
以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ　　　　　　：MICROLINE 910PS
プリンタのIPアドレス：192.168.0.2
Webブラウザ　　　　：Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

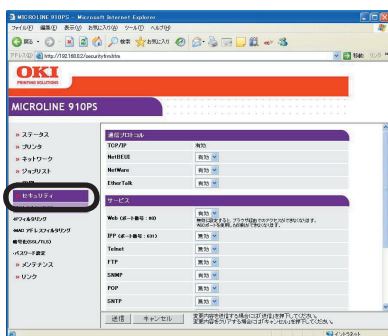
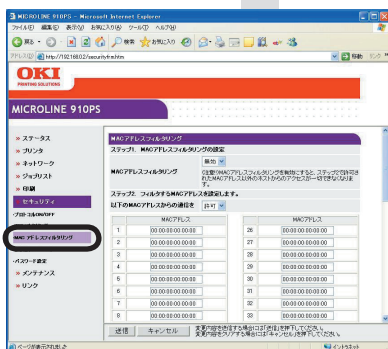
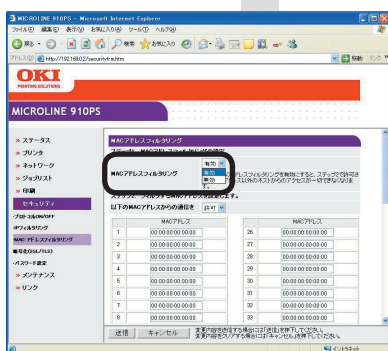
起動と設定方法

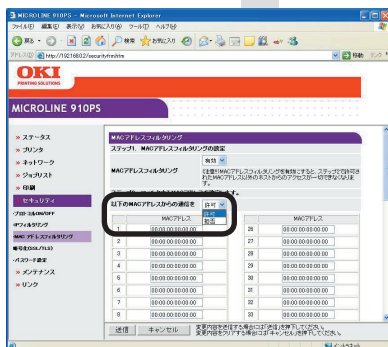
❶ Webブラウザを起動します。

❷［アドレス］に［http://プリンタのIPアドレス］を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザ名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し［OK］をクリックします。

- パスワードの初期値は「MACアドレスの英数字下6桁」です。
- MACアドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺［セキュリティ］をクリックします。

❻［MAC アドレスフィルタリング］をクリックします。

❼［ステップ 1］で［MAC アドレスフィルタリングの設定］を「有効」にします。

❽「ステップ 2」で特定の MAC アドレスからの通信を「許可 (拒否)」するかどうかを選択します。

- MAC アドレスを使用して通信を許可 (拒否) するホストの MAC アドレスを入力してください。
- MAC アドレスは、“：”で区切られた半角の数字を使用してください。
- ステップ 2 の指定に関わらず、通信が可能な管理者アドレスをステップ 3 で設定できます。

❾「ステップ 3」で、「設定される管理者 MAC アドレス」の値を設定します。

「設定される管理者 MAC アドレス」に管理者の MAC アドレスを入力することにより、万一「ステップ 2」で誤った設定を行ってしまった場合でも、管理者は「設定される管理者 MAC アドレス」で設定した MAC アドレスのホストから再設定することができます。

- プロキシ等を経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホストの MAC アドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。したがって、あなたのホストのアドレスと表示されている「あなたのホストの MAC アドレス」が異なる場合があります。
- 「管理者 MAC アドレス」として何も登録しない場合は、ステップ 2 の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。
- 管理者の MAC アドレスを登録したくない場合は、「設定される管理者 MAC アドレス」の欄を 00:00:00:00:00:00 にしてください。

❿「送信」をクリックします。

⓫ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

IPP印刷をユーザ名とパスワードを設定して制限する

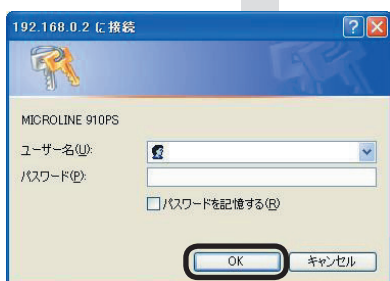
IPP印刷のためのユーザ名とパスワードを最大50組設定することができます。
ユーザ名とパスワードが一致したときのみIPP印刷を許可します。

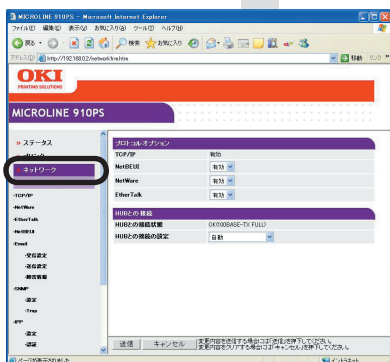
工場出荷時の設定では、IPPは無効になっています。
IPPで印刷を行うためには、Webブラウザを起動し、ネットワークタブの［IPP］（231ページ）を［有効］にしてください。

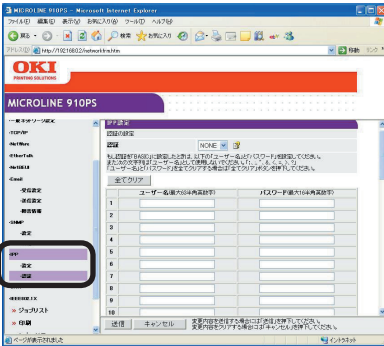
❶ Webブラウザを起動します。

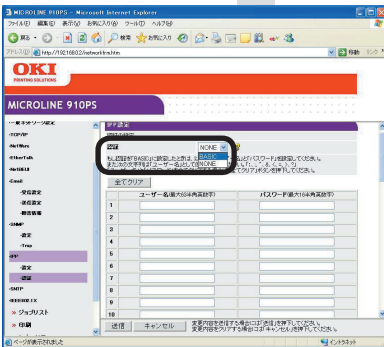
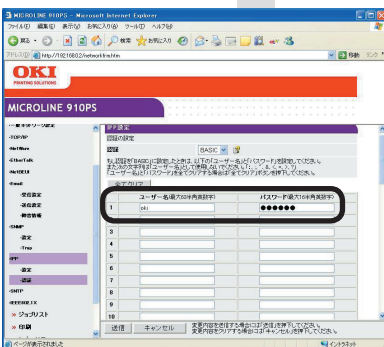
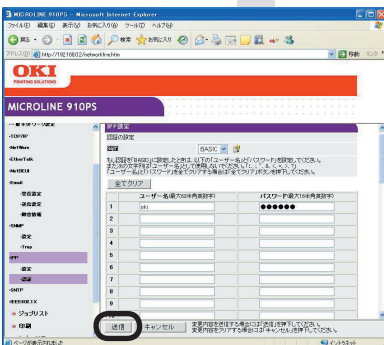
❷［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺［ネットワーク］タブをクリックします。

❻［IPP］-［認証］をクリックします。

❼［認証］を［BASIC］にします。

- ［認証］を［NONE］に設定している場合、印刷するユーザの制限は行いません。
- 認証方式［BASIC］では、パスワードは暗号化されません。

❽「ユーザ名」と「パスワード」を入力します。

❾「送信」をクリックします。

SMTPサーバと通信する

メール送信において、SMTP認証機能を持ったメールサーバとの間でSMTP認証機能を用いた通信が可能となります。

メモ　本プリンタでは、CRAM-MD5, PLAIN, LOGINの認証方法に対応しています。
お使いのメールサーバの対応している認証方法については、メールサーバの管理者に相談してください。

❶ Webブラウザを起動します。

❷［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ　パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺［ネットワーク］タブをクリックします。

❻［Email］-［送信設定］をクリックします。

❼「ステップ1」で、「SMTP送信設定」を［有効］にします。

❽「ステップ2」で、送信に必要なアドレスを設定します。

① 「SMTPサーバ」に、メールサーバのドメイン名またはIPアドレスを設定します。

② 「プリンタEmailアドレス」に、プリンタに与えられたメールアドレスを設定します。

- 「SMTPサーバ」をドメイン名で設定する場合は、「TCP/IP」設定において、DNSサーバの設定が必要です。
- メールサーバにはプリンタからのメール送信を許可する設定が必要です。メールサーバの設定についてはネットワーク管理者にご相談ください。

❾ 以後、さらに詳しい設定をしたい場合は、「ステップ3」で、［詳細］をクリックします。
それ以外の場合、㉑へ進みます。

❿［セキュリティ設定］をクリックします。

⓫「SMTP認証」を［有効］にします。

⓬「ユーザID」を入力します。

⓭「パスワード」を入力します。

注

- 「ユーザID」と「パスワード」を間違えると、メール送信機能が正常に働きません。注意してください。

⓮［OK］をクリックします。

⓯［付加情報設定］をクリックします。

⑯ Email送信メッセージの文末に追加したい情報を選択または入力します。

⑰ [OK] をクリックします。

⑱ [その他] をクリックします。

⑲「返信先Emailアドレス」に、プリンタから送信されたメールに対する返信用メールアドレスを設定します。通常、プリンタの管理者のメールアドレスを設定してください。

⑳ [OK] をクリックします。

㉑「送信」をクリックします。

㉒ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

- 認証方式はメールサーバのサポートしている認証方式の中から自動的に選択されます。

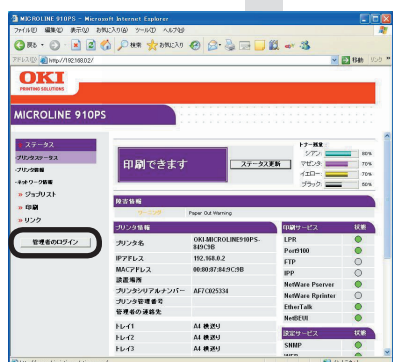
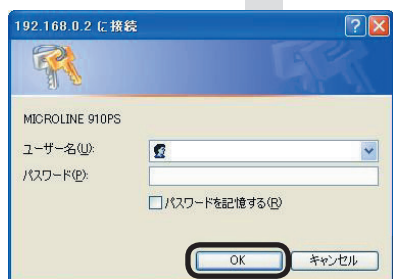
ドメイン名でメールの受信を制限する（Domain Filtering）

受信許可または受信拒否すべき電子メールを判断するためのドメイン名を指定します。
受信許可のドメイン名を指定した場合、電子メールの発信者ドメインが、登録されたドメイン名のいずれかと一致した場合にのみ受信します。ドメイン名が一致しない場合は、受信しません。
受信拒否のドメイン名を指定した場合、電子メールの発信者ドメインが、登録されたドメイン名のいずれかと一致した場合に、受信しません。ドメイン名が一致しない場合のみ受信します。
1つのドメインを最大64文字で指定し、5つのドメインが登録可能です。

設定方法

❶ Webブラウザを起動します。

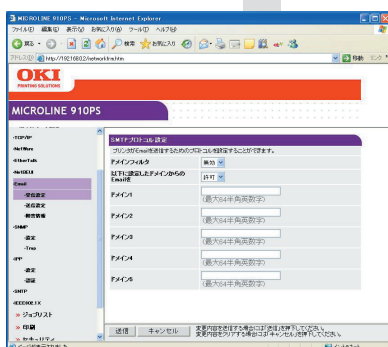
❷ ［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸ ［管理者のログイン］をクリックします。

❹ ［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺ ［ネットワーク］タブをクリックします。

❻ 左フレームより「Email」→「受信設定」をクリックします。

❼ Email受信設定として「SMTP」を選択して次のステップへ進みます。

❽「ドメインフィルタ」で「有効」を選択します。

❾「以下に設定したドメインからのEmailを」で「許可」または「拒否」を選択します。

❿「ドメイン」の1〜5のテキストボックスに、任意のドメイン名を入力します。

⓫「送信」ボタンをクリックします。

⓬プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

使用方法

以降、指定したドメイン名からの電子メールのフィルタリングが自動的に行われます。

通信を暗号化する（SSL/TLS）

Webページからの設定及びIPP印刷時にコンピュータ（クライアント）-プリンタ間の通信を暗号化できます。
（HTTPによる通信の暗号化）

設定方法

1. 暗号化設定ツールとしては以下のものがあります。
   1） Webページ
   2） AdminManager
   3） TELNET（暗号化強度（弱/標準/強）、SSL/TLS（暗号化）のON/OFF（有効・無効）のみ変更可能）

2. 設定の流れ
   Webを使用してプリンタで証明書を作成する手順を示します。
   作成できる証明書の種類は以下の2種類があります。
   自己署名証明書
   認証局証明書（CSRの作成）

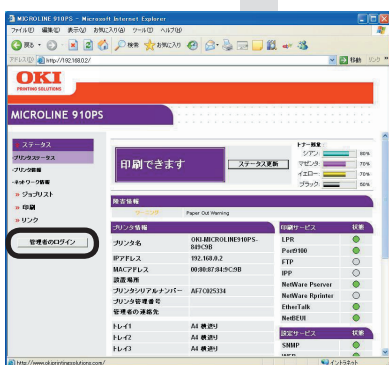
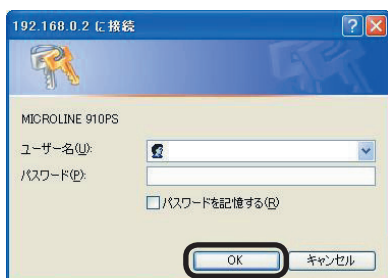
プリンタのIPアドレスが証明書作成時から変更されてしまうと、その証明書は無効になってしまいます。証明書作成後はプリンタのIPアドレスを変更しないでください。

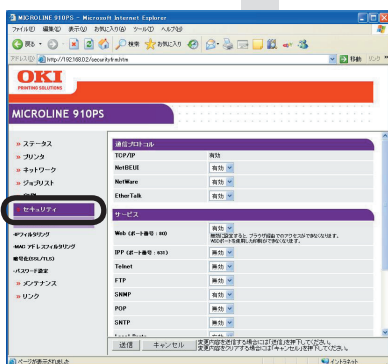
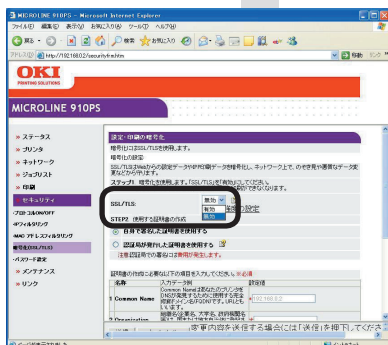
証明書作成手順

❶ Webブラウザを起動します。

❷ ［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

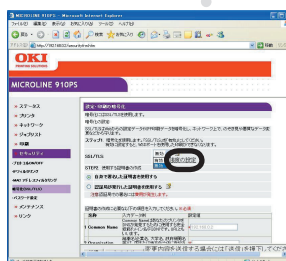
❸ ［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

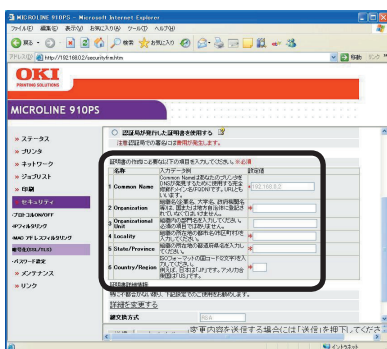
パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺［セキュリティ］タブをクリックします。

❻［暗号化（SSL/TLS）］をクリックします。

❼ SSL/TLS設定を有効にします。

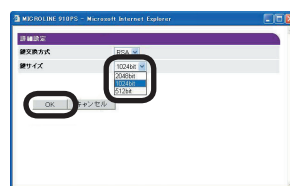
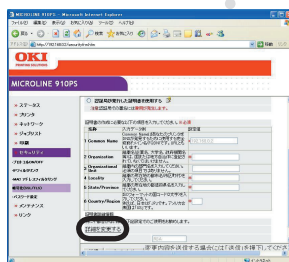
暗号化強度を変更したいときは？（通常は［標準］のままご使用ください。）

「暗号化強度の変更」をクリックします。

5 ネットワーク機能について

❽ Common Name、Organization、等の項目を入力します。

・「認証局が発行した証明書を使用します」を選択した場合、入力内容等証明書発行手続きの詳細は、認証局の手順に従ってください。

鍵交換方式、鍵サイズを変更したいときは？

（初期値はRSA、1024bitです。通常はそのまま変更せずにご使用ください。）

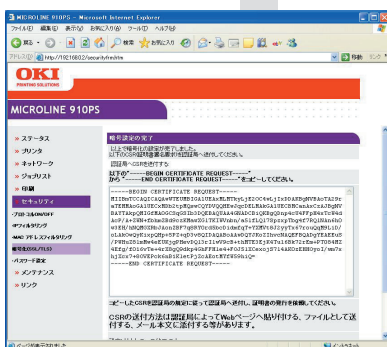
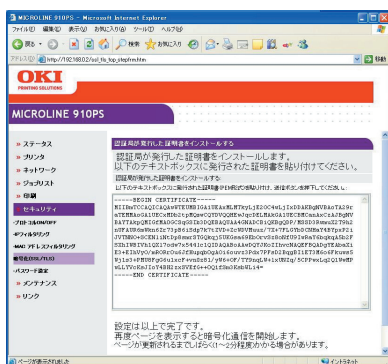
「詳細を変更する」をクリックします。

❾ 入力内容が表示されます。

内容を確認し､OKをクリックしてください。証明書を作成します。

以上で自己署名証明書の作成は完了です。

認証局証明書の場合、続いて以下の手順が必要です。

❿ CSRを取り出し認証局へ送付します。（認証局証明書の場合）

・テキストボックス内の「----- BEGIN CERTIFICATE REQUEST -----」から「----- END CERTIFICATE REQUEST -----」をコピーしてください。CSRの送付方法は、認証局によってWebページへ貼り付ける、ファイルとして送付する、メール本文に添付する等があります。

⓫ 認証局から発行された証明書を（Webを使用して）インストールします。（認証局証明書の場合）

手順❶〜❼に従い、暗号化（SSL/TLS）設定画面を表示します。発行された証明書の「----- BEGIN CERTIFICATE -----」から「----- END CERTIFICATE -----」までをテキストボックスへ貼り付け、「送信」をクリックします。

これで認証局証明書の作成は完了です。

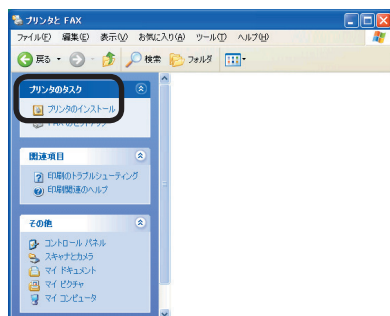
使用方法

1. Webページからの設定方法

❶ Webブラウザを起動し、アドレスに「https://プリンタのIPアドレス」と入力し、接続します。

2.印刷（IPP印刷）

環境

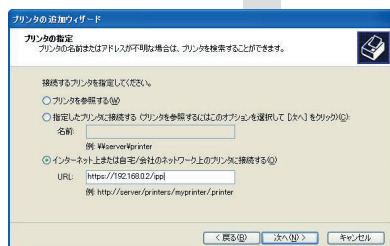
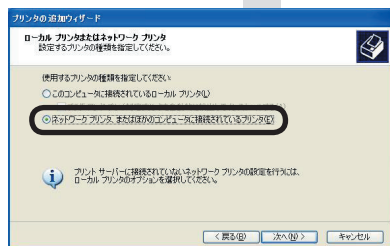
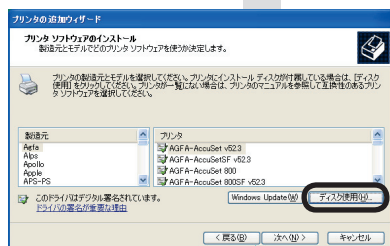
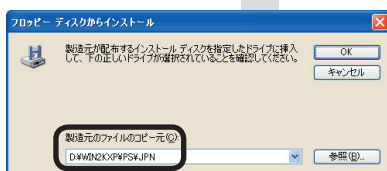
使用可能なOS	Windows Vista	Windows 2000	Windows 2000サーバ
	Windows XP	Windows Server 2003	Windows Server 2008

❶ コンピュータの電源をONにしWindowsを起動します。

工場出荷時の設定では、IPPは無効になっています。
IPPで印刷を行うためには、Webブラウザ（227ページ）を起動し、ネットワークタブの［IPP］（231ページ）を［有効］にしてください。

❷ Windows Vista/Server 2008では、［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。［プリンタのインストール］をクリックします。
Windows XPでは、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］を選択します。［プリンタのタスク］-［プリンタのインストール］をクリックします。
Windows Server 2003では、［スタート］-［プリンタとFAX］を選択します。［プリンタの追加］をダブルクリックします。
Windows 2000では、［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。［プリンタの追加］をダブルクリックします。

❸ 「プリンタの追加ウィザード」画面で、［次へ］をクリックします。

❹ ［ネットワークプリンタまたは他のコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

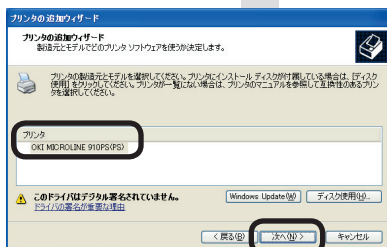
- ［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外してください。

❺ ［インターネット上または自宅/会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択し、URLの設定をhttps://IPアドレス/ipp またはhttps://IPアドレス/ipp/lp と入力し、［次へ］をクリックします。

❻ ［ディスク使用］をクリックします。

❼「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❽［製造元のファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

ここでは、CD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。

PSドライバをインストールする場合
D:¥Drivers¥JPN¥WinXP2K¥PS

PCLドライバをインストールする場合
D:¥Drivers¥JPN¥WinXP2K¥PCL

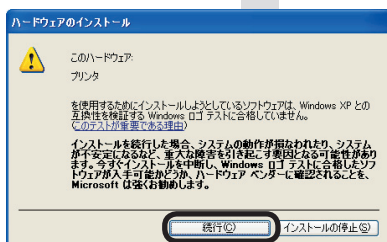
ポストスクリプトに対応しているアプリケーション（Adobe Illustratorなど）から印刷する場合はPSを選択します。
その他のアプリケーションから印刷する場合は、どちらでも選択できます。

❾プリンタ名を選択し、［次へ］をクリックします。

❿プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

「プリンタ共有」画面が表示されたら、［このプリンタを共有しない］を選択し、［次へ］をクリックします。

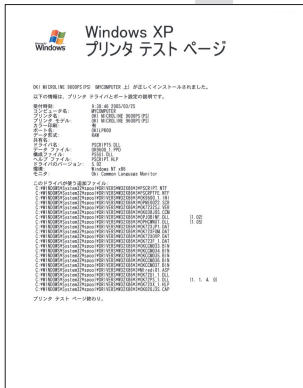
⓫［テストページを印刷しますか？］で［いいえ］を選択し、［次へ］をクリックします。

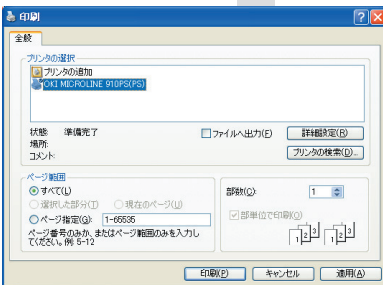
⓬［完了］をクリックします。

⓭「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

5
ネットワーク機能について

⑭ プリンタアイコンを選択し、右クリックでプロパティを開きます。
［テストページの印刷］をクリックします。

左のようなシートが印刷されたら、セットアップは完了です。

印刷したいファイルを開きます。

⑮ ［ファイル］-［印刷］を選択し、作成したIPPプリンタを指定して印刷を行います。

プリンタに時刻を設定する

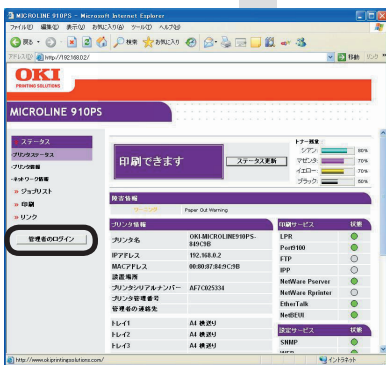
プリンタの時刻をSNTP（Simple Network Time Protocol）を使用して設定します。

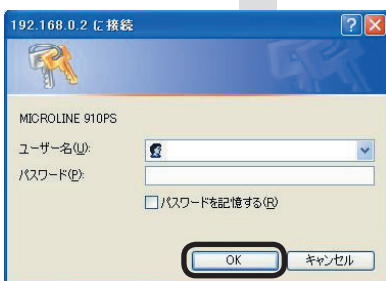
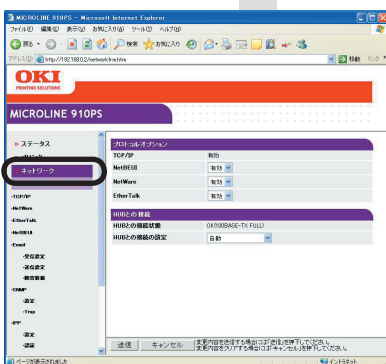
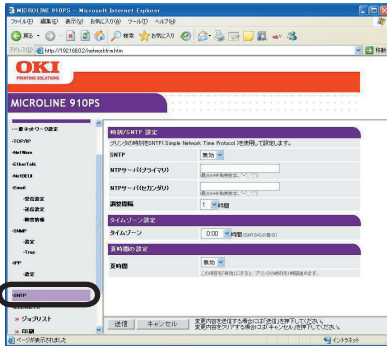
メモ　NTPとは、Network Time Protocolの略で装置の内部時計をネットワークを介して正しく調整するプロトコルのことです。また、SNTPとは、Simple Network Time Protocolの略でNTPの簡易版です。
本機能実施のためには、NTP/SNTPサーバが必要です。
NTP/SNTPサーバについてはネットワーク管理者に相談してください。

❶ Webブラウザを起動します。

❷ ［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸ ［管理者のログイン］をクリックします。

❹ ［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺ ［ネットワーク］タブをクリックします。

❻ ［SNTP］をクリックします。

❼ ［SNTP］を［有効］にします。

❽ 「NTPサーバ（プライマリ）」、「NTPサーバ（セカンダリ）」にNTPサーバのホスト名またはIPアドレスを入力します。

メモ

「NTPサーバ（プライマリ）」だけを入力しても動作します。
NTPサーバをホスト名入力した場合にはDNSサーバの設定が必要です。

❾ ［調整間隔］を設定します。通常は初期設定のままお使いください。

❿ ［タイムゾーン］に協定世界時（UTC）からの時差を設定します。日本国内では「+09:00」にします。

⓫ ［夏時間］を［オフ］のままとします。

⓬ 「送信」をクリックします。

⓭ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

以上の設定により、装置の起動時と「調整間隔」に設定した間隔で、自動的にNTPサーバから時刻を取得し、その都度プリンタの時刻を調整します。

IEEE802.1Xを使います

IEEE802.1X による認証機能に対応しています。
AdminManager(Windows)、Web ブラウザ、TELNET で設定できます。

お使いのネットワーク環境によっては正常に動作しないことがあります。

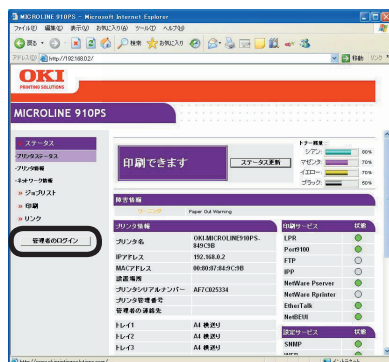
IEEE802.1Xセットアップの流れ

プリンタに IEEE802.1X の設定を行うために、まず、プリンタとコンピュータとを通常のハブを経由してセットアップ用の接続をします。IEEE802.1X の設定完了後、認証スイッチにプリンタを接続します。

1. プリンタとコンピュータとを接続します。
2. コンピュータにセットアップ用の IP アドレスを設定します。
3. プリンタにセットアップ用の IP アドレスを設定します。
   プリンタとコンピュータとの接続およびプリンタとコンピュータ（Windows）の IP アドレス設定方法については、セットアップ編「ケーブルを接続します」から「セットアップします (3 プリンタに IP アドレス等を設定します。)」までをご覧ください。
4. プリンタに IEEE802.1X の設定をします。
5. プリンタを認証スイッチに接続します。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	: MICROLINE 910PS
IPアドレス	: 192.168.0.3（コンピュータのセットアップ用アドレス） 192.168.0.2（プリンタのセットアップ用アドレス）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
Webブラウザ	: Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

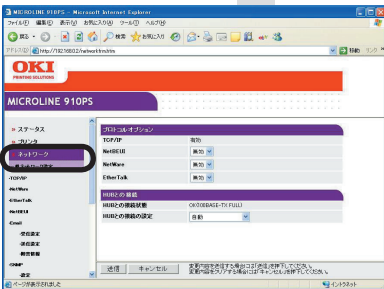
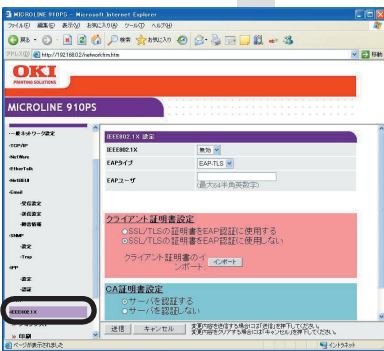
IEEE802.1Xの設定をします

❶ Web ブラウザを起動します。

❷ ［アドレス］に「http:// プリンタの IP アドレス」を入力し、Enter キーを押します。

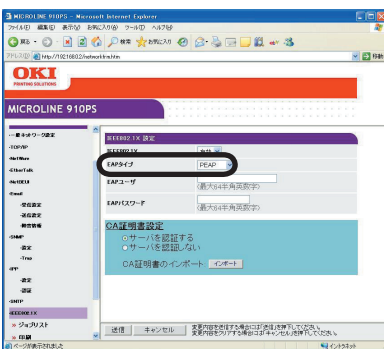
プリンタステータス画面が表示されます。

❸ ［管理者のログイン］をクリックします。

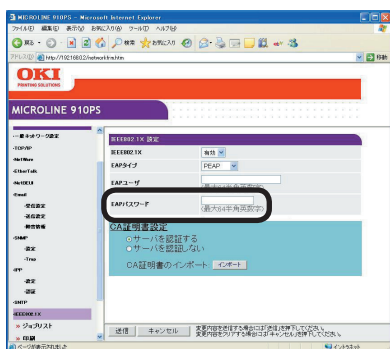
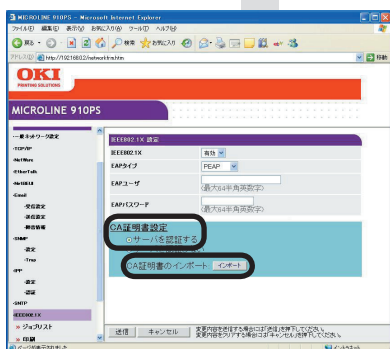
❹［ユーザ名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ
- パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
- MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺［ネットワーク］タブをクリックします。

❻［IEEE802.1X］メニューをクリックします。

PEAPを使用する場合

メモ　EAP-TLS を使用する場合は、276 ページへ進んでください。

❼［IEEE802.1X］で［有効］を選択します。

❽［EAP タイプ］で［PEAP］を選択します。

❾［EAP ユーザ］にユーザ名を入力します。

⑩ ［EAP パスワード］にパスワードを入力します。

⑪ ［サーバを認証する］をチェックします。

⑫ ［CA 証明書のインポート］をクリックします。

メモ

［サーバを認証しない］をチェックした場合は、CA 証明書のインポートは必要ありません。
［サーバを認証しない］をチェックした場合、正しい認証サーバに接続されたかどうかをチェックしなくなります。

「CA 証明書のインポート」画面が表示されます。

⑬ CA 証明書のファイル名を入力し、［OK］をクリックします。

メモ

・ インポートする CA 証明書は、RADIUS サーバのサーバ証明書の発行元認証局の証明書です。
・ インポートできるファイル形式は PEM または DER 形式です。

CA 証明書がプリンタにインポートされます。

⑭「送信」をクリックします。

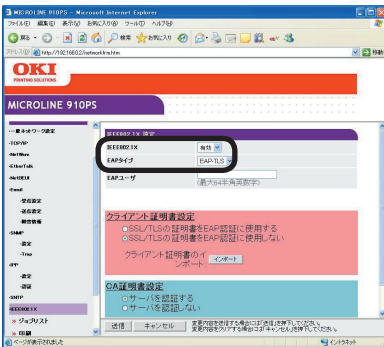
⑮ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

操作パネルに［印刷できます］が表示されたら、プリンタの電源を切ります。

注

［プリンタの電源の切り方はユーザーズマニュアル（セットアップ編）をご覧ください。

「プリンタを認証スイッチに接続します」（277 ページ）に進みます。

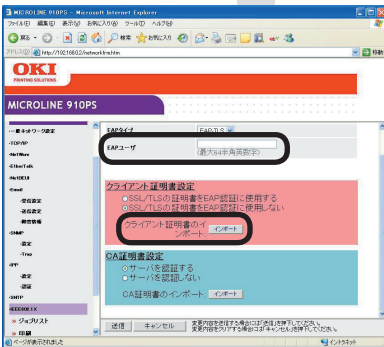
EAP-TLSを使用する場合

⑯［IEEE802.1X］で［有効］を選択します。

⑰［EAP タイプ］で［EAP-TLS］を選択します。

⑱［EAP ユーザ］にユーザ名を入力します。

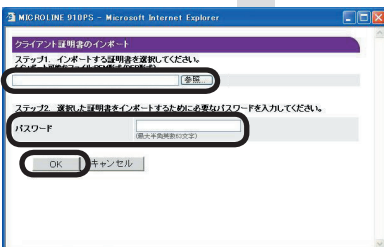
⑲［SSL/TLSの証明書をEAP認証に使用しない］をチェックします。

メモ　通常は［SSL/TLS の証明書を EAP 認証に使用する］にチェックしないでください。

⑳［クライアント証明書のインポート］をクリックします。

「クライアント証明書のインポート」画面が表示されます。

㉑ クライアント証明書のファイル名を入力します。

メモ　インポートできる証明書ファイルの形式は PKCS#12 です。

㉒ クライアント証明書のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

クライアント証明書がプリンタにインポートされます。

㉓［サーバを認証する］をチェックします。

㉔［CA 証明書のインポート］をクリックします。

［サーバを認証しない］をチェックした場合は、CA 証明書のインポートは必要ありません。
［サーバを認証しない］をチェックした場合、正しい認証サーバに接続されたかどうかをチェックしなくなります。

「CA 証明書のインポート」画面が表示されます。

㉕ CA 証明書のファイル名を入力し、［OK］をクリックします。

- インポートする CA 証明書は、RADIUS サーバのサーバ証明書の発行元認証局の証明書です。
- インポートできるファイル形式は PEM または DER 形式です。

CA 証明書がプリンタにインポートされます。

㉖「送信」をクリックします。

㉗ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

操作パネルに［印刷できます］と表示されたら、プリンタの電源を切ります。

［プリンタの電源の切り方はユーザーズマニュアル（セットアップ編）をご覧ください。

「プリンタを認証スイッチに接続します」に進みます。

プリンタを認証スイッチに接続します

注 プリンタの電源が切れていることを確認してください。

1. イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。
2. イーサネットケーブルを認証スイッチの認証ポートに差し込みます。
3. プリンタの電源スイッチの On (|) を押します
4. 操作パネルに［印刷できます］と表示したことを確認します。
5. プリンタの IP アドレス等をお使いの環境に従って設定します。

TELNETを使って…

工場出荷時の設定では、TELNETは無効（使用しない）になっています。TELNETを使うには、Webブラウザかプリンタ本体の操作パネルでTELNETの設定を有効にしてください。

プリンタの設定をする

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows　: Windows XP Professional
プリンタ　: MICROLINE 910PS
IPアドレス　: 192.168.0.2
MACアドレス　: 00:80:87:84:9C:9B

MACアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。

❶ Windowsのコマンドプロンプトを起動します。

❷ pingコマンドで接続を確認します。

```
C:¥WINDOWS ping 192.168.0.2
```

❸ TELNETでプリンタに接続します。

注 ユーザ名は「root」または「admin」、パスワードの初期値は「MACアドレスの英数字下6桁」です。

```
telnet 192.168.0.2

MICROLINE 910PS TELNET Server (Ver01.01)

login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.

 No.  M E N U (level.1)
-------------------------------------------------------------
   1 : Status / Information
   2 : Printer Config
   3 : Network Config
   4 : Security Config
   5 : Maintenance
  99 : Exit Setup
Please select(1 - 99)?
```

❹ 変更する項目の番号を入力し、「Enter」キーを押します。

❺ 各項目を設定します。

❻ プリンタからログアウトします。

新しい設定がプリンタに送信されます。

SNMPを使用する

SNMPエージェントを実装しています。市販されているSNMPマネージャでプリンタの設定値の参照・変更をすることができます。
SNMPマネージャで参照・変更可能な設定項目はMIBと呼ばれ、ML910PSはMIB-IIおよび沖データプライベートMIBに対応しています。沖データプライベートMIBについては、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」の [Utility] - [Nic] - [Mib] フォルダの中の「 Readme-j.txt 」を参考にしてください。

SNMPv3 を使用する

SNMPv3 対応エージェントを実装しています。
SNMPv3 対応 SNMP マネージャを使うと、SNMP によるプリンタの管理を暗号化し安全に行うことができます。

AdminManager(Windows)、Web ブラウザ、Telnet で設定できます。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	: ML910PS
プリンタの IPv4 アドレス	: 192.168.0.2
Web ブラウザ	: Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

SNMPv3 の設定をします

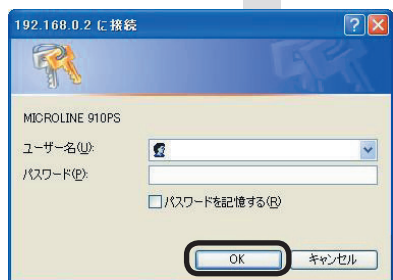
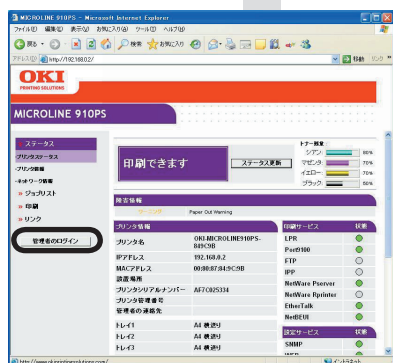
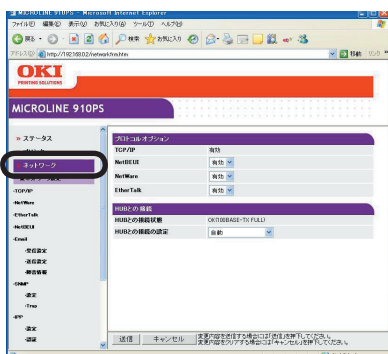
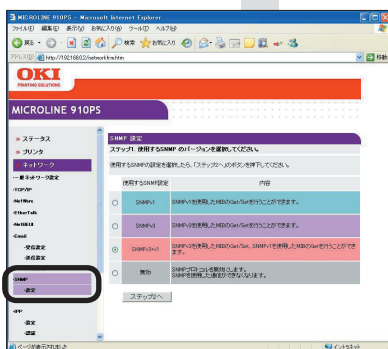
❶ Web ブラウザを起動します。

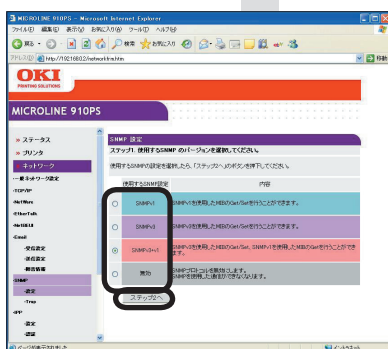
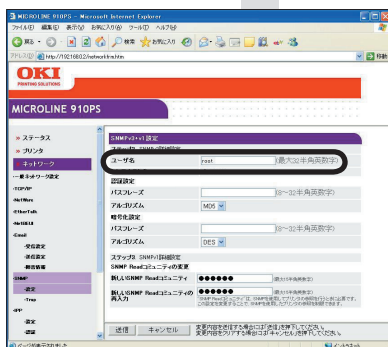
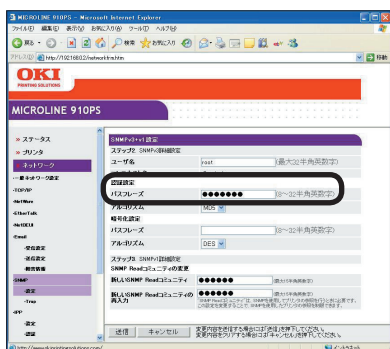
❷ ［アドレス］に［http:// プリンタの IP アドレス］を入力し、Enter キーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

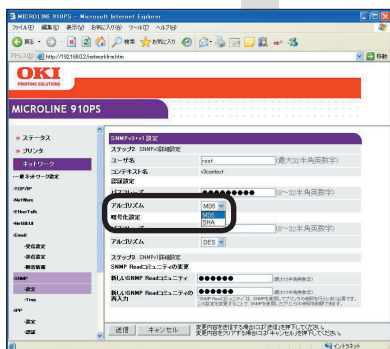
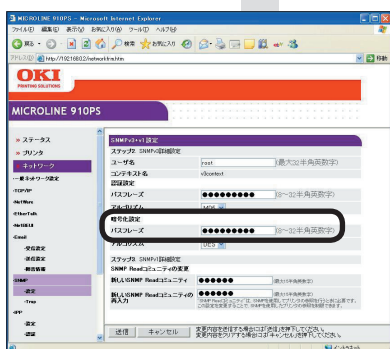
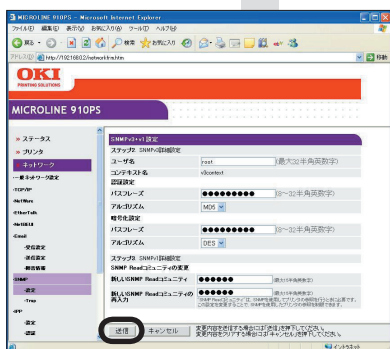
❸ ［管理者のログイン］をクリックします。

❹ ［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ
- パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
- MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺［ネットワーク］タブをクリックします。

❻［SNMP］-［設定］をクリックします。

❼「ステップ 1」で使用する SNMP のバージョンにチェックを付け、「ステップ 2 へ」をクリックします。

メモ ［SNMPv3］を選択した場合は、SNMPv1 での参照・設定はできなくなります。［SNMPv3+v1］を選択した場合は、SNMPv1 と SNMPv3 の両方で参照はできますが、設定は SNMPv3 でしかできません。

❽「ステップ 2」で［ユーザ名］に SNMPv3 ユーザ名を入力します。

❾「認証設定」で［パスフレーズ］に認証用パスフレーズを入力します。

❿［アルゴリズム］を選択します。

⓫「暗号化設定」で［パスフレーズ］に暗号化用パスフレーズを入力します。

メモ　暗号化アルゴリズムは［DES］のみ選択できます。

⓬「送信」をクリックします。

⓭ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

メモ　お使いの SNMP マネージャのコンテキスト名には「v3context」を設定してください。

IPv6 を使用する

IPv6 機能を実装しています。
IPv6 アドレスは自動的に取得されます。IPv6 アドレスの手動設定はできません。
IPv6 では以下のプロトコルに対応しています。

印刷：LPD、Port9100、IPP、FTP
設定：HTTP、Telnet、SNMPv1/v3

SMTP 送信、IP フィルタリング、WINS 登録、SNMP Trap などは IPv4 にのみ対応しています。
本製品との正常動作を確認済みのアプリケーションは下表の通りです。

メモ　Windows XP で IPv6 を使用するには別途 IPv6 のインストールが必要です。

プロトコル	アプリケーション	使用条件
LPD	Windows Vista Windows XP コマンドプロンプトの LPR	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス(先頭が"fe80"で始まるアドレス)を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
Port 9100	Redhat Linux 9.0 LPRng	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス(先頭が"fe80"で始まるアドレス)を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
FTP	Windows Vista Windows XP コマンドプロンプトの FTP	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス(先頭が"fe80"で始まるアドレス)を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
	Mac OS X ターミナルからの FTP	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス(先頭が"fe80"で始まるアドレス)を指定して接続することはできません。
HTTP	Windows Vista Internet Explorer 7.0 Windows XP Internet Explorer 6.0	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由したホスト名での指定のみで接続が可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) またリンクローカルアドレス(先頭が"fe80"で始まるアドレス)を指定して接続することはできません。
	Windows Vista Windows XP Mozilla Firefox(Ver.2.0) Windows Vista Windows XP Mozilla(Ver.1.7.8)	(1) IPv6 アドレスを"[]"で囲んで入力する必要があります。 (2) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (3) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (4) また、リンクローカルアドレス(先頭が"fe80"で始まるアドレス)を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
	Mac OS X Safari (1.2.3-v125.9)	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由したホスト名での指定のみで接続が可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス(先頭が"fe80"で始まるアドレス)を指定して接続することはできません。
	Mac OS X Safari (2.0-v412.2)	(1) IPv6 アドレスを"[]"で囲んで入力する必要があります。 (2) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (3) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (4) また、リンクローカルアドレス(先頭が"fe80"で始まるアドレス)を指定して接続することはできません。
Telnet	Windows Vista Windows XP コマンドプロンプトの Telnet	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス(先頭が"fe80"で始まるアドレス)を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
	Mac OS X ターミナルからの Telnet	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス(先頭が"fe80"で始まるアドレス)を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	: ML910PS
プリンタの IPv4 アドレス	: 192.168.0.2
Web ブラウザ	: Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

IPv6の設定をします

❶ Web ブラウザを起動します。

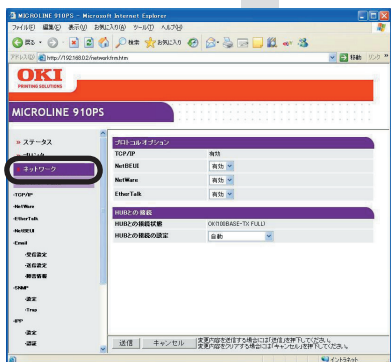
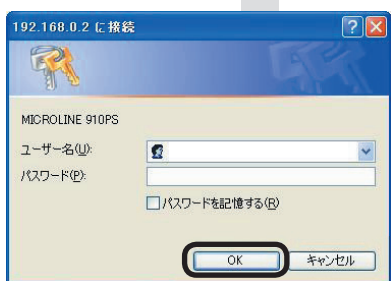
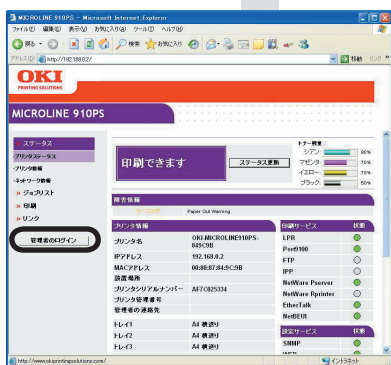
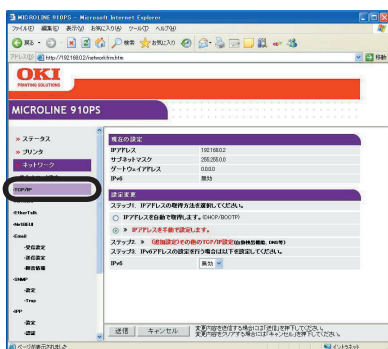
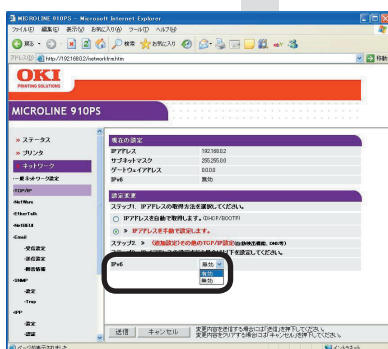
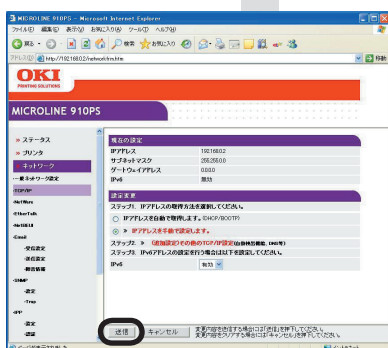
❷ ［アドレス］に［http:// プリンタの IP アドレス］を入力し、Enter キーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸ ［管理者のログイン］をクリックします。

❹ ［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ
- パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
- MAC アドレスは、手順の画面に表示されています。

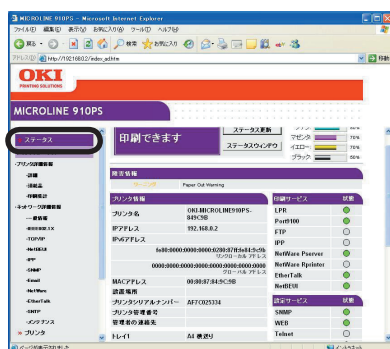
❺ ［ネットワーク］タブをクリックします。

❻［TCP/IP］をクリックします。

❼［IPv6］で［有効］を選択します。

❽「送信」をクリックします。

❾ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

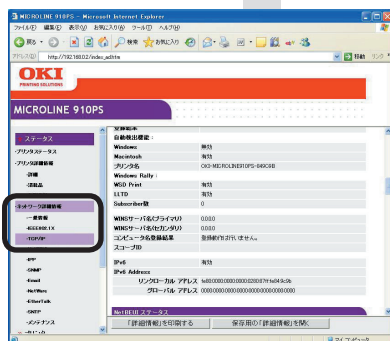
メモ Telnet を使うと、IPv4 を無効にし、IPv6 のみ有効に設定することができます。この場合、IPv4 でしか機能しないネットワーク機能は使用できなくなりますので注意してください。

IPv6 アドレスを確認します

IPv6 アドレスは自動的に取得されます。
取得された IPv6 アドレスは、Web ブラウザ、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されます。

❶［ステータス］タブをクリックします。

❷［ネットワーク設定］-［TCP/IP］をクリックします。

リンクローカルアドレスとグローバルアドレスを確認します。図示した環境ではグローバルアドレスは取得されていません。

- グローバルアドレスがすべて“0”で表示されている場合は、ルータからネットワークプレフィックスを取得できていません。お使いのルータが正しく設定されているか確認してください。
- お使いのコンピュータから IPv6 を使ってプリンタに接続するための設定方法は、お使いのコンピュータまたはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

ネットワークの設定項目の一覧

プリンタのネットワーク機能で設定できる項目を説明します。
現在設定されている値は、メニューマップ印刷のネットワークの設定情報（Network Information）で確認できます。
設定値を変更するには、TELNET, Web ブラウザ , AdminManager, Setup Utility を使用します。

TCP/IP

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
TCP/IP	−	TCP/IP プロトコルを使用する	TCP/IP プロトコルを使用する	ENABLE DISABLE	TCP/IP プロトコルの使用／非使用を設定します。
IP Address Set	IP アドレス設定	DHCP/BOOTP を使用する	DHCP/BOOTP を使用する	AUTO（自動） MANUAL(手動)	DHCP/BOOTP サーバへ IP アドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
IP Address	IP アドレス	IP アドレス	IP アドレス	192.168.100.100	IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	サブネットマスク	サブネットマスク	サブネットマスク	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。
Default Gateway	ゲートウェイアドレス	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	ゲートウェイ（デフォルトルータ）アドレスを設定します。0.0.0.0 はルータなしを意味します。
DNS Server (Pri.)	DNS サーバアドレス（プライマリ）	プライマリサーバ	−	0.0.0.0	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。SMTP(E-Mail) プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」を IP アドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
DNS Server (Sec.)	DNS サーバアドレス（セカンダリ）	セカンダリサーバ	−	0.0.0.0	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。SMTP(E-Mail) プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」を IP アドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
Dynamic DNS	ダイナミック DNS	DDNS を使用する	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	IP アドレスなどが、変更されたときに、それらの情報を DNS サーバに登録し直すか、しないかを設定します。
Domain Name	ドメイン名	ドメイン名	−	なし	プリンタが属するドメイン名を設定します。
WINS Server (Pri.)	WINS サーバ（プライマリ）	プライマリサーバ	−	0.0.0.0	Windows 環境で、ネームサーバ（コンピュータ名から IP アドレスに変換するためのサーバ）を使用している場合に、ネームサーバの IP アドレスまたはネームサーバ名を設定します。
WINS Server (Sec.)	WINS サーバ（セカンダリ）	セカンダリサーバ	−	0.0.0.0	Windows 環境で、ネームサーバ（コンピュータ名から IP アドレスに変換するためのサーバ）を使用している場合に、ネームサーバの IP アドレスまたはネームサーバ名を設定します。

（ネットワークの設定項目の一覧）

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
Scope ID	スコープ ID	スコープ ID	−	なし	WINS の ScopeID を設定します。1 〜 223 文字の英数字です。
Windows	Windows	Network PnP を使用する	−	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	Windows の自動検出機能の使用／非使用を設定します。
Macintosh	Macintosh	Bonjour を使用する	−	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	Macintosh の自動検出機能の使用／非使用を設定します。
Printer Name	プリンタ名	プリンタ名	−	「OKI」+「-」+「製品名」+「-」+「MAC アドレス下 6 桁」	自動検出機能で、プリンタ名をコンピュータにどのように表示させるかを設定します。
Password	パスワード設定	admin パスワード	admin パスワード	MAC アドレス下 6 桁	管理者パスワードを変更します。15 文字以内の英数字です。大文字、小文字は区別されます。忘れてしまうと設定を変更でき なくなります。
IP Version	IPv6	IPv6 を使用する	IPv6 を使用する	ENABLE (有効) DISABLE (無効) （TELNET では「IPv4 Only」「IPv4+v6」「IPv6 Only」となります）	IPv6 の機能の使用／非使用を設定します。
WSD Print	WSD Print	−	−	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	WSD Print の使用／非使用を設定します。
LLTD	LLTD	−	−	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	LLTD の使用／非使用を設定します。

SNMP

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
Contact to Admin	管理者の連絡先	SysContact	SysContact	なし	システム管理者の連絡先を入力します。半角で255文字以内です。
Printer Name	プリンタ名	SysName	SysName	「OKI」+「-」+「製品名」+「-」+「MAC アドレス下6桁」	プリンタの名前を入力します。半角で31文字以内です。
Printer Location	設置場所	SysLocation	SysLocation	なし	プリンタの設置場所を入力します。半角で255文字以内です。
Printer Asset Number	プリンタ管理番号	−	−	なし	お客様がプリンタを管理するための数値を入力することができます。半角で8文字以内です。
SNMP Version	使用する SNMP設定	−	−	SNMPv1 SNMPv3 SNMPv3+SNMPv1	使用するSNMPバージョンを設定します。
User Name	ユーザ名	ユーザ名	−	root	SNMPv3におけるユーザ名を設定します。1〜32文字の英数字です。

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
Auth Passphrase	認証設定パスフレーズ	パスフレーズ	―	なし	SNMPv3パケット認証に使用する認証キーを生成するためのパスワードを設定します。 8～32文字の英数字です。
Auth Key	―	認証キー(HEXコード)	―	なし	SNMPv3パケット認証に使用される認証キーをHEXコードで設定します。選択されたアルゴリズムによって入力文字数が変動します。 MD5：16オクテット(HEXコード32文字) SHA：20オクテット(HEXコード40文字)
Auth Algorithm	認証設定アルゴリズム	アルゴリズム	―	MD5 SHA	SNMPv3パケット認証で使用するアルゴリズムを設定します。
Privacy Passphrase	暗号化設定パスフレーズ	パスフレーズ	―	なし	SNMPv3パケット暗号化に使用するプライバシーキーを生成するためのパスワードを設定します。 英数字8～32文字です。
Privacy Key	―	プライバシーキー(HEXコード)	―	なし	SNMPv3パケット暗号化に使用されるパスワードをHEXコードで設定します。 DES：16オクテット(HEXコード32文字)
Privacy Algorithm	暗号化設定アルゴリズム	アルゴリズム	―	DES	SNMPv3パケット暗号化で使用するアルゴリズムを設定します。 設定値は“DES”固定です。
Read Community	SNMP Read コミュニティの設定	SNMP Read Community	―	public	SNMPv1で使用する、Read Communityを設定します。15文字以内の英数字です。
Write Community	SNMP Write コミュニティの設定	SNMP Write Community	―	public	SNMPv1で使用する、Write Communityを設定します。15文字以内の英数字です。

EtherTalk

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
EtherTalk	EtherTalk	EtherTalk プロトコルを使用する	EtherTalk プロトコルを使用する	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	EtherTalk の使用／非使用を設定します。
Printer Name	EtherTalk プリンタ名	プリンタ名	プリンタ名	製品名	EtherTalk のプリンタ名を指定します。31 文字以内の英数字です。接続するネットワークで唯一の名称で無い場合には自動的に番号が名称の末尾に追加されます。
Zone Name	EtherTalk ゾーン名	ゾーン名	ゾーン名	*	EtherTalk ゾーン名を指定します。32 文字以内の英数字です。

5

ネットワーク機能について

NetBEUI

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
NetBEUI	NetBEUI	NetBEUIプロトコルを使用する	NetBEUIプロトコルを使用する	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NetBEUIの使用／非使用を設定します。
Short Printer Name	ショートプリンタ名	ショートプリンタ名	ショートプリンタ名	「製品名」+「MACアドレス下6桁」	コンピュータ名を設定します。この名前でNetBEUI上で識別されます。WindowsであればネットワークコンピュータPrintServerグループに表示されます。15文字以内の英数字です。*1
Workgroup Name	ワークグループ名	ワークグループ	ワークグループ	PrintServer	ワークグループ名を設定できます。この名称でWindowsのネットワークコンピュータ中に表示されます。15文字以内の英数字です。
Comment	コメント	コメント	コメント	Ethernet Board OkiLAN 8450g	コメントを設定します。Windowsのネットワークコンピュータで表示形式を詳細に設定したときにこのコメントが表示されます。48文字以内の英数字です。

*1: 表示されたアイコンを開くと、下表のようなファイルが存在します。

ディレクトリ	ファイル名	機　能
SETUP	Config.ini	IP アドレスの設定変更ができます。 このファイル中の IP アドレスを変更して、またもとの位置に戻すだけでプリンタの IP アドレスをファイルに記載した値に変更することができます。
	Websetup	プリンタのもつ Web Page を起動します。
REPORT	Status.txt	プリンタに設定されている設定値の概要を表示します。 このファイルは変更することができません。現在の設定を表示するファイルですから、Report.txt とは内容が異なる場合があります。
	Report.txt	プリンタに設定されている設定値の詳細を表示します。 このファイルは変更することができません。設定値を表示するファイルですから、Status.txt とは内容が異なる場合があります。

・本プリンタの Master Browser 機能は、Workgroup 名が「PrintServer」の場合にのみ起動します。Master Browser 機能は同一 Workgroup 内に存在するマシンの情報を管理し、他の Workgroup からの一覧要求に応答する機能です。
・沖データ製プリンタ以外の機器の Workgroup に「PrintServer」の名前をつけた場合、その機器は正常に管理されなくなります。（その機器がネットワーク上で見えなくなることがあります。）
・本プリンタの Master Browser 機能で管理できるプリンタは最大 8 台です。
・NetBEUI プロトコルでは、他のユーザ（他のプロトコルを含む）からのジョブの印刷中はエラーメッセージが表示され、印刷できません。

printer trap

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
Prn-Trap Community	プリンタTrapコミュニティ名設定	プリンタTrapコミュニティ名	―	public	プリンタTrapのコミュニティ名を設定します。31文字以内の英数字です。
TCP #1-5 Trap Enable	Trap送信許可 #1-5	TCP #1-5 Printer Trapを有効にする	―	ENABLE DISABLE	TCP #1-5でプリンタTrapを使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Printer Reboot Trap	プリンタ再起動 #1-5	TCP #1-5 プリンタリブート	―	ENABLE DISABLE	プリンタが再起動したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Receive Illegal Trap	不正Trap受信 #1-5	TCP #1-5 受信異常	―	ENABLE DISABLE	「プリンタTrapコミュニティ名設定」で指定した以外のコミュニティ名でプリンタにアクセスしたときにTrapを使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Online Trap	オンライン #1-5	TCP #1-5 オンライン	―	ENABLE DISABLE	プリンタがON-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Offline Trap	オフライン #1-5	TCP #1-5 オフライン	―	ENABLE DISABLE	プリンタがOFF-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Paper Out Trap	用紙なし #1-5	TCP #1-5 用紙なし	―	ENABLE DISABLE	プリンタが用紙切れ状態になったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Paper Jam Trap	用紙ジャム #1-5	TCP #1-5 用紙ジャム	―	ENABLE DISABLE	プリンタに用紙がつまったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Cover Open Trap	カバーオープン #1-5	TCP #1-5 カバーオープン	―	ENABLE DISABLE	プリンタのカバーが開かれるたびにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Printer Error Trap	プリンタエラー #1-5	TCP #1-5 プリンタエラー	―	ENABLE DISABLE	プリンタにエラーが発生したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Trap Address	アドレス #1-5	TCP#1-5	―	0.0.0.0	TCP/IPの場合のTrap送信先アドレスを設定します。設定値は10進数「***.***.***.***」形式で入力します。IPアドレスが0.0.0.0の場合は、Trapを送信しません。アドレスは5か所まで指定できます。
IPX Trap Enable	IPX Trap送信許可	IPX Printer Trapを有効にする	―	ENABLE DISABLE	IPXでプリンタTrapを使用するかどうか設定します。
IPX Online Trap	IPX オンライン	IPX オンライン	―	ENABLE DISABLE	プリンタがON-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
IPX Offline Trap	IPX オフライン	IPX オフライン	―	ENABLE DISABLE	プリンタがOFF-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。

（ネットワークの設定項目の一覧）

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
IPX Paper Out Trap	IPX 用紙なし	IPX 用紙なし	—	ENABLE DISABLE	プリンタが用紙切れ状態になったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Paper Jam Trap	IPX 用紙ジャム	IPX 用紙ジャム	—	ENABLE DISABLE	プリンタに用紙がつまったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Cover OpenTrap	IPX カバーオープン	IPX カバーオープン	—	ENABLE DISABLE	プリンタのカバーが開かれるたびにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Printer ErrorTrap	IPX プリンタエラー	IPX プリンタエラー	—	ENABLE DISABLE	プリンタにエラーが発生したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Trap Net/Address	IPX	IPX	—	00000000: 000000000000	IPXの場合のTrap送信先アドレスを設定します。設定値は、ネットワークアドレス(8桁)+ノードアドレス(12桁)で入力します。 「00000000:000000000000」の場合はトラップを発行しません。アドレスは1か所のみ指定できます。

Email 受信

網かけ部は初期値です。

項 目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
POP or SMTP	使用するプロトコル	POP受信プロトコルを使用する/SMTP受信プロトコルを使用する	―	POP SMTP DISABLE(無効)	Email受信機能の使用/非使用を指定します。使用する場合、そのプロトコル(POP/SMTP)を指定します。
POP3 Server	POPサーバ名	POP3サーバ名	―	なし	POPサーバ名を指定します。ドメイン名またはIPアドレスを指定してください。
POP port number	POPポート番号	POP3ポート番号	―	110	POPサーバにアクセスするためのポート番号を設定します。
POP3 Server User ID	POPユーザID	POP3ユーザID	―	なし	POPサーバにアクセスするためのユーザIDを指定します。
POP3 Server Password	POPパスワード	POP3パスワード	―	なし	POPサーバにアクセスするためのパスワードを指定します。
Use APOP	APOPサポート	APOPを使用する	―	NO（無効） YES（有効）	APOPの使用/非使用を指定します。
Mail Polling Time(min)	POP受信間隔	ポーリング間隔	―	OFF 1 5 10 30 60	受信メールをPOPサーバに取得しに行く間隔を指定します。
Domain filter	ドメインフィルタ	ドメインフィルタを使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	ドメインフィルタ機能の使用/非使用を指定します。
Filter Policy	以下に設定したドメインからのEmailを	フィルタポリシー	―	DENY(拒否) ACCEPT（許可）	指定したドメインからのEmailに対する許可/拒否を指定します。
Domain 1-5	ドメイン1-5	ドメインフィルタ1-5	―	なし	ドメインフィルタ機能の対象となるドメイン名を指定します。

SMTP（Email 送信）

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
SMTP Send	SMTP送信	SMTP送信を使用する	─	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	SMTP(Email)送信プロトコルを使用するかどうか設定します。
SMTP Server Name	SMTPサーバ名	SMTPサーバ名	─	なし	SMTPサーバ名を設定します。ドメイン名またはIPアドレスを指定してください。ドメイン名を指定する場合は、DNS(Pri)(sec)の設定が必要です。
SMTP Port Number	SMTPポート番号	SMTPポート番号	─	25	SMTPのポート番号を設定します。通常は初期設定でご使用ください。
Printer Email Address	プリンタEmailアドレス	送信元アドレス	─	なし	プリンタのEmailアドレスを設定します。
Reply-To Address	返信先Emailアドレス	返信先アドレス	─	なし	返信用のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを指定してください。
Email Address1-5	Emailアドレス 1-5	送信先アドレス 1-5	─	なし	送信先のアドレスを設定します。アドレスは5ヶ所まで指定できます。
Notify Mode 1-5	障害通知方法	モード設定	─	EVENT（障害発生時の通知） PERIOD（定期的な通知）	障害を通知する方法を設定します。
Email Alert Interval(Hours) 1-5	メール通知間隔	定期通知間隔	─	1 〜 24	通知間隔を設定します。定期的な通知を選択した場合のみ有効です。
Consumable Warning Event 1-5	消耗品　警告	消耗品の注意	─	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	プリンタの消耗品(トナーカートリッジ、イメージドラムなど)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Consumable Warning Period 1-5	消耗品　警告	消耗品の注意	─	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタの消耗品(トナーカートリッジ、イメージドラムなど)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Consumable Error Event 1-5	消耗品　エラー	消耗品のエラー	─	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	プリンタの消耗品(トナーカートリッジ、イメージドラムなど)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Consumable Error Period 1-5	消耗品　エラー	消耗品のエラー	─	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタの消耗品(トナーカートリッジ、イメージドラムなど)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
Maintenance Warning Event 1-5	メンテナンスユニット　警告	メンテナンスの注意	―	DISABLE(無効) Immediate(即時) ≀ 2 H 0 M ≀ 48 H 45 M ENABLE(有効)	メンテナンスユニット(定着器ユニット、ベルトユニットなど)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Maintenance Warning Period 1-5	メンテナンスユニット　警告	メンテナンスの注意	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	メンテナンスユニット(定着器ユニット、ベルトユニットなど)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Maintenance Error Event 1-5	メンテナンスユニット　エラー	メンテナンスのエラー	―	DISABLE(無効) Immediate(即時) ≀ 48 H 45 M ENABLE(有効)	メンテナンスユニット(定着器ユニット、ベルトユニットなど)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Maintenance Error Period 1-5	メンテナンスユニット　エラー	メンテナンスのエラー	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	メンテナンスユニット(定着器ユニット、ベルトユニットなど)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Supply Warning Event 1-5	用紙の補充警告	用紙の補充の注意	―	DISABLE(無効) Immediate(即時) ≀ 0 H 15 M ≀ 48 H 45 M ENABLE(有効)	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Supply Warning Period 1-5	用紙の補充警告	用紙の補充の注意	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Supply Error Event 1-5	用紙の補充エラー	用紙の補充のエラー	―	DISABLE(無効) Immediate(即時) ≀ 48 H 45 M ENABLE(有効)	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Supply Error Period 1-5	用紙の補充エラー	用紙の補充のエラー	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

（ネットワークの設定項目の一覧）

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
Printing Paper Warning Event 1-5	印刷中の用紙警告	印刷中の用紙の注意	―	DISABLE(無効) Immediate(即時) ≀ 48 H 45 M ENABLE(有効)	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Paper Warning Period 1-5	印刷中の用紙警告	印刷中の用紙の注意	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Paper Error Event 1-5	印刷中の用紙エラー	印刷中の用紙のエラー	―	DISABLE(無効) Immediate(即時) ≀ 2 H 0 M ≀ 48 H 45 M ENABLE(有効)	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Paper Error Period 1-5	印刷中の用紙エラー	印刷中の用紙のエラー	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Storage Device Event 1-5	ストレージデバイス	ストレージデバイス	―	DISABLE(無効) Immediate(即時) ≀ 48 H 45 M ENABLE(有効)	ストレージデバイスに関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Storage Device Period 1-5	ストレージデバイス	ストレージデバイス	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	ストレージデバイスに関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Warning Event 1-5	印刷の結果警告	印刷の結果の注意	―	DISABLE(無効) Immediate(即時) ≀ 48 H 45 M ENABLE(有効)	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Warning Period 1-5	印刷の結果警告	印刷の結果の注意	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Error Event 1-5	印刷の結果エラー	印刷の結果のエラー	―	DISABLE(無効) Immediate(即時) ≀ 2 H 0 M ≀ 48 H 45 M ENABLE(有効)	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
Print Result Error Period 1-5	印刷の結果エラー	印刷の結果のエラー	−	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Warning Event 1-5	インターフェースの異常警告	I/Fの注意	−	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	インターフェース(ネットワークetc.)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Warning Period 1-5	インターフェースの異常警告	I/Fの注意	−	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	インターフェース(ネットワークetc.)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Error Event 1-5	インターフェースの異常エラー	I/Fのエラー	−	DISABLE Immediate(即時) 〜 2 H 0 M 〜 48 H 45 M ENABLE	インタフェース(ネットワークetc.)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Error Period 1-5	インターフェースの異常エラー	I/Fのエラー	−	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	インタフェース(ネットワークetc.)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Security Warning Event 1-5	セキュリティ	セキュリティの注意	−	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 2 H 0 M 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	セキュリティ機能の中で発生した警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Security Warning Period 1-5	セキュリティ	セキュリティの注意	−	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	セキュリティ機能の中で発生した警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Other Error Event 1-5	その他	その他のエラー	−	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 2 H 0 M 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Other Error Period 1-5	その他	その他のエラー	−	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

（ネットワークの設定項目の一覧）

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
Attached Info Printer Model	付加情報設定　プリンタモデル	付加情報設定　プリンタモデル	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタモデル名を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Network Model	付加情報設定　ネットワークインタフェース	付加情報設定　ネットワークインタフェース	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、ネットワークインタフェース名を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Printer Serial Number	付加情報設定　プリンタシリアルナンバー	付加情報設定　シリアル番号	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのシリアルナンバを含めるかどうかを設定します。
Attached Info Printer Asset Number	付加情報設定　プリンタ管理番号	付加情報設定　Asset 番号	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタの管理番号を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Printer Name	付加情報設定　プリンタ名	付加情報設定　システム名	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、SystemNameを含めるかどうかを設定します。
Attached Info Printer Location	付加情報設定　設置場所	付加情報設定　プリンタロケーション	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、SystemLocationを含めるかどうかを設定します。
Attached Info IP Address	付加情報設定　IPアドレス	付加情報設定　IPアドレス	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、IPアドレスを含めるかどうかを設定します。
Attached Info MAC Address	付加情報設定　MACアドレス	付加情報設定　Ethernet アドレス	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、MACアドレスを含めるかどうかを設定します。
Attached Info Short Printer Name	付加情報設定　ショートプリンタ名	付加情報設定　ショートプリンタ名	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのコンピュータ名を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Printer URL	付加情報設定　プリンタURL	付加情報設定　プリンタURL	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのURLを含めるかどうかを設定します。
Comment Line 1-4	コメント	コメント1-4	―	なし	送信メールの文末に付加するコメントを設定します。4行設定できます。1行は63文字まで入力でき、それを越える場合は自動的に改行します。
SMTP Auth	SMTP認証設定	SMTP認証設定	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SMTP認証をするかどうかを設定します。
User ID	ユーザID	ユーザID	―	なし	SMTP認証のユーザIDを設定します。
User Password	パスワード	パスワード	―	なし	SMTP認証のパスワードを設定します。

5

ネットワーク機能について

Maintenance

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
LAN Scale Setting	LANの規模の設定	LAN Scale	ー	NORMAL（普通） SMALL（小規模）	NORMAL(普通)：通常この設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つハブに接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピュータが2, 3台の小さなLANに接続するとプリンタが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 SMALL(小規模)：コンピュータが2, 3台の小さなLANから大型のLANまで対応しますが、スパニングツリー機能を持つハブに接続した場合に効率よく動作できない場合があります。
HEX Dump Mode	HEXダンプモード	ー	ー	NO YES	このモードに設定すると、受信した印刷データをすべて16進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。
HUB Link Setting	HUBとの接続の設定	ー	ー	AUTO NEGOTIATION 1000BASE-T FULL 100BASE-TX FULL 100BASE-TX HALF 10BASE-T FULL 10BASE-T HALF	HUBとの通信速度と通信方法を設定することができます。通常は、AUTO NEGOTIATIONを設定します。 HUBの通信速度を固定して使用したい場合は、プリンタ側の通信速度設定と同じ値にすることをお勧めします。

Security

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
FTP	FTP	FTP Serviceを使用する	ー	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタに対してFTPでのアクセスの使用/非使用を設定します。
Telnet	Telnet	Telnet Serviceを使用する	ー	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタに対してTELNETでのアクセスの使用/非使用を設定します。
Web（Default Port 80）	Web（ポート番号：80）	Web Serviceを使用する	ー	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタに対してWEBブラウザでのアクセスの使用/非使用を設定します。
Web（IPP）	Web	ー	ー	1 〜 80 〜 65535	プリンタのWebページにアクセスするためのポート番号を設定します。
IPP（Default Port 631）	IPP（ポート番号：631）	IPP Serviceを使用する	ー	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	IPPプロトコルの使用/非使用を設定します。

（ネットワークの設定項目の一覧）

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
SNMP	SNMP	SNMP Serviceを使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタに対してSNMPでのアクセスの使用/非使用を設定します。通常はENABLE（使用する）でお使いください。
SMTP（E-mail）	―	SMTP送信を使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SMTP送信の使用/非使用を設定します。
SMTP	SMTP	SMTPポート番号	―	1 ～ 25 ～ 65535	SMTPプロトコルのポート番号を設定します。
POP（E-mail）	POP	POP3プロトコルを使用する	―	ENABLE（ 有効） DISABLE（無効）	POP3プロトコルの使用/ 非使用を設定します。
POP	POP	POP3ポート番号	―	1 ～ 110 ～ 65535	POP3プロトコルのポート番号を設定します。
SNTP	SNTP	SNTPを使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SNTPプロトコルの使用/非使用を設定します。
Local Ports	Local Ports	―	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	独自プロトコルの使用/非使用を設定します。
TCP/IP	―	TCP/IPプロトコルを使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	TCP/IPプロトコルの使用/非使用を設定します。
NetBEUI	NetBEUI	NetBEUIプロトコルを使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NetBEUIプロトコルの使用/非使用を設定します。
NetWare	NetWare	NetWareプロトコルを使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NetWareプロトコルの使用/非使用を設定します。
EtherTalk	EtherTalk	EtherTalkプロトコルを使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	EhterTalkプロトコルの使用/非使用を設定します。
Password	パスワード設定	adminパスワード	―	MACアドレス英数字下6桁	管理者パスワードを変更します。15文字以内の英数字です。大文字、小文字は区別されます。忘れてしまうと設定を変更できなくなります。
―	―	設定データの暗号化通信を使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	ツール（AdminManager）とプリンタ間の設定データ通信を暗号化します。設定すると、バージョンが古いツールから、プリンタの設定が行えなくなります。

IP Filtering

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
IP Filtering	IPフィルタリング	IPフィルタを使用する	−	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	IPアドレス毎のアクセスを制限する機能の 使用／非使用を設定します。 ただし、この機能はIPアドレスについて充分な知識を必要とします。 通常は必ずDISABLE(使用しない)になるように設定しておいてください。 ENABLE(使用する)に設定し、以下の設定をしないとTCP/IPによるアクセスが一切できなくなってしまいます。
Start Address #1-10	開始アドレス #1-10	開始アドレス #1-10	−	0.0.0.0	プリンタへアクセスを許可するIPアドレスを指定します。 単一のIPアドレスを指定することもできますが、範囲で指定することもできます。アドレスの範囲（「開始アドレス」と「終了アドレス」）を設定してください。 0.0.0.0を入力すると無効になります。
End Address #1-10	終了アドレス #1-10	終了アドレス #1-10	−	0.0.0.0	
IP Address Range #1-10 Printing	印刷 #1-10	印刷を許可する #1-10	−	ENABLE DISABLE	IP Address Range #1-10 で設定したIPアドレスからの印刷を許可します。
IP Address Range #1-10 Configuration	設定 #1-10	設定を許可する #1-10	−	ENABLE DISABLE	IP Address Range #1-10 で設定したIPアドレスからの設定変更を許可します。
Admin IP Address	設定される管理者のIPアドレス	管理者のIPアドレス	−	0.0.0.0	管理者のIPアドレスを指定します。 このアドレスだけは、必ずプリンタにアクセスできます。 ただし、管理者がプロキシ経由でプリンタにアクセスするように設定している場合には、プロキシのアドレスが設定されてしまいます。プロキシのアドレスが設定されるとプロキシ経由でアクセスする人は全て許可となります。 管理者はプリンタに対してプロキシを経由しないでアクセスすることが理想です。

MAC Address Filtering

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
MAC Address Filtering	MACアドレスフィルタリング	－	－	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	MACアドレス毎のアクセスを制御する機能の使用/非使用を設定します。ただし、この機能はMACアドレスについて十分な知識を必要とします。通常は必ずDISABLE（使用しない）になるように設定しておいてください。ENABLE（使用する）に設定し、以下の設定をしないとネットワークによるアクセスが一切できなくなってしまいます。
MAC Address Access	MACアドレスからの通信	－	－	ACCEPT(許可) DENY(拒否)	MAC Address Access #1-50 で設定したMACアドレスからのアクセスを許可するか拒否するかを設定します。
MAC Address #1-50	フィルタするMACアドレス#1-50	－	－	00:00:00: 00:00:00	プリンタへアクセスを許可(拒否)するMACアドレスを指定します。 00:00:00:00:00:00を入力すると無効になります。
Admin MAC Address	設定される管理者のMACアドレス	－	－	00:00:00: 00:00:00	管理者のMACアドレスを指定します。このアドレスだけは、必ずプリンタにアクセスできます。ただし、管理者がプロキシ経由でプリンタにアクセスするように設定している場合には、プロキシのアドレスが設定されてしまいます。プロキシのアドレスが設定されているとプロキシ経由でアクセスする人は全て許可となります。 管理者はプリンタに対してプロキシを経由しないでアクセスすることが理想です。

SSL/TLS

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
Cipher (SSL/TLS)	SSL/TLS	SSL/TLSを使用する	―	ON（オン） OFF（オフ）	SSL/TLSの使用/非使用を設定します。
Ciper Strength	暗号化強度	暗号化強度	―	Weak（弱） Standard（標準） Strong（強）	暗号化の強度を設定します。
―	使用する証明書の作成	証明書作成	―	自身で署名した証明書を使用する（自己署名証明書） 認証局が発行した証明書を使用する（認証局証明書）	自己署名証明書を作成します。また、認証局へ送付するCSRの作成と認証局が発行する証明書のインストールをします。
―	Common Name	Common Name	―	（プリンタ自身のIPアドレス）	自己署名証明書作成時には装置のIPアドレス（固定）となります。
―	Organization	Organization	―	なし	組織名：所属する組織の正式名称を指定します。入力可能文字数は64文字。
―	Organizational Unit	Organizational Unit	―	なし	組織単位：属する部門や課、その他組織内のサブグループを指定します。入力可能文字数は64文字。
―	Locality	Locality	―	なし	都市名：組織がある都市名や地名を指定します。入力可能文字数は128文字。
―	State/Province	State/Province	―	なし	州/県：組織がある州や県を指定します。入力可能文字数は128文字。
―	Country/Region	Country/Region	―	なし	国コード：2文字のISO国/地域コードを入力します。（JP（日本）、US（アメリカ合衆国）等）入力可能文字数は2文字
―	鍵タイプ	鍵交換の方法	―	RSA	暗号通信に使用する鍵の方式を設定します。
―	鍵サイズ	鍵のサイズ	―	2048 bit 1024 bit 512 bit	暗号通信に使用する鍵のサイズを設定します。

SNTP

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
SNTP	SNTP	SNTPを使用する	ー	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SNTPプロトコルの使用/非使用を設定します。
NTP Server (Pri.)	NTPサーバ（プライマリ）	NTPサーバ名1	ー	なし	時間取得をするNTPサーバー（プライマリ）のIPアドレスを設定します。
NTP Server (Sec.)	NTPサーバ（セカンダリ）	NTPサーバ名2	ー	なし	時間取得をするNTPサーバー（セカンダリ）のIPアドレスを設定します。
Adjust Interval	調整間隔	時間補正間隔	ー	1 hour（時間） 12 hours（時間） 24 hours（時間）	NTP Server 1または、NTP Server 2に時間取得に行くインターバルを設定します。
Local Time Zone	タイムゾーン	ローカル時間設定	ー	00:00	GMTとの時間差を設定します。
Daylight Saving	夏時間	夏時間設定	ー	ON（オン） OFF（オフ）	サマータイムの設定をします。

Job List

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
ー	ジョブキュー表示項目設定	ー	ー	ドキュメント名 ジョブ状態 ジョブ種類 コンピュータ名 ユーザ名 印刷済み面数 送信時間 送信ポート	現在プリンタの印刷待ちになっているジョブ(印刷データ)の一覧に表示する項目を選択します。 選択しない場合には、初期値の項目で一覧が表示されます。

Web 印刷

網かけ部は初期値です。

項 目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
―	給紙トレイ	―	―	トレイ1 MPトレイ トレイ2* トレイ3* トレイ4* トレイ5*	印刷に使用する給紙トレイを選択します。 *：トレイ2 ～トレイ5は、オプションのセカンドトレイユニット装着時に表示。
―	印刷部数	―	―	1 ～ 999	1度に印刷する部数を入力します。 1～999の範囲で設定できます。
―	部単位印刷	―	―	チェックあり チェックなし	複数の文書を印刷する場合、文書を部単位で印刷します。
―	用紙サイズに合わせる	―	―	チェックあり チェックなし	印刷の際に、印刷するPDF ファイルの用紙サイズと、トレイの用紙サイズが異なる場合、印刷するPDF ファイルの用紙サイズをトレイの用紙サイズに合わせて編集するかどうかを選択します。
―	両面印刷	―	―	なし 長辺を綴じる 短辺を綴じる	両面印刷を行う際の、綴じ方を選択します。
―	印刷ページ指定	―	―	チェックあり チェックなし	開始ページ、終了ページを指定することで、印刷するページを指定します。
―	PDFパスワード	―	―	チェックあり チェックなし	暗号化されたPDF ファイルを印刷する場合に、チェックを付けてパスワードを指定します。

IEEE802.1X

網かけ部は初期値です。

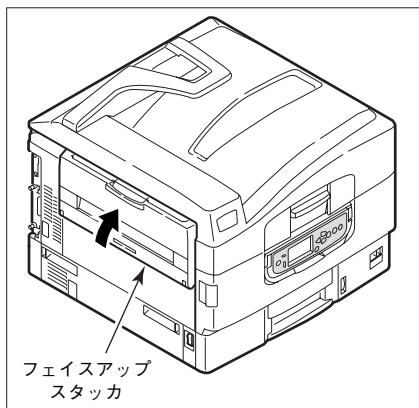
項目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
802.1X	IEEE802.1X	IEEE802.1X を有効にする	—	ENABLE(有効) DISEBLE(無効)	IEEE802.1X機能の使用/非使用を設定します。
EAP Type	EAPタイプ	EAPタイプ	—	EAP-TLS PEAP	EAP方式を選択します。
EAP User	EAPユーザ	EAPユーザ	—	なし	EAPで使用するユーザ名を指定します。EAP-TLS/PEAP選択時に有効です。64文字以内の英数字です。
EAP Password	EAPパスワード	EAPパスワード	—	なし	EAP Userに対応したパスワードを指定します。PEAP選択時のみ有効です。64文字以内の英数字です。
Use SSL Certificate	SSL/TLSの証明書をEAP認証に使用する	SSL/TLSの証明書を使用する	—	ENABLE(有効) DISEBLE(無効)	SSL/TLS用の証明書をIEEE802.1X認証に使用するかどうかを選択します。SSL/TLS用証明書がインストールされていない場合は"ENABLE(有効)"は選択できません。EAP-TLS選択時のみ有効です。
Authenticate Server	サーバを認証する	サーバを認証する	—	ENABLE(有効) DISEBLE(無効)	RADIUSサーバから送られてきた証明書を、CA証明書を使って認証するか否かを選択します。
EAP retry	—	—	—	1 ≀ 3 ≀ 9	IEEE802.1X認証動作のリトライ回数を設定します。1回-9回までの範囲で設定できます。通常は変更せずにお使いください。
EAP timeout	—	—	—	10 ≀ 60	IEEE802.1X認証中にサーバレスポンスを待つためのタイムアウト値を設定します。10秒-60秒の範囲で設定できます。通常は変更せずにお使いください。

6 知っていると役に立つ操作

- この章では、Windowsでは［ワードパッド］、Macintoshでは［SimpleText］、Mac OS Xでは［テキストエディット］を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。

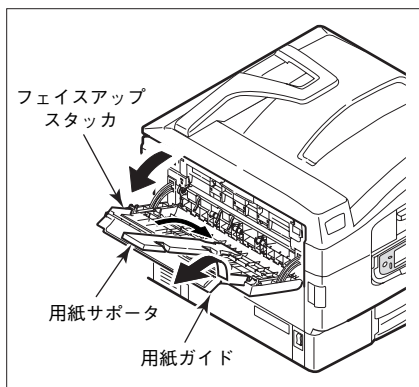
ページ順に出力する

複数ページの文書を印刷するとき、ページ順で取り出せます。

「フェイスダウン」でページ順に排出する

❶ プリンタ左側面の「フェイスアップスタッカ」が閉じていることを確認します。

❷ 印刷します。

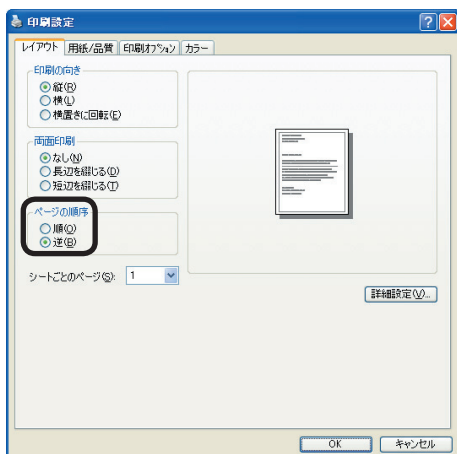
「フェイスアップ」でページを逆順に出力

フェイスアップスタッカを開き、プリンタドライバでページの順序を逆に設定し、印刷します。

Windows PCLプリンタドライバ、Macintoshプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷ 用紙サポータを開きます。

❸ 用紙サポータを回し、所定の位置にセットします。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［レイアウト］タブの［ページの順序］で［逆］を選択します。

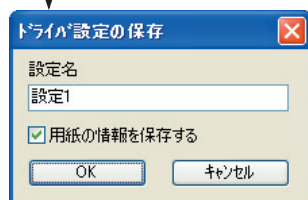
注 ［ページの順序］項目が表示されない場合は、［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI MICROLINE 910PS］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］タブで［詳細な印刷機能を有効にする］にチェックを付けてください。

❺ ［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

プリンタドライバの設定に名前を付けて保存する

プリンタドライバで設定した内容を保存することができます。
複数箇所の設定を変更した内容を保存しておくと、次回からドライバ設定を指定するだけで自動的に複数箇所の設定が保存されていた内容に変更されます。

Windows PSプリンタドライバ、Macintoshプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

1. Windows Vista/Server 2008では、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタ]をクリックします。
Windows XPでは、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択します。
Windows Server 2003では、[スタート]- [プリンタとFAX]を選択します。
Windows 2000では、[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。
2. [OKI MICROLINE 910PS(PCL)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定] を選択します。

3. 各設定を変更します。
4. [設定] タブの [ドライバ設定] で [追加] を選択します。
5. [設定名] に設定の名前を入力し、[OK] をクリックします。

   [用紙の情報を保存する] にチェックを付けると、[設定] タブの [用紙] の設定も保存します。

6. [ドライバ設定] で、使用する設定を選択し、[OK] をクリックします。

プリンタドライバの初期設定を変更する

よく使う機能を初期設定としておくと便利です。

Windowsプリンタドライバをお使いの方

❶ Windows Vista/Server 2008 では、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタ]をクリックします。
Windows XP では、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows Server 2003 では、[スタート]- [プリンタと FAX]を選択します。
Windows 2000 では、[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI MICROLINE 910PS(**)]（**）はPSまたはPCL（プリンタドライバの種類）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定]を選択します。

❸ 各設定を変更し、[OK]をクリックします。

Macintoshプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ 各設定を変更し、[設定を保存]をクリックします。

❹ 確認画面で[OK]をクリックします。

・[用紙設定]ダイアログの初期設定は変更できません。
・アプリケーション独自の設定項目は保存されません。

Mac OS Xプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ 各設定を変更します。

❹ 「プリセット」で「別名で保存」を選択し、「プリセット」画面で適当な設定名を入力し、[OK]をクリックします。

❺ 「キャンセル」をクリックします。

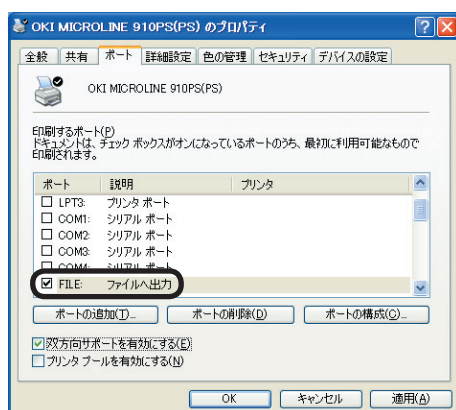
印刷時に「プリセット」で保存した設定名を選択してください。

Mac OS X 10.5 で[プリント]ダイアログに[プリンタオプション]が表示されない場合は、[プリンタ]ポップアップメニューの横にある[▲]ボタンをクリックしてください。

印刷データをファイルに出力する

印刷データを印刷せずにファイルに書き出して保存することができます。
保存したファイルは、OKI LPRユーティリティ（Windowsをお使いの方）、Microline PS Utility（MacOSをお使いの方）を使って印刷できます。
詳しくは、「OKI LPRユーティリティを使って…」（194ページ）、または「MicrolinePS Utilityを使って…」（215ページ）をご覧ください。

Windowsプリンタドライバをお使いの方

 コンピュータの管理者の権限が必要です。

❶ Windows Vista/Server 2008では、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタ]をクリックします。
Windows XPでは、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択します。
Windows Server 2003では、[スタート]-[プリンタとFAX]を選択します。
Windows 2000では、[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI MICROLINE 910PS(**)]（**はPSまたはPCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [ポート]タブの[印刷するポート]で[FILE:]を選択し、[OK]をクリックします。

❹ 印刷します。[ファイルへ出力]で[出力先ファイル名]を入力し、[OK]をクリックします。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ ファイルに出力したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［出力先］で［ファイル］を選択します。

❹ ［PostScript設定］パネルで設定を行います。

> **メモ**
>
> 形式
> 　ポストスクリプトファイル形式を指定します。
>
> PostScriptレベル
> 　出力するプリンタに合わせて指定します。
>
> フォーマット
> 　アスキー /バイナリ形式のいずれで保存するか指定します。
> 　バイナリのPostScript言語ファイルを転送する場合、通信サービスがバイナリデータ転送をフルサポートしている必要があります。
>
> フォントデータ
> 　ファイルにダウンロード可能なフォントを含めるか指定します。
> 　PostScriptフォントしか使っていない場合は［なし］を選択します。

❺ 印刷します。［名前］に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、［保存］をクリックします。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

（Mac OS X 10.4以降の場合）

（Mac OS X 10.3の場合）

❶ ファイルに出力したいファイルを開きます。

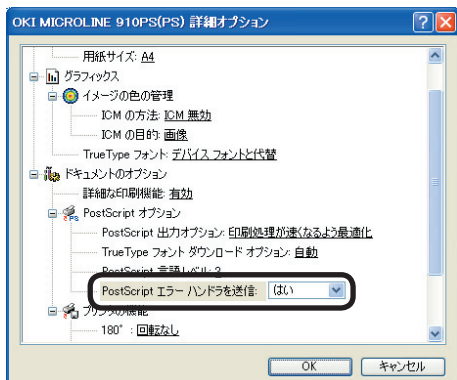
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［PDF］をクリックし、保存方法を選択します。（Mac OS X 10.3では［出力オプション］パネルで［ファイルとして保存］にチェックを付け、［フォーマット］で［PostScript］を選択し、［保存］をクリックします。）

❹ ［名前］（Mac OS X 10.3では［別名で保存］）に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、［保存］をクリックします。

ポストスクリプトエラーを印刷する

PSプリンタドライバを使って印刷している場合にエラーが発生したとき、エラー内容を印刷することができます。VMエラーやLimitcheckエラーの場合は、プリンタのメモリ不足です。それ以外のエラーが発生する場合は、特定のデータの問題や、アプリケーションに依存した問題の場合があります。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

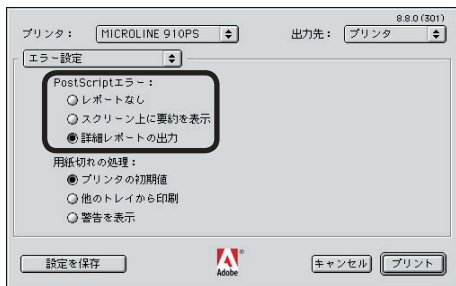
❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❺ ［PostScriptオプション］-［PostScriptエラーハンドラを送信］で［はい］を選択します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

利用できません。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［エラー設定］パネルの［PostScriptエラー］で［詳細レポートの出力］を選択します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

注 Mac OS X 10.5 では利用できません。

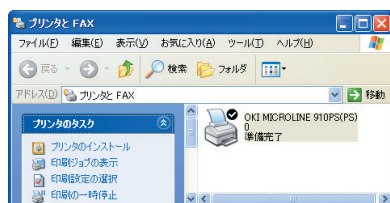
❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

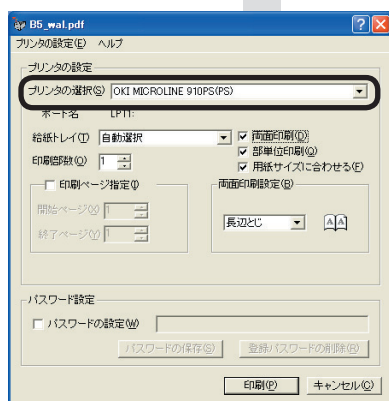
❸ ［エラー処理］パネルの［PostScriptエラー］で［詳細レポートをプリント］を選択します。

PDF Print Directユーティリティを使ってPDFファイルを印刷する

PDF Print Directユーティリティを使ってプリンタにPDFファイルを直接送り印刷します。アプリケーションを起動してファイルを開く手間が省けます。
本機能は、ハードディスクが装着されていなくても動作しますが、PDFファイルのサイズによっては、印刷できない場合があります。本機能を利用する場合は、ハードディスクを装着することを推奨します。

- PDFファイルによっては、正しく印刷されない場合があります。正しく印刷されない場合は、Adobe Readerなどのアプリケーションから印刷してください。
- 128bit-RC4レベルで暗号化されたPDFファイルは印刷できません。
- 閲覧者にパスワードで印刷許可を与えているPDFファイルを印刷する場合は、パスワードを指定してください。
- Windows PC上に本製品のプリンタドライバをあらかじめインストールしておく必要があります。
- 印刷するファイルによっては、プリンタに増設メモリが必要な場合があります。
- PDFファイルフォーマットVer1.7以上では正しく印刷されない場合があります。
- 印刷ページ指定をして印刷を行った場合はプリンタでの処理時間がかかる場合があります。

❶ プリンタに内蔵ハードディスク（オプション）が取り付けられていることを確認します。

❷ プリンタフォルダに［OKI MICROLINE 910PS (**)］（**はPSまたはPCL（プリンタドライバの種類））アイコンがあることを確認します。

❸ 印刷したいPDFファイルを選択し、マウスの右ボタンをクリックします。次のようなメニューが表示されるので、［PDF Print Direct］を選択します。

❹ 印刷可能なPDFファイルの場合、左の画面が表示されます。
使用するプリンタに接続されているプリンタドライバを［プリンタの選択］で選択します。

❺ 閲覧者にパスワードで印刷許可を与えているPDFファイルを印刷する場合は、［パスワードの設定］にチェックを付けて、パスワードを入力します。
今後も同じパスワードを使用する場合は、［パスワードの保存］をクリックします。パスワードが不要になった場合は、［登録パスワードの削除］をクリックします。
登録できるパスワードは1つです。

❻ 必要な項目を設定し、［印刷］をクリックします。

操作パネルの表示言語を変更したい（Windows）

プリンタの操作パネルに表示される言語を日本語または英語に切り替えることができます。工場出荷時の設定では、日本語になっています。

動作環境

Windows Vista/Server 2008/XP/2000/Server 2003 日本語版が動作しているコンピュータ

以下の説明は、Windows XP Home Edition を例にしています。

本プログラムは、プリンタドライバを使用します。あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。詳しくは、ユーザーズマニュアル（セットアップ編）をご覧ください。

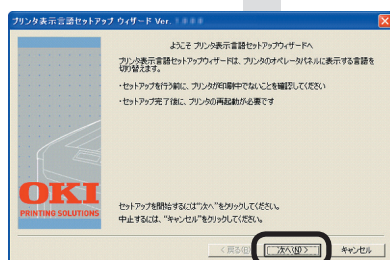
起動します

❶ プリンタの電源をONにします。

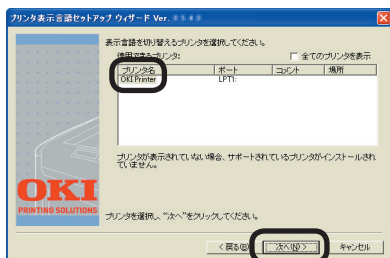
❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。セットアッププログラムが起動します。

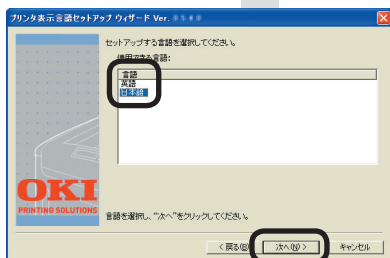
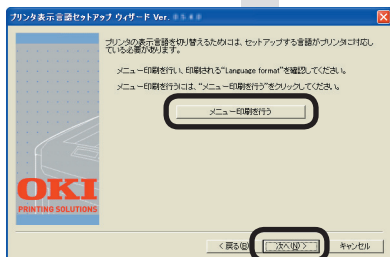
❸ ［使用許諾契約］をよく読み、［同意する］をクリックします。

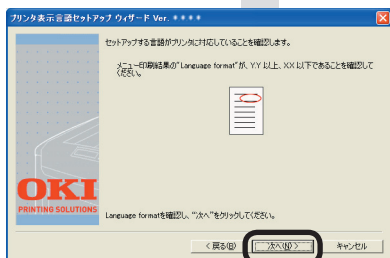
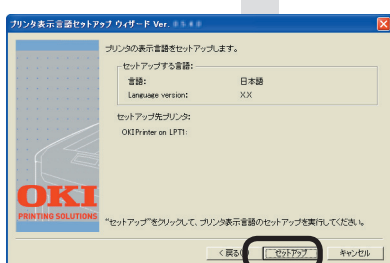
❹ ［その他のソフトウェア］をクリックします。

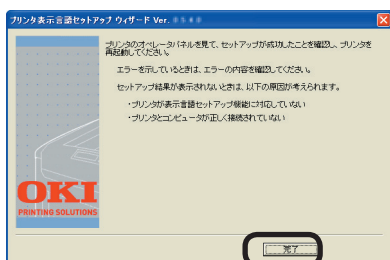
❺ ［プリンタ表示言語セットアップの起動］をクリックします。

❻ プリンタ表示言語セットアップが起動します。［次へ］をクリックします。

メモ

タイトルバーの「プリンタ表示言語セットアップ ウィザード Ver.」の後に本ツールのバージョンが表示されます。

❼ 言語を切り替えるプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。

メモ ［使用できるプリンタ］リストには本ツールがサポートされているプリンタが表示されます。

❽ セットアップする言語を選択し、［次へ］をクリックします。

❾ ［メニュー印刷を行う］をクリックし、メニュー印刷を実行します。［次へ］をクリックします。

メモ 印刷されたメニューマップはこの後の画面で使用します。

❿ メニュー印刷結果の“Language format”が、画面に表示されている数字の範囲内であることを確認し、［次へ］をクリックします。

⓫ セットアップする内容を確認し、［セットアップ］をクリックします。

メモ 画面の［Language version:］の右の "X.X" は、本ツールに含まれる言語ファイルの Language version が表示されます。

⑫ ［完了］をクリックします。

Power Off/On
Message Data Received OK

英語表示イメージ

プリンタを再起動してください
メッセージデータの書き込みが完了しました

日本語表示イメージ

⑬ プリンタの操作パネルを見てダウンロードが成功したことを確認し、プリンタを再起動してください。

操作パネルの表示言語を変更したい（Macintosh）

本機の操作パネルに表示される言語を日本語または英語に切り替えることができます。工場出荷時の設定では、日本語になっています。

動作環境

Mac OS X 10.3 ～ 10.5.2（日本語版）

MacOS9 ではご使用になれません。

1. プリンタの操作パネルでメニューマップを出力します。
2. メニューマップに印刷されている「Language format」の数字を確認します。
3. TCP/IP接続する場合、メニューマップに印刷されているIPアドレスを確認します。
4. 「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。
5. [Utility]-[パネルダウンロード]-[プリンタ表示言語セットアップ］をダブルクリックします。
6. 接続方法を選択するためのダイアログが表示されます。[USB]もしくは［TCP/IP］を選択してください。TCP/IP接続を選択した場合は､メニューマップで確認したIPアドレスを入力します。
7. ［OK］ボタンをクリックすると、メインダイアログが表示されます。

8. メニューマップ印刷結果の“Language format”が、画面に表示されている数字の範囲内であることを確認します。

メモ

画面右上の Language version は､本ツールが書き込む言語ファイルのバージョンです。
ツールの言語ファイルバージョンはマニュアルに記載のバージョンとは異なる場合があります。

設定内容　　MICROLINE 910PS

CU version:B0.09 [101.23 U02.14 S3.1.2w B00.01 L00.01 PPC750GL 800MHz 70020102 00080001 F50 J0]
PU version:00.04.05 [PI03.02 L004.10.40 DU T2 T3 T4 T5 FI]
PCL Program version:04.37 [04.30 X03.18 P F] [S00.04.00 I]
PS Program version:3017.102.PS2
両面印刷:installed
JP1　P0E0　DPR:1.0 62　MC:CP
C:0 M:0 Y:0 K:0
Network version:k0.01　Web Remote:W0.04
ENGINE:44308 K:187 C:219 T:9:10:10:23, I:1:1:1:2, B:0, F:0
CM version: 1:00.00.05 2:00.00.05 3:00.00.05 4:00.00.05 5:00.00.05

Language format:1.00
Language:JAPANESE

❾ ［言語の選択］ポップアップメニューから、使用したい言語を選択します。

❿ ［ダウンロード］ボタンをクリックします。言語を設定するためのファイルがプリンタに送信されます。送信が終了すると、終了した旨を知らせるための画面が表示されます。

⓫ プリンタを再起動します。

プリンタドライバを削除する

Windowsをお使いの方

・コンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windowsが起動している場合は再起動してください。

❶ Windows Vista/Server 2008では、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタ]をクリックします。
Windows XPでは、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択します。
Windows Server 2003では、[スタート]-[プリンタとFAX]を選択します。
Windows 2000では、[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [ML910PS(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除]を選択します。

❸ 以降、画面の指示に従います。

❹ Windows Vista/Server 2008をお使いの方は❺へ進みます。
Windows XP/Server 2003/2000をお使いの方は⓮へ進みます。

❺ プリンタアイコンを選択しないで、右ボタンでクリックして、[管理者として実行] - [サーバーのプロパティ] を選択します。

❻ [ユーザー アカウント制御] が表示されたら、[続行] をクリックします。

❼ 「プリント サーバーのプロパティ]の、[ドライバ]タブを選択します。

❽ [ML910PS(**)] (** はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))を選択し、[削除] をクリックします。

「指定されたプリンタドライバは現在、使用中です」とのメッセージが表示される場合は、Windowsを再起動して、再度プリンタドライバの削除を行ってください。

❾ ［ドライバとパッケージの削除］が表示されたら、［ドライバとドライバ パッケージを削除する］を選択して［OK］をクリックします。

❿ 確認のメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

⓫ ［ドライバパッケージの削除］が表示されたら、［削除］をクリックします。

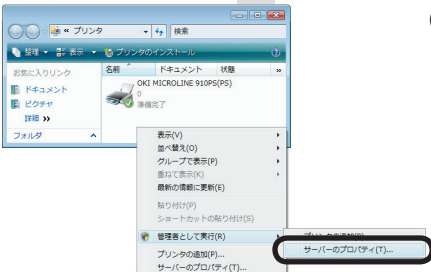
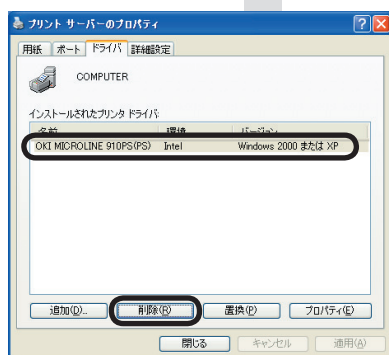
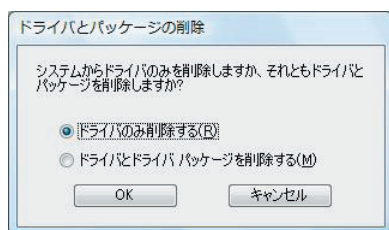
⓬ 削除が終了したら、［OK］をクリックします。

⓭ ⓰へ進みます。

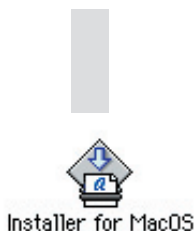
⓮ 「プリンタとFAX」フォルダ（Windows 2000では「プリンタ」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

⓯ ［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、［削除］をクリックします。

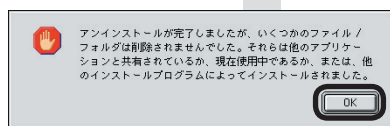
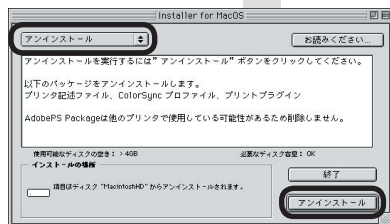
⓰ ［プリントサーバーのプロパティ］で、［閉じる］をクリックします。

⓱ Windows を再起動します。

注 プリンタドライバと一緒にインストールされる OKI LPR ユーティリティと Network Extension と色見本印刷ユーティリティは、プリンタドライバの削除をしても削除されません。

MacOSをお使いの方　Mac OS Xをお使いの方は323ページをご覧ください。

1 インストーラで削除（アンインストール）します。

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。
❷［Driver］フォルダを開きます。
❸［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

❹「起動」画面で［続ける］をクリックします。
❺「使用許諾契約」画面で、[同意]をクリックします。
❻「お読みください」画面で、［続ける］をクリックします。
❼ ▲▼をクリックし、［アンインストール］を選択します。
❽［アンインストール］をクリックします。
プリンタドライバのアンインストールが開始されます。

アンインストールが完了しましたが、いくつかのファイル／フォルダは削除されませんでした。それらは他のアプリケーションと共有されているか、現在使用中であるか、または、他のインストールプログラムによってインストールされました。
OK

❾［OK］をクリックします。

❿［終了］をクリックします。

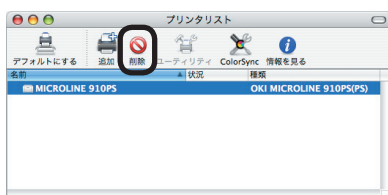
2 下記のファイルをゴミ箱にドラッグし、空にします。

- AdobePS を使用している全てのデスクトッププリンタアイコン
- ［システムフォルダ］-［初期設定］-［プリント初期設定］フォルダ内の「AdobePS 設定」ファイル

Mac OS Xをお使いの方

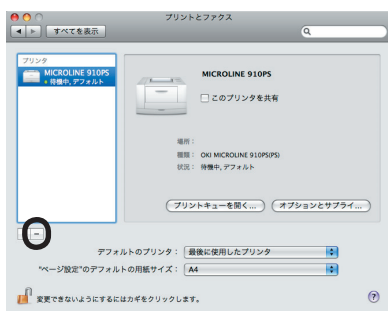
MacOSをお使いの方は322ページをご覧ください。

1 プリンタリストからプリンタ名を削除します。

Mac OS X 10.3 ～ 10.4 をお使いの方

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

❷ プリンタ名を選択し、［削除］をクリックします。

❸ ［プリンタリスト］を閉じます。

Mac OS X 10.5をお使いの方

❶ ［アップルメニュー］-［システム環境設定］を選択します。

❷ ［プリントとファクス］をクリックします。プリンタ名を選択し、［-］をクリックします。

❸ ［システム環境設定］を閉じます。

2 インストーラで削除（アンインストール）します。

❶ 「ソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷ ［OKI］アイコンをダブルクリックします。

❸ ［Driver］フォルダを開きます。

❹ ［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

❺ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

❻ 起動画面で［続ける］をクリックします。

❼ 「使用許諾契約」画面で、［同意］をクリックします。

❽ 「お読みください」画面で、［続ける］をクリックします。

❾ ⬍をクリックし、［アンインストール］を選択します。

❿ ［アンインストール］をクリックします。
プリンタドライバの削除が行われます。

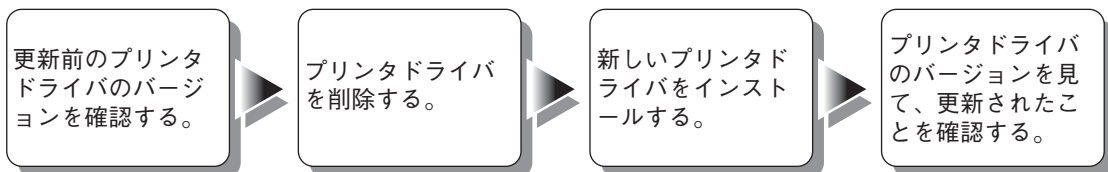
⓫ ［終了］をクリックします。

プリンタドライバを更新（アップデート）する

最新のプリンタドライバは沖データのホームページ（http://www.okidata.co.jp/）からダウンロードできます。

Windowsをお使いの方

プリンタドライバ更新の流れ

更新前のプリンタドライバのバージョンを確認する。 → プリンタドライバを削除する。 → 新しいプリンタドライバをインストールする。 → プリンタドライバのバージョンを見て、更新されたことを確認する。

プリンタドライバを更新（アップデート）する

- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows が起動している場合は再起動してください。

❶ Windows Vista/Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。
Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［ML910PS（**）］（** は PS または PCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

❸ ［設定］タブ（PS プリンタドライバでは［印刷オプション］タブ）の［バージョン情報］をクリックします。

❹ バージョン情報確認画面が表示されたら、バージョン情報を控えて［OK］をクリックします。

❺ 「プリンタドライバを削除するには（Windowsをお使いの方）」（320ページ）に従って、プリンタドライバを削除します。

注 ドライバのアップデートを確実に行うために、アップデートするプリンタドライバと同じ種類（PS または PCL）のすべてのプリンタドライバを削除してください。

❻ Windows Vista/Server 2008 をお使いの方は❿へお進みください。
Windows XP/Server 2003/2000 をお使いの方は、❼〜❾を行ってから❿へお進みください。

❼ Windows XP/Server 2003では「プリンタとFAX」フォルダ（Windows 2000では「プリンタ」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❽ ［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、［削除］をクリックします。

❾ Windows を再起動します。

❿ 新しいプリンタドライバをセットアップします。
詳しくは、3 章〜 4 章をご覧ください。

注
・必ずプリンタの電源が ON になっていることを確認してください。
・Windows XP では、プリンタのインストールでセットアップします。

⓫ ❶〜❹の手順でバージョン情報を表示し、新しいプリンタドライバのバージョンが更新されていることを確認します。

MacOSをお使いの方

❶ プリンタドライバを削除します。詳しくは「プリンタドライバを削除する」（322ページ）をご覧ください。

❷ 新しいプリンタドライバをインストールします。詳しくは別冊「セットアップ編ーMacintosh、UNIX、Linuxをお使いの方ー」をご覧ください。

Mac OS Xをお使いの方

❶ ［プリンタ設定ユーティリティ］-［プリンタリスト］のプリンタ名を削除し、インストーラでプリンタソフトウェアをアンインストールします。詳しくは「プリンタドライバを削除する」（323ページ）をご覧ください。

❷ プリンタソフトウェアを再インストールします。詳しくは別冊「セットアップ編ーMacintosh、UNIX、Linuxをお使いの方ー」をご覧ください。

7 トラブルシューティング

印刷できないとき

最初に確認すること

プリンタを確認してください

電源は入っていますか?
　電源ケーブル、スイッチを確認してください。別冊「プリンタ機能編」

操作パネルに「印刷できます」と表示していますか?
　「オフライン」と表示している時は、オンラインボタンを押し、「印刷できます」と表示してください。
　それ以外のメッセージを表示している時は、メッセージ一覧表を見て処置に従ってください。別冊「プリンタ機能編」

メニューマップ印刷ができますか?
　メニューマップ印刷の方法は、別冊「プリンタ機能編」
　できない時は、お客様相談センターへ連絡してください。

プリンタとコンピュータの接続を確認してください

規格に合ったケーブルを使っていますか?別冊「プリンタ機能編」

プリンタにケーブルが正しく差し込まれていますか?別冊「プリンタ機能編」

コンピュータにケーブルが正しく差し込まれていますか?別冊「プリンタ機能編」

コンピュータを確認してください

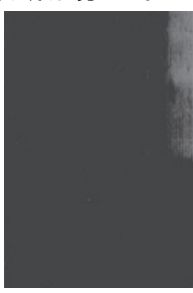
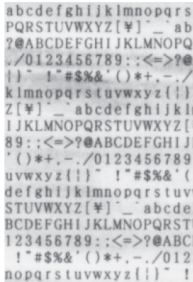
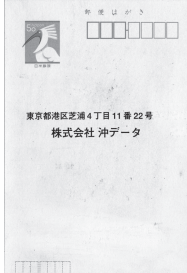
プリンタドライバをマニュアルにそった正しい手順でインストールしましたか?
　別冊「セットアップ編」
　そうでない場合は、プリンタドライバを削除しインストールし直してください。324ページ

Windowsをお使いの方

プリンタドライバから、テスト印刷ができますか?
　できない時はドライバをインストールし直してください。

プリンタアイコンが[通常使うプリンタ]になっていますか?
　プリンタフォルダ内のML910PSアイコンを選択して、右クリックで「通常使うプリンタに設定」にチェックしてください。

プリンタアイコンが一時停止になっていませんか?
　プリンタフォルダ内のML910PSアイコンを選択して、右クリックで[一時停止]のチェックを外してください。

プリンタドライバで出力ポートが正しく設定されていますか?
　プリンタフォルダ内のML910PSアイコンを選択して、右クリックでプロパティを選択します。
　ネットワークで接続している場合は、出力ポートタブでOKILPRにチェックしてください。
　USBで接続している場合は、出力ポートタブでUSBにチェックしてください。
　パラレルで接続している場合は、出力ポートタブでLPT1: にチェックしてください。

それでも解決しないときは、329ページをご覧ください

それでも解決しないとき

接続方法	考えられる原因	解決方法
共通	I-PRIMEの設定がコンピュータと合っていません。	プリンタの操作パネルでBoot MenuのI-PRIME設定を[3 microseconds]または[50 microseconds]に設定してください。
	プリントジョブアカウンティング(オプション)を使用している場合、使用制限にかかっているか、プリンタのログファイルがいっぱいです。	プリントジョブアカウンティング ユーザーズマニュアルをご覧ください。
ネットワーク接続	プリンタの電源を入れてから、ケーブルを接続した。	プリンタの電源を切り、ケーブルを差し込んでから電源を入れてください。
	ハブとの相性が合わない。	①プリンタの操作パネルで、[ハブとの接続]を[10Base-T Half]に設定します。 ②ハブで動作モードを[10Base-T Half]に設定してください。(詳細はハブに付属のマニュアルをご覧ください。)
	プリンタとコンピュータのIPアドレスの設定が間違っている。	ネットワーク管理者に確認してください。
	OKI LPRユーティリティでプリンタが「停止中」になっている。	OKI LPRユーティリティでプリンタを選択し、「リモートプリント」メニューの「一時停止」のチェックを外してください。
	プリンタのメニューの[TCP/IP]の設定が無効になっている。(工場出荷時の設定では有効[Enable]になっています。)	プリンタメニューの[管理者用メニュー]-[ネットワーク設定]-[TCP/IP]を[有効]に設定してください。
USB接続	USBで動作する他のプリンタドライバがインストールされている。	他のプリンタドライバを削除してみてください。
	USBハブを使っている。	プリンタとコンピュータを直接接続してください。
	プリンタのBoot Menuの[USB]の設定が、無効になっている。(工場出荷時の設定では有効[Enable]になっています。)	Boot Menuの[USB Setup]-[USB]を[Enable]に設定してください。
パラレル接続	パラレルで動作する他のプリンタドライバがインストールされている。	他のプリンタドライバを削除してみてください。
	プリンタのBoot Menuの[Parallel]の設定が、無効になっている。(工場出荷時の設定では有効[Enable]になっています。)	Boot Menuの[Parallel Setup]-[Parallel]を[Enable]に設定してください。

印刷結果に関するトラブル

現　象	考えられる原因	処　置
縦方向に白いスジが入る。	LEDヘッドが汚れています。	柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。（詳しくは別冊「プリンタ機能編」をご覧ください。）
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。（詳しくは別冊「プリンタ機能編」をご覧ください。）
	異物がつまっています。	イメージドラムカートリッジを交換してください。
縦方向にかすれる。	LEDヘッドが汚れています。	柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。（詳しくは別冊「プリンタ機能編」をご覧ください。）
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。
	用紙がプリンタに適していません。	使用できる用紙の条件に合った用紙を使用してください。（342ページ）
印刷が薄い。	トナーカートリッジが正しくセットされていません。	トナーカートリッジを取り付け直してください。
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を含んでいます。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	用紙がプリンタに適していません。	使用できる用紙の条件に合った用紙を使用してください。（342ページ）
	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	プリンタのメニュー設定で［メディアウエイト］、［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウエイト］を1つ厚い紙の値にしてください。
	再生紙を使用しています。	プリンタのメニュー設定で［メディアウエイト］を1つ厚い紙の値にしてください。
部分的にかすれる。ベタを印刷すると白い点や線が現れる。	用紙が湿気を含んでいるか、乾燥しています。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。

現　象	考えられる原因	処　置
縦方向にスジが入る。	イメージドラムカートリッジに傷がついています。	イメージドラムカートリッジを交換してください。
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。
横方向にスジや点が周期的に入る。	約94mm周期の場合は、イメージドラム（緑の筒の部分）に傷または汚れがついています。	イメージドラムカートリッジのカバーをずらし、柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。傷がついていたら、イメージドラムカートリッジを交換してください。
	約94mm周期の場合は、イメージドラムカートリッジが光にさらされました。	イメージドラムカートリッジをプリンタの内部に戻し、数時間プリンタを使用しないでください。それでも直らない場合は、イメージドラムカートリッジを交換してください。
	約49mm周期の場合は、イメージドラムカートリッジ内にゴミが混入しています。	トップカバーの開閉を行い、イニシャル動作を繰り返してください。
	約88mm周期の場合は、定着器ユニットに傷がついています。	定着器ユニットを交換してみてください。
白地の部分が薄く汚れる。	用紙が静電気を帯びています。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	厚い用紙を使用しています。	より薄手の用紙を使用してください。
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。（詳しくは別冊「プリンタ機能編」をご覧ください。）
	湿度が低く、トナーが過剰に帯電しています。	室内の湿度を高くしてください。 湿度50%が最適です。
文字の周辺がにじむ。	LEDヘッドが汚れています。	柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。（詳しくは別冊「プリンタ機能編」をご覧ください。）
	LEDヘッドの位置が正しくありません。	トップカバーを開閉してください。 トップカバーを閉じるときは、最初は軽く押し、途中から強く押してください。

7

トラブルシューティング

現　象	考えられる原因	処　置
はがき、封筒または光沢紙に印刷すると全体的に薄く汚れる。	はがき、封筒に印刷すると、全体的にトナーが付着（かぶり）することがあります。	プリンタの故障ではありません。
擦ると文字の周辺が汚れる。	光沢紙に印刷すると薄くトナーが付着（かぶり）することがあります。	プリンタの故障ではありません。事前にテストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。 高温度、高湿度環境を避けてください。温度23℃、湿度50%が最も適した環境です。
擦るとトナーがとれる。	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	プリンタのメニュー設定で［メディアウエイト］、［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウエイト］を1つ厚い紙の値にしてください。
	再生紙を使用しています。	プリンタのメニュー設定で［メディアウエイト］を1つ厚い紙の値にしてください。
光沢にムラが出る。	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	プリンタのメニュー設定で［メディアウエイト］、［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウエイト］を1つ薄い紙の値にしてください。
トナーが定着しないところがある。 トナーがはがれる。	定着器の温度が適切ではありません。	プリンタのトップカバーを開閉してください。
	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	プリンタのメニュー設定で［メディアウエイト］、［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウエイト］を1つ厚い紙の値にしてください。
残像が印刷される。	印刷環境が適切ではありません。	高温度、高湿度環境を避けてください。

現　象	考えられる原因	処　置
思った色合いで印刷されない。	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。
	［黒の生成］の設定がアプリケーションに合っていません。	プリンタドライバの［黒の生成］で［CMYKトナーで生成］または、［黒トナーのみで生成］を選択してみてください。詳しくは「黒の部分の仕上がりを変更する」（146ページ）をご覧ください。
	カラー調整を変更しています。	プリンタドライバのカラーマッチングにしてください。詳しくは「簡単にカラーマッチングする」（121ページ）をご覧ください。
	カラーバランスがとれていません。	プリンタの操作パネルで濃度補正を実行してください。
	色ずれが起こっています。	トップカバーを開閉してください。または、プリンタの操作パネルで色ずれ補正調整をしてください。詳しくは別冊「プリンタ機能編」をご覧ください。
	特定の色が薄いまたは濃い。	「PSハーフトーン調整ユーティリティを使って印刷濃度を調整する」（175ページ）で調整します。または別冊「プリンタ機能編」をご覧ください。
モニタの色と印刷結果が合わない。 思った色がでない。	プリンタユーティリティのカラーが調整されていません。モニタとプリンタでは色の表現方法が異なるため、完全に一致した結果が得られない場合があります。	• プリンタ本体でカラーバランス調整を行います。（別冊「プリンタ機能編」） • カラー調整でユーティリティを使って調整します。（119ページ）
印刷結果が汚いまたは粗い。	ハーフトーン濃度が適切ではありません。	ハーフトーン調整を細かく設定してください。（175ページ）
汚れがでる。（トナーが飛び散る）	トナーやドラムが正しくセットされていません。	トナー・ドラムを取り付け直してください。プリンタカバーを開き、汚れがあれば取り除きます。
文字化けする。	指定したフォントに問題があります。	フォントリスト印刷を行います。（詳しくは別冊「プリンタ機能編」をご覧ください。） 問題なく印刷される場合は、アプリケーションや指定したフォントを変えて印刷を確認し、問題がどこにあるか確認します。
PSエラーがでる。	プリンタのメモリが不足している場合があります。	詳細エラーリポートを印刷します。（313ページ） limitcheckエラーやVMエラーの場合はプリンタのメモリ不足です。頻繁にこのエラーが発生する場合には、増設メモリを追加すると改善される場合があります。

印刷時のトラブル

現　象	考えられる原因	解決するには
印刷に時間がかかる	プリンタのウォームアップに時間がかかっています。	省電力モードを長めに設定してください。パワーセーブモードに入る時間を短縮します。
	高解像度で印刷しています。	プリンタドライバの印刷品位で［はやい］を選択します。印刷結果は低解像度で印刷されるため粗くなりますが、印刷時間は短縮できます。
	重いデータを印刷しています。	データ量を少なくします。できるかぎりプリンタフォントを使って印刷します。画像データを圧縮してから印刷します。
	部分印刷用紙やカラー用紙などに印刷する場合、誤ってOHPと判断されています。	［管理者用メニュー］-［印刷設定］-［OHP検出］を［無効］に設定してください。
オンラインボタンを押すまで給紙しない	マルチパーパストレイを手差しとして扱っています。	マルチパーパストレイについての「手差しとして扱う」を設定せずに、印刷します。
他のトレイから給紙される	給紙方法が自動選択になっています。	給紙方法で、使用するトレイを指定し、印刷します。

印刷をキャンセルしたい

- プリンタの操作パネルのキャンセルボタンを押してください。
- コンピュータの［スタート］-［設定］-［プリンタ］フォルダを開きます。プリンタアイコンをダブルクリックします。キャンセルしたいジョブを選択し、［ドキュメント］-［キャンセル］を選択します。

Windows Vista/Server 2008 に関する制限事項

項　　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
プリンタドライバ（PS） NIC セットアップユーティリティ （AdminManager、Quick Setup） Network Extension	ヘルプが表示されない。	Windows Vista/Server 2008 でのヘルプの表示には対応しておりません。
プリンタドライバ（PS, PCL）	暗号化認証印刷が実行できない。	Windows Vista（64bit版）/Server 2008（64bit版）での暗号化認証印刷には対応しておりません。
プリンタドライバ（PS, PCL） カラー調整ユーティリティ 色見本印刷ユーティリティ NIC セットアップユーティリティ （AdminManager、Quick Setup） Network Extension PS ハーフトーン調整ユーティリティ プリントジョブアカウンティング Lite	「ユーザアカウント制御」画面が表示される。	インストーラやユーティリティの起動時などで、「ユーザアカウント制御」画面が表示される場合があります。インストーラやユーティリティを管理者権限で実行するために必要ですので、[続行]をクリックしてください。[キャンセル]をクリックすると、インストーラやユーティリティは起動されません。
カラー調整ユーティリティ 色見本印刷ユーティリティ Network Extension PS ハーフトーン調整ユーティリティ プリントジョブアカウンティングLite	「プログラム互換性アシスタント」画面が表示される。	インストール完了後（インストールを途中で中止した場合も含みます）、「プログラム互換性アシスタント」画面が表示された場合は、必ず［このプログラムは正しくインストールされました］をクリックしてください。
Network Extension	「OKI Network Extension のアンインストール中にエラーが発生しました。既にアンインストールされている可能性があります。[プログラムと機能］の一覧から OKI Network Extension を削除しますか？」というメッセージが表示される。	アンインストール時、「Install Wizard の完了」画面で［はい、今すぐコンピュータを再起動します］を選択し、[完了］をクリックすると、左記のメッセージが表示される場合がありますが、自動的に再起動され、アンインストールが正しく行われますので、問題ありません。

Windows XP Service Pack 2に関する制限事項

Windows ファイアウォールの設定による制限事項について

Windows XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載では、Windows ファイアーウォールの機能が強化されておりますが、それに伴いプリンタドライバ･ユーティリティに以下の制限事項が生じる場合があります。

項　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
プリンタドライバ全般	PCネットワーク共有時、印刷ができません。	サーバ側で［Windowsファイアウォール］-［例外］を開き、「ファイルとプリンタの共有」にチェックを入れてください。
Admin Manager	プリンタ検索、NICの設定が行えません。	ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索、NICの設定ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません。 ルータを超えるプリンタの検索､NICの設定を行う場合は、［Windowsファイアウォール］-［例外］-［プログラムの追加］を開き､AdminManagerを追加し､チェックを入れてください。
OKILPR ユーティリティ	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、「プリンタの追加」や「プリンタの再設定」画面でIPアドレスを直接入力することで設定できます 。
OKI ストレージデバイスマネージャ	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で｢例外を許可しない｣にチェッ クがついている場合は､ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタ は問題ありません。プリンタの検索ができない場合でも、｢プリンタ｣-｢プリンタの追加/削除｣で、プリンタ名(任意)とIPアドレスを 入力し、OKボタンをクリックすることでプリンタウィンドウにプリンタが表示されます。
Print Job Accounting Lite	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、ログ取得プリンタの追加ウィザードで「プリンタを接続先で指定する」を選択し、「接続先」で「TCP/IPネットワーク」を選択し、IPアドレスを直接入力することで設定できます。
	ログ取得スケジュールに従ってログが取得されていません。また、｢プリンタ｣-｢ログを直ちに取得｣を行っても､｢ログ取得 スケジュールに従って、ログを取得中のためできません。｣が表示され､取得ができません。	Windows XP Service Pack 1以前に、プリン トジョブアカウンティングにプリンタを登録し、ログの取得を開始している状態で、Windows XP Service Pack 2にアップデートを行うと､左記の現象が発生する場合があります。このような場合は、Windowsを再起動します。
Print Super Vision	リモートPCからアクセスできません。	［Windows ファイアウォール］-［例外］-［プログラムの追加］を開き、［参照］をクリックします。 以下のファイルを選択し、［OK］ボタンをクリックします。 "J2EEのインストール先"¥jdk¥bin¥java.exe "J2EEのインストール先"¥jdk¥bin¥javaw.exe "J2EEのインストール先"¥jdk¥jre¥bin¥java.exe "J2EEのインストール先"¥jdk¥jre¥bin¥javaw.exe
	ポップアップウインドウがブロックされます。	Internet Explorerを使用している場合、ポップアップウインドウがブロックされることがあります。 以下のことを確認してください。 Internet Explorerを起動し、［ツール］-［インターネットオプション...］-［プライバシー］を開き、［ポップアップ ブロック］の［設定］ボタンをクリックします。 ［許可するWebサイトのアドレス］にPrintSuperVisionのURLを入力し、［追加］ボタンをクリックします。
Web Driver Installer	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、グループの検索範囲の4桁目を*(例：192.168.0.*)にすると、検索できます。
	リモートPCからアクセスできません。	［Windowsファイアウォール］-［例外］-［ポートの追加］を開き、Web Driver Installerがインストールされているwebサイトのポート番号を追加し、［管理ツール］-［コンポーネント サービス］でWeb Driver Installer 用コンポーネントのアクセス権を変更してください。 ※ 設定方法は、［すべてのプログラム］-［沖データ］-［Web Driver Installer］-［お読みください］をご覧ください。

※ 詳細は弊社ホームページ（http://www.okidata.co.jp/）の最新対応情報をご覧ください。

8 ユーザーサポート

お客様相談センターのご案内

プリンタの操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど、プリンタに関するお問い合わせをお受けします。次ページの「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。なお、内容確認のため、録音をさせていただいております。

お客様相談センター　　0120-654-632

（携帯電話からは 0570-055-654）

ご注意：ナビダイヤルの通話料は、お客様のご負担となります。

受付時間　9 : 00 ～ 20 : 00 月曜日～金曜日
9 : 00 ～ 17 : 00 土曜日
(ただし 祝日、年末年始等を除く)

※ 月曜日～金曜日の17:30～20:00及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。

※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆プリンタのサポートサービスは、(株)沖電気カスタマアドテック（OCA）とそのグループ会社が担当しております。

（個人情報の取り扱いについて）

当社はお客様の個人情報を厳正に管理し、以下の場合を除き、第三者への開示や、提供はしないものとします。

a) 当社が指定する業務提携会社に対して、お客様の氏名・住所・電話番号など保守サービス等の業務を委託するために必要な限度でお客様情報を提供すること。

b) お客様情報を統計的に集計・分析し、個人を識別、特定できない形態に加工した統計データを作成させていただき、製品開発、サービス向上の判断材料として利用すること。

c) 予め登録時に同意頂いたお客様に対して、当社または当社の提携会社より、サービス提供，アンケートその他の告知等のため電子メールや郵便物の郵送、または営業担当者からコンタクトを取らせて頂くこと。

d) 裁判所の発行する令状、捜査事項照会書その他法令に基づいてお客様情報を開示すること。

— お問い合わせに回答できない場合について —

1. UNIX環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5 プリンタの非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

プリンタ環境

機種名：＿＿＿＿＿＿＿＿　製造番号：＿＿＿＿＿＿＿＿　購入月：＿＿＿年＿＿月

追加オプション：　なし　・　あり（　　　　　　　　　　）

コンピュータ環境

☐ Windows　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

☐ Mac OS　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

接続方法

☐ USB　☐ネットワーク（有線）　☐ネットワーク（無線）　☐ TCP/IP

☐ IPX/SPX　☐ EtherTalk　☐ NetBEUI　☐ Bonjour（Rendezvous）　☐パラレル

☐その他（　　　）

プリンタドライバ

プリンタドライバ名：＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿

アプリケーションソフト

アプリケーションソフト名：＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿

使用フォント名：＿＿＿＿＿＿＿＿

エラー表示（正確に）

コンピュータの画面に表示される内容　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

プリンタの操作パネルに表示される内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

その他

他のアプリケーションからの印刷：☐正常　☐印刷できない

他のコンピュータからの印刷　：☐正常　☐印刷できない

最新プリンタドライバの入手方法

沖データホームページからダウンロードしてください。

http://www.okidata.co.jp/

付　録

使用できる用紙

使用できる用紙の種類は、普通紙、はがき、封筒、ラベル紙、光沢紙、OHPフィルム、部分印刷用紙、カラー用紙です。推奨紙、サイズ、厚さなどはそれぞれの用紙の項目をご覧ください。
高品質な印刷を行うためには、材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。弊社推奨紙以外の用紙を使用すると、紙づまりなどの走行不良の原因となったり、印刷品位が低下する場合がありますので、事前に十分テストを行い支障がないことを確認してから使用してください。

普通紙、カラー用紙、部分印刷用紙

推奨紙：　エクセレントホワイト（OKIカラーページプリンタ用紙）（A4、A3、A3ノビ）
推奨長尺紙：　エクセレントホワイト（OKIカラーページプリンタ用紙）（A4幅、A3ノビ幅）

サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ	その他の条件
A4	210 × 297	連量 55 ～ 258kg (64 ～ 300g/m^2) 両面印刷する場合は、連量 55 ～ 162kg (64 ～ 188g/m^2)*1*2 長尺紙の場合は、連量 110kg (128g/m^2) 用紙の大きさによってはさらに厚い用紙に両面印刷することができます。詳細は 347 ページをご覧ください。	電子写真プリンタ用紙、電子写真コピー用紙、カラー電子写真プリンタ用紙、カラー電子写真コピー用紙、電子写真プリンタ再生紙を使用してください。 カラー用紙の場合、用紙を着色した顔料またはインクが耐熱性で 230℃に耐える用紙、かつ用紙特性が白色紙と同じ用紙 部分印刷用紙の場合、部分印刷に使用したインクが耐熱性で 230℃に耐える用紙 両面印刷（オプション）できるカスタム用紙サイズは、幅 100 ～ 328mm、長さ 148 ～ 457.2mm です。
A5	148 × 210		
A6	105 × 148		
B4	257 × 364		
B5	182 × 257		
A3	297 × 420		
A3 ノビ	328 × 453		
A3 ワイド	320 × 450		
タブロイド	279.4 × 431.8(11 × 17)		
ﾀﾌﾞﾛｲﾄﾞｴｸｽﾄﾗ	304.8 × 457.2(12 × 18)		
レター	215.9 × 279.4(8.5 × 11)		
ﾘｰｶﾞﾙ (13 ｲﾝﾁ)	215.9 × 330.2(8.5 × 13)		
ﾘｰｶﾞﾙ (13.5 ｲﾝﾁ)	215.9 × 342.9(8.5 × 13.5)		
リーガル (14 ｲﾝﾁ)	215.9 × 355.6(8.5 × 14)		
エグゼクティブ	184.2 × 266.7(7.25 × 10.5)		
カスタム	幅　76.2 ～ 328 長さ 90 ～ 1200		

*1　ML910PSではオプションの両面印刷ユニットが必要です。
*2　用紙サイズによって、両面印刷可能な用紙厚が異なります。詳しくは347ページをご覧ください。

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、表面が粗すぎる（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 保存状態の悪い用紙
- 絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- のり・薬品などで加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用紙、湿式PPC用紙、複写紙、和紙など

・ 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
・ 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
・ マルチパーパストレイで印刷するとシワが出ることがあります。
・ 電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
・ 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
・ 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。
・ 部分印刷用紙では印刷枠を設ける場合、以下の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
　書き出し位置精度：± 2mm、用紙の斜行：± 1mm/100mm、画像伸縮：± 1mm/100mm（連量 70kg の場合）
・ 部分印刷用紙ではインクの上に本プリンタで印刷することはできません。

メモ　推奨紙エクセレントホワイト（OKIカラーページプリンタ用紙）をお求めの際は、別冊「プリンタ機能編」の「ユーザーサポート－消耗品、オプション、用紙のご案内」をご覧ください。

はがき

サイズ　単位：mm(インチ)		その他の条件
はがき	100 × 148	郵便はがき、および折っていない郵便往復はがきを使用してください。
往復はがき	148 × 200	

以下の用紙は使用しないでください。

- インクジェット用はがき
- 2mm以上反りがあるはがき
- 切手の貼ってあるはがき
- 写真加工してあるはがき

・ 印刷後は反りが発生することがあります。
・ 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
・ トナーの定着が低下することがあります。

付録

封筒

推奨封筒： N4S-108（イムラ封筒製、長形4号）
　　　　　N3S-108（イムラ封筒製、長形3号）

サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ	その他の条件
長形 3 号	120 × 235	坪量 85g/m2 * 角形 2 号封筒の場合は坪量 100g/m2 のご使用をお奨めします。	クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式 PPC 用紙で作られた封筒で、フラップ部が折れていないもの
長形 4 号	90 × 205		
角形 2 号 *	240 × 332		
角形 3 号	216 × 277		
角形 8 号	119 × 197		
洋形 0 号	120 × 235		
洋形 4 号	105 × 235		
Com-9	98.4 × 225.4(3.875 × 8.875)	24lb	クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式 PPC 用紙で作られた封筒で、フラップ部がきちんと折れているもの
Com-10	104.8 × 241.3(4.125 × 9.5)		
DL	110 × 220(4.33 × 8.66)		
C5	162 × 229(6.38 × 9.02)		
C4	229 × 324(9.02 × 12.76)		
Monarch	98.4 × 190.5(3.875 × 7.5)		

以下の用紙は使用しないでください。

- 厚すぎる封筒やプラスチックでできた封筒
- 内袋のある二重封筒
- とめ金、ボタン、窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤、両面テープのついた封筒
- シワや反りのある封筒
- 切手の貼ってある封筒
- 表面に絹目加工（シボ）や浮き出し加工（エンボス）のある封筒
- 撥水加工された封筒

- 印刷後は反りやシワが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 封筒の貼り合わせ部分（厚さに段差のある部分）のまわり約 5mm は印刷品位が低下することがあります。
- 封筒に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

ラベル紙

推奨ラベル紙：LBP-F7XXX（コクヨ製）

サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ	その他の条件
A4	210 × 297	0.1 ～ 0.2mm	• 表面紙、粘着剤、台紙が熱で変質しない、電子写真プリンタ用または乾式PPC用のラベル紙 • プリンタの熱定着工程で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙 • 用紙の走行で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙 • 表面紙と台紙を合せた用紙の厚さが0.1～0.2mmのラベル紙 • 表面紙が台紙全体をおおい、粘着剤がはみ出していないラベル紙 • 台紙に切れ目や折れ目のないラベル紙
B5	182 × 257		
レター	215.9 × 279.4(8.5 × 11)		

- 印刷後は反りやシワが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- ラベル紙の先端に反りや波打ちがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

OHPフィルム

推奨OHPフィルム：MLカラー OHPシート（A4サイズ）

サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ	その他の条件
A4	210 × 297	0.1 ～ 0.125mm	電子写真プリンタ用または乾式 PPC 用 OHP フィルムをお使いください。 プリンタの熱定着工程で、融けたり、変質したり、反りが起きない OHP フィルム
レター	215.9 × 279.4(8.5 × 11)		

- OHP シートは透明なプラスチックでできているため、印刷品質が低下することがあります。
- 印刷後はうねりが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 表面に滑りやすいコーティングをした OHP シートは滑って吸入できないことがあります。
- 推奨紙以外の OHP シートを使用すると、種類によっては定着器ユニットのローラに巻きついたりしてプリンタが故障するおそれがあります。
- OHP 装置は透過型を使用してください。反射型では良好な投影が得られないことがあります。

光沢紙

推奨光沢紙：エクセレントグロス（OKIカラーページプリンタ用紙）（A4、A3、A3ノビ）

サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ	その他の条件
A4	210 × 297	連量 110kg （128g/m^2）	室内温度 25℃以下、湿度 60%以下の環境でお使いください。
A3	297 × 420		
A3 ノビ	328 × 453		

- 光沢紙に印刷する場合は、プリンタのメニューのメディアタイプを「光沢紙」に設定し、プリンタドライバの給紙方法を「光沢紙」を選択してください。
- 光沢紙は、推奨紙エクセレントグロスをご使用ください。その他の光沢紙はご利用になれません。
- 光沢紙の場合、白地に薄くトナーが付着する場合があります。
- 印刷本紙には対応しておりません。

メモ　推奨紙OHPフィルム、MLカラー OHPシート、推奨光沢紙エクセレントグロス（OKIカラーページプリンタ用紙）をお求めの際は、別冊「プリンタ機能編」の「ユーザーサポート一消耗品、オプション、用紙のご案内」をご覧ください。

用紙の給紙方法と排出方法の関係

◎ ：片面、両面印刷とも使用できます
○ ：片面印刷のみ使用できます
× ：使用できません

種　類	厚　さ	サイズ	給紙方法			排出方法	
			トレイ1	トレイ2～5*1	マルチパーパストレイ／手差し	フェイスアップ（表排出）	フェイスダウン（裏排出）
普通紙	連量55～103kg	A3ノビ, A3, A4*2, A5, A6*9 B4, B5*2, レター*2 リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ A3ワイド(SRA3), タブロイド タブロイドエクストラ	◎	◎	◎	◎	◎
		カスタム*3	◎*7	◎*7	○	○	×
	連量104～186kg	A3ノビ, A3, A4*2, A5, A6*9 B4, B5*2, レター*2 リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ A3ワイド(SRA3), タブロイド タブロイドエクストラ	○*8	○*8	○*8	○*8	○*8
		カスタム*3	○*7	○*7	○	○	×
	連量187～258kg	A3ノビ, A3, A4*2, A5, A6*9 B4, B5*2, レター*2 リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ A3ワイド(SRA3), タブロイド タブロイドエクストラ	×	×	○	○	×
		カスタム*3	×	×	○	○	×
はがき*4	－	はがき, 往復はがき	○	×	○	○	×
封筒*4	－	長形3号, 長形4号 角形2号, 角形3号 洋形0号, 洋形4号, 角形8号 Com-9, Com-10, DL C5, C4, Monarch	×	×	○	○	×
ラベル紙*5	－	A4, レター	×	×	○	○	×
光沢紙*5*6	－	A4, A3ノビ, A3	◎	×	○	○	×
OHPフィルム*5	－	A4, レター	○	×	○	○	×

*1：トレイ2～5はオプションです。
*2：縦送りと横送りができます。
*3：カスタムサイズは幅76.2～328mm、長さ90～1200mmです。
*4：はがき、封筒の用紙サイズを設定すると印刷速度が遅くなります。
*5：ラベル紙、光沢紙、OHPフィルムのメディアタイプを設定すると印刷速度が遅くなります。
*6：メディアタイプの［光沢紙］は、光沢紙など表面に光沢のある印刷媒体に適したモードです。光沢紙は、推奨紙エクセレントグロスをご使用ください。その他の光沢紙はご利用になれません。光沢紙の場合、白地に薄くトナーが付着する場合があります。
*7：トレイ1～5にセットできるカスタムサイズは幅100～328mm、長さ148～457mmです。
*8：A3ノビ、A3ワイド、A3、A4、レター、リーガル、タブロイド、タブロイドエクストラの場合は、連量162kgの用紙まで両面印刷可能です。（ML910PSではオプションの両面印刷ユニットが必要です）
*9：必ずフェイスアップスタッカを開いてフェイスアップで排出してください。

用紙の保管方法

用紙の保管が悪いと、湿気を吸収したり、変色、反りが発生します。このような用紙で印刷すると印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えますので注意が必要です。また実際にお使いになるまで包装紙は開けないでください。

次のような場所に保管してください

- 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度20℃、湿度50% RHの環境

次のような場所はさけてください

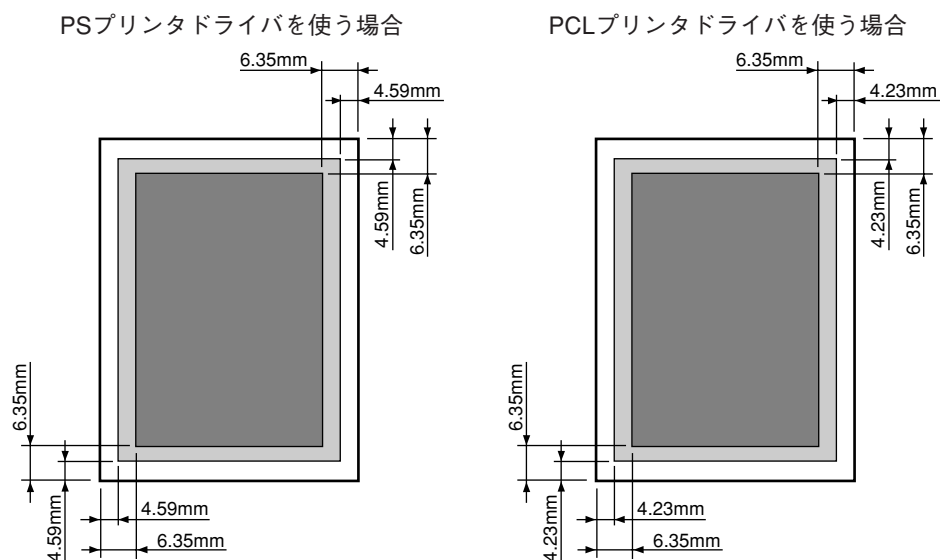
- 床の上に直接置く
- 直射日光が当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や曲がりのある場所
- 静電気が発生する場所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

長期間放置した用紙を使用した場合、正常に印刷できないことがあります。

付録

印刷範囲と印刷精度

印刷範囲

お使いになるプリンタドライバによって、印刷範囲が異なります。
また、お使いになるアプリケーションによって、実際の印刷範囲が異なることがあります。

付録

印刷精度

- 書き出し位置±2mm、用紙の斜行±1mm/100mm、画像伸縮±1mm/100mm（連量70kgの用紙に印刷する場合）です。
- 両面印刷時の表裏の印刷精度は±2.5mmです。

文字コード表（PS/PCLモード）

PostScript3モード

- ***-83pv-RKSJ-Hは、主にMacintoshで使用します。（***はフォント名）
  -90ms-RKSJ-H、-RKSJ-Hおよび***-Ext-RKSJ-Hは、主にWindowsで使用します。（***はフォント名）
- プリンタの文字コード表にない文字は、出力できなかったり、文字化けするなど、思わぬ結果になることがあります。
- アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションソフトは独自の文字コード表を使用することがあります。
- 漢字コード表は「ソフトウェア CD-ROM」の以下のフォルダにPDF形式で入っています。
  ［Windows］　［ML_COLOR］-［DOC］フォルダ
  ［Macintosh］　［ML_COLOR］-［漢字コード表］フォルダ
- 各PDFファイルが示すプリンタのフォントは以下のとおりです。

ファイル名（Windows）	プリンタフォント名
HG-83pv.pdf	HeiseiKakuGo-W5-83pv-RKSJ-H
HG-90ms.pdf	HeiseiKakuGo-W5-90ms-RKSJ-H
HGExRKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-Ext-RKSJ-H
HG-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-RKSJ-H
HM-83pv.pdf	HeiseiMin-W3-83pv-RKSJ-H
HM-90ms.pdf	HeiseiMin-W3-90ms-RKSJ-H
HMExRKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-Ext-RKSJ-H
HM-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-RKSJ-H

欧文標準

Low code

High code

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
5	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
6	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
7	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	~	
8																
9																
A		¡	¢	£	⁄	¥	ƒ	§	¤	'	"	«	‹	›	ﬁ	ﬂ
B		–	†	‡	·		¶	•	‚	„	”	»	…	‰		¿
C		`	´	ˆ	˜	¯	˘	˙	¨		˚	¸		˝	˛	ˇ
D	—															
E		Æ		ª					Ł	Ø	Œ	º				
F		æ				ı			ł	ø	œ	ß				

Symbol

Low code

High code

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	∀	#	∃	%	&	∍	(	)	∗	+	,	−	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	≅	Α	Β	Χ	Δ	Ε	Φ	Γ	Η	Ι	ϑ	Κ	Λ	Μ	Ν	Ο
5	Π	Θ	Ρ	Σ	Τ	Υ	ς	Ω	Ξ	Ψ	Ζ	[	∴	]	⊥	_
6	‾	α	β	χ	δ	ε	ϕ	γ	η	ι	φ	κ	λ	μ	ν	ο
7	π	θ	ρ	σ	τ	υ	ϖ	ω	ξ	ψ	ζ	{	|	}	~	
8																
9																
A	€	ϒ	′	≤	⁄	∞	ƒ	♣	♦	♥	♠	↔	←	↑	→	↓
B	°	±	″	≥	×	∝	∂	•	÷	≠	≡	≈	…	⏐	⎯	↵
C	ℵ	ℑ	ℜ	℘	⊗	⊕	∅	∩	∪	⊃	⊇	⊄	⊂	⊆	∈	∉
D	∠	∇	®	©	™	∏	√	⋅	¬	∧	∨	⇔	⇐	⇑	⇒	⇓
E	◊	〈	®	©	™	∑	⎛	⎜	⎝	⎡	⎢	⎣	⎧	⎨	⎩	⎪
F		〉	∫	⌠	⎮	⌡	⎞	⎟	⎠	⎤	⎥	⎦	⎫	⎬	⎭	

付録

Wingdings-Regular

Low code / High code

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		🖉	✂	✁	👓	🕭	🕮	🕯	🕿	✆	🖂	🖃	📪	📫	📬	📭
3	📁	📂	📄	🗏	🗐	🗄	⌛	🖮	🖰	🖲	🖳	🖴	🖫	🖬	✇	✍
4	🖎	✌	👌	👍	👎	☜	☞	☝	☟	🖐	☺	😐	☹	💣	☠	🏳
5	🏱	✈	☼	💧	❄	🕆	✞	🕈	✠	✡	☪	☯	ॐ	☸	♈	♉
6	♊	♋	♌	♍	♎	♏	♐	♑	♒	♓	🙰	🙵	●	🔾	■	□
7	🞐	❑	❒	⬧	⧫	◆	❖	⬥	⌧	⮹	⌘	🏵	🏶	🙶	🙷	
8	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⓿	❶	❷	❸	❹
9	❺	❻	❼	❽	❾	❿	🙢	🙠	🙡	🙣	🙞	🙜	🙝	🙟	·	•
A	▪	⚪	🞆	🞈	◉	◎	🔿	▪	◻	🟂	✦	★	✶	✴	✹	✵
B	⯐	⌖	⟡	⌑	⯑	✪	✰	🕐	🕑	🕒	🕓	🕔	🕕	🕖	🕗	🕘
C	🕙	🕚	🕛	⮰	⮱	⮲	⮳	⮴	⮵	⮶	⮷	🙪	🙫	🙕	🙔	🙗
D	🙖	🙐	🙑	🙒	🙓	⌫	⌦	⮘	⮚	⮙	⮛	⮈	⮊	⮉	⮋	🡨
E	🡪	🡩	🡫	🡬	🡭	🡯	🡮	🡸	🡺	🡹	🡻	🡼	🡽	🡿	🡾	⇦
F	⇨	⇧	⇩	⬄	⇳	⬁	⬀	⬃	⬂	▫	▫	🗶	✔	🗷	🗹	⊞

ZapfDingbats

Low code / High code

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		✁	✂	✃	✄	☎	✆	✇	✈	✉	☛	☞	✌	✍	✎	✏
3	✐	✑	✒	✓	✔	✕	✖	✗	✘	✙	✚	✛	✜	✝	✞	✟
4	✠	✡	✢	✣	✤	✥	✦	✧	★	✩	✪	✫	✬	✭	✮	✯
5	✰	✱	✲	✳	✴	✵	✶	✷	✸	✹	✺	✻	✼	✽	✾	✿
6	❀	❁	❂	❃	❄	❅	❆	❇	❈	❉	❊	❋	●	❍	■	❏
7	❐	❑	❒	▲	▼	◆	❖	◗	❘	❙	❚	❛	❜	❝	❞	
8	❨	❩	❪	❫	❬	❭	❮	❯	❰	❱	❲	❳	❴	❵		
9																
A		❡	❢	❣	❤	❥	❦	❧	♣	♦	♥	♠	①	②	③	④
B	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼	❽	❾	❿
C	➀	➁	➂	➃	➄	➅	➆	➇	➈	➉	➊	➋	➌	➍	➎	➏
D	➐	➑	➒	➓	➔	→	↔	↕	➘	➙	➚	➛	➜	➝	➞	➟
E	➠	➡	➢	➣	➤	➥	➦	➧	➨	➩	➪	➫	➬	➭	➮	➯
F		➱	➲	➳	➴	➵	➶	➷	➸	➹	➺	➻	➼	➽	➾	

PCLエミュレーションモード

アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションは独自の文字コード表を使用することがあります。

シンボルセット

PC-8
PC-8 Dan/Nor
PC-8 Grk
PC-8 TK
PC-775
PC-850
PC-851 Grk
PC-852
PC-855
PC-857 TK
PC-858
PC-862 Heb
PC-864 L/A
PC-866
PC-866 Ukr
PC-869
PC-1004
Pi Font
Plska Mazvia
PS Math
PS Text
Roman-8
Roman-9
Roman Ext
Serbo Croat1
Serbo Croat2
Spanish
Ukrainian
VN Int'l
VN Math
VN US
Win 3.0
Win 3.1 Arb
Win 3.1 L/G
Win 3.1 Blt
Win 3.1 Cyr
Win 3.1 Grk
Win 3.1 Heb
Win 3.1 L1
Win 3.1 L2
Win 3.1 L5
Wingdings
Dingbats MS
Symbol
OCR-A
OCR-B
OKI-OCRB
HP ZIP
USPSFIM
USPSSTP
USPSZIP
Arabic-8
Bulgarian
CWI Hung
DeskTop
German
Greek-437
Greek-437 Cy
Greek-737
Greek-8
Greek-928
Hebrew NC
Hebrew OC
Hebrew-7
Hebrew-8
IBM-437
IBM-850
IBM-860
IBM-863
IBM-865
ISO Dutch
ISO L1
ISO L2
ISO L4
ISO L5
ISO L6
ISO L9
ISO Swedish1
ISO Swedish2
ISO Swedish3
ISO-2 IRV
ISO-4 UK
ISO-6 ASC
ISO-10 S/F
ISO-11 Swe
ISO-14 JASC
ISO-15 Ita
ISO-16 Por
ISO-17 Spa
ISO-21 Ger
ISO-25 Fre
ISO-57 Chi
ISO-60 Nor
ISO-61 Nor
ISO-69 Fre
ISO-84 Por
ISO-85 Spa
ISO-Cyr
ISO-Grk
ISO-Hebrew
Kamenicky
Legal
Math-8
MC Text
MS Publish
PC Ext D/N
PC Ext US
PC Set1
PC Set2 D/N
PC Set2 US
WIN3.1J

PCL平成半角（WIN3.1J）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p				ｰ	ﾀ	ﾐ		
1			!	1	A	Q	a	q			｡	ｱ	ﾁ	ﾑ		
2			“	2	B	R	b	r			｢	ｲ	ﾂ	ﾒ		
3			#	3	C	S	c	s			｣	ｳ	ﾃ	ﾓ		
4			$	4	D	T	d	t			､	ｴ	ﾄ	ﾔ		
5			%	5	E	U	e	u			･	ｵ	ﾅ	ﾕ		
6			&	6	F	V	f	v			ｦ	ｶ	ﾆ	ﾖ		
7			‘	7	G	W	g	w			ｧ	ｷ	ﾇ	ﾗ		
8			(	8	H	X	h	x			ｨ	ｸ	ﾈ	ﾘ		
9			)	9	I	Y	i	y			ｩ	ｹ	ﾉ	ﾙ		
A			*	:	J	Z	j	z			ｪ	ｺ	ﾊ	ﾚ		
B			+	;	K	[	k	{			ｫ	ｻ	ﾋ	ﾛ		
C			,	<	L	¥	l	|			ｬ	ｼ	ﾌ	ﾜ		
D			-	=	M	]	m	}			ｭ	ｽ	ﾍ	ﾝ		
E			.	>	N	^	n	~			ｮ	ｾ	ﾎ	ﾞ		
F			/	?	O	_	o				ｯ	ｿ	ﾏ	ﾟ		

付録

Symbol

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	≅	Π	‾	π				°	ℵ	∠	◊	
1			!	1	Α	Θ	α	θ			ϒ	±	ℑ	∇	〈	〉
2			∀	2	Β	Ρ	β	ρ			′	″	ℜ	®	®	∫
3			#	3	Χ	Σ	χ	σ			≤	≥	℘	©	©	⌠
4			∃	4	Δ	Τ	δ	τ			⁄	×	⊗	™	™	⎮
5			%	5	Ε	Υ	ε	υ			∞	∝	⊕	∏	∑	⌡
6			&	6	Φ	ς	ϕ	ϖ			ƒ	∂	∅	√	⎛	⎞
7			∍	7	Γ	Ω	γ	ω			♣	•	∩	⋅	⎜	⎟
8			(	8	Η	Ξ	η	ξ			♦	÷	∪	¬	⎝	⎠
9			)	9	Ι	Ψ	ι	ψ			♥	≠	⊃	∧	⎡	⎤
A			*	:	ϑ	Ζ	φ	ζ			♠	≡	⊇	∨	⎢	⎥
B			+	;	Κ	[	κ	{			↔	≈	⊄	⇔	⎣	⎦
C			,	<	Λ	∴	λ	|			←	…	⊂	⇐	⎧	⎫
D			−	=	Μ	]	μ	}			↑	⏐	⊆	⇑	⎨	⎬
E			.	>	Ν	⊥	ν	~			→	⎯	∈	⇒	⎩	⎭
F			/	?	Ο	_	ο				↓	↵	∉	⇓	⎪	

Wingdings

付録

諸注意

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律　　刑法　第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法　第1条、第2条　等

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
なお、オプションのフィニッシャを使用した場合、この装置はクラスA情報技術装置になり、この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波規制について

この装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

MICROLINEは株式会社沖データの商標です。
OKIは沖電気工業株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows ServerおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintosh、MacOS、EtherTalk、LaserWriterおよびTrueTypeは、米国Apple Inc.の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
PostScriptは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
Scalable FontはMonotype Imaging, Inc.からライセンスされています。
CG OmegaはMonotype Imaging, Inc.の製品です。
CG TimesはThe Monotype Corporationのライセンスをうけたtimes New Romanを基にしたMonotype Imaging, Inc.の製品です。
TaffyはAdobe Tekton Regularに対応するMonotype Imaging, Inc.の製品です。
CandidはAdobe Cartaに対応するMonotype Imaging, Inc.の製品です。
CG、Candid、TaffyはMonotype Imaging, Inc.の各国での登録商標または商標です。
Univers、Helvetica、Palatino、TimesはLinotype-Hell AGあるいはその子会社の各国での登録商標または商標です。
ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC Zapf DingbatsはInternational Typeface Corporationの各国での登録商標または商標です。
Arial、Times New Roman、Albertus、Gill SansはThe Monotype Corporation plc. の各国での登録商標または商標です。
WingdingsはMicrosoft Corporationの各国での登録商標または商標です。
Monotype Imaging, Inc.からライセンスされたMarigoldはArthur Bakerの各国での登録商標または商標です。
平成明朝体W3、平成角ゴシック体W5は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可無く複製することはできません。
この製品には、OpenSSL Toolkitでの使用のためにOpenSSL Projectによって開発されたソフトウェアが含まれます。(http://www.openssl.org)
その他各社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

付録

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

重要。お客様へのお願い

プリンタに付属のCD-ROMに含まれているプログラム（ただし、Adobe Readerは除くものとする）およびドキュメンテーションは株式会社沖データ（以下、沖データという）が提供するものです。
パッケージを開封する前に本ソフトウエア使用許諾契約書を必ずお読みください。
お客様がこのパッケージを開封された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約の条項を承諾いただけない場合は、未開封のまま速やかにお客様が購入された販売店に返却してください。

1. 使用範囲
   お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを一部複製することができます。

2. 財産権および義務
   (1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
   (2) 第1条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
   (3) お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
   (4) お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
   (1) お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
   (2) お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
   (3) お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

付録

4. 保証
   (1) 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
      ・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
      ・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
      ・第三者の権利を侵害していないこと。
      ・特定の目的に適合していること。
   (2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
   沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる間接的、派生的、結果的、懲罰的、その他特別な損害、損失に対しても、沖データ及び沖データのライセンサーがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、訴訟方式がどのようなものであろうとも、適用法で認められる限り、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、この使用許諾契約における本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされる一切の請求は、お客様が本ソフトウェアに対して支払った対価を越えないことに同意するものとします。米国の州や司法管轄区域の中には、本使用許諾契約に定める責任の除外および/または限定の一部または全部を許さないところもあるため、上記の責任除外・限定は、お客様に適用がないかもしれません。

6. 準拠法及び輸出管理規制
本契約中のうち、アドビソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め、米国カリフォルニア州法を準拠法とし、アドビソフトウェアを除く本ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。本契約は国際物品売買契約に関する国連条約には準拠しないものとし、その適用は明示的に排除されます。
もし、本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。
本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。 お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

7. 完全な合意
お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

8. Notice to U.S. Government End Users（米国政府機関のエンドユーザへの注意）
The Software is "Commercial Items," as that term is defined at 48 C.F.R. Section 2.101, consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. Section 12.212.
Consistent with 48 C.F.R. Section 12.212 or 48 C.F.R. Section 227.7202-1 through 227.7202-4,all US Government End Users acquired the Software with only those rights set forth herein.
本条項中で使用される"the Software"とは、本契約中で定義される本ソフトウェアを指すものとします。

9. 第三受益者
お客様は、本契約中アドビソフトウェアの使用許諾に関連した条項に関しては、アドビシステムズが本契約に対する第三受益者であるということをここに通知されたものとします。
この規定は、アドビシステムズの利益の為に、明確に規定されるもので、沖データに加えアドビシステムズも、アドビソフトウェアの使用許諾に関連した条項に関しては、権利行使ができるものとします。

付録

※Adobe Reader の使用について
Adobe Readerは沖データがアドビシステム社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様はAdobe Readerに含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステム社からAdobe Readerの使用を許諾されることになります。

※商標について
Adobe、Adobe ReaderおよびPostScriptは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。
その他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

索引

索引

索引

オキカラーページプリンタ
MICROLINE 910PS/910PS-D

ユーザーズマニュアル（応用編）

発行日　2013年　3月　第３版
発行者　株式会社 沖データ

44113101EE

株式会社 沖データ

お客様相談センター

0120-654-632

(携帯電話からは 0570-055-654)

ご注意：ナビダイヤルの通話料は、お客様のご負担となります。

受付時間 9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（ただし 祝日、年末年始等を除く）

44113101EE Rev3